

いちき串木野市
男女共同参画に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和4年9月

鹿児島県 いちき串木野市

目次

第1章 アンケート調査概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要と回収状況.....	2
3 報告書利用上の注意.....	2
4 アンケートの回答者について.....	3
第2章 調査結果の概要	7
1 男女平等全般（少子化や学校教育を含む）について.....	8
2 家庭生活（老後の生活を含む）について.....	8
3 就業について.....	9
4 人権について.....	9
5 地域社会づくりについて.....	9
6 男女共同参画社会について（用語の認知度を含む）.....	10
第3章 調査結果の分析	11
1 男女平等について.....	12
2 家庭生活について.....	29
3 少子化について.....	48
4 老後の生活について.....	56
5 就業について.....	58
6 学校教育について.....	80
7 人権・暴力について.....	84
8 地域社会づくりについて.....	107
9 男女共同参画社会全般について.....	114
参考資料（調査票）	138

第1章 アンケート調査概要

1 調査の目的

いちき串木野市における男女共同参画社会の形成へ向けて、市民の男女共同参画に関する実態や意識を把握することにより課題等を抽出し、平成 29 年度に策定した「いちき串木野市男女共同参画基本計画（平成 29 年度～令和 4 年度）」の事業評価の参考とするとともに、令和 4 年度に策定する「いちき串木野市男女共同参画基本計画（令和 4 年度～令和 9 年度）」の基礎資料、及び今後の施策の推進に資することを目的とする。

2 調査概要と回収状況

- (1) 調査地域：いちき串木野市全域
- (2) 調査対象：いちき串木野市在住の 18 歳以上の男女 2,000 名
- (3) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収
- (5) 調査期間：令和 4 年 7 月 26 日（火）～ 8 月 12 日（金）
- (6) 回収状況：回収数 750（回収率：37.5%）

3 報告書利用上の注意

- ・「SA」は回答を一つ選択する設問（単一回答）、「MA」は 2 つ以上の回答が可能である設問（複数回答）を示している。
- ・「SA」（単一回答）の場合、端数処理の関係上、構成比（%）の合計が 100%にならない場合がある。
- ・「MA」（複数回答）の場合、すべての構成比（%）の合計は、原則として 100%を超える。
- ・設問毎の無回答を除いて集計・解析を行っている。

4 アンケートの回答者について

【F1】性別 (SA)

アンケート回答者の性別については、「女性」が57.3%、「男性」が42.7%となっている。

	上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計
女性		427 (57.3%)
男性		318 (42.7%)
合計		745 (100.0%)

【F2】年齢 (SA)

アンケート回答者の年齢については、「50歳代」の割合が25.2%で最も高く、次いで「70歳以上(19.7%)」、「40歳代(19.1%)」の順となっている。

	上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
10歳代		7 (0.9%)	3 (0.7%)	4 (1.3%)
20歳代		41 (5.5%)	24 (5.6%)	17 (5.3%)
30歳代		87 (11.7%)	53 (12.4%)	34 (10.7%)
40歳代		142 (19.1%)	71 (16.6%)	71 (22.3%)
50歳代		188 (25.2%)	112 (26.2%)	76 (23.9%)
60歳代		133 (17.9%)	82 (19.2%)	51 (16.0%)
70歳以上		147 (19.7%)	82 (19.2%)	65 (20.4%)
合計		745 (100.0%)	427 (100.0%)	318 (100.0%)

【F3】就業状況 (SA)

アンケート回答者の就業状況については、「収入になる仕事をしている」が72.3%、「収入になる仕事をしていない」が27.7%となっている。

	上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
収入になる仕事をしている		535 (72.3%)	281 (66.3%)	254 (80.4%)
収入になる仕事をしていない		205 (27.7%)	143 (33.7%)	62 (19.6%)
合計		740 (100.0%)	424 (100.0%)	316 (100.0%)

【F4】職業 (SA)

アンケート回答者の職業については、「常勤の勤め」の割合が 33.5%で最も高く、次いで「非常勤の勤め (23.1%)」、「主婦・主夫 (15.0%)」の順となっている。

		上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
自営業主	農林漁業	9 (1.3%)	9	0 (0.0%)	9 (2.9%)
	商工サービス業	13 (1.8%)	13	4 (1.0%)	9 (2.9%)
	その他の自営業	25 (3.5%)	25	10 (2.4%)	15 (4.9%)
家族従事者	農林漁業	8 (1.1%)	8	6 (1.5%)	2 (0.7%)
	商工サービス業	3 (0.4%)	3	1 (0.2%)	2 (0.7%)
	その他の家族従事者	8 (1.1%)	8	5 (1.2%)	3 (1.0%)
雇 用 者	管理職	49 (6.8%)	49	8 (1.9%)	41 (13.4%)
	常勤の勤め	241 (33.5%)	241	110 (26.6%)	131 (42.8%)
	非常勤の勤め	166 (23.1%)	166	129 (31.2%)	37 (12.1%)
そ の 他	主婦・主夫	108 (15.0%)	108	105 (25.4%)	3 (1.0%)
	学生	9 (1.3%)	9	2 (0.5%)	7 (2.3%)
	無職	80 (11.1%)	80	33 (8.0%)	47 (15.4%)
合計		719 (100.0%)	719	413 (100.0%)	306 (100.0%)

【F5】婚姻状況 (SA)

アンケート回答者の婚姻状況については、「結婚している (事実婚を含む)」の割合が 67.0%で最も高く、次いで「結婚していない (19.9%)」、「結婚していたが、離婚した (8.0%)」の順となっている。

	上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
結婚している (事実婚を含む)	497 (67.0%)	497	277 (65.5%)	220 (69.2%)
結婚していたが、離婚した	59 (8.0%)	59	35 (8.3%)	24 (7.5%)
結婚していたが、死別した	38 (5.1%)	38	32 (7.6%)	6 (1.9%)
結婚していない	148 (19.9%)	148	79 (18.7%)	68 (21.4%)
合計	742 (100.0%)	742	423 (100.0%)	318 (100.0%)

※F5で「1 結婚している」を選択された方のみ回答

【F6】夫婦の就業状況 (SA)

アンケート回答者の夫婦における就業状況については、「どちらとも仕事をしている（パート・内職を含む）」の割合が 57.9%で最も高く、次いで「自分のみ仕事をしている（14.8%）」、「どちらとも仕事をしていない（13.8%）」の順となっている。

上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
どちらとも仕事をしている（パート・内職を含む）	285 (57.9%)	150 (54.3%)	135 (62.5%)
自分のみ仕事をしている	73 (14.8%)	26 (9.4%)	47 (21.8%)
配偶者のみ仕事をしている	66 (13.4%)	55 (19.9%)	11 (5.1%)
どちらとも仕事をしていない	68 (13.8%)	45 (16.3%)	23 (10.6%)
合計	492 (100.0%)	276 (100.0%)	216 (100.0%)

【F7】家族構成 (SA)

アンケート回答者の家族構成については、「2 世代世帯（親と子、夫婦と子など）」の割合が 49.4%で最も高く、次いで「1 世代世帯（夫婦のみ）（29.2%）」、「単身世帯（一人暮らし）（14.2%）」の順となっている。

上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
単身世帯（一人暮らし）	89 (14.2%)	47 (12.9%)	42 (16.0%)
1 世代世帯（夫婦のみ）	183 (29.2%)	105 (28.9%)	77 (29.4%)
2 世代世帯（親と子、夫婦と子など）	309 (49.4%)	178 (49.0%)	131 (50.0%)
3 世代世帯（親と子と孫など）	18 (4.0%)	11 (3.0%)	7 (2.7%)
その他	27 (4.3%)	22 (6.1%)	5 (1.9%)
合計	626 (100.0%)	363 (100.0%)	262 (100.0%)

【F8】子どもの有無 (SA)

アンケート回答者の子どもの有無については、「2 人」の割合が 35.1%で最も高く、次いで「いない（27.2%）」、「3 人（20.6%）」の順となっている。

上段：回答数 (人) 下段：構成比 (%)	総計	女性	男性
いない	198 (27.2%)	103 (24.7%)	95 (30.5%)
1 人	90 (12.3%)	43 (10.3%)	47 (15.1%)
2 人	256 (35.1%)	154 (36.9%)	101 (32.5%)
3 人	150 (20.6%)	94 (22.5%)	56 (18.0%)
4 人以上	35 (4.8%)	23 (5.5%)	12 (3.9%)
合計	729 (100.0%)	417 (100.0%)	311 (100.0%)

※F8で「2」～「5」（1人～4人以上）を選択された方のみ回答

【F9】子どもの成長段階（SA）

アンケート回答者の子どもの成長段階については、「学校は卒業した（中退も含む）」の割合が61.2%で最も高く、次いで「高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生（11.3%）」、「小学生（9.9%）」の順となっている。

	上段：回答数（人） 下段：構成比（%）	総計	女性	男性
乳児（1歳未満）	16 (3.1%)	16	11 (3.6%)	5 (2.4%)
幼児（1歳以上）	41 (8.0%)	41	24 (7.9%)	17 (8.1%)
小学生	51 (9.9%)	51	23 (7.6%)	28 (13.4%)
中学生	33 (6.4%)	33	18 (5.9%)	15 (7.2%)
高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生	58 (11.3%)	58	34 (11.2%)	24 (11.5%)
学校は卒業した（中退も含む）	314 (61.2%)	314	193 (63.7%)	120 (57.4%)
合計	513 (100.0%)	513	303 (100.0%)	209 (100.0%)

第2章 調査結果の概要

1 男女平等全般（少子化や学校教育を含む）について

『男女の地位の平等感』について、「家庭生活で」や「学校（学校教育の中）で」、「法律や制度の上で」で、男女間の意識の差が大きく、女性の不平等感が強くみられる。

『性別役割分担意識』について、ほとんどの項目において否定的である回答が肯定的である回答を上回っているものの、「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」や「育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい」では男女で意見が逆転しており、男性は肯定的、女性は否定的な回答が多くなっている。「子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい」との項目については、およそ半数が肯定的意見であった。

『子育てにおける住民同士の助け合い活動』としてニーズが高いものは、「子どもが安心して遊べる活動や場所」や「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」が約6割を占め、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」も約半数を超えている。

また、『子育て支援策に関する考え方』では、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みの充実」や「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みの充実」が求められている。

『男女共同参画の実現のために学校教育の場で大切なこと』については、「互いのよさを理解し、他者を思いやる心を育てる教育を充実する」が約7割を占め、「性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う」や「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する」が約半数を占めている。

2 家庭生活（老後の生活を含む）について

『日常生活の分担』の状況をみると、「家事（掃除、洗濯、炊事など）」や「育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）」、「PTAや子ども会」の分担では、妻が主に行っており、夫婦で行っているとの回答も一定はあるものの、夫の参加は3%未満に留まっている。

『結婚、家庭、離婚に対する考え方』については、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」との項目で約9割が肯定的意見を持っており、一方で、「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである」や「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について」との項目では、否定的意見を持つ人が多いことがうかがえる。

『晩婚化や非婚化が進む理由』については、「独身生活のほうが自由である」や「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった」との回答が多いが、年齢が高くなる程「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」との回答も比較的多くなっている。

老後の生活時に、『自分が介護してもらいたい相手』としては、男女ともに「病院や老人ホームなどの施設への入所」との回答が最も多くなっている一方、女性は「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する」が続いているのに対し、男性は「配偶者」が続いている。

3 就業について

『就業している理由』として、「生計を維持するため」との回答が約8割を占め、「将来に備えて貯蓄するため」や「自分で自由に使えるお金を得るため」、「家計の足しにするため」との回答も約4割を占めている。

『職場における性別による処遇の差の有無』の状況をみると、女性の約2割、男性の約4割が「差があると思う」と回答しており、『処遇の差の具体的な内容』については、「賃金に差がある」との回答が約6割を占め、「昇進、昇格に差がある」や「能力を正当に評価しない」との回答が約4割となっている。

『女性の就労に対する考え方』については、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」との回答が約4割、「女性が仕事をもつことは当然である」との回答が約2割となっている。

『女性が仕事しやすい環境の整備に必要なこと』については、「育児・介護休業制度の普及」や「家族や夫の理解・協力」、「労働条件の整備」、「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実」が多く挙げられている。しかしながら「家族や夫の理解・協力」については、男女間の意識の差異がみられ、女性に比べ、男性で大きく下回っている状況であり、特に40歳代以上の差が顕著となっている。

4 人権について

『ドメスティック・バイオレンスの経験の有無』については、「身体的暴力」と「精神的暴力」で約2割、「性的暴力」では約1割が、ドメスティック・バイオレンスの経験がある（「1、2度あった」及び「何度もあった」）との回答であり、全ての項目において女性が被害経験者が多い状況である。

『ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処』については、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が約6割を占めている。また、相談をしたとしても、「友人・知人に相談した」や「家族や親戚に相談した」との回答が大部分を占めており、専門機関や公的機関への相談はほとんどない状況である。

『（対処）相談しなかった理由』については、「相談することではないと思ったから」や「自分にも悪いところがあると思ったから」との回答が約4割を占め、「相談しても無駄だと思ったから」、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」との回答が約3割を占めている。

5 地域社会づくりについて

『地域活動等状況』については、「特になにもしていない」が約半数を占めているが、「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動」との回答も約4割を占めている。

6 男女共同参画社会について（用語の認知度を含む）

いちき串木野市において、『政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由』については、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」との回答が約4割を占めており、「男性になるほうがいい（なるものだ）と思っている人が多い」、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある」、「女性側の関心や積極性が十分でない」、との回答も約3割を占めている。

『今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと』については、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」との意見が最も多く、次いで「夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること」との意見も多くなっている。

『男女共同参画に関する用語の認知度』については、全ての項目で「言葉も内容もよく知っている」との回答が3割未満となっており、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）」、「SOGI」、「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」、「鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」、「ダイバーシティ」では半数以上が「言葉も内容も知らない」と回答しており、認知度が低いことがうかがえる。

第3章 調査結果の分析

1 男女平等について

【問1】あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

【全体】

全体で見ると、“非常にもしくはかなり平等になっている（「非常に平等になっている」＋「かなり平等になっている」）”との回答は、6項目中、「家庭生活で」の割合が41.7%で最も高く、次いで「学校（学校教育の中）で（39.8%）」、「職場で（34.3%）」の順となっている。

一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない（「あまり平等になっていない」＋「全く平等になっていない」）”との回答は、6項目中、「社会通念、慣習・しきたりなどで」の割合が52.2%で最も高く、次いで「集落、公民館などの地域社会で（37.5%）」、「法律や制度の上で（32.9%）」の順となっている。

【性別】

性別で見ると、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答は、6項目中すべての項目で、女性より男性が上回っている。

また、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「法律や制度の上で」となっており、女性が20.2%、男性が32.4%で12.3ポイントの差となっている。次いで「家庭生活で」では、女性が37.0%、男性が48.2%で11.2ポイントの差となっている。

一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「家庭生活で」となっており、女性が34.1%、男性が19.3%で14.8ポイントの差となっている。次いで「社会通念、慣習・しきたりなどで」では、女性が56.5%、男性が46.6%で9.9ポイントの差となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答に増加はみられず、「法律や制度の上で」が11.5ポイントの減少、「学校（学校教育の中）で」が9.1ポイントの減少、「集落、公民館などの地域社会で」が5.7ポイントの減少となっている。

【A 家庭生活で】

「少し平等になっている」の割合が最も高くなっているものの、「かなり平等になっている」の割合は男性が高く、「あまり平等になっていない」「全く平等になっていない」の割合は女性が高い。

年代別による傾向の差はみられない。

【B 職場で】

「少し平等になっている」の割合が最も高くなっている。

年代別による傾向の差はみられない。

【C 集落、公民館などの地域社会で】

「少し平等になっている」の割合が最も高くなっている。

年代別による傾向の差はみられない。

【D 学校（学校教育の中）で】

「少し平等になっている」の割合が最も高くなっているものの、女性は男性と比べ「あまり平等になっていない」の割合が高くなっている。

年代別で見ると、20歳代女性の“あまりもしくは全く平等になっていない”の割合が高くなっている。

【E 法律や制度の上で】

「少し平等になっている」の割合が最も高くなっているものの、女性は男性と比べ「非常に平等になっている」の割合が低く、「あまり平等になっていない」の割合が高くなっている。

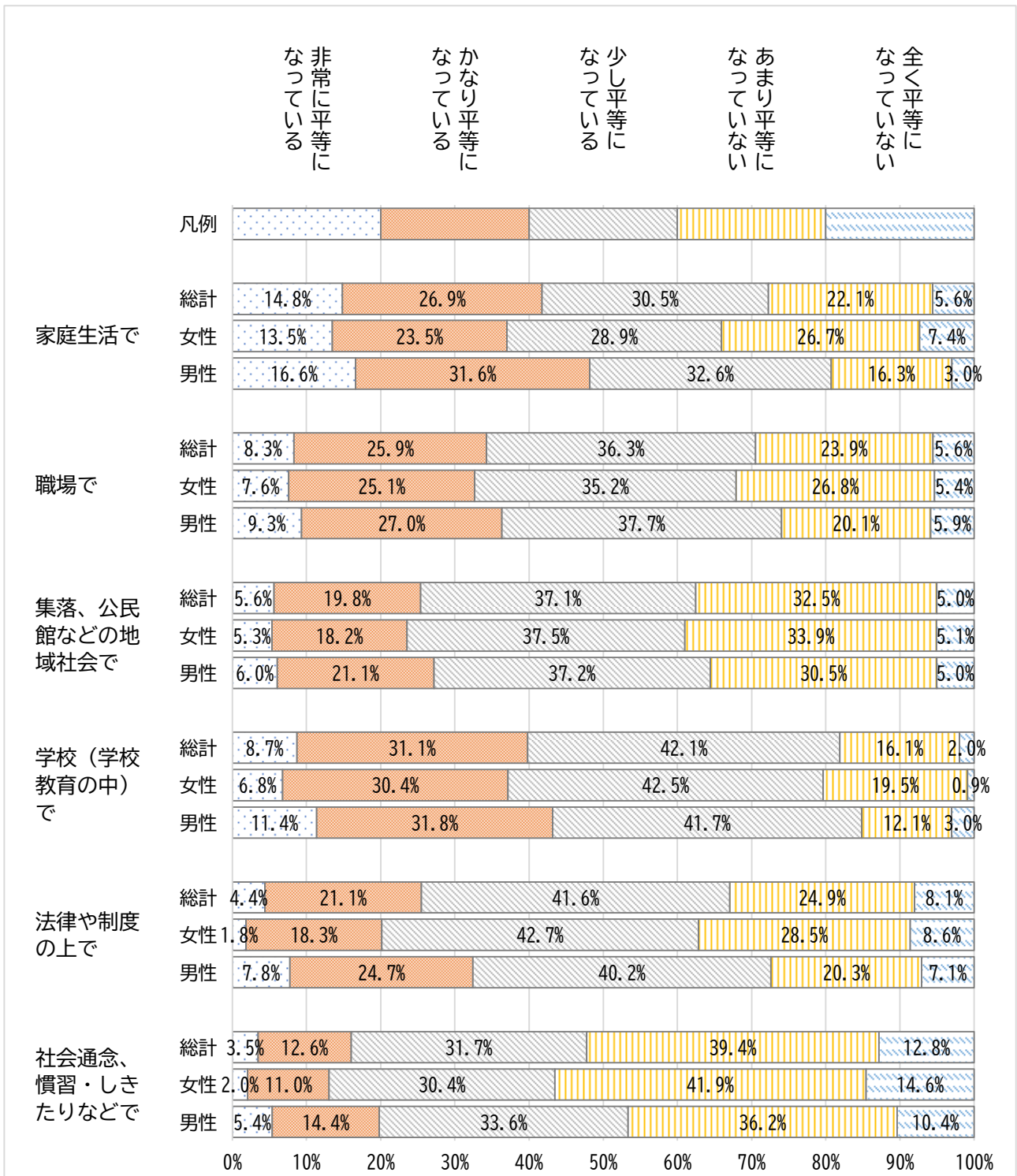
年代別による傾向の差はみられない。

【F 社会通念、慣習・しきたりなどで】

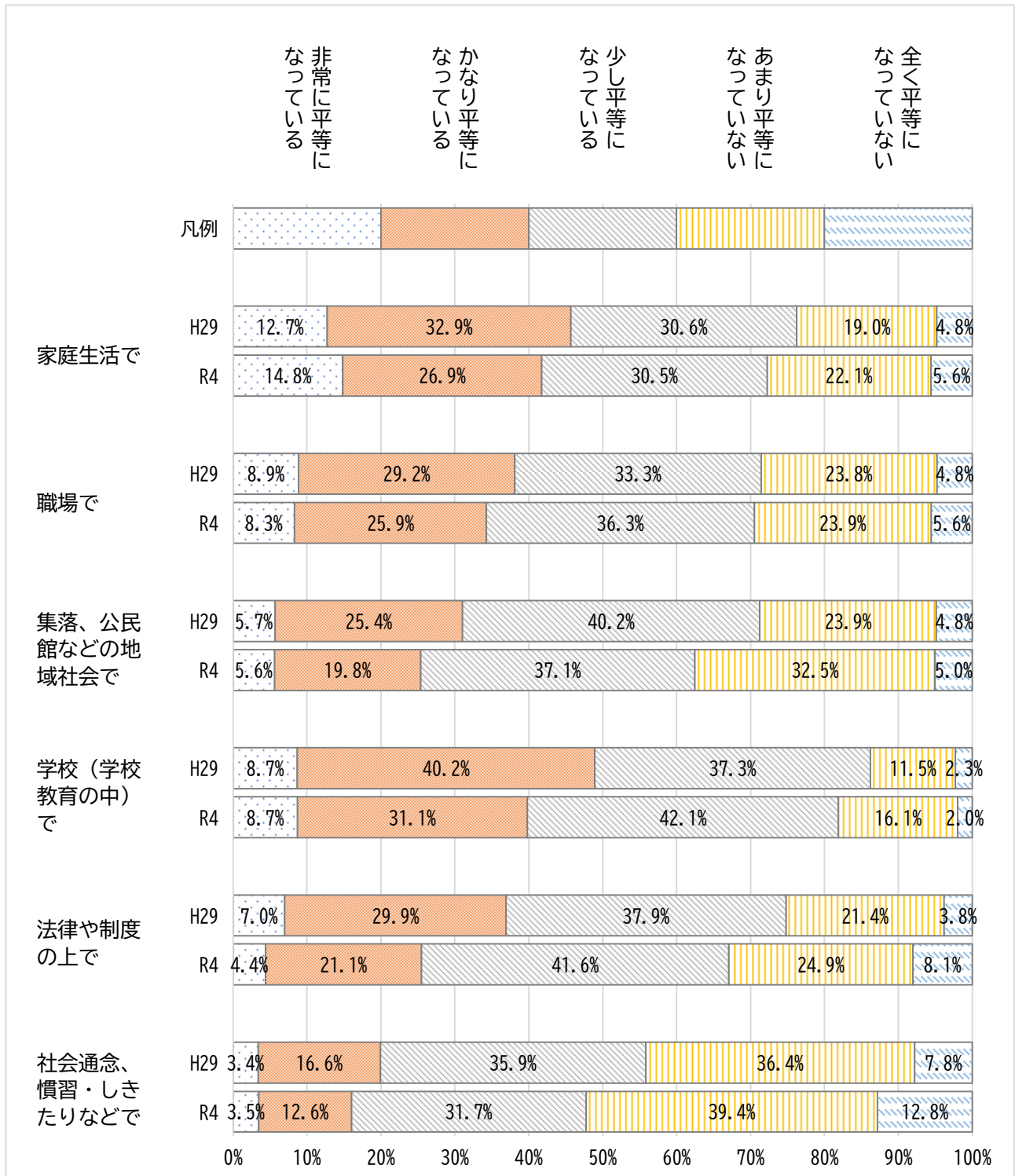
「あまり平等になっていない」の割合が最も高くなっており、特に女性の「非常に平等になっている」とした割合が低い。

年代別でみると、10歳代女性は「少し平等になっている」の割合が高く、20歳代女性は「少し平等になっている」の割合が低い。70歳以上女性は“あまりもしくは全く平等になっていない”割合が低くなっている。

図表 1-1 各分野の男女の地位の平等感【全体及び性別】



図表 1-2 各分野の男女の地位の平等感【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 1-3 各分野の男女の地位の平等感【家庭生活で】

		1 な 非 つ つ て に い 平 等 に	2 な な つ つ な り い 平 等 に	3 て 少 い し 平 等 に な っ	4 な あ つ つ り い 平 等 に	5 て 全 い く な い 平 等 に な っ
総数 (n=714)		106 (14.8%)	192 (26.9%)	218 (30.5%)	158 (22.1%)	40 (5.6%)
性・年代別	女性 (n=408)	55 (13.5%)	96 (23.5%)	118 (28.9%)	109 (26.7%)	30 (7.4%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	4 (18.2%)	7 (31.8%)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=53)	15 (28.3%)	7 (13.2%)	12 (22.6%)	17 (32.1%)	2 (3.8%)
	40歳代 (n=69)	8 (11.6%)	20 (29.0%)	22 (31.9%)	15 (21.7%)	4 (5.8%)
	50歳代 (n=111)	12 (10.8%)	24 (21.6%)	36 (32.4%)	29 (26.1%)	10 (9.0%)
	60歳代 (n=77)	7 (9.1%)	18 (23.4%)	23 (29.9%)	22 (28.6%)	7 (9.1%)
	70歳以上 (n=73)	8 (11.0%)	20 (27.4%)	21 (28.8%)	18 (24.7%)	6 (8.2%)
	男性 (n=301)	50 (16.6%)	95 (31.6%)	98 (32.6%)	49 (16.3%)	9 (3.0%)
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	4 (23.5%)	5 (29.4%)	7 (41.2%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	10 (29.4%)	6 (17.6%)	12 (35.3%)	5 (14.7%)	1 (2.9%)
	40歳代 (n=68)	7 (10.3%)	21 (30.9%)	28 (41.2%)	10 (14.7%)	2 (2.9%)
	50歳代 (n=70)	9 (12.9%)	25 (35.7%)	19 (27.1%)	16 (22.9%)	1 (1.4%)
60歳代 (n=49)	10 (20.4%)	14 (28.6%)	15 (30.6%)	7 (14.3%)	3 (6.1%)	
70歳以上 (n=59)	9 (15.3%)	23 (39.0%)	17 (28.8%)	9 (15.3%)	1 (1.7%)	

図表 1-4 各分野の男女の地位の平等感【職場で】

		1 な 非 つ つ て に い 平 等 に	2 な な つ つ な り い 平 等 に	3 て 少 い し 平 等 に な っ	4 な あ つ つ り い 平 等 に	5 て 全 い く な い 平 等 に な っ
総数 (n=648)		54 (8.3%)	168 (25.9%)	235 (36.3%)	155 (23.9%)	36 (5.6%)
性・年代別	女性 (n=355)	27 (7.6%)	89 (25.1%)	125 (35.2%)	95 (26.8%)	19 (5.4%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	2 (9.1%)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	9 (40.9%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=50)	4 (8.0%)	10 (20.0%)	19 (38.0%)	12 (24.0%)	5 (10.0%)
	40歳代 (n=64)	8 (12.5%)	18 (28.1%)	20 (31.3%)	13 (20.3%)	5 (7.8%)
	50歳代 (n=106)	6 (5.7%)	30 (28.3%)	35 (33.0%)	31 (29.2%)	4 (3.8%)
	60歳代 (n=65)	2 (3.1%)	17 (26.2%)	27 (41.5%)	16 (24.6%)	3 (4.6%)
	70歳以上 (n=45)	5 (11.1%)	10 (22.2%)	15 (33.3%)	13 (28.9%)	2 (4.4%)
	男性 (n=289)	27 (9.3%)	78 (27.0%)	109 (37.7%)	58 (20.1%)	17 (5.9%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	7 (41.2%)	6 (35.3%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=32)	5 (15.6%)	4 (12.5%)	15 (46.9%)	7 (21.9%)	1 (3.1%)
	40歳代 (n=70)	5 (7.1%)	14 (20.0%)	26 (37.1%)	18 (25.7%)	7 (10.0%)
	50歳代 (n=72)	8 (11.1%)	26 (36.1%)	22 (30.6%)	15 (20.8%)	1 (1.4%)
60歳代 (n=45)	4 (8.9%)	12 (26.7%)	15 (33.3%)	10 (22.2%)	4 (8.9%)	
70歳以上 (n=50)	3 (6.0%)	15 (30.0%)	24 (48.0%)	5 (10.0%)	3 (6.0%)	

図表 1-5 各分野の男女の地位の平等感
【集落、公民館などの地域社会で】

	1 な非 つ常 てに い平 る等 に	2 なか つな りて い平 る等 に	3 て少 いし る平 等 にな つ	4 なあ つま りて い平 ない にな つ	5 て全 い ない 平 等 にな つ	
総数 (n=698)	39 (5.6%)	138 (19.8%)	259 (37.1%)	227 (32.5%)	35 (5.0%)	
性・年代別	女性 (n=395)					
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=21)	2 (9.5%)	4 (19.0%)	5 (23.8%)	9 (42.9%)	1 (4.8%)
	30歳代 (n=50)	2 (4.0%)	9 (18.0%)	19 (38.0%)	16 (32.0%)	4 (8.0%)
	40歳代 (n=68)	5 (7.4%)	7 (10.3%)	25 (36.8%)	28 (41.2%)	3 (4.4%)
	50歳代 (n=108)	3 (2.8%)	17 (15.7%)	40 (37.0%)	42 (38.9%)	6 (5.6%)
	60歳代 (n=74)	2 (2.7%)	15 (20.3%)	30 (40.5%)	24 (32.4%)	3 (4.1%)
	70歳以上 (n=71)	6 (8.5%)	20 (28.2%)	27 (38.0%)	15 (21.1%)	3 (4.2%)
	男性 (n=298)					
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=32)	4 (12.5%)	2 (6.3%)	14 (43.8%)	8 (25.0%)	4 (12.5%)
	40歳代 (n=68)	1 (1.5%)	13 (19.1%)	28 (41.2%)	21 (30.9%)	5 (7.4%)
	50歳代 (n=69)	5 (7.2%)	12 (17.4%)	27 (39.1%)	25 (36.2%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=49)	1 (2.0%)	11 (22.4%)	16 (32.7%)	17 (34.7%)	4 (8.2%)
70歳以上 (n=59)	4 (6.8%)	21 (35.6%)	20 (33.9%)	13 (22.0%)	1 (1.7%)	

図表 1-6 各分野の男女の地位の平等感
【学校（学校教育の中）で】

	1 な非 つ常 てに い平 る等 に	2 なか つな りて い平 る等 に	3 て少 いし る平 等 にな つ	4 なあ つま りて い平 ない にな つ	5 て全 い ない 平 等 にな つ	
総数 (n=608)	53 (8.7%)	189 (31.1%)	256 (42.1%)	98 (16.1%)	12 (2.0%)	
性・年代別	女性 (n=339)					
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	2 (9.1%)	3 (13.6%)	5 (22.7%)	10 (45.5%)	2 (9.1%)
	30歳代 (n=49)	7 (14.3%)	10 (20.4%)	22 (44.9%)	9 (18.4%)	1 (2.0%)
	40歳代 (n=60)	4 (6.7%)	22 (36.7%)	24 (40.0%)	10 (16.7%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=103)	5 (4.9%)	28 (27.2%)	46 (44.7%)	24 (23.3%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=62)	2 (3.2%)	24 (38.7%)	29 (46.8%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=40)	3 (7.5%)	16 (40.0%)	15 (37.5%)	6 (15.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=264)					
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	5 (29.4%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=31)	4 (12.9%)	4 (12.9%)	18 (58.1%)	3 (9.7%)	2 (6.5%)
	40歳代 (n=63)	5 (7.9%)	20 (31.7%)	27 (42.9%)	7 (11.1%)	4 (6.3%)
	50歳代 (n=67)	6 (9.0%)	20 (29.9%)	34 (50.7%)	7 (10.4%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=41)	2 (4.9%)	18 (43.9%)	12 (29.3%)	8 (19.5%)	1 (2.4%)
70歳以上 (n=41)	7 (17.1%)	15 (36.6%)	13 (31.7%)	5 (12.2%)	1 (2.4%)	

図表 1-7 各分野の男女の地位の平等感
【法律や制度の上で】

	1 な 非 つ 常 て に い 平 等 に	2 な か つ な り て り い 平 等 に	3 て 少 い し る 平 等 に な っ	4 な あ つ ま り て り い 平 等 に	5 て 全 い く な い 平 等 に な っ	
総数 (n=683)	30 (4.4%)	144 (21.1%)	284 (41.6%)	170 (24.9%)	55 (8.1%)	
性・年代別	女性 (n=382)	7 (1.8%)	70 (18.3%)	163 (42.7%)	109 (28.5%)	33 (8.6%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	6 (27.3%)	7 (31.8%)	6 (27.3%)
	30歳代 (n=51)	2 (3.9%)	9 (17.6%)	22 (43.1%)	11 (21.6%)	7 (13.7%)
	40歳代 (n=68)	3 (4.4%)	13 (19.1%)	28 (41.2%)	21 (30.9%)	3 (4.4%)
	50歳代 (n=109)	2 (1.8%)	19 (17.4%)	46 (42.2%)	36 (33.0%)	6 (5.5%)
	60歳代 (n=73)	0 (0.0%)	11 (15.1%)	37 (50.7%)	17 (23.3%)	8 (11.0%)
	70歳以上 (n=56)	0 (0.0%)	15 (26.8%)	22 (39.3%)	17 (30.4%)	2 (3.6%)
	男性 (n=296)	23 (7.8%)	73 (24.7%)	119 (40.2%)	60 (20.3%)	21 (7.1%)
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	7 (41.2%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=33)	5 (15.2%)	5 (15.2%)	13 (39.4%)	7 (21.2%)	3 (9.1%)
	40歳代 (n=69)	3 (4.3%)	15 (21.7%)	34 (49.3%)	12 (17.4%)	5 (7.2%)
	50歳代 (n=73)	7 (9.6%)	16 (21.9%)	28 (38.4%)	20 (27.4%)	2 (2.7%)
	60歳代 (n=46)	1 (2.2%)	14 (30.4%)	20 (43.5%)	8 (17.4%)	3 (6.5%)
70歳以上 (n=54)	4 (7.4%)	14 (25.9%)	20 (37.0%)	9 (16.7%)	7 (13.0%)	

図表 1-8 各分野の男女の地位の平等感
【社会通念、慣習・しきたりなどで】

	1 な 非 つ 常 て に い 平 等 に	2 な か つ な り て り い 平 等 に	3 て 少 い し る 平 等 に な っ	4 な あ つ ま り て り い 平 等 に	5 て 全 い く な い 平 等 に な っ	
総数 (n=693)	24 (3.5%)	87 (12.6%)	220 (31.7%)	273 (39.4%)	89 (12.8%)	
性・年代別	女性 (n=391)	8 (2.0%)	43 (11.0%)	119 (30.4%)	164 (41.9%)	57 (14.6%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	2 (9.1%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	11 (50.0%)	6 (27.3%)
	30歳代 (n=51)	2 (3.9%)	6 (11.8%)	15 (29.4%)	19 (37.3%)	9 (17.6%)
	40歳代 (n=67)	3 (4.5%)	4 (6.0%)	17 (25.4%)	35 (52.2%)	8 (11.9%)
	50歳代 (n=109)	1 (0.9%)	11 (10.1%)	33 (30.3%)	47 (43.1%)	17 (15.6%)
	60歳代 (n=73)	0 (0.0%)	8 (11.0%)	23 (31.5%)	33 (45.2%)	9 (12.3%)
	70歳以上 (n=66)	0 (0.0%)	13 (19.7%)	26 (39.4%)	19 (28.8%)	8 (12.1%)
	男性 (n=298)	16 (5.4%)	43 (14.4%)	100 (33.6%)	108 (36.2%)	31 (10.4%)
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	7 (41.2%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	4 (12.1%)	12 (36.4%)	10 (30.3%)	5 (15.2%)
	40歳代 (n=68)	1 (1.5%)	10 (14.7%)	21 (30.9%)	28 (41.2%)	8 (11.8%)
	50歳代 (n=73)	4 (5.5%)	11 (15.1%)	21 (28.8%)	32 (43.8%)	5 (6.8%)
	60歳代 (n=47)	2 (4.3%)	8 (17.0%)	19 (40.4%)	11 (23.4%)	7 (14.9%)
70歳以上 (n=56)	4 (7.1%)	8 (14.3%)	19 (33.9%)	21 (37.5%)	4 (7.1%)	

【問1-2】上記項目で一番先に平等になって欲しい項目はどれですか。(SA)

【全体】

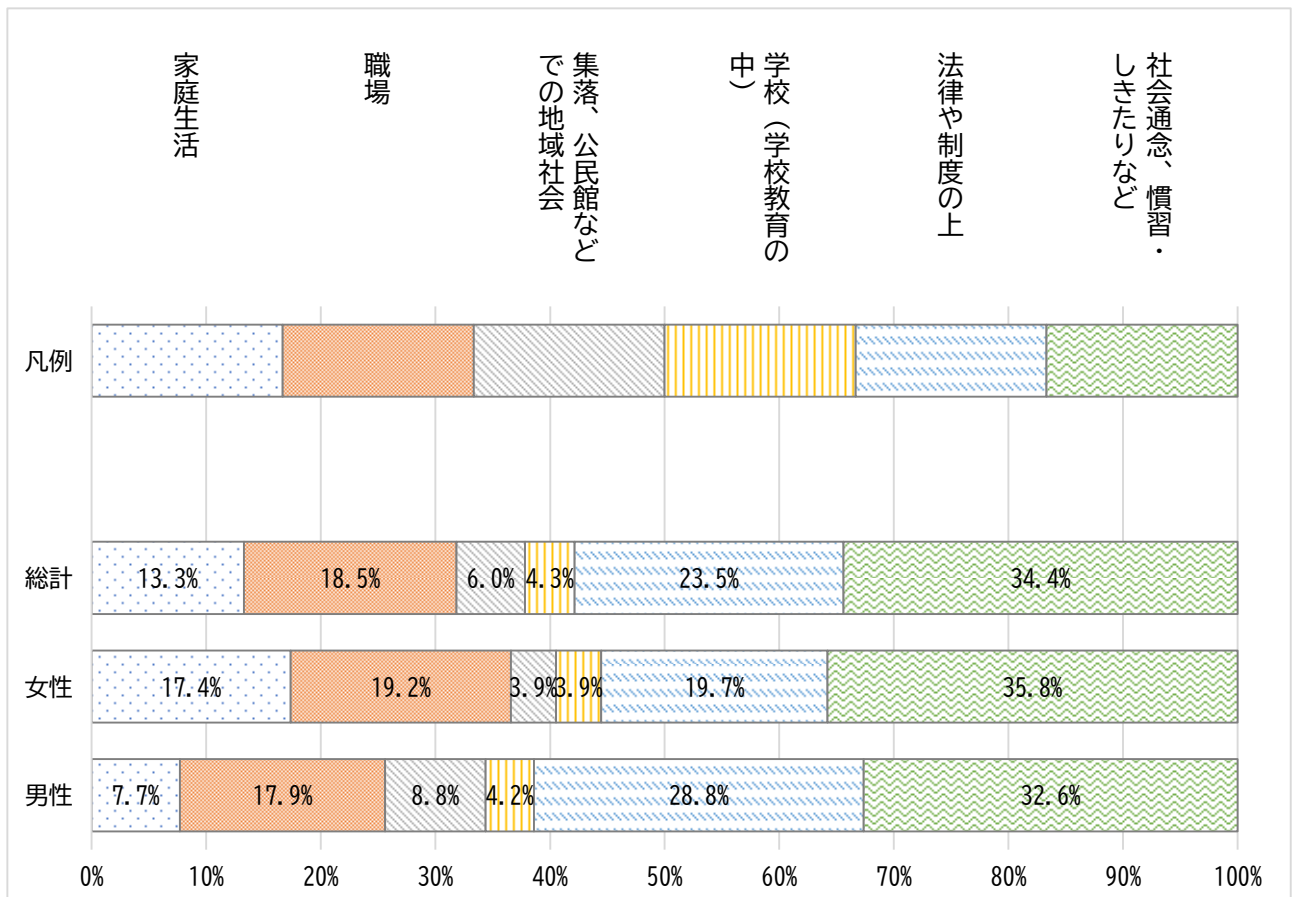
全体で見ると、「社会通念、慣習・しきたりなど」の割合が最も高くなっている。

【性別・年代別】

性別で見ると、女性は男性と比べ、「家庭生活」の割合が高く、「集落、公民館などでの地域社会」や「法律や制度の上」の割合が低くなっている。

年代別による傾向の差はみられない。

図表 1-2-1 一番先に平等になって欲しい項目【全体及び性別】



図表 1-2-2 一番先に平等になって欲しい項目【性別・年代別】

		1 家庭生活	2 職場	3 ど集落の 地域の 公民館な	4 の学校 中) (学校 教育	5 法律や 制度の上	6 ど習社会 ・通念、 しきたり 慣
総数 (n=669)		89 (13.3%)	124 (18.5%)	40 (6.0%)	29 (4.3%)	157 (23.5%)	230 (34.4%)
性・年代別	女性 (n=380)	66 (17.4%)	73 (19.2%)	15 (3.9%)	15 (3.9%)	75 (19.7%)	136 (35.8%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	3 (13.6%)	4 (18.2%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	7 (31.8%)	7 (31.8%)
	30歳代 (n=51)	11 (21.6%)	16 (31.4%)	2 (3.9%)	6 (11.8%)	5 (9.8%)	11 (21.6%)
	40歳代 (n=68)	10 (14.7%)	11 (16.2%)	4 (5.9%)	2 (2.9%)	14 (20.6%)	27 (39.7%)
	50歳代 (n=99)	17 (17.2%)	18 (18.2%)	4 (4.0%)	4 (4.0%)	18 (18.2%)	38 (38.4%)
	60歳代 (n=69)	7 (10.1%)	13 (18.8%)	2 (2.9%)	2 (2.9%)	18 (26.1%)	27 (39.1%)
	70歳以上 (n=68)	17 (25.0%)	10 (14.7%)	3 (4.4%)	0 (0.0%)	13 (19.1%)	25 (36.8%)
	男性 (n=285)	22 (7.7%)	51 (17.9%)	25 (8.8%)	12 (4.2%)	82 (28.8%)	93 (32.6%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=15)	3 (20.0%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	2 (13.3%)	5 (33.3%)
	30歳代 (n=30)	0 (0.0%)	8 (26.7%)	1 (3.3%)	2 (6.7%)	6 (20.0%)	13 (43.3%)
	40歳代 (n=66)	2 (3.0%)	12 (18.2%)	7 (10.6%)	4 (6.1%)	22 (33.3%)	19 (28.8%)
	50歳代 (n=70)	6 (8.6%)	13 (18.6%)	5 (7.1%)	4 (5.7%)	21 (30.0%)	21 (30.0%)
	60歳代 (n=44)	3 (6.8%)	7 (15.9%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	13 (29.5%)	15 (34.1%)
70歳以上 (n=57)	7 (12.3%)	7 (12.3%)	7 (12.3%)	0 (0.0%)	16 (28.1%)	20 (35.1%)	

【問2】 次のA～Jのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つ
お選びください。(SA)

【全体】

全体でみると、性別役割分担意識について、“肯定的である（「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）”回答は、10項目中、「子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい」の割合が48.0%で最も高く、次いで「妻や子どもを養うのは、男性の責任である（36.9%）」、「育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい（32.4%）」の順となっている。

一方で、“否定的である（「どちらかと言えばそう思わない」＋「そう思わない」）”回答は、10項目中、「『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい」の割合が56.4%で最も高く、次いで「夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う（54.6%）」、「男性の方が女性より、管理者としての資質がある（46.7%）」の順となっている。

また、ほとんどの項目で“否定的である”回答が“肯定的である”回答を上回っているが、「子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい」は、“肯定的である”回答が“否定的である”回答を26.1ポイント上回っている。

【性別】

性別では、女性より男性の方が“肯定的である”傾向が見られる。

“肯定的である”回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」となっており、女性が27.4%、男性が49.7%と、22.3ポイントの差が出ている。次いで、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」では、女性が22.5%、男性が35.4%と、12.9ポイントの差が出ている。

一方で、“否定的である”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「妻や子どもを養うのは、男性の責任である」となっており、女性が40.2%、男性が24.5%と、15.7ポイントの差が出ている。次いで、「『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい」では、女性が62.4%、男性が47.9%と、14.5ポイントの差が出ている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“肯定的である”回答は、10項目中すべての項目で、前回調査より今回調査が下回っている。このことから、すべての項目において、性別役割分担の意識が薄まってきていることがうかがえる。

特に、「職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい」では24.4ポイントの減少、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」では23.5ポイントの減少など、“肯定的である”回答は、平均18.2ポイント減少している。

【A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい】

全体及び女性では、「そう思わない」の割合が最も高くなっているものの、男性は「どちらとも言えないと思う」の割合が高くなっている。

年代別による傾向の差はみられない。

【B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高くなっているものの、「そう思う」の割合は男性が高く、「そう思わない」の割合は女性が高くなっている。

年代別でみると、女性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、60歳代の“肯定的である”傾向が強くなっている一方、20歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

【C 妻や子供を養うのは、男性の責任である】

全体及び女性では、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高くなっているものの、男性は、「どちらかと言えばそう思う」の割合が高くなっている。

年代別でみると、女性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、10～20歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

【D 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高くなっているものの、「そう思う」の割合は男性が高く、女性が低くなっている。

年代別でみると、女性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代及び50歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

【E 職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい】

全体及び女性では、「そう思わない」の割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強くなっている。

【F 男性は少しぐらい強引に女性をリードする方がよい】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、年代別による傾向の差はみられない。

【G 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う】

全体及び女性では、「そう思わない」の割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。また、50歳代は、「どちらとも言えないと思う」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

男性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～40歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

【H 男性の方が女性より、管理者としての資質がある】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高くなっているものの、「どちらとも言えないと思う」の割合は男性が高く、「どちらかと言えばそう思わない」の割合は女性が高くなっている。

年代別でみると、女性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。また、50～60歳代は、「どちらとも言えないと思う」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

【I 育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20歳代及び50歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

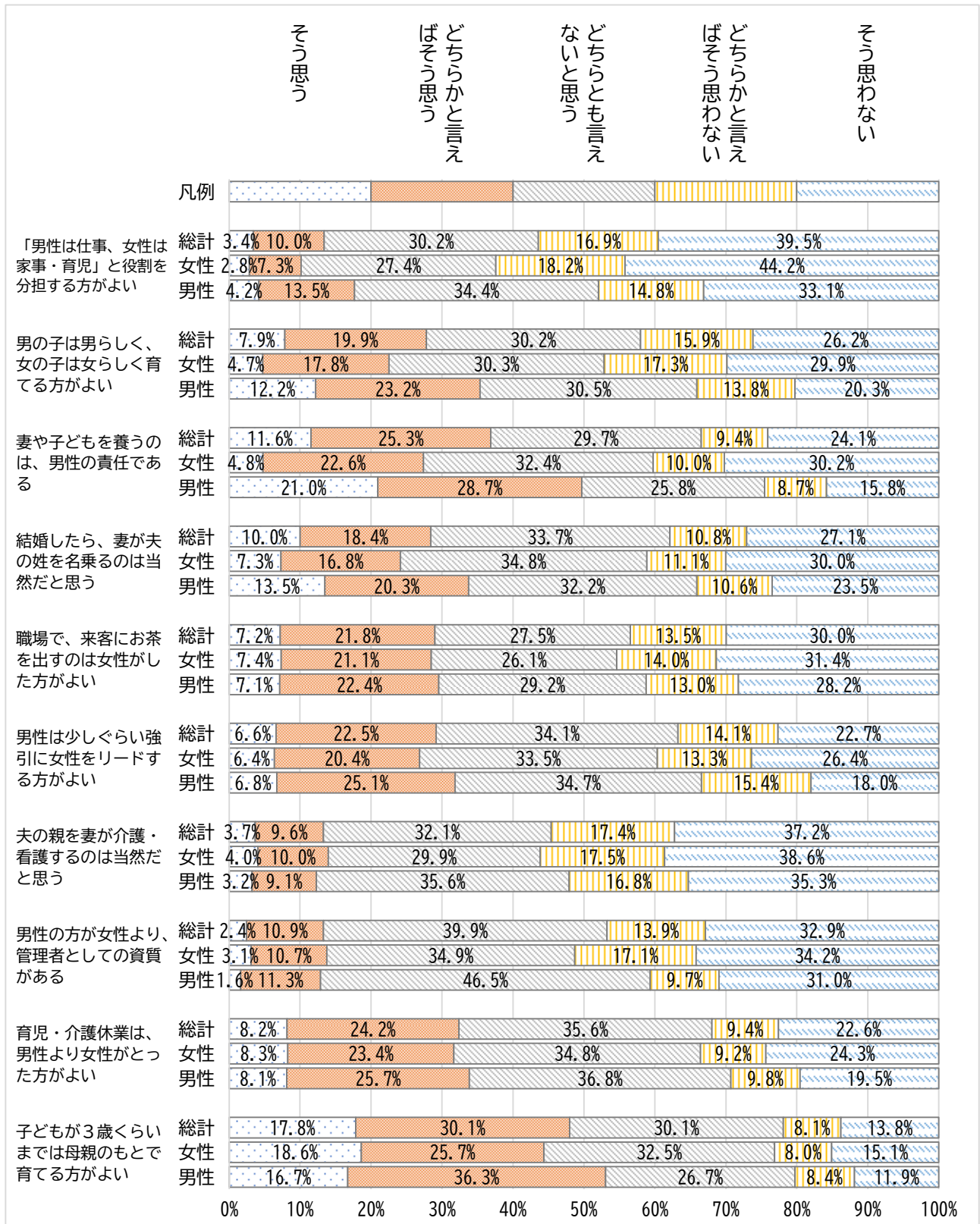
【J 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい】

全体では、「どちらかと言えばそう思う」と「どちらとも言えないと思う」の割合が同率で最も高くなっているものの、女性は「どちらとも言えないと思う」の割合が最も高くなっている一方、男性は、「どちらかと言えばそう思う」の割合が最も高くなっている。

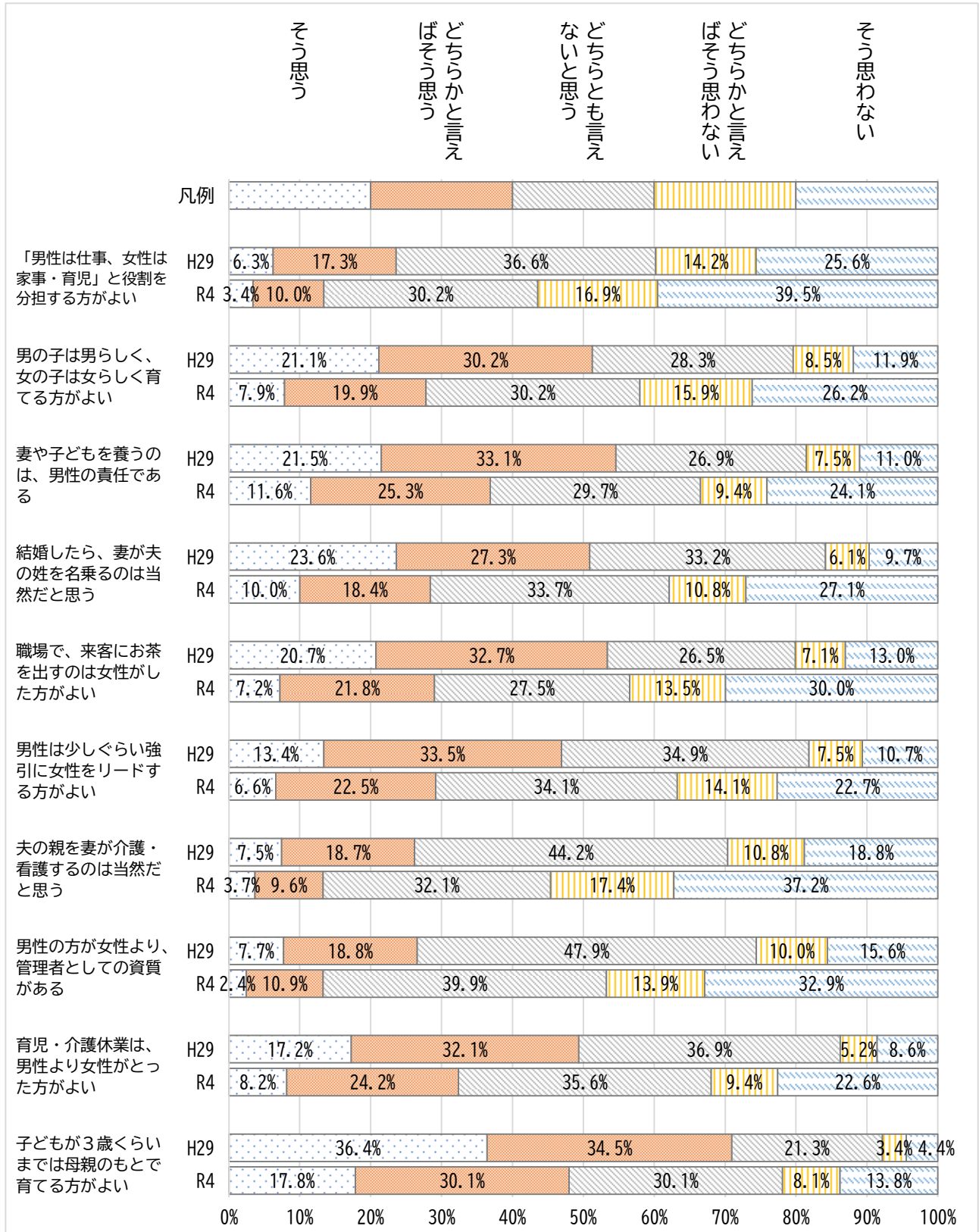
年代別で見ると、女性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。また、50歳代は、「どちらとも言えないと思う」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

男性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、10～30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

図表 2-1 性別役割分担意識【全体及び性別】



図表 2-2 性別役割分担意識【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 2-3 項目別性別役割分担意識

【「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な い と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=739)	25 (3.4%)	74 (10.0%)	223 (30.2%)	125 (16.9%)	292 (39.5%)	
性・年代別	女性 (n=423)	12 (2.8%)	31 (7.3%)	116 (27.4%)	77 (18.2%)	187 (44.2%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)	16 (69.6%)
	30歳代 (n=53)	1 (1.9%)	2 (3.8%)	12 (22.6%)	10 (18.9%)	28 (52.8%)
	40歳代 (n=71)	1 (1.4%)	4 (5.6%)	18 (25.4%)	13 (18.3%)	35 (49.3%)
	50歳代 (n=111)	5 (4.5%)	6 (5.4%)	34 (30.6%)	26 (23.4%)	40 (36.0%)
	60歳代 (n=81)	2 (2.5%)	9 (11.1%)	20 (24.7%)	11 (13.6%)	39 (48.1%)
	70歳以上 (n=81)	3 (3.7%)	8 (9.9%)	30 (37.0%)	13 (16.0%)	27 (33.3%)
	男性 (n=311)	13 (4.2%)	42 (13.5%)	107 (34.4%)	46 (14.8%)	103 (33.1%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	9 (52.9%)
	30歳代 (n=33)	0 (0.0%)	3 (9.1%)	12 (36.4%)	5 (15.2%)	13 (39.4%)
	40歳代 (n=71)	4 (5.6%)	7 (9.9%)	22 (31.0%)	15 (21.1%)	23 (32.4%)
	50歳代 (n=74)	2 (2.7%)	15 (20.3%)	25 (33.8%)	13 (17.6%)	19 (25.7%)
60歳代 (n=51)	2 (3.9%)	8 (15.7%)	18 (35.3%)	4 (7.8%)	19 (37.3%)	
70歳以上 (n=61)	4 (6.6%)	9 (14.8%)	24 (39.3%)	6 (9.8%)	18 (29.5%)	

図表 2-4 項目別性別役割分担意識

【男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な い と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=738)	58 (7.9%)	147 (19.9%)	223 (30.2%)	117 (15.9%)	193 (26.2%)	
性・年代別	女性 (n=422)	20 (4.7%)	75 (17.8%)	128 (30.3%)	73 (17.3%)	126 (29.9%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	2 (8.7%)	7 (30.4%)	11 (47.8%)
	30歳代 (n=53)	2 (3.8%)	7 (13.2%)	9 (17.0%)	12 (22.6%)	23 (43.4%)
	40歳代 (n=71)	1 (1.4%)	9 (12.7%)	23 (32.4%)	15 (21.1%)	23 (32.4%)
	50歳代 (n=111)	5 (4.5%)	18 (16.2%)	42 (37.8%)	17 (15.3%)	29 (26.1%)
	60歳代 (n=81)	2 (2.5%)	18 (22.2%)	31 (38.3%)	10 (12.3%)	20 (24.7%)
	70歳以上 (n=80)	10 (12.5%)	18 (22.5%)	21 (26.3%)	12 (15.0%)	19 (23.8%)
	男性 (n=311)	38 (12.2%)	72 (23.2%)	95 (30.5%)	43 (13.8%)	63 (20.3%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	9 (52.9%)
	30歳代 (n=33)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	11 (33.3%)	5 (15.2%)	10 (30.3%)
	40歳代 (n=70)	8 (11.4%)	12 (17.1%)	27 (38.6%)	13 (18.6%)	10 (14.3%)
	50歳代 (n=74)	8 (10.8%)	25 (33.8%)	20 (27.0%)	7 (9.5%)	14 (18.9%)
60歳代 (n=51)	9 (17.6%)	16 (31.4%)	12 (23.5%)	4 (7.8%)	10 (19.6%)	
70歳以上 (n=62)	11 (17.7%)	13 (21.0%)	19 (30.6%)	11 (17.7%)	8 (12.9%)	

図表 2-5 項目別性別役割分担意識
【妻や子どもを養うのは、男性の責任である】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う ち ら か と 言 え	3 な ど ち ら と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う ち ら か と 言 え	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=735)	85 (11.6%)	186 (25.3%)	218 (29.7%)	69 (9.4%)	177 (24.1%)	
性・年代別	女性 (n=420)	20 (4.8%)	95 (22.6%)	136 (32.4%)	42 (10.0%)	127 (30.2%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	6 (27.3%)	1 (4.5%)	12 (54.5%)
	30歳代 (n=53)	1 (1.9%)	5 (9.4%)	13 (24.5%)	7 (13.2%)	27 (50.9%)
	40歳代 (n=70)	3 (4.3%)	16 (22.9%)	22 (31.4%)	10 (14.3%)	19 (27.1%)
	50歳代 (n=112)	4 (3.6%)	24 (21.4%)	37 (33.0%)	13 (11.6%)	34 (30.4%)
	60歳代 (n=81)	5 (6.2%)	20 (24.7%)	32 (39.5%)	6 (7.4%)	18 (22.2%)
	70歳以上 (n=79)	7 (8.9%)	26 (32.9%)	26 (32.9%)	4 (5.1%)	16 (20.3%)
	男性 (n=310)	65 (21.0%)	89 (28.7%)	80 (25.8%)	27 (8.7%)	49 (15.8%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	8 (47.1%)
	30歳代 (n=33)	7 (21.2%)	10 (30.3%)	9 (27.3%)	0 (0.0%)	7 (21.2%)
	40歳代 (n=69)	12 (17.4%)	22 (31.9%)	15 (21.7%)	10 (14.5%)	10 (14.5%)
	50歳代 (n=74)	13 (17.6%)	26 (35.1%)	21 (28.4%)	6 (8.1%)	8 (10.8%)
60歳代 (n=51)	13 (25.5%)	18 (35.3%)	12 (23.5%)	3 (5.9%)	5 (9.8%)	
70歳以上 (n=62)	18 (29.0%)	13 (21.0%)	18 (29.0%)	5 (8.1%)	8 (12.9%)	

図表 2-6 項目別性別役割分担意識
【結婚したら、妻が夫の性を名乗るのは当然だと思う】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う ち ら か と 言 え	3 な ど ち ら と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う ち ら か と 言 え	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=739)	74 (10.0%)	136 (18.4%)	249 (33.7%)	80 (10.8%)	200 (27.1%)	
性・年代別	女性 (n=423)	31 (7.3%)	71 (16.8%)	147 (34.8%)	47 (11.1%)	127 (30.0%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (21.7%)	4 (17.4%)	14 (60.9%)
	30歳代 (n=53)	3 (5.7%)	4 (7.5%)	13 (24.5%)	11 (20.8%)	22 (41.5%)
	40歳代 (n=71)	2 (2.8%)	14 (19.7%)	28 (39.4%)	8 (11.3%)	19 (26.8%)
	50歳代 (n=112)	4 (3.6%)	15 (13.4%)	43 (38.4%)	13 (11.6%)	37 (33.0%)
	60歳代 (n=81)	8 (9.9%)	21 (25.9%)	24 (29.6%)	4 (4.9%)	24 (29.6%)
	70歳以上 (n=80)	13 (16.3%)	17 (21.3%)	33 (41.3%)	7 (8.8%)	10 (12.5%)
	男性 (n=311)	42 (13.5%)	63 (20.3%)	100 (32.2%)	33 (10.6%)	73 (23.5%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	8 (47.1%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	6 (18.2%)	8 (24.2%)	4 (12.1%)	13 (39.4%)
	40歳代 (n=69)	6 (8.7%)	11 (15.9%)	24 (34.8%)	8 (11.6%)	20 (29.0%)
	50歳代 (n=74)	7 (9.5%)	13 (17.6%)	29 (39.2%)	10 (13.5%)	15 (20.3%)
60歳代 (n=51)	10 (19.6%)	11 (21.6%)	19 (37.3%)	5 (9.8%)	6 (11.8%)	
70歳以上 (n=63)	17 (27.0%)	19 (30.2%)	15 (23.8%)	3 (4.8%)	9 (14.3%)	

図表 2-7 項目別性別役割分担意識

【職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な い と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い
総数 (n=734)	53 (7.2%)	160 (21.8%)	202 (27.5%)	99 (13.5%)	220 (30.0%)
女性 (n=421)	31 (7.4%)	89 (21.1%)	110 (26.1%)	59 (14.0%)	132 (31.4%)
10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	3 (13.0%)	4 (17.4%)	15 (65.2%)
30歳代 (n=53)	1 (1.9%)	7 (13.2%)	8 (15.1%)	8 (15.1%)	29 (54.7%)
40歳代 (n=71)	1 (1.4%)	13 (18.3%)	18 (25.4%)	13 (18.3%)	26 (36.6%)
50歳代 (n=112)	5 (4.5%)	25 (22.3%)	36 (32.1%)	16 (14.3%)	30 (26.8%)
60歳代 (n=81)	4 (4.9%)	28 (34.6%)	23 (28.4%)	8 (9.9%)	18 (22.2%)
70歳以上 (n=78)	20 (25.6%)	15 (19.2%)	21 (26.9%)	10 (12.8%)	12 (15.4%)
男性 (n=308)	22 (7.1%)	69 (22.4%)	90 (29.2%)	40 (13.0%)	87 (28.2%)
10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	7 (41.2%)
30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	3 (9.1%)	12 (36.4%)	2 (6.1%)	14 (42.4%)
40歳代 (n=69)	4 (5.8%)	11 (15.9%)	20 (29.0%)	15 (21.7%)	19 (27.5%)
50歳代 (n=74)	3 (4.1%)	15 (20.3%)	28 (37.8%)	8 (10.8%)	20 (27.0%)
60歳代 (n=49)	4 (8.2%)	16 (32.7%)	16 (32.7%)	3 (6.1%)	10 (20.4%)
70歳以上 (n=62)	9 (14.5%)	21 (33.9%)	10 (16.1%)	7 (11.3%)	15 (24.2%)

図表 2-8 項目別性別役割分担意識

【男性は少しぐらい強引に女性をリードする方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な い と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い
総数 (n=737)	49 (6.6%)	166 (22.5%)	251 (34.1%)	104 (14.1%)	167 (22.7%)
女性 (n=421)	27 (6.4%)	86 (20.4%)	141 (33.5%)	56 (13.3%)	111 (26.4%)
10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=23)	1 (4.3%)	3 (13.0%)	3 (13.0%)	5 (21.7%)	11 (47.8%)
30歳代 (n=52)	3 (5.8%)	7 (13.5%)	12 (23.1%)	8 (15.4%)	22 (42.3%)
40歳代 (n=71)	3 (4.2%)	17 (23.9%)	19 (26.8%)	10 (14.1%)	22 (31.0%)
50歳代 (n=112)	6 (5.4%)	24 (21.4%)	39 (34.8%)	15 (13.4%)	28 (25.0%)
60歳代 (n=81)	7 (8.6%)	17 (21.0%)	33 (40.7%)	6 (7.4%)	18 (22.2%)
70歳以上 (n=79)	7 (8.9%)	17 (21.5%)	33 (41.8%)	12 (15.2%)	10 (12.7%)
男性 (n=311)	21 (6.8%)	78 (25.1%)	108 (34.7%)	48 (15.4%)	56 (18.0%)
10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)
30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	4 (12.1%)	14 (42.4%)	2 (6.1%)	11 (33.3%)
40歳代 (n=69)	3 (4.3%)	15 (21.7%)	26 (37.7%)	14 (20.3%)	11 (15.9%)
50歳代 (n=74)	3 (4.1%)	20 (27.0%)	25 (33.8%)	13 (17.6%)	13 (17.6%)
60歳代 (n=51)	2 (3.9%)	16 (31.4%)	18 (35.3%)	8 (15.7%)	7 (13.7%)
70歳以上 (n=63)	9 (14.3%)	20 (31.7%)	20 (31.7%)	5 (7.9%)	9 (14.3%)

図表 2-9 項目別性別役割分担意識
【夫の親を妻が介護・看病するのは当然だと思う】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な ど ち ら と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=736)	27 (3.7%)	71 (9.6%)	236 (32.1%)	128 (17.4%)	274 (37.2%)	
性・年代別	女性 (n=422)	17 (4.0%)	42 (10.0%)	126 (29.9%)	74 (17.5%)	163 (38.6%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	2 (8.7%)	1 (4.3%)	19 (82.6%)
	30歳代 (n=53)	2 (3.8%)	4 (7.5%)	6 (11.3%)	9 (17.0%)	32 (60.4%)
	40歳代 (n=70)	0 (0.0%)	5 (7.1%)	22 (31.4%)	15 (21.4%)	28 (40.0%)
	50歳代 (n=112)	3 (2.7%)	8 (7.1%)	43 (38.4%)	20 (17.9%)	38 (33.9%)
	60歳代 (n=81)	4 (4.9%)	9 (11.1%)	27 (33.3%)	13 (16.0%)	28 (34.6%)
	70歳以上 (n=80)	8 (10.0%)	14 (17.5%)	25 (31.3%)	16 (20.0%)	17 (21.3%)
	男性 (n=309)	10 (3.2%)	28 (9.1%)	110 (35.6%)	52 (16.8%)	109 (35.3%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	5 (29.4%)	10 (58.8%)
	30歳代 (n=33)	0 (0.0%)	2 (6.1%)	7 (21.2%)	2 (6.1%)	22 (66.7%)
	40歳代 (n=69)	1 (1.4%)	3 (4.3%)	19 (27.5%)	20 (29.0%)	26 (37.7%)
	50歳代 (n=74)	2 (2.7%)	4 (5.4%)	32 (43.2%)	12 (16.2%)	24 (32.4%)
60歳代 (n=51)	4 (7.8%)	6 (11.8%)	24 (47.1%)	8 (15.7%)	9 (17.6%)	
70歳以上 (n=61)	3 (4.9%)	13 (21.3%)	25 (41.0%)	5 (8.2%)	15 (24.6%)	

図表 2-10 項目別性別役割分担意識
【男性の方が女性より、管理者としての資質がある】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う 思 う か と 言 え	3 な ど ち ら と 思 う も 言 え	4 ば ど そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=736)	18 (2.4%)	80 (10.9%)	294 (39.9%)	102 (13.9%)	242 (32.9%)	
性・年代別	女性 (n=421)	13 (3.1%)	45 (10.7%)	147 (34.9%)	72 (17.1%)	144 (34.2%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)	17 (73.9%)
	30歳代 (n=52)	1 (1.9%)	5 (9.6%)	17 (32.7%)	9 (17.3%)	20 (38.5%)
	40歳代 (n=70)	1 (1.4%)	6 (8.6%)	24 (34.3%)	11 (15.7%)	28 (40.0%)
	50歳代 (n=112)	2 (1.8%)	9 (8.0%)	40 (35.7%)	22 (19.6%)	39 (34.8%)
	60歳代 (n=80)	2 (2.5%)	6 (7.5%)	33 (41.3%)	14 (17.5%)	25 (31.3%)
	70歳以上 (n=81)	7 (8.6%)	16 (19.8%)	30 (37.0%)	13 (16.0%)	15 (18.5%)
	男性 (n=310)	5 (1.6%)	35 (11.3%)	144 (46.5%)	30 (9.7%)	96 (31.0%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)	10 (58.8%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	3 (9.1%)	9 (27.3%)	1 (3.0%)	18 (54.5%)
	40歳代 (n=69)	2 (2.9%)	8 (11.6%)	26 (37.7%)	13 (18.8%)	20 (29.0%)
	50歳代 (n=74)	0 (0.0%)	7 (9.5%)	43 (58.1%)	4 (5.4%)	20 (27.0%)
60歳代 (n=51)	0 (0.0%)	6 (11.8%)	32 (62.7%)	2 (3.9%)	11 (21.6%)	
70歳以上 (n=62)	1 (1.6%)	10 (16.1%)	29 (46.8%)	7 (11.3%)	15 (24.2%)	

図表 2-11 項目別性別役割分担意識

【育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う ち ら か と 言 え	3 な い と ち ら と 思 う	4 ば ど そ う ち ら か と 言 え	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=735)	60 (8.2%)	178 (24.2%)	262 (35.6%)	69 (9.4%)	166 (22.6%)	
性・年代別	女性 (n=423)	35 (8.3%)	99 (23.4%)	147 (34.8%)	39 (9.2%)	103 (24.3%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	1 (4.3%)	5 (21.7%)	2 (8.7%)	5 (21.7%)	10 (43.5%)
	30歳代 (n=53)	4 (7.5%)	9 (17.0%)	16 (30.2%)	4 (7.5%)	20 (37.7%)
	40歳代 (n=71)	0 (0.0%)	17 (23.9%)	26 (36.6%)	9 (12.7%)	19 (26.8%)
	50歳代 (n=112)	8 (7.1%)	16 (14.3%)	46 (41.1%)	11 (9.8%)	31 (27.7%)
	60歳代 (n=81)	8 (9.9%)	23 (28.4%)	33 (40.7%)	4 (4.9%)	13 (16.0%)
	70歳以上 (n=80)	14 (17.5%)	29 (36.3%)	22 (27.5%)	6 (7.5%)	9 (11.3%)
	男性 (n=307)	25 (8.1%)	79 (25.7%)	113 (36.8%)	30 (9.8%)	60 (19.5%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=15)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)
	30歳代 (n=33)	1 (3.0%)	4 (12.1%)	10 (30.3%)	4 (12.1%)	14 (42.4%)
	40歳代 (n=69)	9 (13.0%)	12 (17.4%)	31 (44.9%)	6 (8.7%)	11 (15.9%)
	50歳代 (n=72)	2 (2.8%)	27 (37.5%)	23 (31.9%)	9 (12.5%)	11 (15.3%)
60歳代 (n=51)	5 (9.8%)	12 (23.5%)	22 (43.1%)	7 (13.7%)	5 (9.8%)	
70歳以上 (n=63)	6 (9.5%)	22 (34.9%)	21 (33.3%)	3 (4.8%)	11 (17.5%)	

図表 2-12 項目別性別役割分担意識

【子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい】

	1 そう 思う	2 ば ど そ う ち ら か と 言 え	3 な い と ち ら と 思 う	4 ば ど そ う ち ら か と 言 え	5 そ う 思 わ な い	
総数 (n=740)	132 (17.8%)	223 (30.1%)	223 (30.1%)	60 (8.1%)	102 (13.8%)	
性・年代別	女性 (n=424)	79 (18.6%)	109 (25.7%)	138 (32.5%)	34 (8.0%)	64 (15.1%)
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	1 (4.3%)	4 (17.4%)	6 (26.1%)	4 (17.4%)	8 (34.8%)
	30歳代 (n=53)	4 (7.5%)	10 (18.9%)	15 (28.3%)	6 (11.3%)	18 (34.0%)
	40歳代 (n=71)	9 (12.7%)	21 (29.6%)	23 (32.4%)	7 (9.9%)	11 (15.5%)
	50歳代 (n=112)	13 (11.6%)	27 (24.1%)	48 (42.9%)	8 (7.1%)	16 (14.3%)
	60歳代 (n=81)	20 (24.7%)	21 (25.9%)	28 (34.6%)	5 (6.2%)	7 (8.6%)
	70歳以上 (n=81)	30 (37.0%)	26 (32.1%)	18 (22.2%)	4 (4.9%)	3 (3.7%)
	男性 (n=311)	52 (16.7%)	113 (36.3%)	83 (26.7%)	26 (8.4%)	37 (11.9%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	5 (29.4%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	6 (18.2%)	11 (33.3%)	3 (9.1%)	11 (33.3%)
	40歳代 (n=69)	14 (20.3%)	20 (29.0%)	25 (36.2%)	6 (8.7%)	4 (5.8%)
	50歳代 (n=74)	9 (12.2%)	28 (37.8%)	23 (31.1%)	6 (8.1%)	8 (10.8%)
60歳代 (n=51)	13 (25.5%)	24 (47.1%)	8 (15.7%)	3 (5.9%)	3 (5.9%)	
70歳以上 (n=63)	14 (22.2%)	30 (47.6%)	10 (15.9%)	5 (7.9%)	4 (6.3%)	

2 家庭生活について

※現在、結婚をされている方（事実婚を含む）のみ回答

【問3】あなたのご家族では、次にあげる家庭内の事がらを主に誰が行っていますか。(SA)

【全体】

全体でみると、6項目中、「妻」と回答した割合が最も高かったのは、「家事（掃除、洗濯、炊事など）（61.0%）」、「PTAや子ども会（44.7%）」、「育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）（39.6%）」の3項目であった。

一方で、この3項目で、「夫」と回答した割合は、それぞれ3%にも満たない状況である。

また、「介護」や「集落や公民館などの地域活動への参加」、「高額な商品や土地・家屋の購入を決める」については、それぞれ「夫婦」と回答した割合が最も高かった。

【性別】

性別でみると、「家事（掃除、洗濯、炊事など）」や「育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）」、「介護」、「PTAや子ども会」において、男性より女性の方が「妻」と回答した割合が高くなっている。また、「集落や公民館などの地域活動への参加」では、女性より男性の方が「夫」と回答した割合が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「家事（掃除、洗濯、炊事など）」と「集落や公民館などの地域活動への参加」を「妻」が行う割合が低下している。

【A 家事（掃除、洗濯、炊事など）】

全体及び男女とも、「妻」と回答した割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、年代別による傾向の差はみられない。

男性では、20～30歳代が他の年代と比べ「夫」と回答した割合が高くなっており、50歳代が他の年代と比べ「妻」と回答した割合が高くなっている。

【B 育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）】

全体及び女性では、「妻」と回答した割合が最も高くなっている一方、男性では「夫婦」と回答した割合が最も高くなっている。

年代別でみると、男女とも年代別による傾向の差はみられない。

【C 介護】

「該当しない」を除いて比較すると、全体及び男性では、「夫婦」と回答した割合が最も高くなっている一方、女性では「妻」と回答した割合が最も高くなっている。

年代別でみると、男女とも年代別による傾向の差はみられない。

【D PTAや子ども会】

全体及び男女とも、「妻」と回答した割合が最も高くなっており、特に女性が「妻」と回答した割合が高くなっている。

年代別でみると、男女とも年代別による傾向の差はみられない。

【E 集落や公民館などの地域活動への参加】

全体及び男女とも、「夫婦」と回答した割合が最も高くなっているものの、男性は女性より「夫」と回答する割合が高くなっている。

年代別でみると、女性では、年代別による傾向の差はみられない。

男性では、70歳以上で「妻」と回答した割合が、他の年代と比べ低くなっている。

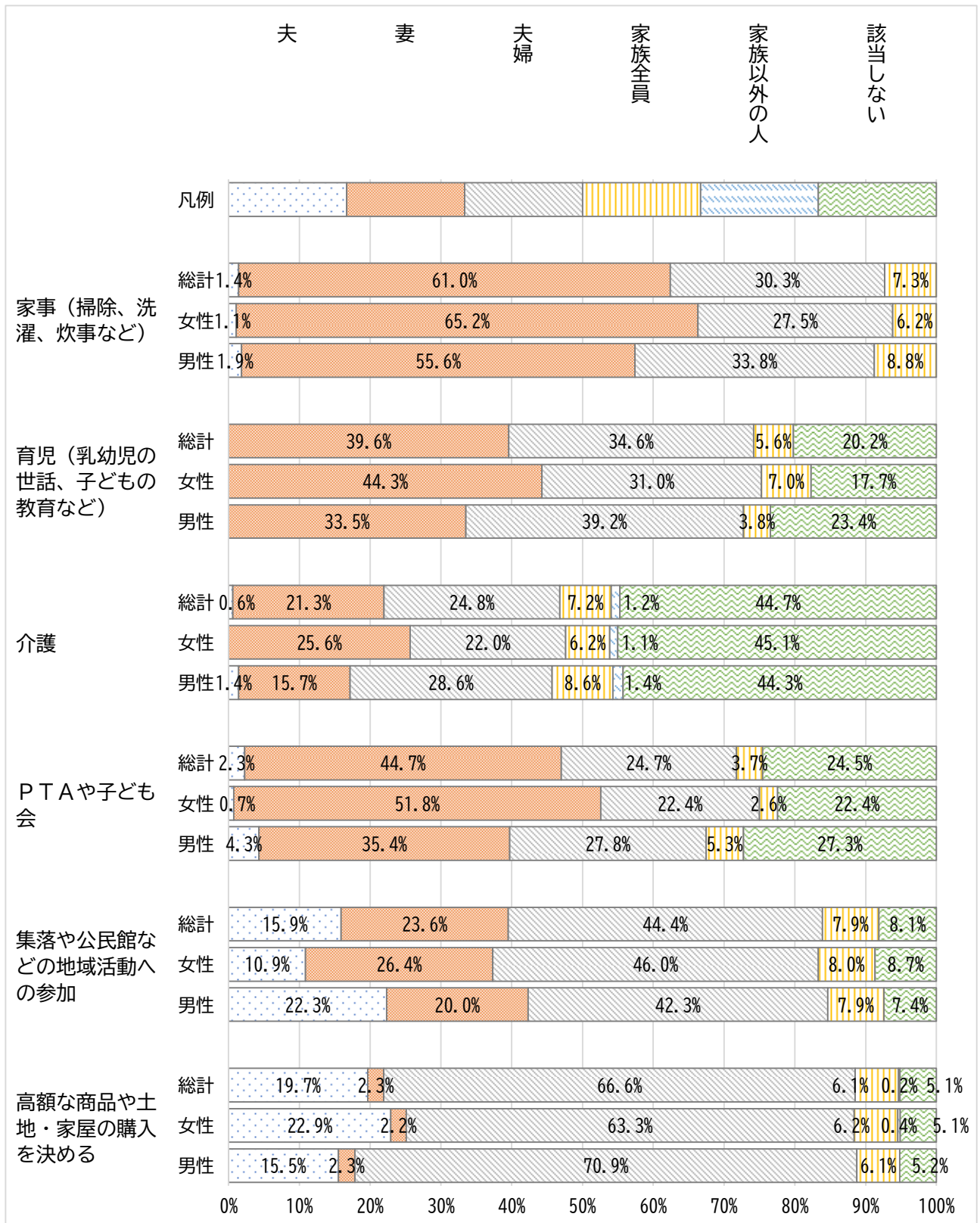
【F 高額な商品や土地・家屋の購入を決める】

全体及び男女とも、「夫婦」と回答した割合が最も高い。

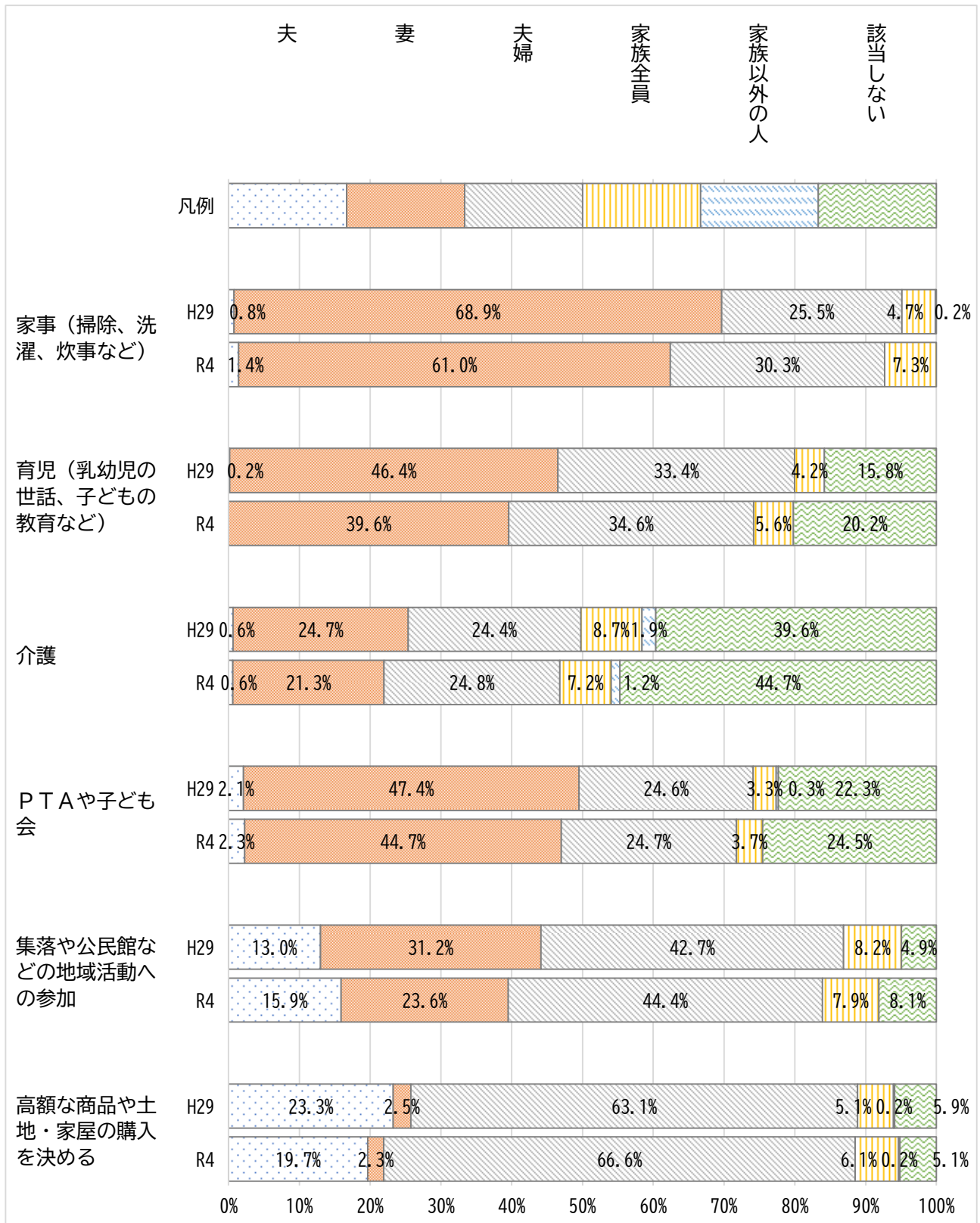
年代別でみると、女性では、年代別による傾向の差はみられない。

男性では、20歳代で「妻」と回答した割合が、他の年代と比べ高くなっている。

図表 3-1 日常生活の分担【全体及び性別】



図表 3-2 日常生活の分担【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 3-3 日常生活の分担【家事（掃除、洗濯、炊事など）】

		1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い
総数 (n=492)		7 (1.4%)	300 (61.0%)	149 (30.3%)	36 (7.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
性・ 年 代 別	女性 (n=276)	3 (1.1%)	180 (65.2%)	76 (27.5%)	17 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=36)	1 (2.8%)	19 (52.8%)	14 (38.9%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=45)	1 (2.2%)	30 (66.7%)	12 (26.7%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=70)	0 (0.0%)	46 (65.7%)	16 (22.9%)	8 (11.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=71)	1 (1.4%)	48 (67.6%)	18 (25.4%)	4 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=49)	0 (0.0%)	36 (73.5%)	12 (24.5%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=216)	4 (1.9%)	120 (55.6%)	73 (33.8%)	19 (8.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=6)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=18)	2 (11.1%)	8 (44.4%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=50)	0 (0.0%)	22 (44.0%)	21 (42.0%)	7 (14.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=54)	0 (0.0%)	39 (72.2%)	13 (24.1%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=36)	1 (2.8%)	22 (61.1%)	9 (25.0%)	4 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=52)	0 (0.0%)	28 (53.8%)	19 (36.5%)	5 (9.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

図表 3-4 日常生活の分担【育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）】

		1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い
総数 (n=480)		0 (0.0%)	190 (39.6%)	166 (34.6%)	27 (5.6%)	0 (0.0%)	97 (20.2%)
性・ 年 代 別	女性 (n=271)	0 (0.0%)	120 (44.3%)	84 (31.0%)	19 (7.0%)	0 (0.0%)	48 (17.7%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)
	30歳代 (n=36)	0 (0.0%)	16 (44.4%)	11 (30.6%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	7 (19.4%)
	40歳代 (n=44)	0 (0.0%)	16 (36.4%)	21 (47.7%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	5 (11.4%)
	50歳代 (n=70)	0 (0.0%)	36 (51.4%)	18 (25.7%)	4 (5.7%)	0 (0.0%)	12 (17.1%)
	60歳代 (n=67)	0 (0.0%)	30 (44.8%)	17 (25.4%)	7 (10.4%)	0 (0.0%)	13 (19.4%)
	70歳以上 (n=49)	0 (0.0%)	21 (42.9%)	15 (30.6%)	4 (8.2%)	0 (0.0%)	9 (18.4%)
	男性 (n=209)	0 (0.0%)	70 (33.5%)	82 (39.2%)	8 (3.8%)	0 (0.0%)	49 (23.4%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
	30歳代 (n=18)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	12 (66.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)
	40歳代 (n=50)	0 (0.0%)	19 (38.0%)	19 (38.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	10 (20.0%)
	50歳代 (n=55)	0 (0.0%)	23 (41.8%)	17 (30.9%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	14 (25.5%)
	60歳代 (n=33)	0 (0.0%)	12 (36.4%)	14 (42.4%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	6 (18.2%)
70歳以上 (n=48)	0 (0.0%)	15 (31.3%)	16 (33.3%)	3 (6.3%)	0 (0.0%)	14 (29.2%)	

図表 3-5 日常生活の分担【介護】

		1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い
総数 (n=483)		3 (0.6%)	103 (21.3%)	120 (24.8%)	35 (7.2%)	6 (1.2%)	216 (44.7%)
性・ 年 代 別	女性 (n=273)	0 (0.0%)	70 (25.6%)	60 (22.0%)	17 (6.2%)	3 (1.1%)	123 (45.1%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
	30歳代 (n=36)	0 (0.0%)	4 (11.1%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (80.6%)
	40歳代 (n=43)	0 (0.0%)	2 (4.7%)	11 (25.6%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	28 (65.1%)
	50歳代 (n=70)	0 (0.0%)	19 (27.1%)	18 (25.7%)	4 (5.7%)	1 (1.4%)	28 (40.0%)
	60歳代 (n=70)	0 (0.0%)	28 (40.0%)	16 (22.9%)	5 (7.1%)	2 (2.9%)	19 (27.1%)
	70歳以上 (n=49)	0 (0.0%)	17 (34.7%)	12 (24.5%)	6 (12.2%)	0 (0.0%)	14 (28.6%)
	男性 (n=210)	3 (1.4%)	33 (15.7%)	60 (28.6%)	18 (8.6%)	3 (1.4%)	93 (44.3%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=6)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
	30歳代 (n=18)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	11 (61.1%)
	40歳代 (n=50)	1 (2.0%)	3 (6.0%)	13 (26.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	30 (60.0%)
	50歳代 (n=54)	0 (0.0%)	8 (14.8%)	16 (29.6%)	5 (9.3%)	2 (3.7%)	23 (42.6%)
	60歳代 (n=34)	2 (5.9%)	11 (32.4%)	10 (29.4%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	9 (26.5%)
70歳以上 (n=48)	0 (0.0%)	11 (22.9%)	18 (37.5%)	4 (8.3%)	1 (2.1%)	14 (29.2%)	

図表 3-6 日常生活の分担【PTAや子ども会】

		1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い
総数 (n=481)		11 (2.3%)	215 (44.7%)	119 (24.7%)	18 (3.7%)	0 (0.0%)	118 (24.5%)
性・ 年 代 別	女性 (n=272)	2 (0.7%)	141 (51.8%)	61 (22.4%)	7 (2.6%)	0 (0.0%)	61 (22.4%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
	30歳代 (n=36)	0 (0.0%)	19 (52.8%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (38.9%)
	40歳代 (n=44)	1 (2.3%)	22 (50.0%)	14 (31.8%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	6 (13.6%)
	50歳代 (n=70)	0 (0.0%)	40 (57.1%)	15 (21.4%)	4 (5.7%)	0 (0.0%)	11 (15.7%)
	60歳代 (n=69)	0 (0.0%)	37 (53.6%)	16 (23.2%)	2 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (20.3%)
	70歳以上 (n=48)	1 (2.1%)	23 (47.9%)	13 (27.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (22.9%)
	男性 (n=209)	9 (4.3%)	74 (35.4%)	58 (27.8%)	11 (5.3%)	0 (0.0%)	57 (27.3%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=6)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
	30歳代 (n=18)	0 (0.0%)	6 (33.3%)	5 (27.8%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	6 (33.3%)
	40歳代 (n=50)	1 (2.0%)	24 (48.0%)	13 (26.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	10 (20.0%)
	50歳代 (n=54)	1 (1.9%)	21 (38.9%)	13 (24.1%)	5 (9.3%)	0 (0.0%)	14 (25.9%)
	60歳代 (n=33)	2 (6.1%)	12 (36.4%)	12 (36.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (21.2%)
70歳以上 (n=48)	5 (10.4%)	11 (22.9%)	15 (31.3%)	3 (6.3%)	0 (0.0%)	14 (29.2%)	

図表 3-7 日常生活の分担【集落や公民館などの地域活動への参加】

	1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い	
総数 (n=491)	78 (15.9%)	116 (23.6%)	218 (44.4%)	39 (7.9%)	0 (0.0%)	40 (8.1%)	
性・ 年 代 別	女性 (n=276)	30 (10.9%)	73 (26.4%)	127 (46.0%)	22 (8.0%)	0 (0.0%)	24 (8.7%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)
	30歳代 (n=36)	5 (13.9%)	8 (22.2%)	13 (36.1%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	9 (25.0%)
	40歳代 (n=45)	4 (8.9%)	16 (35.6%)	18 (40.0%)	5 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (4.4%)
	50歳代 (n=71)	6 (8.5%)	26 (36.6%)	29 (40.8%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	5 (7.0%)
	60歳代 (n=71)	10 (14.1%)	13 (18.3%)	38 (53.5%)	7 (9.9%)	0 (0.0%)	3 (4.2%)
	70歳以上 (n=48)	5 (10.4%)	10 (20.8%)	28 (58.3%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
	男性 (n=215)	48 (22.3%)	43 (20.0%)	91 (42.3%)	17 (7.9%)	0 (0.0%)	16 (7.4%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=6)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)
	30歳代 (n=18)	2 (11.1%)	5 (27.8%)	7 (38.9%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)
	40歳代 (n=50)	12 (24.0%)	12 (24.0%)	18 (36.0%)	4 (8.0%)	0 (0.0%)	4 (8.0%)
	50歳代 (n=54)	7 (13.0%)	16 (29.6%)	26 (48.1%)	4 (7.4%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
	60歳代 (n=36)	9 (25.0%)	8 (22.2%)	12 (33.3%)	4 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (8.3%)
70歳以上 (n=51)	16 (31.4%)	2 (3.9%)	28 (54.9%)	3 (5.9%)	0 (0.0%)	2 (3.9%)	

図表 3-8 日常生活の分担【高額な商品や土地・家屋の購入を決める】

	1 夫	2 妻	3 夫婦	4 家族 全員	5 家族 以外の 人	6 該 当 し な い	
総数 (n=488)	96 (19.7%)	11 (2.3%)	325 (66.6%)	30 (6.1%)	1 (0.2%)	25 (5.1%)	
性・ 年 代 別	女性 (n=275)	63 (22.9%)	6 (2.2%)	174 (63.3%)	17 (6.2%)	1 (0.4%)	14 (5.1%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
	30歳代 (n=36)	9 (25.0%)	3 (8.3%)	20 (55.6%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	3 (8.3%)
	40歳代 (n=45)	16 (35.6%)	0 (0.0%)	25 (55.6%)	2 (4.4%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)
	50歳代 (n=71)	19 (26.8%)	2 (2.8%)	42 (59.2%)	5 (7.0%)	0 (0.0%)	3 (4.2%)
	60歳代 (n=70)	10 (14.3%)	1 (1.4%)	50 (71.4%)	4 (5.7%)	0 (0.0%)	5 (7.1%)
	70歳以上 (n=48)	8 (16.7%)	0 (0.0%)	34 (70.8%)	5 (10.4%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)
	男性 (n=213)	33 (15.5%)	5 (2.3%)	151 (70.9%)	13 (6.1%)	0 (0.0%)	11 (5.2%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=6)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=18)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	9 (50.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)
	40歳代 (n=50)	7 (14.0%)	1 (2.0%)	37 (74.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)
	50歳代 (n=55)	10 (18.2%)	0 (0.0%)	41 (74.5%)	3 (5.5%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)
	60歳代 (n=35)	4 (11.4%)	1 (2.9%)	27 (77.1%)	3 (8.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=49)	8 (16.3%)	0 (0.0%)	34 (69.4%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)	4 (8.2%)	

【問4】結婚、家庭、離婚についてのあなたの考えをおたずねします。(SA)

【全体】

全体でみると、結婚、家庭、離婚について、“肯定的である（「賛成」＋「どちらかと言えば賛成」）”回答は、6項目中、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」の割合が92.3%で最も高く、約9割を占めており、次いで「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない（54.2%）」、「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい（47.0%）」の順となっている。

一方で、“否定的である（「どちらかと言えば反対」＋「反対」）”回答は、6項目中、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について」の割合が72.9%で最も高く、次いで「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである（52.3%）」、「女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである（47.0%）」の順となっている。

【性別】

性別でみると、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」や「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」では、女性の回答がより肯定的となっており、「『男性は仕事、女性は家庭』という考え方について」では、男性の回答がより肯定的となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“肯定的である”回答の割合が増えた項目については、「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」が16.9ポイント、「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」が11.7ポイント、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」が3.6ポイント増加している。

一方で、“肯定的である”回答の割合が減った項目については、「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである」が23.8ポイント、「女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである」が22.5ポイント減少している。

【A 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい】

全体及び男女とも、「賛成」と回答した割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、50歳代の“否定的である”回答の割合が他の年代と比べ高くなっている。また、10歳代では、「賛成」「反対」「わからない」に意見が分かれている。

男性では、年代別による傾向の差はみられない。

【B 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである】

全体及び男女とも、「どちらかと言えば反対」と回答した割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、60歳以上の“肯定的である”傾向が強く、30歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

男性では、70歳以上の“肯定的である”傾向が強く、20歳代・40歳代の“否定的である”傾向が強くなっている。

【C 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない】

全体及び男女とも、「賛成」と回答した割合が最も高くなっており、特に女性でこの傾向が強くなっている。

年代別でみると、女性では、20～40歳代の“肯定的である”傾向が強く、60歳以上では“肯定的である”回答の割合が相対的に低くなっている。

男性では、20～40歳代の“肯定的である”傾向が強く、70歳以上では“否定的である”傾向が強くなっている。

【D 女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである】

全体及び男女とも、「どちらかと言えば賛成」と回答した割合が最も高い。

年代別でみると、男女ともに年代別による傾向の差はみられない。

【E 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい】

全体及び男性で、「どちらかと言えば賛成」と回答した割合が最も高く、女性では「わからない」と回答した割合が最も高い。

年代別でみると、女性では、30歳代では“肯定的である”傾向が強く、70歳以上で“否定的である”傾向が強くなっている。また、「わからない」と回答した割合は、40歳代が最も高くなっている。

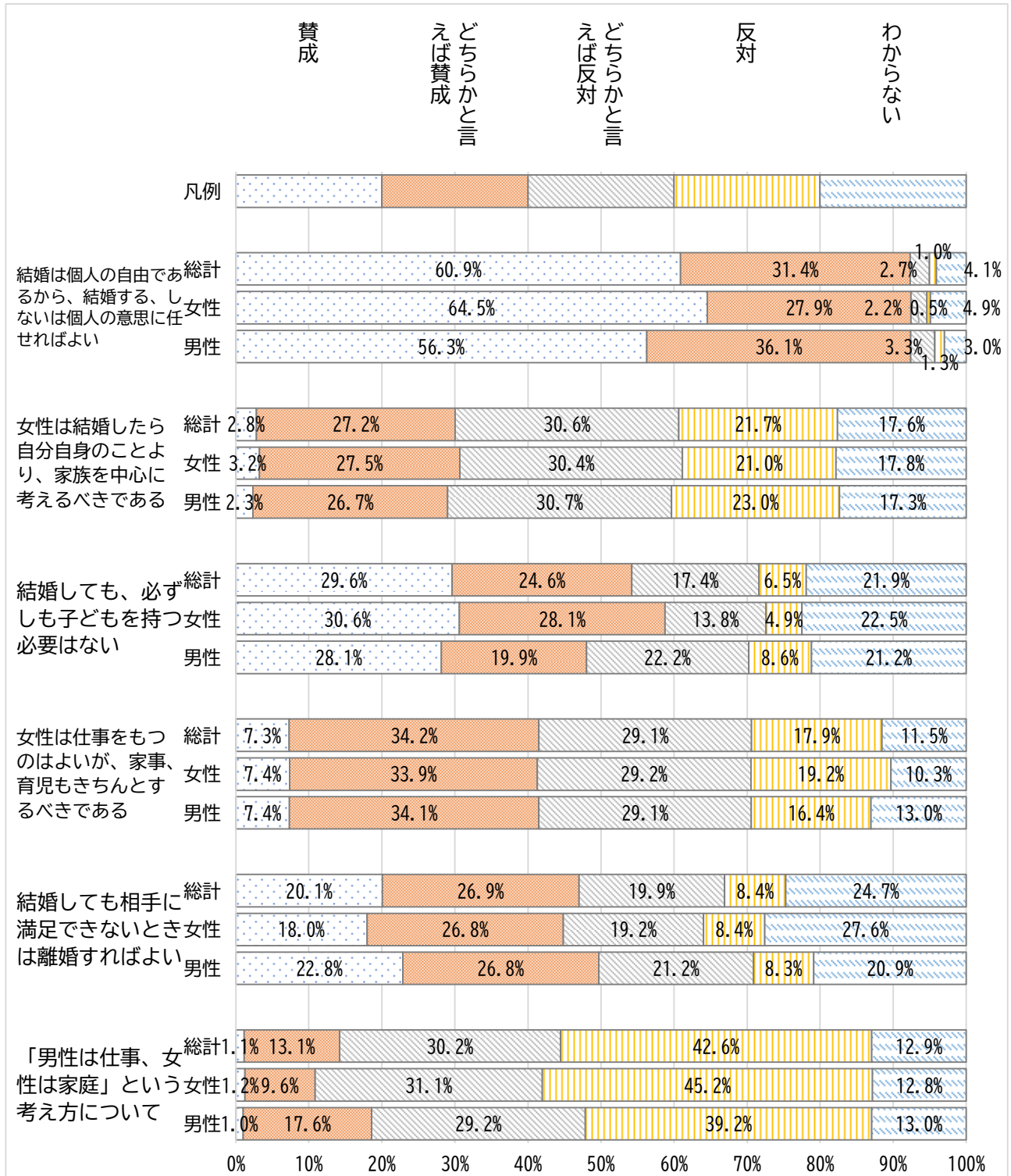
男性では、年代別による傾向の差はみられない。

【F 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について】

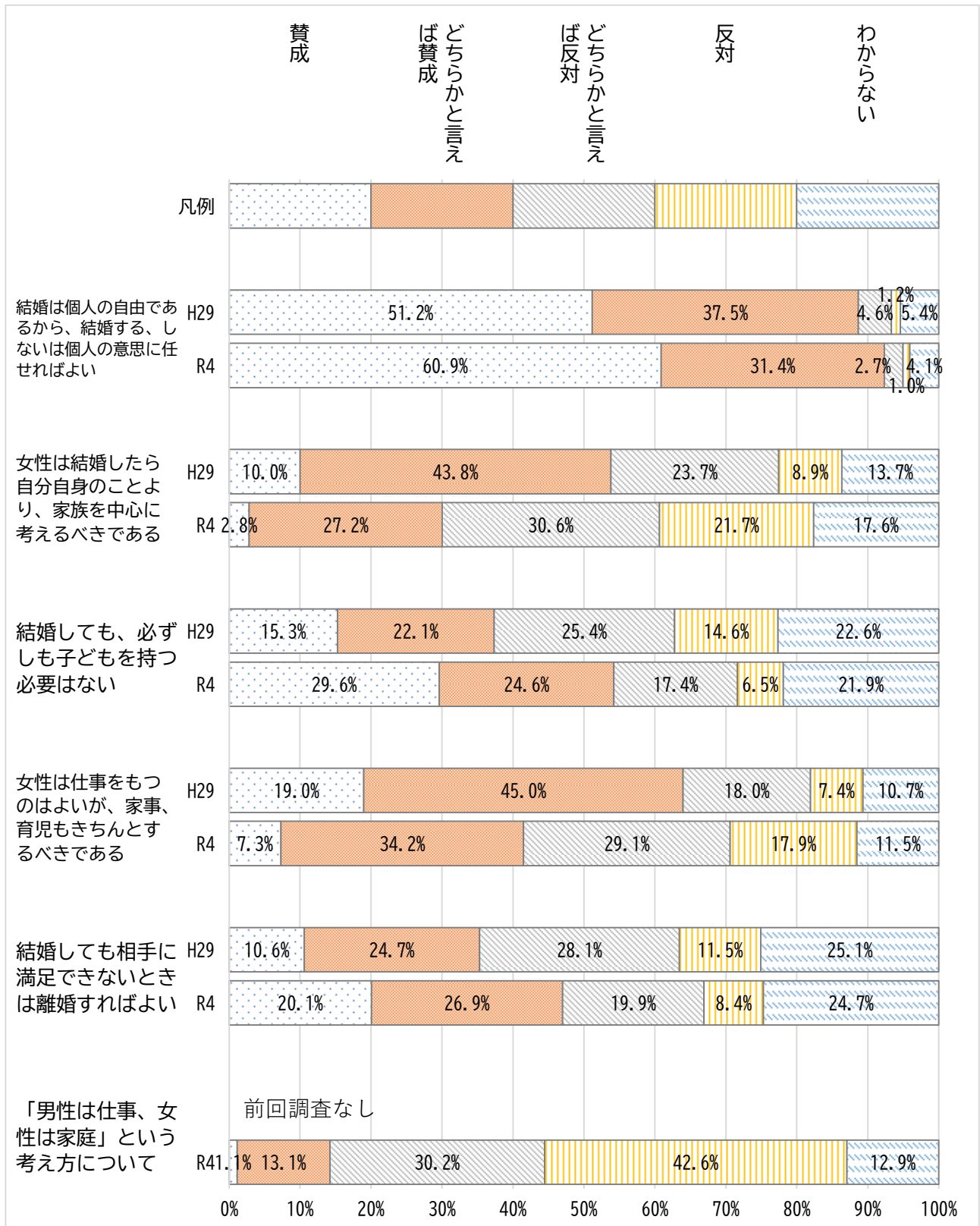
全体及び男女とも、「反対」と回答した割合が最も高くなっている。

年代別でみると、男女ともに、年代別による傾向の差はみられない。

図表 4-1 結婚、家庭、離婚に対する考え方【全体及び性別】



図表 4-2 結婚、家庭、離婚に対する考え方【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 4-3 結婚、家庭、離婚に対する考え方

【結婚は個人の自由であるから、結婚する、
しないは個人の意思に任せればよい】

		1 賛 成	2 ば ど ち 賛 成 ら か と 言 え	3 ば ど ち 反 対 ら か と 言 え	4 反 対	5 わ か ら な い
総数 (n=716)		436 (60.9%)	225 (31.4%)	19 (2.7%)	7 (1.0%)	29 (4.1%)
性・ 年 代 別	女性 (n=409)	264 (64.5%)	114 (27.9%)	9 (2.2%)	2 (0.5%)	20 (4.9%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=24)	21 (87.5%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
	30歳代 (n=53)	42 (79.2%)	8 (15.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.7%)
	40歳代 (n=67)	44 (65.7%)	20 (29.9%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (3.0%)
	50歳代 (n=110)	62 (56.4%)	37 (33.6%)	6 (5.5%)	0 (0.0%)	5 (4.5%)
	60歳代 (n=72)	49 (68.1%)	20 (27.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (4.2%)
	70歳以上 (n=80)	45 (56.3%)	28 (35.0%)	2 (2.5%)	1 (1.3%)	4 (5.0%)
	男性 (n=302)	170 (56.3%)	109 (36.1%)	10 (3.3%)	4 (1.3%)	9 (3.0%)
	10歳代 (n=4)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	14 (82.4%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	21 (61.8%)	11 (32.4%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)
	40歳代 (n=68)	42 (61.8%)	22 (32.4%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	3 (4.4%)
	50歳代 (n=72)	35 (48.6%)	32 (44.4%)	2 (2.8%)	2 (2.8%)	1 (1.4%)
60歳代 (n=48)	27 (56.3%)	13 (27.1%)	5 (10.4%)	1 (2.1%)	2 (4.2%)	
70歳以上 (n=59)	28 (47.5%)	28 (47.5%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	

図表 4-4 結婚、家庭、離婚に対する考え方

【女性は結婚したら自分自身のことより、
家族を中心に考えるべきである】

		1 賛 成	2 ば ど ち 賛 成 ら か と 言 え	3 ば ど ち 反 対 ら か と 言 え	4 反 対	5 わ か ら な い
総数 (n=709)		20 (2.8%)	193 (27.2%)	217 (30.6%)	154 (21.7%)	125 (17.6%)
性・ 年 代 別	女性 (n=404)	13 (3.2%)	111 (27.5%)	123 (30.4%)	85 (21.0%)	72 (17.8%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	6 (27.3%)	9 (40.9%)	4 (18.2%)
	30歳代 (n=53)	0 (0.0%)	9 (17.0%)	11 (20.8%)	24 (45.3%)	9 (17.0%)
	40歳代 (n=67)	0 (0.0%)	18 (26.9%)	25 (37.3%)	11 (16.4%)	13 (19.4%)
	50歳代 (n=109)	1 (0.9%)	26 (23.9%)	44 (40.4%)	15 (13.8%)	23 (21.1%)
	60歳代 (n=72)	3 (4.2%)	28 (38.9%)	20 (27.8%)	12 (16.7%)	9 (12.5%)
	70歳以上 (n=78)	8 (10.3%)	27 (34.6%)	17 (21.8%)	12 (15.4%)	14 (17.9%)
	男性 (n=300)	7 (2.3%)	80 (26.7%)	92 (30.7%)	69 (23.0%)	52 (17.3%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	11 (64.7%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=33)	0 (0.0%)	6 (18.2%)	5 (15.2%)	14 (42.4%)	8 (24.2%)
	40歳代 (n=67)	1 (1.5%)	9 (13.4%)	33 (49.3%)	14 (20.9%)	10 (14.9%)
	50歳代 (n=73)	1 (1.4%)	16 (21.9%)	25 (34.2%)	17 (23.3%)	14 (19.2%)
60歳代 (n=47)	0 (0.0%)	19 (40.4%)	11 (23.4%)	8 (17.0%)	9 (19.1%)	
70歳以上 (n=59)	5 (8.5%)	28 (47.5%)	14 (23.7%)	3 (5.1%)	9 (15.3%)	

図表 4-5 結婚、家庭、離婚に対する考え方
【結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない】

		1 賛成	2 ばど ちら か と 言 え	3 ばど ちら か と 言 え	4 反 対	5 わ か ら な い
総数 (n=712)		211 (29.6%)	175 (24.6%)	124 (17.4%)	46 (6.5%)	156 (21.9%)
性・年代別	女性 (n=405)	124 (30.6%)	114 (28.1%)	56 (13.8%)	20 (4.9%)	91 (22.5%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	17 (73.9%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=53)	31 (58.5%)	16 (30.2%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	4 (7.5%)
	40歳代 (n=67)	28 (41.8%)	22 (32.8%)	6 (9.0%)	0 (0.0%)	11 (16.4%)
	50歳代 (n=110)	28 (25.5%)	32 (29.1%)	17 (15.5%)	5 (4.5%)	28 (25.5%)
	60歳代 (n=72)	8 (11.1%)	25 (34.7%)	13 (18.1%)	6 (8.3%)	20 (27.8%)
	70歳以上 (n=77)	11 (14.3%)	12 (15.6%)	18 (23.4%)	9 (11.7%)	27 (35.1%)
	男性 (n=302)	85 (28.1%)	60 (19.9%)	67 (22.2%)	26 (8.6%)	64 (21.2%)
	10歳代 (n=4)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	13 (76.5%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	15 (44.1%)	9 (26.5%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)	6 (17.6%)
	40歳代 (n=68)	24 (35.3%)	16 (23.5%)	9 (13.2%)	4 (5.9%)	15 (22.1%)
	50歳代 (n=73)	18 (24.7%)	11 (15.1%)	19 (26.0%)	7 (9.6%)	18 (24.7%)
60歳代 (n=47)	6 (12.8%)	13 (27.7%)	12 (25.5%)	6 (12.8%)	10 (21.3%)	
70歳以上 (n=59)	7 (11.9%)	9 (15.3%)	21 (35.6%)	8 (13.6%)	14 (23.7%)	

図表 4-6 結婚、家庭、離婚に対する考え方
【女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである】

		1 賛成	2 ばど ちら か と 言 え	3 ばど ちら か と 言 え	4 反 対	5 わ か ら な い
総数 (n=711)		52 (7.3%)	243 (34.2%)	207 (29.1%)	127 (17.9%)	82 (11.5%)
性・年代別	女性 (n=407)	30 (7.4%)	138 (33.9%)	119 (29.2%)	78 (19.2%)	42 (10.3%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	1 (4.3%)	7 (30.4%)	4 (17.4%)	8 (34.8%)	3 (13.0%)
	30歳代 (n=53)	2 (3.8%)	15 (28.3%)	17 (32.1%)	14 (26.4%)	5 (9.4%)
	40歳代 (n=67)	3 (4.5%)	20 (29.9%)	27 (40.3%)	8 (11.9%)	9 (13.4%)
	50歳代 (n=110)	3 (2.7%)	35 (31.8%)	38 (34.5%)	21 (19.1%)	13 (11.8%)
	60歳代 (n=72)	5 (6.9%)	31 (43.1%)	17 (23.6%)	13 (18.1%)	6 (8.3%)
	70歳以上 (n=79)	16 (20.3%)	27 (34.2%)	16 (20.3%)	14 (17.7%)	6 (7.6%)
	男性 (n=299)	22 (7.4%)	102 (34.1%)	87 (29.1%)	49 (16.4%)	39 (13.0%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	7 (41.2%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)
	30歳代 (n=33)	3 (9.1%)	7 (21.2%)	11 (33.3%)	10 (30.3%)	2 (6.1%)
	40歳代 (n=67)	5 (7.5%)	19 (28.4%)	23 (34.3%)	8 (11.9%)	12 (17.9%)
	50歳代 (n=73)	5 (6.8%)	23 (31.5%)	19 (26.0%)	15 (20.5%)	11 (15.1%)
60歳代 (n=47)	5 (10.6%)	16 (34.0%)	14 (29.8%)	6 (12.8%)	6 (12.8%)	
70歳以上 (n=58)	3 (5.2%)	30 (51.7%)	15 (25.9%)	6 (10.3%)	4 (6.9%)	

図表 4-7 結婚、家庭、離婚に対する考え方

【結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい】

	1 賛成	2 ばど 賛成 ちら かと言 え	3 ばど 反 対 ちら かと言 え	4 反 対	5 わ か ら な い	
総数 (n=713)	143 (20.1%)	192 (26.9%)	142 (19.9%)	60 (8.4%)	176 (24.7%)	
性・年代別	女性 (n=406)	73 (18.0%)	109 (26.8%)	78 (19.2%)	34 (8.4%)	112 (27.6%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	11 (47.8%)	3 (13.0%)	2 (8.7%)	3 (13.0%)	4 (17.4%)
	30歳代 (n=53)	16 (30.2%)	16 (30.2%)	9 (17.0%)	1 (1.9%)	11 (20.8%)
	40歳代 (n=67)	11 (16.4%)	13 (19.4%)	11 (16.4%)	5 (7.5%)	27 (40.3%)
	50歳代 (n=109)	21 (19.3%)	35 (32.1%)	18 (16.5%)	6 (5.5%)	29 (26.6%)
	60歳代 (n=72)	6 (8.3%)	26 (36.1%)	17 (23.6%)	9 (12.5%)	14 (19.4%)
	70歳以上 (n=79)	7 (8.9%)	16 (20.3%)	21 (26.6%)	9 (11.4%)	26 (32.9%)
	男性 (n=302)	69 (22.8%)	81 (26.8%)	64 (21.2%)	25 (8.3%)	63 (20.9%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)
	20歳代 (n=17)	4 (23.5%)	6 (35.3%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=34)	10 (29.4%)	7 (20.6%)	10 (29.4%)	2 (5.9%)	5 (14.7%)
	40歳代 (n=67)	21 (31.3%)	13 (19.4%)	14 (20.9%)	3 (4.5%)	16 (23.9%)
	50歳代 (n=73)	15 (20.5%)	23 (31.5%)	16 (21.9%)	7 (9.6%)	12 (16.4%)
60歳代 (n=48)	9 (18.8%)	15 (31.3%)	11 (22.9%)	3 (6.3%)	10 (20.8%)	
70歳以上 (n=59)	10 (16.9%)	17 (28.8%)	10 (16.9%)	6 (10.2%)	16 (27.1%)	

図表 4-8 結婚、家庭、離婚に対する考え方

【「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について】

	1 賛成	2 ばど 賛成 ちら かと言 え	3 ばど 反 対 ちら かと言 え	4 反 対	5 わ か ら な い	
総数 (n=711)	8 (1.1%)	93 (13.1%)	215 (30.2%)	303 (42.6%)	92 (12.9%)	
性・年代別	女性 (n=405)	5 (1.2%)	39 (9.6%)	126 (31.1%)	183 (45.2%)	52 (12.8%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (17.4%)	18 (78.3%)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=53)	0 (0.0%)	5 (9.4%)	7 (13.2%)	34 (64.2%)	7 (13.2%)
	40歳代 (n=67)	0 (0.0%)	4 (6.0%)	29 (43.3%)	22 (32.8%)	12 (17.9%)
	50歳代 (n=109)	0 (0.0%)	10 (9.2%)	40 (36.7%)	47 (43.1%)	12 (11.0%)
	60歳代 (n=72)	1 (1.4%)	7 (9.7%)	27 (37.5%)	28 (38.9%)	9 (12.5%)
	70歳以上 (n=78)	3 (3.8%)	13 (16.7%)	19 (24.4%)	32 (41.0%)	11 (14.1%)
	男性 (n=301)	3 (1.0%)	53 (17.6%)	88 (29.2%)	118 (39.2%)	39 (13.0%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	0 (0.0%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	8 (50.0%)	2 (12.5%)
	30歳代 (n=34)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	12 (35.3%)	16 (47.1%)	4 (11.8%)
	40歳代 (n=68)	1 (1.5%)	9 (13.2%)	20 (29.4%)	29 (42.6%)	9 (13.2%)
	50歳代 (n=73)	1 (1.4%)	17 (23.3%)	15 (20.5%)	29 (39.7%)	11 (15.1%)
60歳代 (n=47)	0 (0.0%)	8 (17.0%)	16 (34.0%)	19 (40.4%)	4 (8.5%)	
70歳以上 (n=59)	1 (1.7%)	15 (25.4%)	20 (33.9%)	14 (23.7%)	9 (15.3%)	

【問5】近年、男女とも晩婚化や非婚化が進んでいると言われていますが、その理由についてあなたはどのようにお考えですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「独身生活のほうが自由である」と回答した割合が 63.0%で最も高く、次いで「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した(46.8%)」、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった(44.8%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、「家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい」は、女性の割合が高く、「経済的に安定していない」や「相手に高望みしている」、「社会慣行としての見合いが減少した」は、男性の割合が高くなっている。

年代別でみると、70歳以上では、「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」と回答した割合が最も高くなっている。

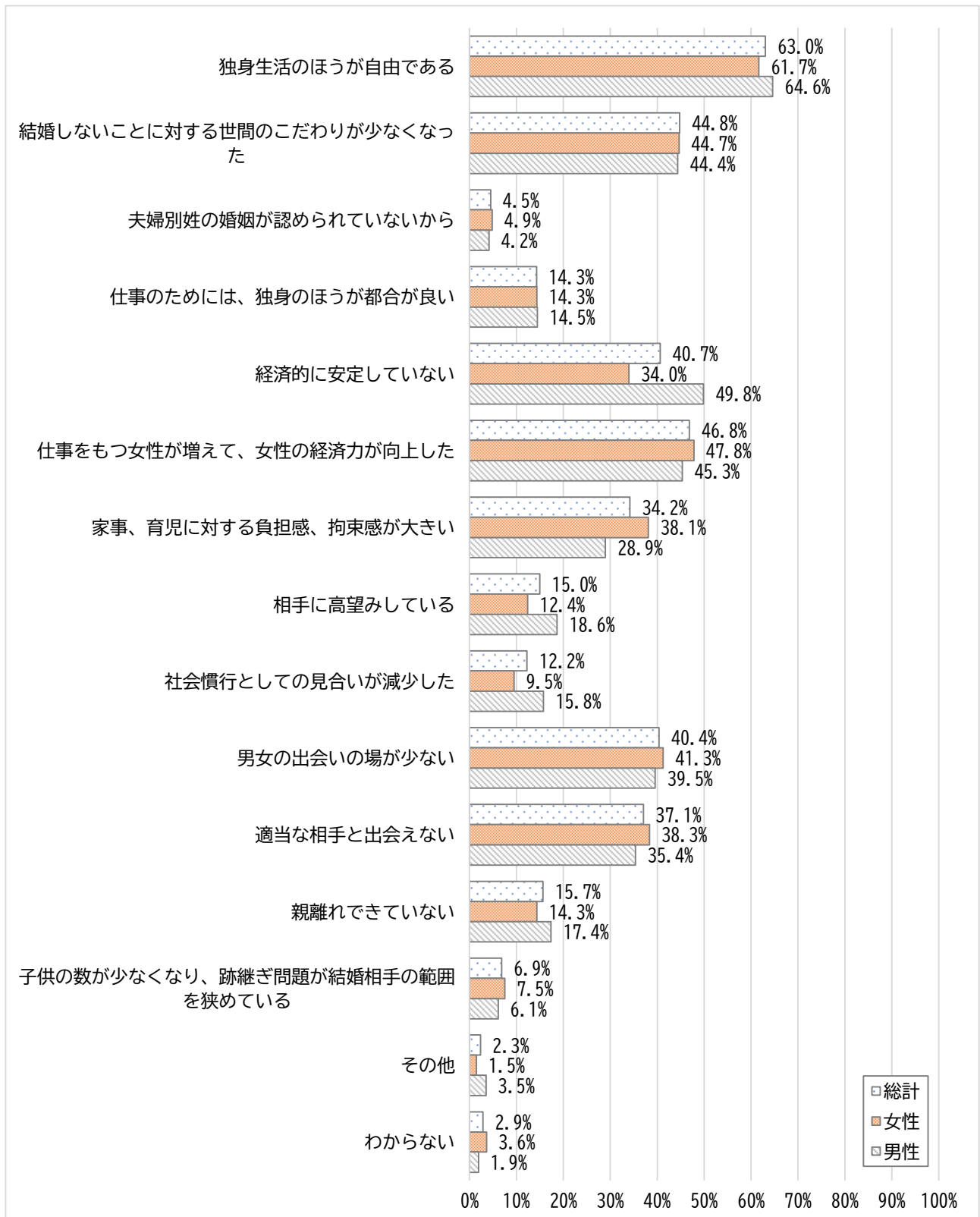
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の出会いの場が少ない」、「家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい」、「独身生活のほうが自由である」、「夫婦別姓の婚姻が認められていないから」の割合が上昇し、「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」、「親離れできていない」、「子供の数が少なくなり、跡継ぎ問題が結婚相手の範囲を狭めている」、「わからない」の割合が低下している。

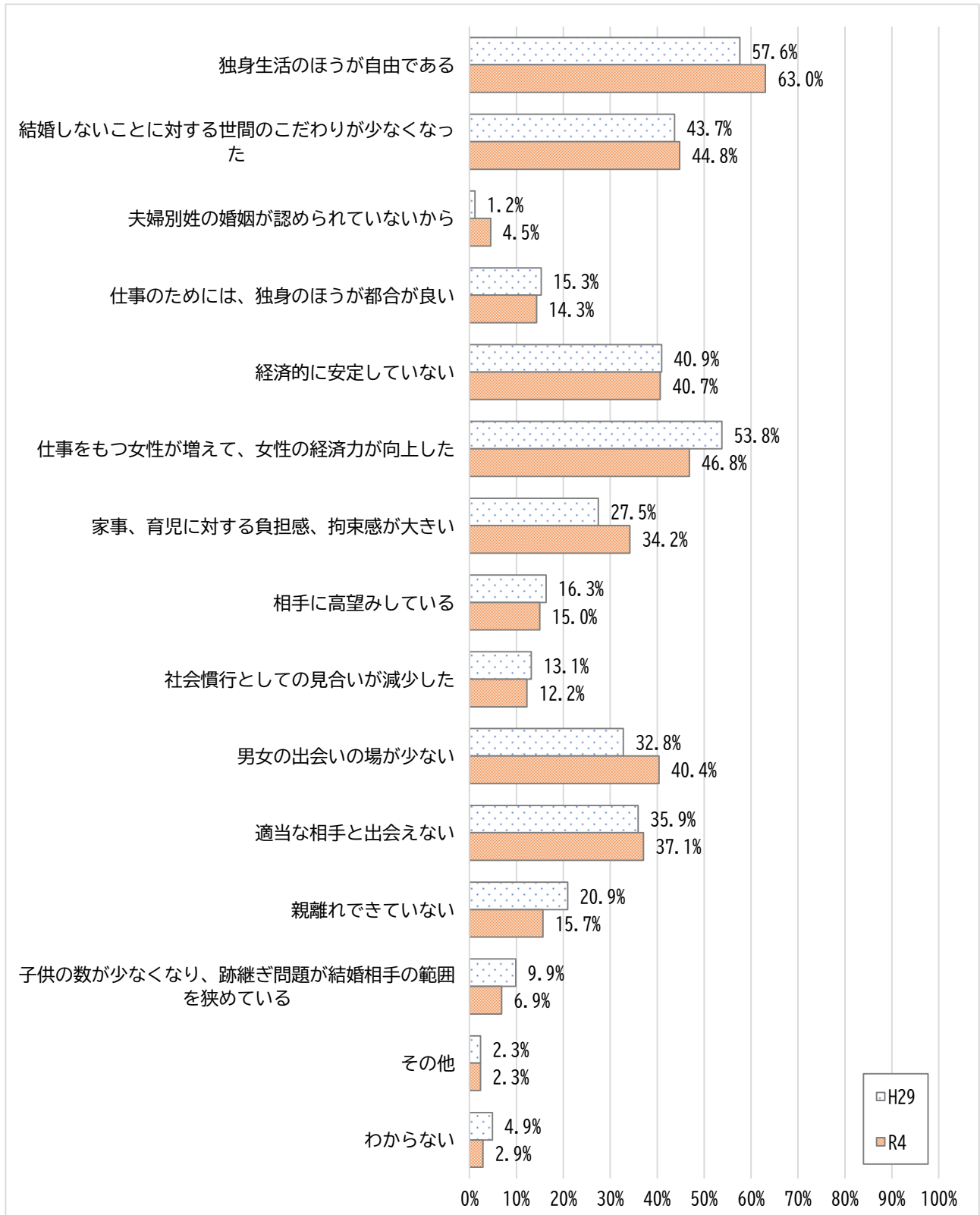
「その他」の自由回答

- 世の中が便利になりすぎている(30歳代男性)
- 結婚しなくても(別れても)生活できるようになりすぎている(50歳代男性)
- 身体的な理由(70歳以上女性)
- 別にこだわる必要がない。自然にまかせる。(50歳代男性)
- 育ってきた家庭環境(核家庭やひとりで留守番など)、1人での環境があたり前になってきている。(40歳代女性)
- 自分の子を見て…(70歳以上女性)
- 国が無関心(30歳代男性)
- 親も子供に結婚を無理強いしない。(70歳以上女性)
- 資本主義の集大成(60歳代男性)
- 携帯依存症とか(40歳代男性)
- 子供への経済的な負担が大きすぎるから(40歳代男性)
- 情報化社会の発展のしわ寄せ(30歳代男性)
- 異性意識ではなく人として意識しているので結婚の必要性を感じていない(50歳代女性)
- PTA、公民館、義家族の行事など負担が増える(30歳代女性)
- 相手を選ぶ自由が増えた事、故に選ばぬ自由も有る(40歳代男性)
- 現代の若者において恋愛の優先順位が下がっている。時間を消費する娯楽が多くあるため恋愛にかかる時間がなくなっている。(20歳代男性)

図表 5-1 晩婚化や非婚化が進む理由【全体及び性別】



図表 5-2 晩婚化や非婚化が進む理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 5-3 晩婚化や非婚化が進む理由【性別・年代別】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	が独 身生 活あ るほ う	が少 す結 婚し ない こと に 対 する 世 間 の こ と に 対 し た わ り	な が 夫 婦 別 姓 の 婚 姻	が は 、 事 務 の た め に う	て 経 済 的 に 安 定 し	濟 増 え て 、 女 性 の 経	束 縛 が 大 き い 、 拘 束	家 事 、 育 児 に 対	て 相 手 に 高 望 み し	し の 社 会 慣 行 が 減 少 し	場 男 女 の 出 会 い の	会 適 当 な 相 手 と 出	な 親 離 れ で き て い	子 供 の 数 が 少 な く な り 、 範 疇 を 狭 め て い る	そ の 他
総数 (n=728)	459 (63.0%)	326 (44.8%)	33 (4.5%)	104 (14.3%)	296 (40.7%)	341 (46.8%)	249 (34.2%)	109 (15.0%)	89 (12.2%)	294 (40.4%)	270 (37.1%)	114 (15.7%)	50 (6.9%)	17 (2.3%)	
性・年代別	女性 (n=412)	254 (61.7%)	184 (44.7%)	20 (4.9%)	59 (14.3%)	140 (34.0%)	197 (47.8%)	157 (38.1%)	51 (12.4%)	39 (9.5%)	170 (41.3%)	158 (38.3%)	59 (14.3%)	31 (7.5%)	6 (1.5%)
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	15 (65.2%)	6 (26.1%)	5 (21.7%)	8 (34.8%)	9 (39.1%)	9 (39.1%)	12 (52.2%)	2 (8.7%)	1 (4.3%)	8 (34.8%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=52)	37 (71.2%)	12 (23.1%)	3 (5.8%)	6 (11.5%)	20 (38.5%)	16 (30.8%)	23 (44.2%)	9 (17.3%)	4 (7.7%)	18 (34.6%)	15 (28.8%)	12 (23.1%)	4 (7.7%)	1 (1.9%)
	40歳代 (n=68)	44 (64.7%)	26 (38.2%)	2 (2.9%)	13 (19.1%)	19 (27.9%)	30 (44.1%)	29 (42.6%)	5 (7.4%)	4 (5.9%)	27 (39.7%)	16 (23.5%)	8 (11.8%)	3 (4.4%)	1 (1.5%)
	50歳代 (n=111)	74 (66.7%)	52 (46.8%)	7 (6.3%)	14 (12.6%)	32 (28.8%)	54 (48.6%)	41 (36.9%)	13 (11.7%)	4 (3.6%)	44 (39.6%)	50 (45.0%)	15 (13.5%)	12 (10.8%)	1 (0.9%)
	60歳代 (n=81)	49 (60.5%)	45 (55.6%)	1 (1.2%)	9 (11.1%)	35 (43.2%)	41 (50.6%)	26 (32.1%)	10 (12.3%)	8 (9.9%)	44 (54.3%)	35 (43.2%)	12 (14.8%)	4 (4.9%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=74)	33 (44.6%)	40 (54.1%)	2 (2.7%)	8 (10.8%)	25 (33.8%)	47 (63.5%)	25 (33.8%)	11 (14.9%)	17 (23.0%)	28 (37.8%)	35 (47.3%)	11 (14.9%)	8 (10.8%)	3 (4.1%)
	男性 (n=311)	201 (64.6%)	138 (44.4%)	13 (4.2%)	45 (14.5%)	155 (49.8%)	141 (45.3%)	90 (28.9%)	58 (18.6%)	49 (15.8%)	123 (39.5%)	110 (35.4%)	54 (17.4%)	19 (6.1%)	11 (3.5%)
	10歳代 (n=4)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	14 (82.4%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	8 (47.1%)	6 (35.3%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)	8 (47.1%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=33)	27 (81.8%)	12 (36.4%)	3 (9.1%)	9 (27.3%)	21 (63.6%)	11 (33.3%)	12 (36.4%)	8 (24.2%)	4 (12.1%)	9 (27.3%)	9 (27.3%)	4 (12.1%)	2 (6.1%)	3 (9.1%)
	40歳代 (n=69)	52 (75.4%)	29 (42.0%)	3 (4.3%)	12 (17.4%)	37 (53.6%)	22 (31.9%)	22 (31.9%)	21 (30.4%)	12 (17.4%)	26 (37.7%)	25 (36.2%)	9 (13.0%)	3 (4.3%)	3 (4.3%)
	50歳代 (n=73)	46 (63.0%)	33 (45.2%)	4 (5.5%)	6 (8.2%)	37 (50.7%)	34 (46.6%)	21 (28.8%)	10 (13.7%)	8 (11.0%)	37 (50.7%)	26 (35.6%)	15 (20.5%)	4 (5.5%)	2 (2.7%)
	60歳代 (n=50)	31 (62.0%)	28 (56.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)	19 (38.0%)	26 (52.0%)	11 (22.0%)	7 (14.0%)	9 (18.0%)	14 (28.0%)	17 (34.0%)	13 (26.0%)	4 (8.0%)	2 (4.0%)
70歳以上 (n=65)	28 (43.1%)	30 (46.2%)	1 (1.5%)	5 (7.7%)	31 (47.7%)	41 (63.1%)	17 (26.2%)	6 (9.2%)	13 (20.0%)	27 (41.5%)	27 (41.5%)	11 (16.9%)	4 (6.2%)	0 (0.0%)	

	15 わ か ら な い	
総数 (n=728)	21 (2.9%)	
性・年代別	女性 (n=412)	15 (3.6%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=52)	4 (7.7%)
	40歳代 (n=68)	4 (5.9%)
	50歳代 (n=111)	3 (2.7%)
	60歳代 (n=81)	1 (1.2%)
	70歳以上 (n=74)	2 (2.7%)
	男性 (n=311)	6 (1.9%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=33)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=69)	2 (2.9%)
	50歳代 (n=73)	3 (4.1%)
	60歳代 (n=50)	1 (2.0%)
70歳以上 (n=65)	0 (0.0%)	

3 少子化について

【問6】あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動や場所があればいいと思いますか。(MA)

【全体】

全体でみると、「子どもが安心して遊べる活動や場所」と回答した割合が 58.3%で最も高く、次いで「不意の外出の時などに子どもを預かる活動や場所(57.3%)」、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動や場所(52.6%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動や場所」と回答した割合は、女性が高く、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動や場所」、「子育て家庭の家事を支援する活動や場所」、「子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動や場所」、「特にない」と回答した割合は、男性が高くなっている。

年代別にみると、概ね全体と同様の傾向を示しているものの、20歳代男性は、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動や場所」の割合が低く、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動や場所」や「子育て家庭の家事を支援する活動や場所」の割合が最も高くなっている。

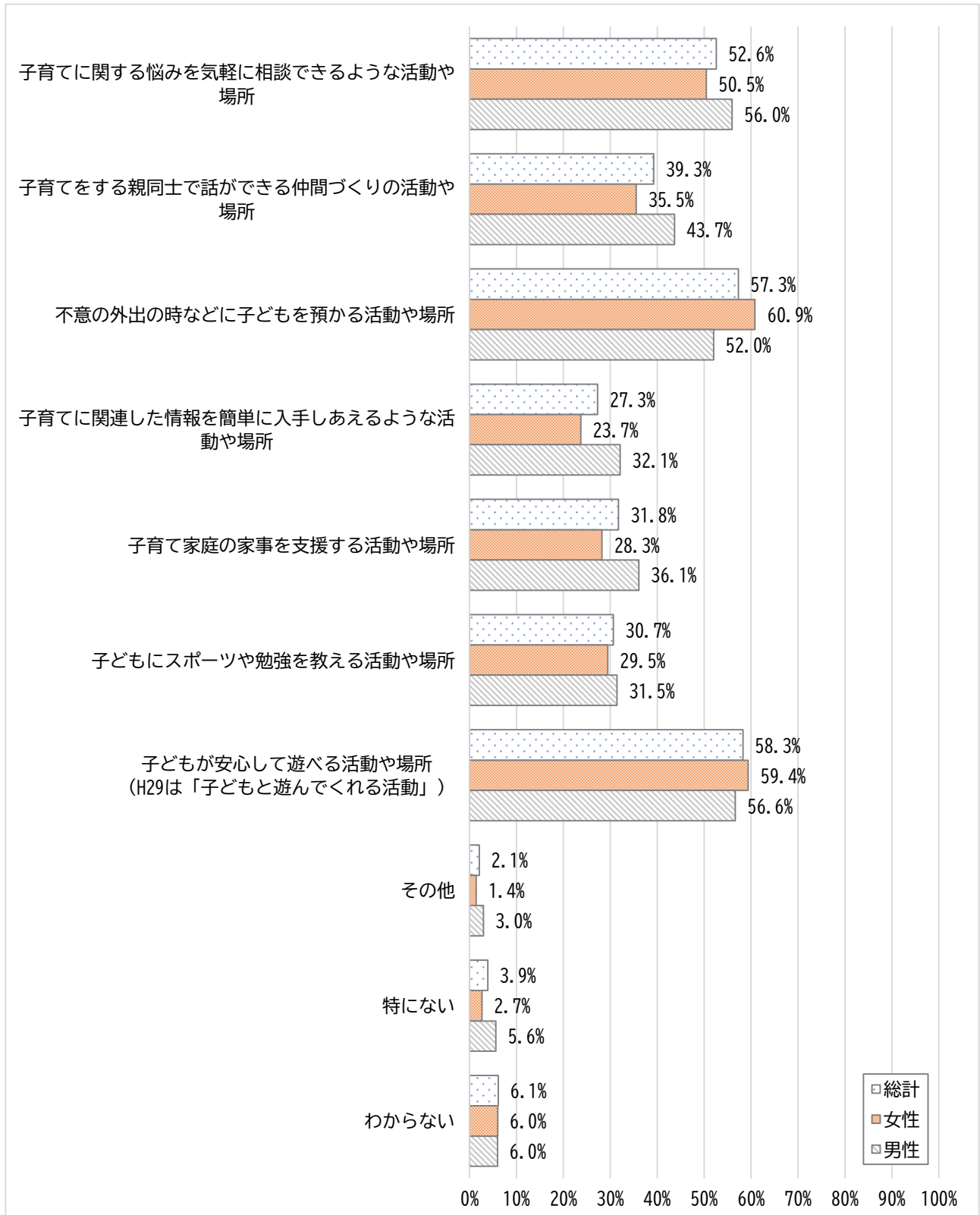
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「子どもが安心して遊べる活動や場所」、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動や場所」、「子育て家庭の家事を支援する活動や場所」と回答した割合が上昇し、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動や場所」や「特にない」と回答した割合が低下している。

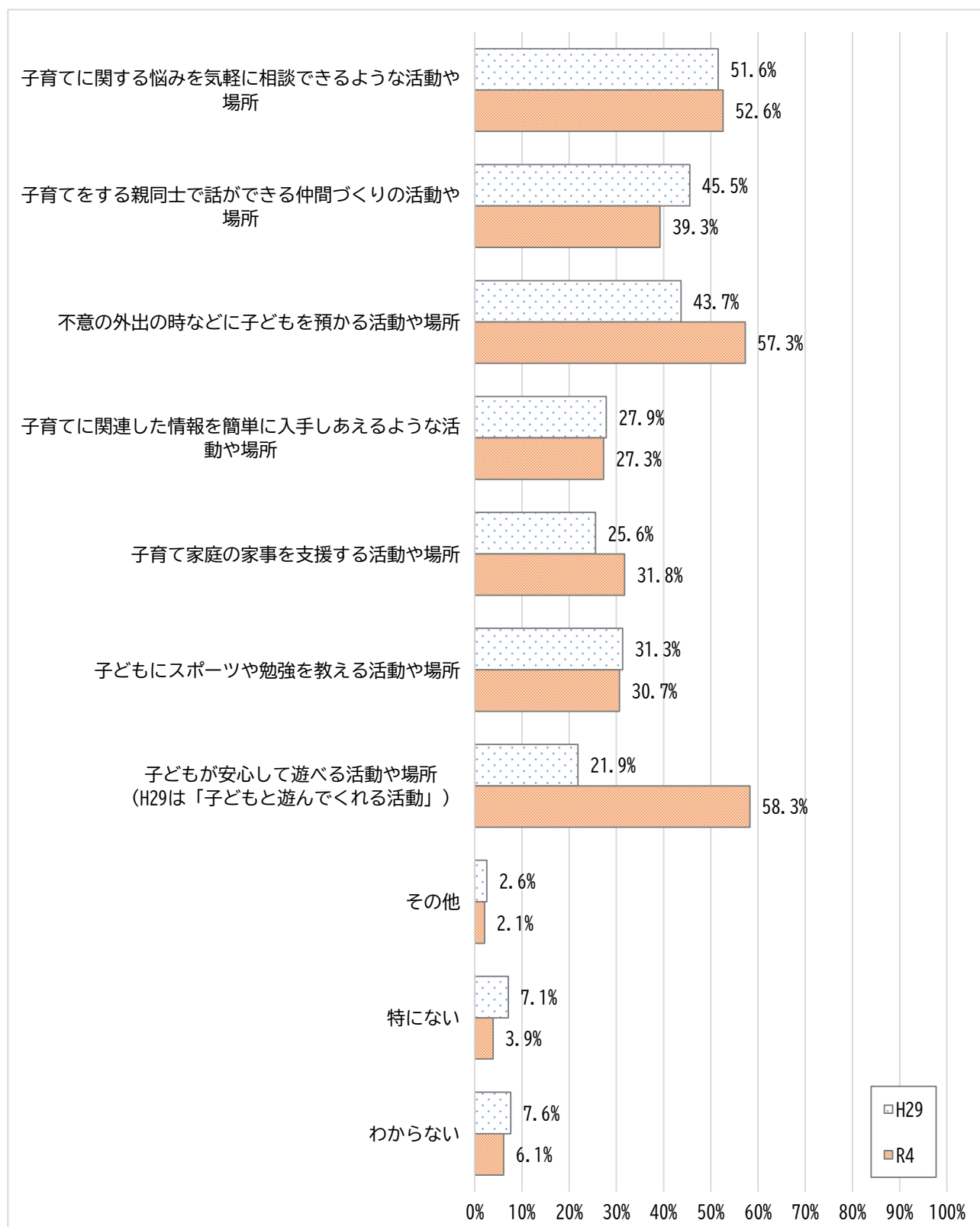
「その他」の自由回答

- 保育園や幼稚園などに必ず入園できること (60歳代女性)
- 親となる世代の自己啓発の場の確保。親の自己肯定感を高め、心を充実させる。(30歳代男性)
- 親が親として成長できる場所。同世代ではなく先人の話を聞ける場所。(50歳代女性)
- 幼児教育(→大切)の為に勉強会を行う。たとえばPTAの時などに専門の講師の先生を招いての講話を聴くなど。若いお母さんたちには新鮮で勉強になると思う。(60歳代女性)
- 金銭面のサポート(30歳代男性)
- 特に乳児期の子を持つ親が買い物やリフレッシュの為に短時間でも気軽に子供を預けられる施設(30歳代女性)
- 年長さんや小学生が雨の日でも遊べる施設。串木野は何もなくて本当にしんどい。(30歳代女性)
- 高校・大学での学費負担の軽減(50歳代男性)
- レクリエーション大会(40歳代男性)
- 学用品や制服、子供服他、おさがりをシェアできるセンターを設置して、そこに行けば揃うというシステムを作ってみては?(50歳代男性)
- ほぼ身近に存在しているのでは(50歳代女性)
- 子育てに関する金銭的な支援(40歳代男性)
- マイナースポーツを趣味としてるが、遊べる場所が無い、故に仲間も居ない(40歳代男性)
- 育児休暇を取得するのが当然という社会になること(30歳代男性)

図表 6-1 子育てにおける住民同士の助け合い活動【全体及び性別】



図表 6-2 子育てにおける住民同士の助け合い活動【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 6-3 子育てにおける住民同士の助け合い活動【性別・年代別】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	よを子 うを育 な育 活に 動に や相 場関 で談 きす る悩 るみ	くで子 りの話 の育 活が 動で や可 や能 場す 所る の親 の同 所間 づ	るどに 活に 動子 やど 場も 所を 預	不意の の外 の出 の時 かな	所え報 るを子 よう簡 な単に 活入 動手 やあ 場情	動事 やを 場支 所援 す 庭 の 活家	る子 活育 動や 勉支 強援 を家 を庭 をの 教所 え教 ええ	場子 所遊 もど にも スが ポ安 ー心 し	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
総数 (n=721)	379 (52.6%)	283 (39.3%)	413 (57.3%)	197 (27.3%)	229 (31.8%)	221 (30.7%)	420 (58.3%)	15 (2.1%)	28 (3.9%)	44 (6.1%)	
性・年代別	女性 (n=414)	209 (50.5%)	147 (35.5%)	252 (60.9%)	98 (23.7%)	117 (28.3%)	122 (29.5%)	246 (59.4%)	6 (1.4%)	11 (2.7%)	25 (6.0%)
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	12 (52.2%)	9 (39.1%)	16 (69.6%)	12 (52.2%)	9 (39.1%)	9 (39.1%)	12 (52.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=51)	27 (52.9%)	19 (37.3%)	37 (72.5%)	15 (29.4%)	23 (45.1%)	21 (41.2%)	41 (80.4%)	2 (3.9%)	1 (2.0%)	4 (7.8%)
	40歳代 (n=71)	24 (33.8%)	16 (22.5%)	43 (60.6%)	16 (22.5%)	19 (26.8%)	24 (33.8%)	45 (63.4%)	0 (0.0%)	3 (4.2%)	5 (7.0%)
	50歳代 (n=110)	60 (54.5%)	33 (30.0%)	74 (67.3%)	22 (20.0%)	34 (30.9%)	31 (28.2%)	60 (54.5%)	2 (1.8%)	3 (2.7%)	5 (4.5%)
	60歳代 (n=78)	43 (55.1%)	35 (44.9%)	39 (50.0%)	20 (25.6%)	11 (14.1%)	15 (19.2%)	43 (55.1%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	5 (6.4%)
	70歳以上 (n=78)	41 (52.6%)	33 (42.3%)	43 (55.1%)	13 (16.7%)	20 (25.6%)	21 (26.9%)	43 (55.1%)	0 (0.0%)	4 (5.1%)	5 (6.4%)
	男性 (n=302)	169 (56.0%)	132 (43.7%)	157 (52.0%)	97 (32.1%)	109 (36.1%)	95 (31.5%)	171 (56.6%)	9 (3.0%)	17 (5.6%)	18 (6.0%)
	10歳代 (n=4)	3 (75.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	4 (23.5%)	8 (47.1%)	8 (47.1%)	6 (35.3%)	8 (47.1%)	5 (29.4%)	9 (52.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=33)	19 (57.6%)	16 (48.5%)	24 (72.7%)	13 (39.4%)	16 (48.5%)	18 (54.5%)	25 (75.8%)	3 (9.1%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)
	40歳代 (n=67)	36 (53.7%)	31 (46.3%)	36 (53.7%)	23 (34.3%)	24 (35.8%)	28 (41.8%)	40 (59.7%)	3 (4.5%)	6 (9.0%)	4 (6.0%)
	50歳代 (n=71)	45 (63.4%)	30 (42.3%)	40 (56.3%)	22 (31.0%)	27 (38.0%)	19 (26.8%)	42 (59.2%)	2 (2.8%)	2 (2.8%)	3 (4.2%)
60歳代 (n=46)	25 (54.3%)	17 (37.0%)	23 (50.0%)	15 (32.6%)	18 (39.1%)	10 (21.7%)	25 (54.3%)	1 (2.2%)	3 (6.5%)	3 (6.5%)	
70歳以上 (n=64)	37 (57.8%)	28 (43.8%)	25 (39.1%)	16 (25.0%)	14 (21.9%)	14 (21.9%)	28 (43.8%)	0 (0.0%)	4 (6.3%)	5 (7.8%)	

【問7】あなたは、子育て支援に関し、どのような考えをお持ちですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべきである」と回答した割合が51.4%で最も高く、次いで「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである(50.7%)」、「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである(44.8%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別による傾向の差はみられないが、年代別も踏まえてみると、男女とも10～40歳代では、「男性がもっと育児に参加できるよう長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである」の割合が高くなっている。

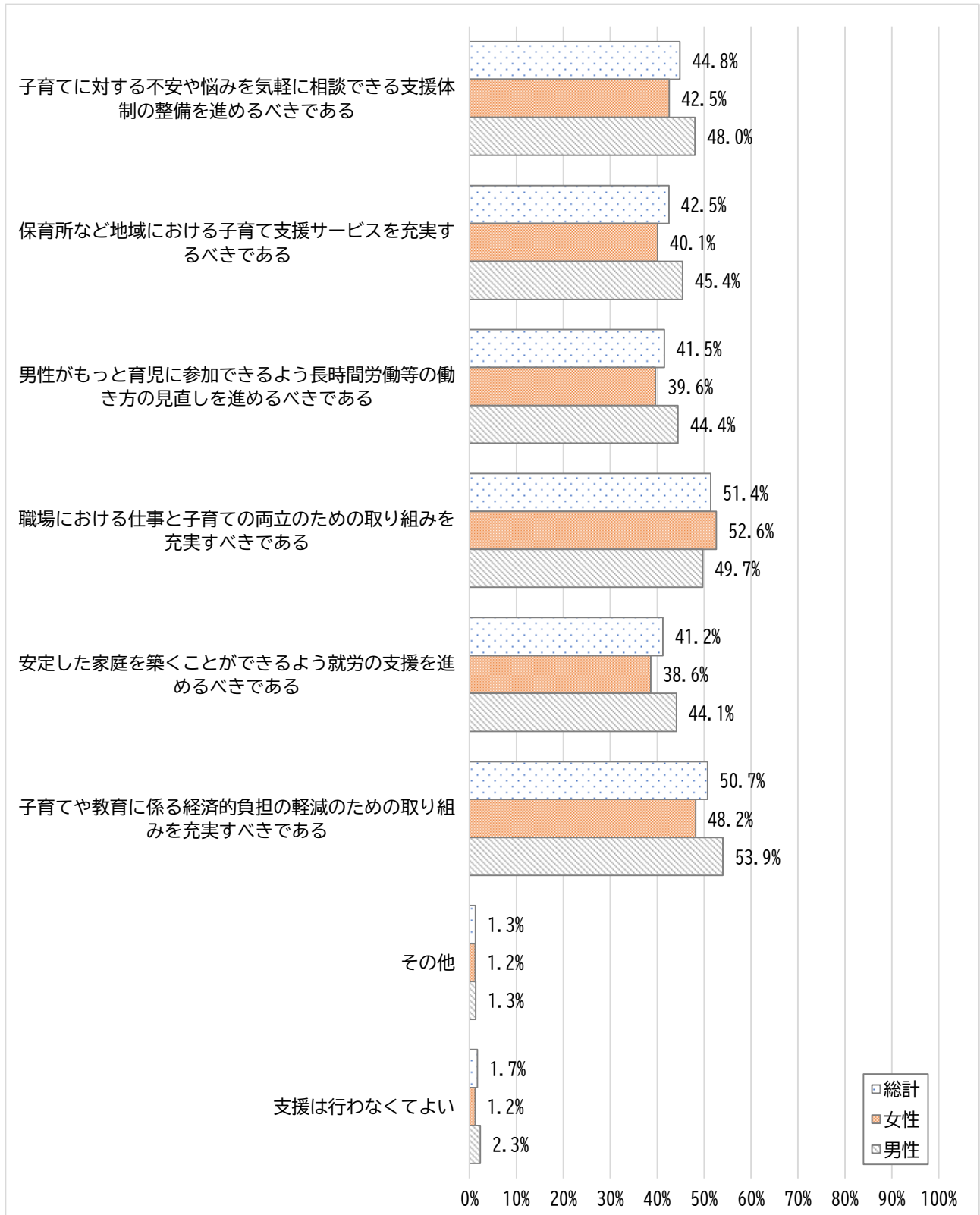
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべきである」、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである」、「安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきである」と回答した割合が上昇し、「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである」、「その他」と回答した割合が低下している。

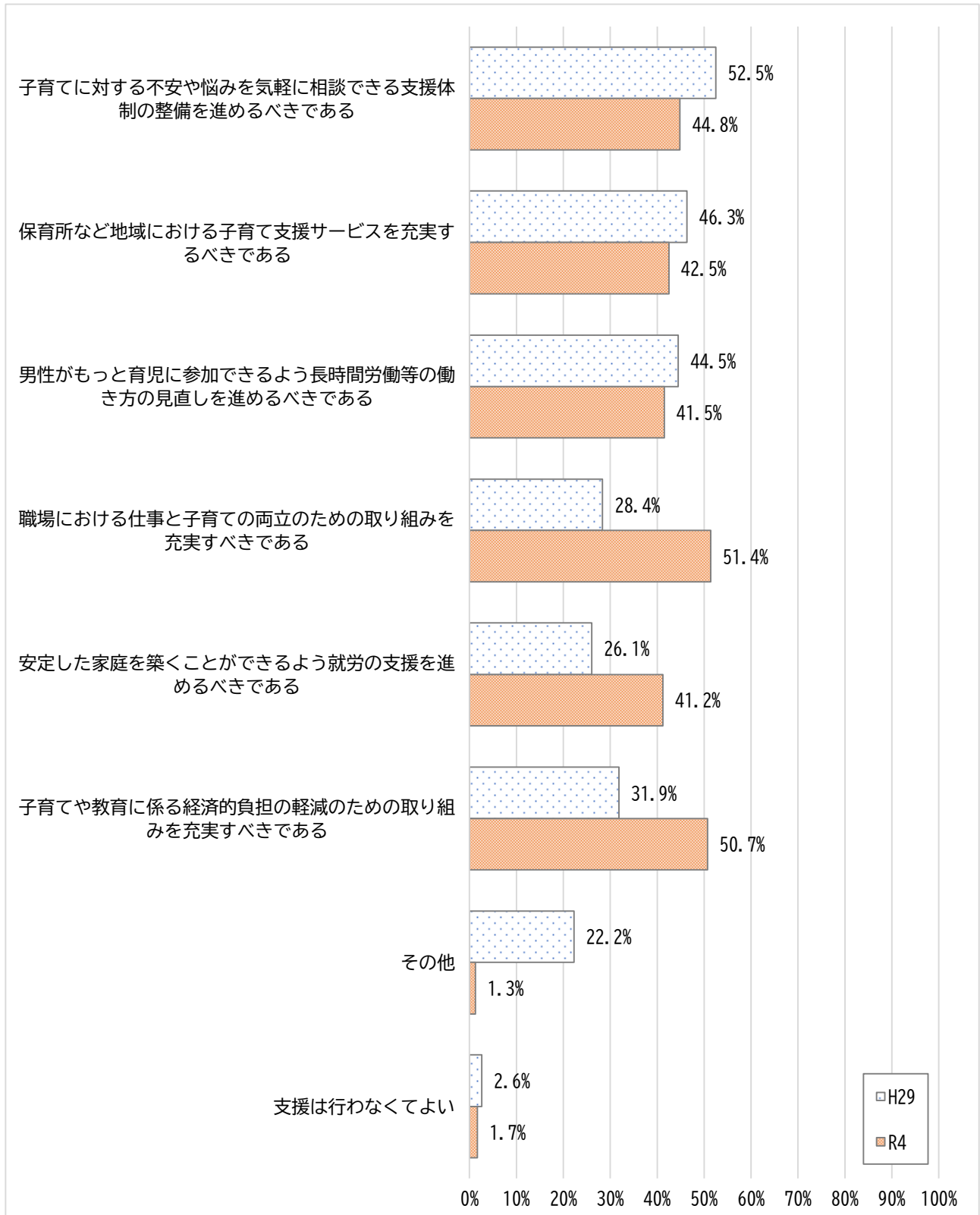
「その他」の自由回答

- 子育て支援は高校生ぐらいまでして欲しかった。小さい頃はさほどお金はかからない。大きくなればお金も沢山いる。なぜ小さい子に支援ばかりするのか意味がわからない。(40歳代男性)
- そもそも日本の人口が多すぎるので、現状維持で。(50歳代男性)
- 経済的支援の方がよいかも(50歳代女性)
- 今の時代だからこそ…(70歳以上女性)
- プレミアム商品券が子育てにはすごく助かる。…けど西松屋とかないから子育てに使うものはドラッグストアぐらいしか使えない…。(30歳代女性)
- 子供を産んだらお金を1人目より2人、3人目と多く産んだら増やしてくれる(50歳代男性)
- 子育て世代への経済の軽減と支援金の増額(30歳代女性)
- 小さい子を持ちながら女性が正職で仕事するのはまだまだ困難な現状だと思う。(50歳代女性)
- 某市が行っているような、乳幼児がいる家庭への自治体からの手厚い支援(30歳代男性)

図表 7-1 子育て支援に関する考えについて【全体及び性別】



図表 7-2 子育て支援に関する考えについて【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 7-3 子育て支援に関する考えについて【性別・年代別】

	1 子育て支援 に関する 整備の 整備を 進める べき である	2 子育て支援 に関する 整備を 進める べき である が、 地域に おいて は、 まだ 十分 でない と 思う	3 子育て支援 に関する 整備を 進める べき である が、 地域に おいて は、 まだ 十分 でない と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う	4 子育て支援 に関する 整備を 進める べき である が、 地域に おいて は、 まだ 十分 でない と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う	5 子育て支援 に関する 整備を 進める べき である が、 地域に おいて は、 まだ 十分 でない と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う	6 子育て支援 に関する 整備を 進める べき である が、 地域に おいて は、 まだ 十分 でない と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う が、 地域 の 状況 を 考慮 した 上で 必要 と 思う	7 その他	8 支援は 行わ ない	
総数 (n=718)	322 (44.8%)	305 (42.5%)	298 (41.5%)	369 (51.4%)	296 (41.2%)	364 (50.7%)	9 (1.3%)	12 (1.7%)	
性・年代別	女性 (n=409)	174 (42.5%)	164 (40.1%)	162 (39.6%)	215 (52.6%)	158 (38.6%)	197 (48.2%)	5 (1.2%)	5 (1.2%)
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	7 (30.4%)	12 (52.2%)	14 (60.9%)	15 (65.2%)	11 (47.8%)	15 (65.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=50)	20 (40.0%)	20 (40.0%)	27 (54.0%)	35 (70.0%)	19 (38.0%)	29 (58.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=71)	21 (29.6%)	25 (35.2%)	25 (35.2%)	41 (57.7%)	21 (29.6%)	35 (49.3%)	0 (0.0%)	2 (2.8%)
	50歳代 (n=110)	53 (48.2%)	40 (36.4%)	40 (36.4%)	56 (50.9%)	39 (35.5%)	49 (44.5%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)
	60歳代 (n=78)	32 (41.0%)	34 (43.6%)	23 (29.5%)	41 (52.6%)	36 (46.2%)	33 (42.3%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)
	70歳以上 (n=74)	39 (52.7%)	33 (44.6%)	30 (40.5%)	26 (35.1%)	31 (41.9%)	35 (47.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
	男性 (n=304)	146 (48.0%)	138 (45.4%)	135 (44.4%)	151 (49.7%)	134 (44.1%)	164 (53.9%)	4 (1.3%)	7 (2.3%)
	10歳代 (n=4)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	6 (35.3%)	6 (35.3%)	11 (64.7%)	9 (52.9%)	7 (41.2%)	9 (52.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=33)	14 (42.4%)	20 (60.6%)	22 (66.7%)	22 (66.7%)	17 (51.5%)	23 (69.7%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=67)	24 (35.8%)	28 (41.8%)	27 (40.3%)	39 (58.2%)	28 (41.8%)	40 (59.7%)	1 (1.5%)	3 (4.5%)
	50歳代 (n=71)	42 (59.2%)	33 (46.5%)	35 (49.3%)	37 (52.1%)	35 (49.3%)	37 (52.1%)	2 (2.8%)	1 (1.4%)
	60歳代 (n=48)	19 (39.6%)	24 (50.0%)	17 (35.4%)	22 (45.8%)	17 (35.4%)	25 (52.1%)	0 (0.0%)	2 (4.2%)
70歳以上 (n=64)	38 (59.4%)	27 (42.2%)	21 (32.8%)	21 (32.8%)	29 (45.3%)	29 (45.3%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	

4 老後の生活について

【問8】もし、あなたに介護が必要になったら、主に誰に介護をしてもらいたいですか。(SA)

【全体】

全体で見ると、「病院や老人ホームなどの施設に入所する」と回答した割合が 33.9%で最も高く、次いで「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する(23.0%)」、「配偶者(22.4%)」の順となっている。

【性別・年代別】

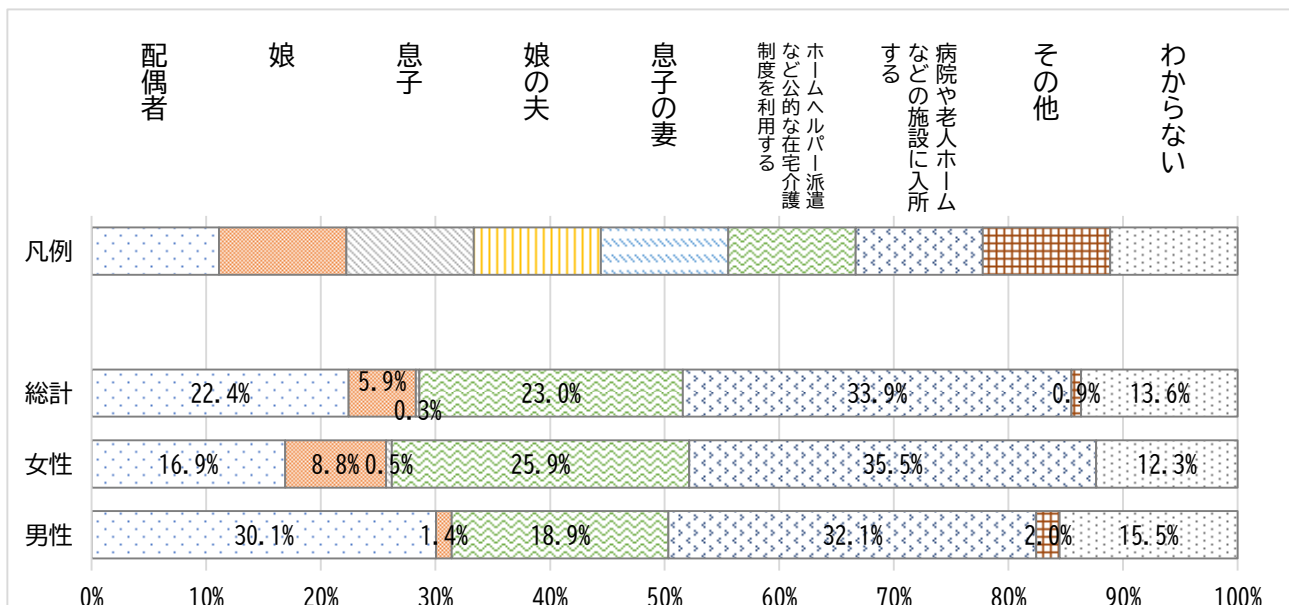
性別で見ると、「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する」、「娘」と回答した割合は、女性の方が男性よりも高く、「配偶者」と回答した割合は、男性の方が女性よりも高い。

男女ともに、年代別による傾向の差はみられない。

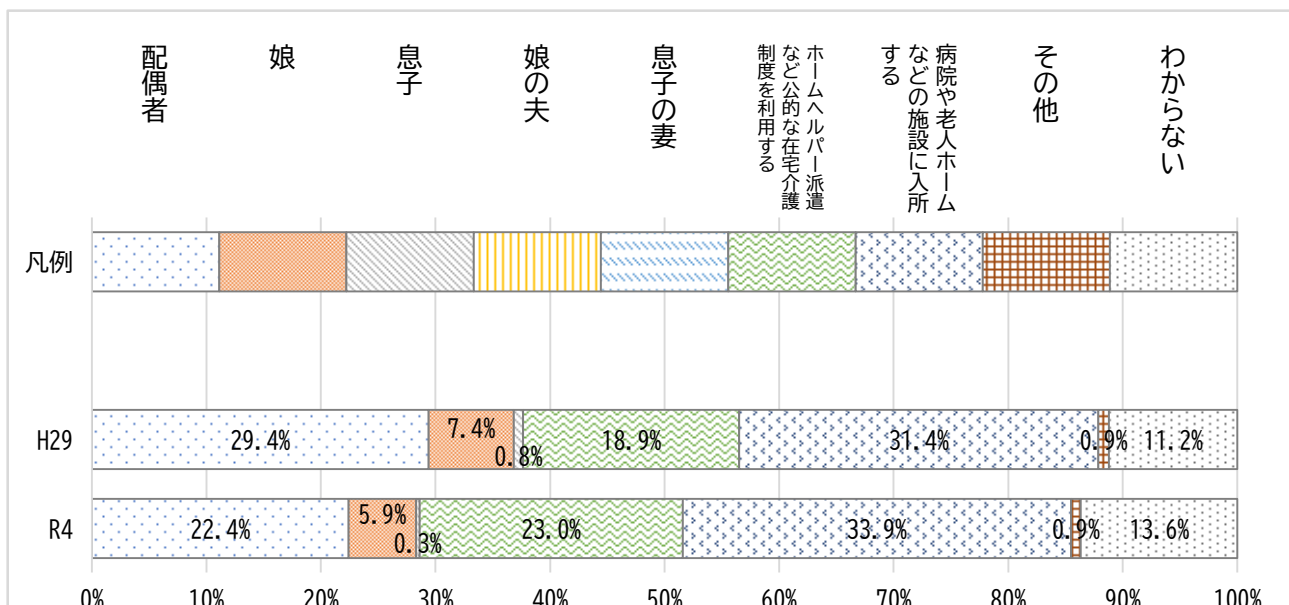
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「配偶者」と回答した割合が低下している。

図表 8-1 自分が介護してもらいたい人【全体及び性別】



図表 8-2 自分が介護してもらいたい人【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 8-3 自分が介護してもらいたい人【【性別・年代別】】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		配偶者	娘	息子	娘の夫	息子の妻	ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する	入所する施設	病院や老人ホーム	その他	わからない
総数 (n=696)		156 (22.4%)	41 (5.9%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	160 (23.0%)	236 (33.9%)	6 (0.9%)	95 (13.6%)	
性・年代別	女性 (n=397)	67 (16.9%)	35 (8.8%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	103 (25.9%)	141 (35.5%)	0 (0.0%)	49 (12.3%)	
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (36.4%)	8 (36.4%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	
	30歳代 (n=47)	7 (14.9%)	3 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (21.3%)	17 (36.2%)	0 (0.0%)	10 (21.3%)	
	40歳代 (n=70)	12 (17.1%)	3 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (20.0%)	32 (45.7%)	0 (0.0%)	9 (12.9%)	
	50歳代 (n=105)	13 (12.4%)	11 (10.5%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (22.9%)	38 (36.2%)	0 (0.0%)	18 (17.1%)	
	60歳代 (n=75)	16 (21.3%)	8 (10.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (26.7%)	26 (34.7%)	0 (0.0%)	5 (6.7%)	
	70歳以上 (n=75)	17 (22.7%)	8 (10.7%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (33.3%)	20 (26.7%)	0 (0.0%)	4 (5.3%)	
	男性 (n=296)	89 (30.1%)	4 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (18.9%)	95 (32.1%)	6 (2.0%)	46 (15.5%)	
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	
	20歳代 (n=17)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (35.3%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	
	30歳代 (n=33)	6 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (21.2%)	12 (36.4%)	1 (3.0%)	7 (21.2%)	
	40歳代 (n=66)	13 (19.7%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (16.7%)	23 (34.8%)	3 (4.5%)	15 (22.7%)	
	50歳代 (n=71)	23 (32.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (21.1%)	22 (31.0%)	2 (2.8%)	9 (12.7%)	
	60歳代 (n=47)	18 (38.3%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (19.1%)	13 (27.7%)	0 (0.0%)	6 (12.8%)	
70歳以上 (n=58)	25 (43.1%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (13.8%)	20 (34.5%)	0 (0.0%)	3 (5.2%)		

5 就業について

※ふだん収入になる仕事（1年間に30日以上）をしている方のみ回答

【問9】あなたが現在、仕事をしているのは、どのような理由からですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「生計を維持するため」と回答した割合が75.3%で最も高く、次いで「将来に備えて貯蓄するため(44.6%)」、「自分で自由に使えるお金を得るため(43.5%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男女とも「生計を維持するため」と回答した割合が最も高くなっており、特に男性の回答割合が高くなっている。他にも「働くのが当然だから」や「住宅ローンなどの返済のため」、「社会に貢献するため」では、男性の回答割合が高く、「家計の足しにするため」は、女性の回答割合が高い。

また、年代別も踏まえてみると、男女とも70歳以上で「生きがいを得るため」と回答した割合が他の世代と比較して高くなっている。

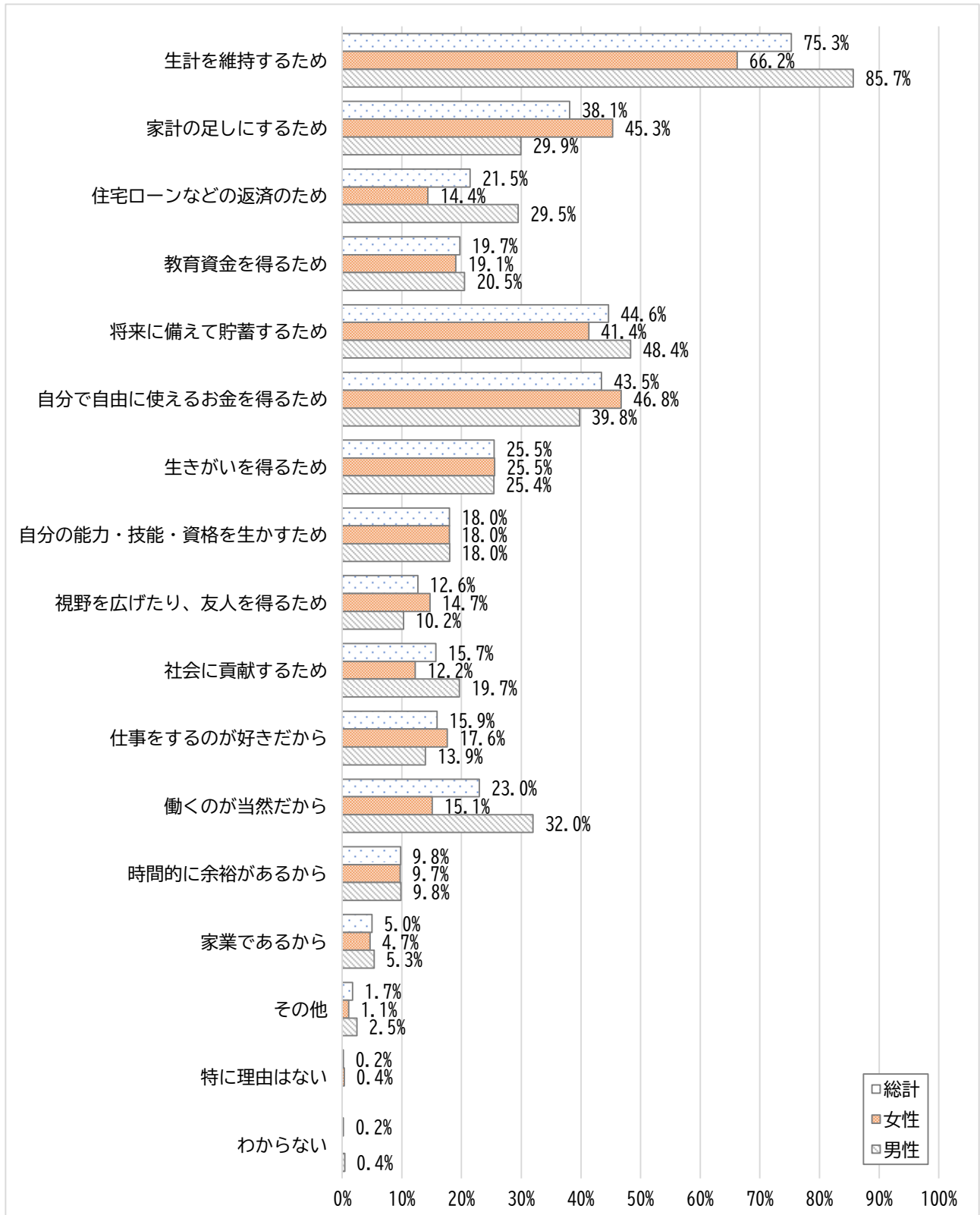
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「自分で自由に使えるお金を得るため」、「将来に備えて貯蓄するため」と回答した割合が上昇し、「家業であるから」と回答した割合が低下している。

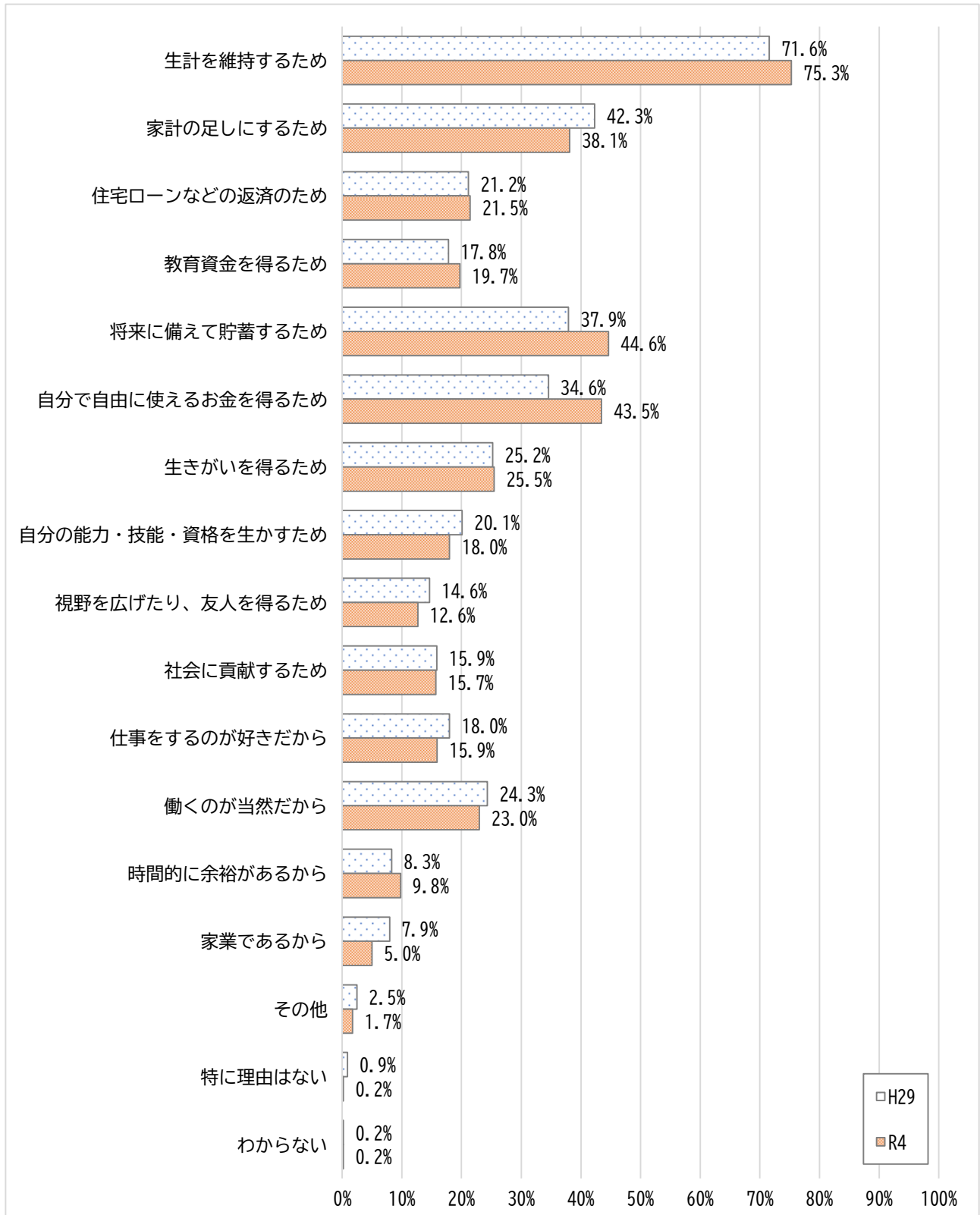
「その他」の自由回答

- 義務(40歳代男性)
- 健康のために(60歳代男性)
- 夢を叶えるため(10歳代男性)
- 認知症防止の為(70歳以上女性)
- ぼけない為(60歳代男性)
- 家族の為(60歳代男性)
- 親が残した田畑を何とか荒らさない為(70歳以上男性)
- 自分の生きる意味と、人の助けになりたいから。(40歳代女性)
- 親孝行するため(10歳代女性)

図表 9-1 就業している理由【全体及び性別】



図表 9-2 就業している理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 9-3 就業している理由【性別・年代別】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		た生 め計 を維 持す る	る家 た計 の足 しに す	の住 返宅 のの ため など	た教 育資 金を 得る	蓄将 す来 るに 備え て貯	たえ る自 分お 金で 自由 に使	た生 きが いを 得る	す能 た自 分資 格能 力を 生・技	たり 視野 をを 広げ た	た社 会に 貢献 する	好仕 事だ から	から 働の のが 当然 だ	ある 間の から 余裕 が	家業 である から	
総数 (n=522)		393 (75.3%)	199 (38.1%)	112 (21.5%)	103 (19.7%)	233 (44.6%)	227 (43.5%)	133 (25.5%)	94 (18.0%)	66 (12.6%)	82 (15.7%)	83 (15.9%)	120 (23.0%)	51 (9.8%)	26 (5.0%)	
性・年代別	女性 (n=278)	184 (66.2%)	126 (45.3%)	40 (14.4%)	53 (19.1%)	115 (41.4%)	130 (46.8%)	71 (25.5%)	50 (18.0%)	41 (14.7%)	34 (12.2%)	49 (17.6%)	42 (15.1%)	27 (9.7%)	13 (4.7%)	
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=21)	15 (71.4%)	5 (23.8%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	11 (52.4%)	13 (61.9%)	5 (23.8%)	7 (33.3%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	3 (14.3%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=40)	33 (82.5%)	18 (45.0%)	14 (35.0%)	17 (42.5%)	18 (45.0%)	22 (55.0%)	9 (22.5%)	8 (20.0%)	5 (12.5%)	8 (20.0%)	8 (20.0%)	5 (12.5%)	3 (7.5%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=57)	36 (63.2%)	30 (52.6%)	11 (19.3%)	18 (31.6%)	25 (43.9%)	25 (43.9%)	12 (21.1%)	10 (17.5%)	7 (12.3%)	7 (12.3%)	13 (22.8%)	13 (22.8%)	4 (7.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=96)	69 (71.9%)	44 (45.8%)	11 (11.5%)	14 (14.6%)	43 (44.8%)	45 (46.9%)	24 (25.0%)	15 (15.6%)	16 (16.7%)	14 (14.6%)	14 (14.6%)	15 (15.6%)	4 (4.2%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=45)	24 (53.3%)	23 (51.1%)	3 (6.7%)	1 (2.2%)	15 (33.3%)	19 (42.2%)	14 (31.1%)	8 (17.8%)	7 (15.6%)	1 (2.2%)	7 (15.6%)	3 (6.7%)	15 (33.3%)	4 (8.9%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=16)	6 (37.5%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)	3 (18.8%)	6 (37.5%)	1 (6.3%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=244)	209 (85.7%)	73 (29.9%)	72 (29.5%)	50 (20.5%)	118 (48.4%)	97 (39.8%)	62 (25.4%)	44 (18.0%)	25 (10.2%)	48 (19.7%)	34 (13.9%)	78 (32.0%)	24 (9.8%)	13 (5.3%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=1)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=14)	11 (78.6%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	8 (57.1%)	7 (50.0%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=31)	31 (100.0%)	12 (38.7%)	10 (32.3%)	9 (29.0%)	20 (64.5%)	21 (67.7%)	8 (25.8%)	5 (16.1%)	4 (12.9%)	5 (16.1%)	5 (16.1%)	10 (32.3%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=62)	58 (93.5%)	22 (35.5%)	22 (35.5%)	22 (35.5%)	30 (48.4%)	23 (37.1%)	16 (25.8%)	13 (21.0%)	6 (9.7%)	12 (19.4%)	7 (11.3%)	26 (41.9%)	0 (0.0%)	3 (4.8%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=69)	64 (92.8%)	16 (23.2%)	30 (43.5%)	15 (21.7%)	41 (59.4%)	27 (39.1%)	13 (18.8%)	13 (18.8%)	7 (10.1%)	13 (18.8%)	8 (11.6%)	26 (37.7%)	2 (2.9%)	5 (7.2%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=39)	32 (82.1%)	13 (33.3%)	8 (20.5%)	0 (0.0%)	14 (35.9%)	11 (28.2%)	8 (20.5%)	6 (15.4%)	3 (7.7%)	8 (20.5%)	9 (23.1%)	8 (20.5%)	10 (25.6%)	3 (7.7%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=28)	13 (46.4%)	8 (28.6%)	2 (7.1%)	1 (3.6%)	5 (17.9%)	8 (28.6%)	13 (46.4%)	4 (14.3%)	4 (14.3%)	3 (10.7%)	4 (14.3%)	4 (14.3%)	10 (35.7%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	

		15 そ の 他	16 特 に 理 由 は な い	17 わ か ら な い
総数 (n=522)		9 (1.7%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)
性・年代別	女性 (n=278)	3 (1.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=21)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=40)	0 (0.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=57)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=96)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=45)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=16)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=244)	6 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
	10歳代 (n=1)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=14)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)
	30歳代 (n=31)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=62)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=69)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=39)	3 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=28)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

【問10】 あなたの今の職場では、仕事の内容などで性別によって待遇に差があると思いますか。(SA)

【全体】

全体でみると、「そのようなことはないと思う」と回答した割合が 53.4%で最も高く、次いで「差があると思う (29.0%)」、「わからない (17.6%)」の順となっている。

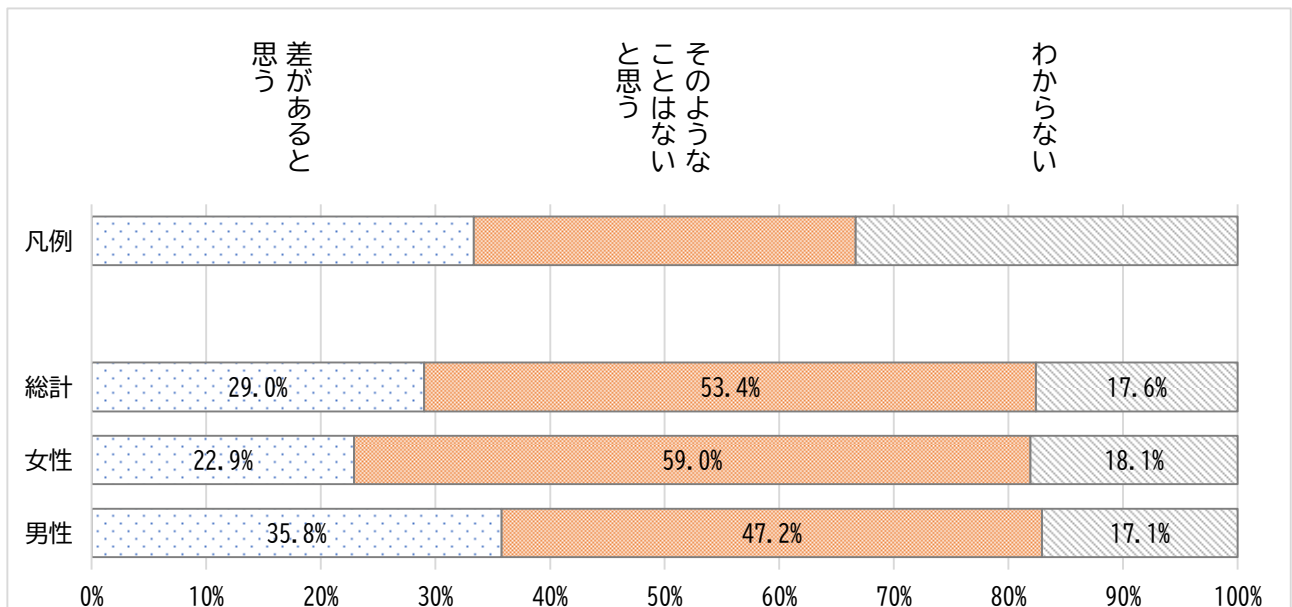
【性別・年代別】

性別でみると、「差があると思う」と回答した割合は、男性の方が高くなっている。また、年代別による傾向の差はみられない。

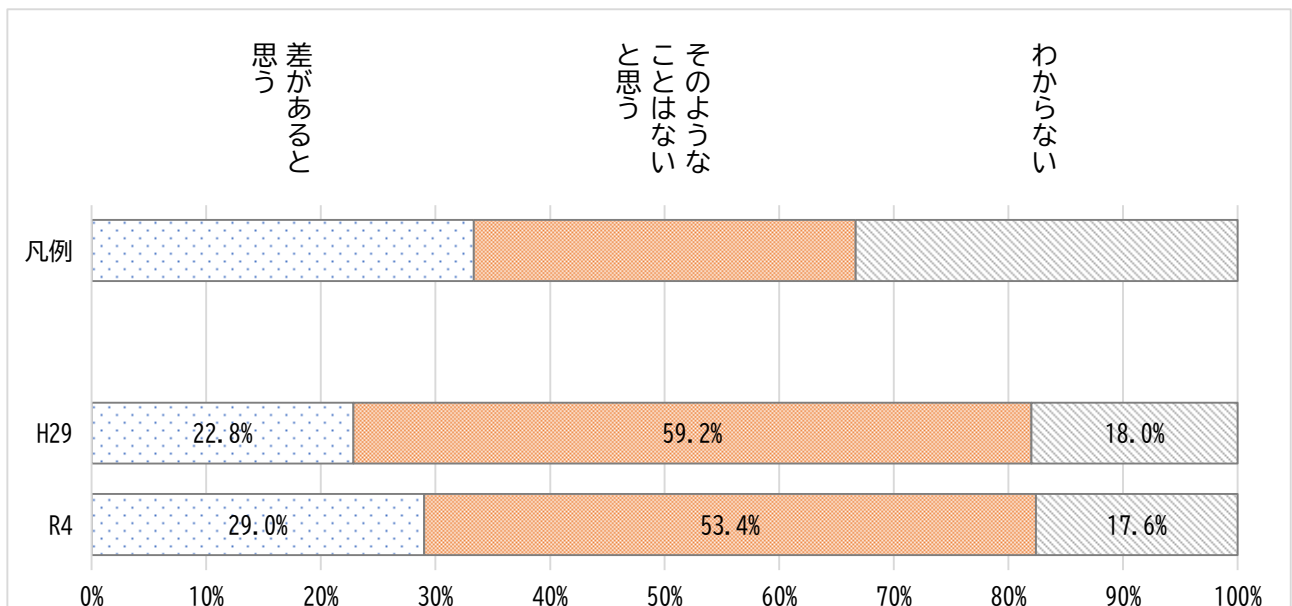
【前回調査との比較】

前回調査との比較においても、傾向の差はみられない。

図表 10-1 職場で性別によって処遇に差があるか【全体及び性別】



図表 10-2 職場で性別によって処遇に差があるか【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 10-3 職場で性別によって処遇に差があるか【性別・年代別】

		1	2	3
		差があると思う	はさなまいと思うこと	わからない
総数 (n=517)		150 (29.0%)	276 (53.4%)	91 (17.6%)
性・年代別	女性 (n=271)	62 (22.9%)	160 (59.0%)	49 (18.1%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	7 (31.8%)	12 (54.5%)	3 (13.6%)
	30歳代 (n=41)	13 (31.7%)	22 (53.7%)	6 (14.6%)
	40歳代 (n=55)	10 (18.2%)	33 (60.0%)	12 (21.8%)
	50歳代 (n=92)	21 (22.8%)	53 (57.6%)	18 (19.6%)
	60歳代 (n=45)	8 (17.8%)	28 (62.2%)	9 (20.0%)
	70歳以上 (n=13)	3 (23.1%)	9 (69.2%)	1 (7.7%)
	男性 (n=246)	88 (35.8%)	116 (47.2%)	42 (17.1%)
	10歳代 (n=1)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=15)	5 (33.3%)	5 (33.3%)	5 (33.3%)
	30歳代 (n=31)	11 (35.5%)	13 (41.9%)	7 (22.6%)
	40歳代 (n=63)	29 (46.0%)	24 (38.1%)	10 (15.9%)
	50歳代 (n=71)	24 (33.8%)	31 (43.7%)	16 (22.5%)
	60歳代 (n=38)	13 (34.2%)	22 (57.9%)	3 (7.9%)
70歳以上 (n=27)	6 (22.2%)	20 (74.1%)	1 (3.7%)	

※【問10】で「1 差があると思う」を選んだ方のみ回答

【問11】それは具体的にどのようなことですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「賃金に差がある」と回答した割合が 55.0%で最も高く、次いで「昇進、昇格に差がある(38.9%)」、「能力を正當に評価しない(36.9%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、「賃金に差がある」と回答した割合は、女性が高く、「補助的な仕事しかやらせてもらえない」と回答した割合は、男性が高くなっている。

年代別でみると、サンプル数の少なさからばらつきが見られるものの、大きな傾向の差はみられない。

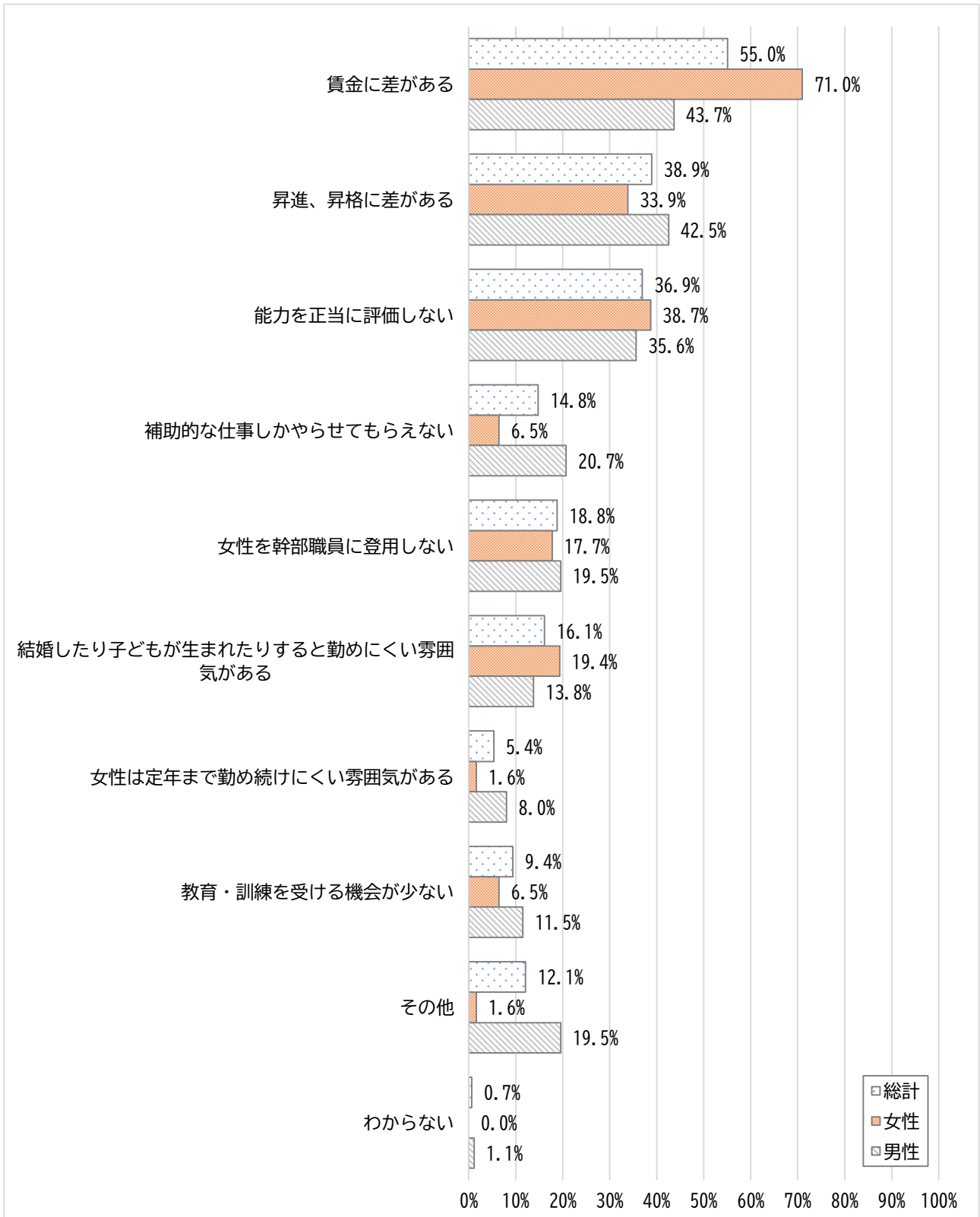
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「わからない」と回答した割合が低下しているものの、そのほかの項目に傾向の差はみられない。

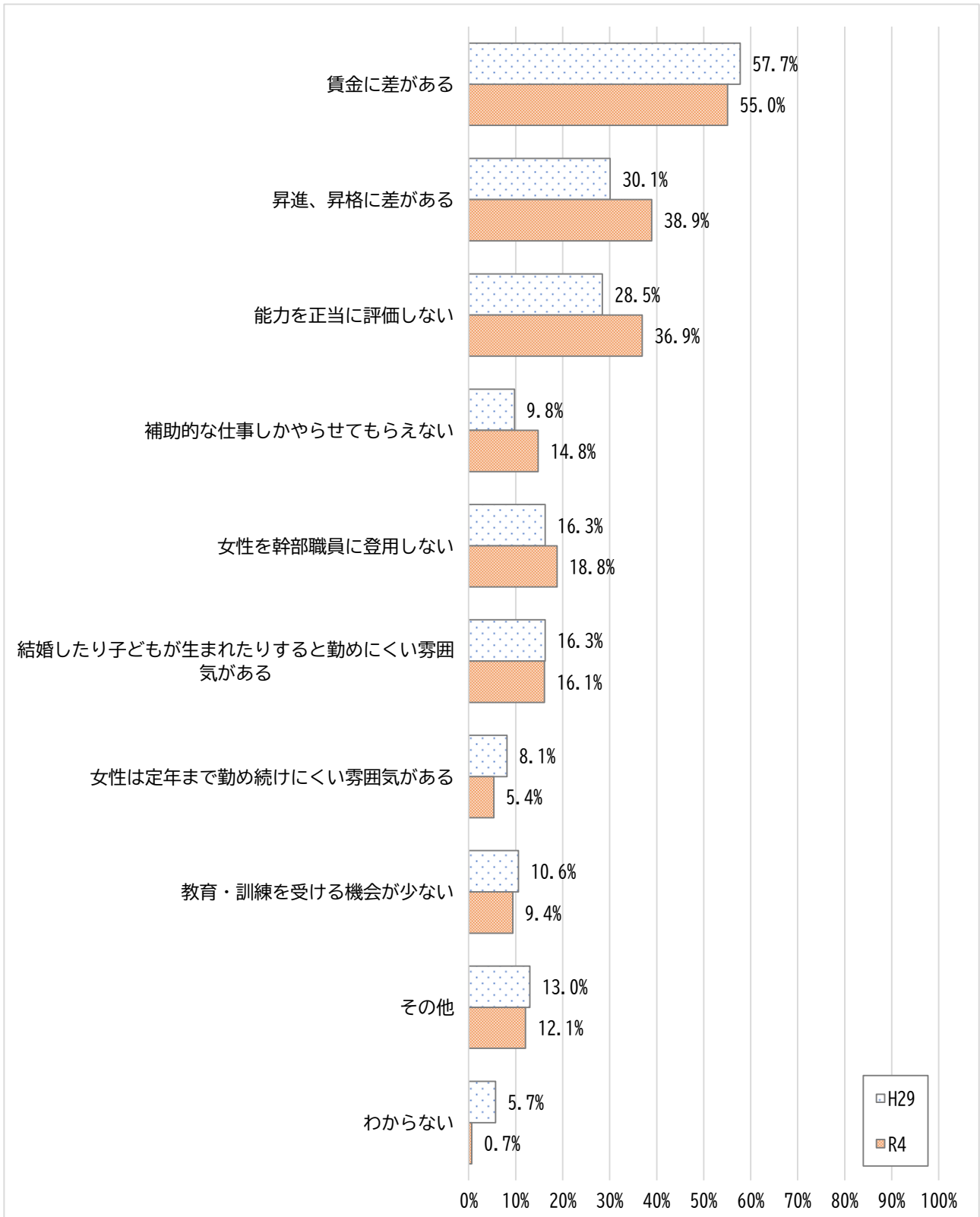
「その他」の自由回答

- 本人が希望しない(家庭がある為) (40歳代男性)
- 女に甘い(50歳代男性)
- 業務内容(50歳代男性)
- 女性がより高度な仕事をしながらない(補助的な仕事を望む傾向もある) ⇔ 家庭・育児との両立の問題もある(60歳代男性)
- 体力的な問題で、女性は気を遣われて作業を任せてもらえない。(30歳代男性)
- 力仕事が多い(30歳代男性)
- 仕事内容の適性で区別されそう。(60歳代男性)
- 特定の性の方が多い部署がある(30歳代男性)
- 施設・設備上、女性が働く事が困難。トイレ、更衣室などの問題で。(30歳代女性)
- 高齢になると賃金が安くなるのは何故か? 仕事内容は同じのはず。(60歳代女性)
- 応援を出してもスルーされる。応援要請があればこちらは出る。(30歳代男性)
- 農業の知識と力仕事が多い事(70歳以上男性)
- ボーナスが社員以外出ない(50歳代男性)
- 肉体労働が主である為(30歳代男性)
- 仕事の分担(40歳代男性)
- 女性は配属部署の希望が通りにくい(20歳代男性)

図表 11-1 処遇の差の具体的内容【全体及び性別】



図表 11-2 処遇の差の具体的内容【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 11-3 処遇の差の具体的内容【性別・年代別】

	1 賃 金 に 差 が あ る	2 が 昇 進 、 昇 格 に 差	3 価 能 し な い 正 当 に 評	4 え か 補 な い 的 な 仕 事 ら し	5 に 女 性 を 幹 部 職 員	6 る め に く い 霧 困 気 が あ る	7 霧 困 気 が あ る	8 女 性 は 定 年 ま で	9 い け 教 育 機 会 が 少 な い	10 わ か ら な い	
総数 (n=149)	82 (55.0%)	58 (38.9%)	55 (36.9%)	22 (14.8%)	28 (18.8%)	24 (16.1%)	8 (5.4%)	14 (9.4%)	18 (12.1%)	1 (0.7%)	
性・年代別	女性 (n=62)	44 (71.0%)	21 (33.9%)	24 (38.7%)	4 (6.5%)	11 (17.7%)	12 (19.4%)	1 (1.6%)	4 (6.5%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=7)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=13)	8 (61.5%)	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=10)	9 (90.0%)	5 (50.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=21)	14 (66.7%)	6 (28.6%)	12 (57.1%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=8)	8 (100.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=87)	38 (43.7%)	37 (42.5%)	31 (35.6%)	18 (20.7%)	17 (19.5%)	12 (13.8%)	7 (8.0%)	10 (11.5%)	17 (19.5%)	1 (1.1%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=5)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=11)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)
	40歳代 (n=29)	12 (41.4%)	12 (41.4%)	14 (48.3%)	9 (31.0%)	6 (20.7%)	6 (20.7%)	4 (13.8%)	3 (10.3%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=23)	11 (47.8%)	11 (47.8%)	8 (34.8%)	3 (13.0%)	7 (30.4%)	3 (13.0%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)	3 (13.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=13)	10 (76.9%)	6 (46.2%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=6)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	

※ふだん収入になる仕事をしていない方のみ回答

【問 12】あなたが現在、仕事をしていないのは、どのような理由からですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「高齢だから」と回答した割合が 47.4%で最も高く、次いで「健康や体力に自信がないから(31.2%)」、「その他(16.2%)」の順となっている。

【性別・年代別】

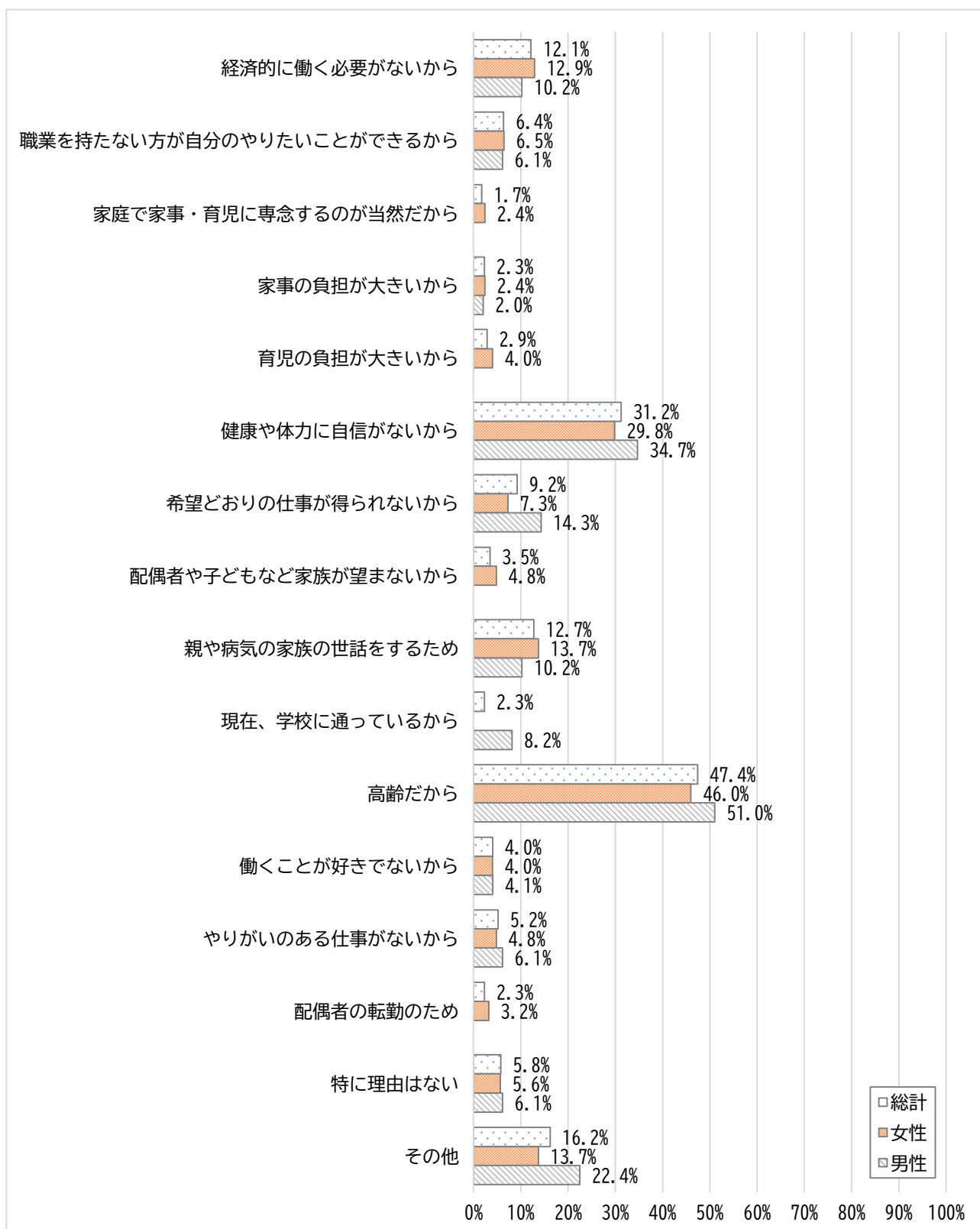
性別による傾向の差はみられない。

年代別では、サンプル数が少ないため有意な傾向を検出できない。

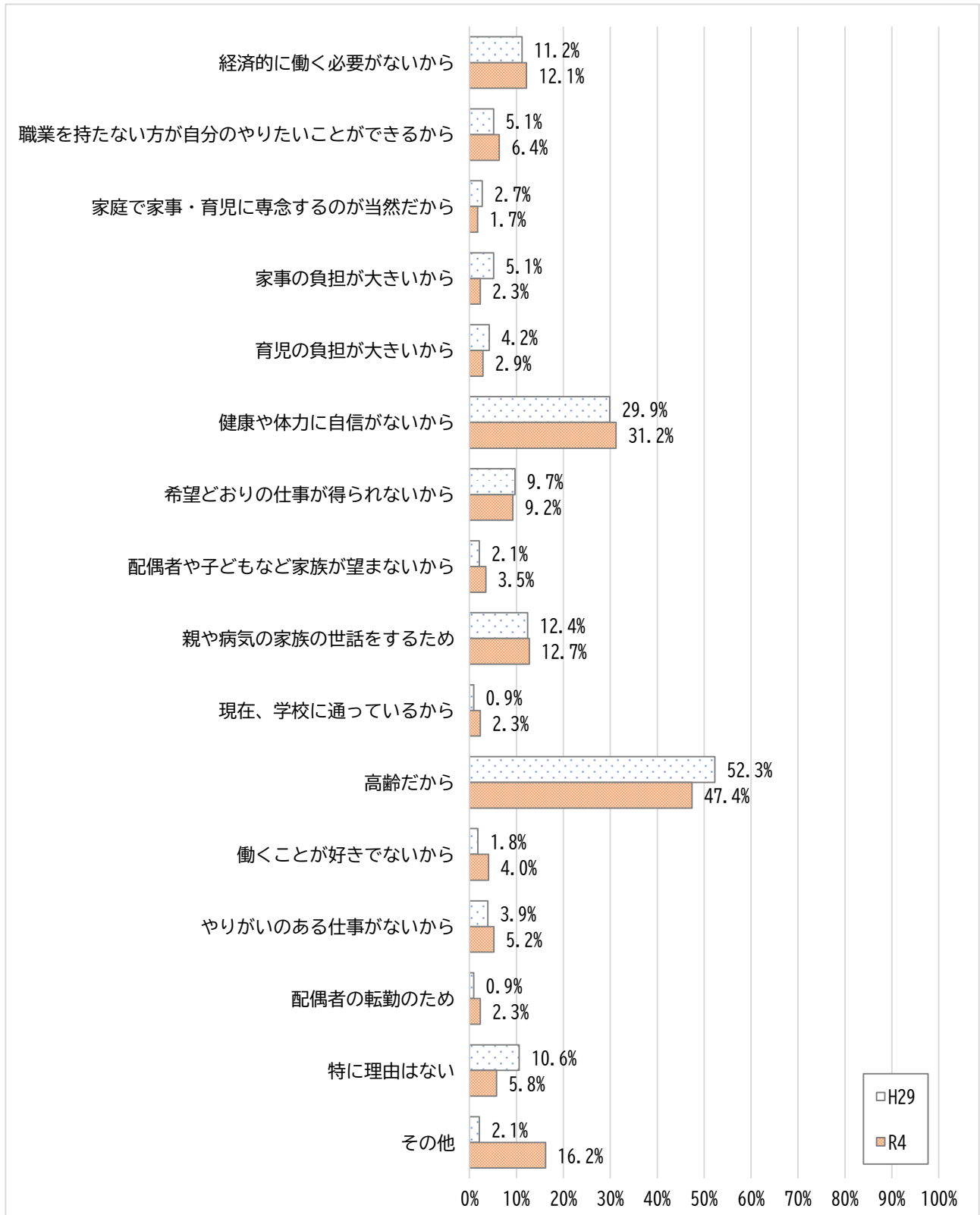
【前回調査との比較】

前回調査との比較は、「その他」と回答した割合が上昇しているものの、そのほかの項目に傾向の差はみられない。

図表 12-1 収入になる仕事をしていない理由【全体及び性別】



図表 12-2 収入になる仕事をしていない理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 12-3 収入になる仕事をしていない理由【性別・年代別】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
		要 経 済 的 に か 働 ら ず 必 ず	こ が 自 業 を 持 た な い か ら	職 業 を 専 念 し た か ら	家 庭 で 専 門 的 に 働 か な い か ら	家 事 の 負 担 が 大 き い か ら	育 児 の 負 担 が 大 き い か ら	健 康 な い か ら	事 務 が お り な い か ら	希 望 し た か ら	な い か ら	配 偶 者 や 子 ど も の 世 話 を す る か ら	親 や 病 気 を す る か ら	通 現 在 、 学 校 に ら い る か ら	高 齢 だ か ら	で 働 か な い か ら	仕 事 が な い か ら	や り が た い か ら	配 偶 者 の 転 勤 の た め
総数 (n=173)		21 (12.1%)	11 (6.4%)	3 (1.7%)	4 (2.3%)	5 (2.9%)	54 (31.2%)	16 (9.2%)	6 (3.5%)	22 (12.7%)	4 (2.3%)	82 (47.4%)	7 (4.0%)	9 (5.2%)	4 (2.3%)				
性・年代別	女性 (n=124)	16 (12.9%)	8 (6.5%)	3 (2.4%)	3 (2.4%)	5 (4.0%)	37 (29.8%)	9 (7.3%)	6 (4.8%)	17 (13.7%)	0 (0.0%)	57 (46.0%)	5 (4.0%)	6 (4.8%)	4 (3.2%)				
	10歳代 (n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	20歳代 (n=1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	30歳代 (n=11)	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	1	2				
	40歳代 (n=12)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	4 (33.3%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)				
	50歳代 (n=11)	0	0	0	1	1	4	2	1	4	0	0	0	1	0				
	60歳代 (n=32)	5 (15.6%)	5 (15.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (37.5%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	9 (28.1%)	0 (0.0%)	9 (28.1%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)				
	70歳以上 (n=57)	8 (14.0%)	2 (3.5%)	2 (3.5%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	17 (29.8%)	3 (5.3%)	2 (3.5%)	3 (5.3%)	0 (0.0%)	48 (84.2%)	2 (3.5%)	2 (3.5%)	0 (0.0%)				
	男性 (n=49)	5 (10.2%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	17 (34.7%)	7 (14.3%)	0 (0.0%)	5 (10.2%)	4 (8.2%)	25 (51.0%)	2 (4.1%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)				
	10歳代 (n=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0				
	20歳代 (n=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0				
	30歳代 (n=2)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0				
	40歳代 (n=4)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0				
	50歳代 (n=3)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0				
60歳代 (n=9)	0	1	0	0	0	2	3	0	3	0	4	1	1	0					
70歳以上 (n=27)	5 (18.5%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	12 (44.4%)	3 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	21 (77.8%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)					

		15 特 に 理 由 は な い	16 そ の 他
総数 (n=173)		10 (5.8%)	28 (16.2%)
性・年代別	女性 (n=124)	7 (5.6%)	17 (13.7%)
	10歳代 (n=0)	0	0
	20歳代 (n=1)	0	0
	30歳代 (n=11)	2 (18.2%)	4 (36.4%)
	40歳代 (n=12)	1 (8.3%)	2 (16.7%)
	50歳代 (n=11)	1 (9.1%)	3 (27.3%)
	60歳代 (n=32)	2 (6.3%)	5 (15.6%)
	70歳以上 (n=57)	1 (1.8%)	3 (5.3%)
	男性 (n=49)	3 (6.1%)	11 (22.4%)
	10歳代 (n=2)	0	0
	20歳代 (n=2)	0	0
	30歳代 (n=2)	0	2 (100.0%)
	40歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)
	50歳代 (n=3)	0	1 (33.3%)
60歳代 (n=9)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	
70歳以上 (n=27)	1 (3.7%)	4 (14.8%)	

【問 13】 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(SA)

【全体】

全体でみると、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」と回答した割合が 37.6%で最も高く、次いで「女性が仕事をもつことは当然である(16.0%)」、「わからない(12.3%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別による傾向の差はみられない。

年代別でみると、女性では、40 歳代の「女性が仕事をもつことは当然である」と回答した割合が高く、70 歳以上の「結婚するまでは仕事をもつ方がよい」、「子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい」と回答した割合が高くなっている。

男性では、年代別による傾向の差はみられない。

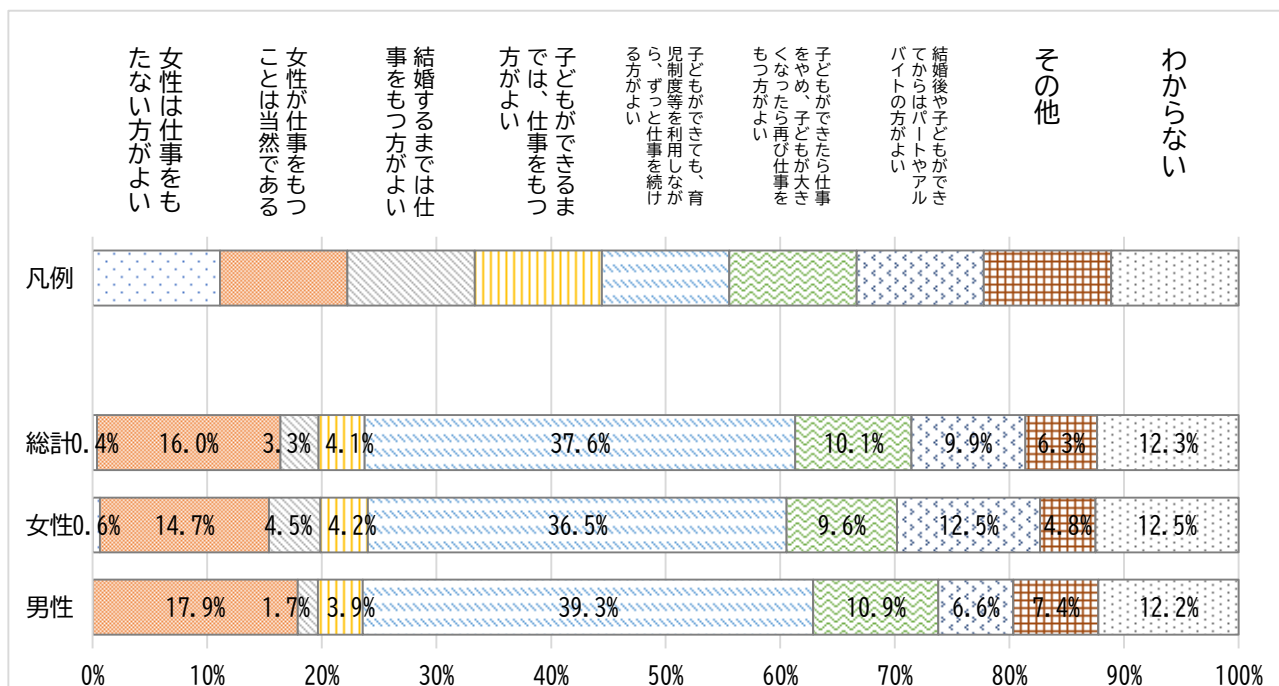
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「女性が仕事をもつことは当然である」、「わからない」、「その他」と回答した割合が上昇し、「子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい」と回答した割合が低下している。

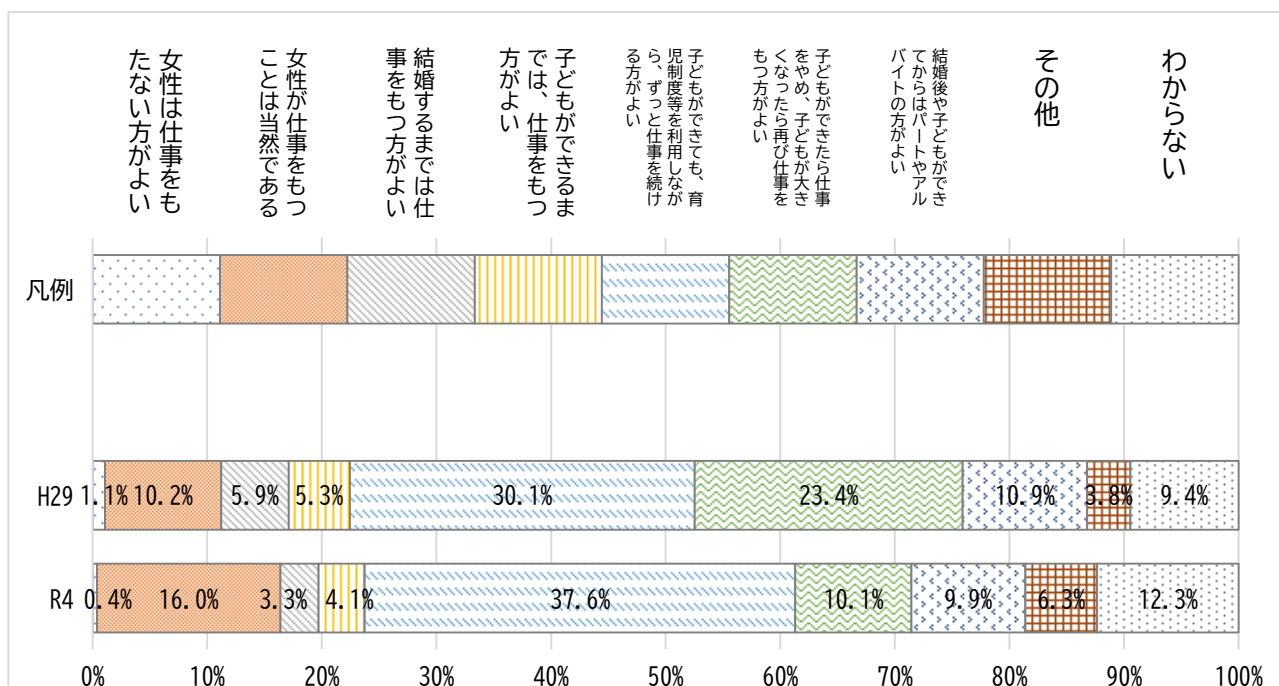
「その他」の自由回答

- 本人の考え次第 (30 歳代男性)
- 個人の自由である (40 歳代男性)
- 生きるため (40 歳代女性)
- 個人の自由 (30 歳代男性)
- 現状⑦。そうせざるをえない。(40 歳代女性)
- 女性の考えとパートナーの考えしだい。(年齢・性別不詳)
- 本人次第 (40 歳代女性)
- どちらでもいいと思う (年齢・性別不詳)
- 本人の好きにしたらいい (30 歳代男性)
- すきにさせる、本人の意志しだい (50 歳代男性)
- 本人の意志でよい。(50 歳代男性)
- 個人差によって違う (70 歳以上男性)
- 本人の意志 (50 歳代男性)
- 自由に選んで働く方が良い！！ (50 歳代男性)
- 仕事をしなくてもいい人はしなくていいし、仕事したい人はすればいい。仕事をしなければいけない人が多いのではないか。(50 歳代男性)
- 必要に迫られて (60 歳代女性)
- 仕事を続けたい人は仕事を続けられるように。結婚、出産を機に仕事をやめ、専業主婦になりたい人はそうなるように。ひとりひとりの女性がそれぞれ自分のライフプラン・ライフスタイルに合わせながら仕事が出来れば良い。(20 歳代女性)
- 本人の自由 (40 歳代女性)
- 個人の自由だと思う。(30 歳代女性)
- 女性が仕事を必要とするならば、仕事に就けば良い (50 歳代男性)
- 仕事をもつ、もたないは個人(本人、当事者)の自由である (20 歳代女性)
- 状況に応じて、これといった答えはない (50 歳代男性)
- 仕事をするしないは個人の自由です。子育てをしながらでも支援や男性の協力が十分にある社会をつくって欲しいです。(60 歳代女性)
- 働きたい人は働けばいい。その人の自由。(30 歳代女性)
- 自由でよい (40 歳代女性)
- 生活のためなどではなく働きたいのであれば仕事をもつことはよいと思う (30 歳代女性)
- その時の状況を踏まえ自分の意志で働く働かないを決めれば良いと思う (40 歳代男性)
- 自分の意志で好きにすればいいと思う (30 歳代女性)
- それぞれの家庭で決めるのが良いと思う。(30 歳代女性)
- 個人の自由だと思う (30 歳代女性)
- 状況に関わらず、本人の意志を尊重すべき他人がとやかく言う問題ではない (30 歳代男性)
- 義務教育中はパートの方が都合が良い (40 歳代男性)

図表 13-1 女性の就労に対する考え方【全体及び性別】



図表 13-2 女性の就労に対する考え方【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 13-3 女性の就労に対する考え方【性別・年代別】

	1 た女 な性 いは 方が 事よ いも	2 あつ るこ とが は仕 当事 然を でも	3 よ仕 い事 をす もつ 方で がは	4 もま つで 方は が、 よ仕 い事 を	5 をな 続け る方 がよ い	6 子育 児制 度も がで きて も	7 大事 子を くや めな つた ら再 びが 仕	8 いア ルバ イト の方 がよ い	9 結 婚後 はや い子 ども が	その他	わ か ら な い
総数 (n=543)	2 (0.4%)	87 (16.0%)	18 (3.3%)	22 (4.1%)	204 (37.6%)	55 (10.1%)	54 (9.9%)	34 (6.3%)	67 (12.3%)		
性・年代別	女性 (n=312)	2 (0.6%)	46 (14.7%)	14 (4.5%)	13 (4.2%)	114 (36.5%)	30 (9.6%)	39 (12.5%)	15 (4.8%)	39 (12.5%)	
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	20歳代 (n=18)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	8 (44.4%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	
	30歳代 (n=43)	0 (0.0%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (39.5%)	3 (7.0%)	5 (11.6%)	6 (14.0%)	8 (18.6%)	
	40歳代 (n=57)	0 (0.0%)	15 (26.3%)	2 (3.5%)	1 (1.8%)	17 (29.8%)	2 (3.5%)	7 (12.3%)	5 (8.8%)	8 (14.0%)	
	50歳代 (n=87)	1 (1.1%)	13 (14.9%)	4 (4.6%)	1 (1.1%)	31 (35.6%)	11 (12.6%)	12 (13.8%)	0 (0.0%)	14 (16.1%)	
	60歳代 (n=55)	0 (0.0%)	8 (14.5%)	1 (1.8%)	4 (7.3%)	23 (41.8%)	8 (14.5%)	7 (12.7%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	
	70歳以上 (n=49)	1 (2.0%)	4 (8.2%)	6 (12.2%)	6 (12.2%)	16 (32.7%)	6 (12.2%)	5 (10.2%)	0 (0.0%)	5 (10.2%)	
	男性 (n=229)	0 (0.0%)	41 (17.9%)	4 (1.7%)	9 (3.9%)	90 (39.3%)	25 (10.9%)	15 (6.6%)	17 (7.4%)	28 (12.2%)	
	10歳代 (n=2)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	
	20歳代 (n=13)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	
	30歳代 (n=28)	0 (0.0%)	4 (14.3%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	9 (32.1%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	4 (14.3%)	5 (17.9%)	
	40歳代 (n=55)	0 (0.0%)	13 (23.6%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	21 (38.2%)	6 (10.9%)	5 (9.1%)	3 (5.5%)	5 (9.1%)	
	50歳代 (n=59)	0 (0.0%)	11 (18.6%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	24 (40.7%)	6 (10.2%)	3 (5.1%)	7 (11.9%)	7 (11.9%)	
	60歳代 (n=31)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	1 (3.2%)	1 (3.2%)	18 (58.1%)	4 (12.9%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	
70歳以上 (n=41)	0 (0.0%)	6 (14.6%)	2 (4.9%)	3 (7.3%)	12 (29.3%)	8 (19.5%)	3 (7.3%)	3 (7.3%)	4 (9.8%)		

【問 14】あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「育児・介護休業制度の普及」と回答した割合が 37.6%で最も高く、次いで「家族や夫の理解・協力(33.8%)」、「労働条件の整備[労働時間短縮、フレックスタイム制の普及](29.2%)」の順となっている。

【性別・年代別】

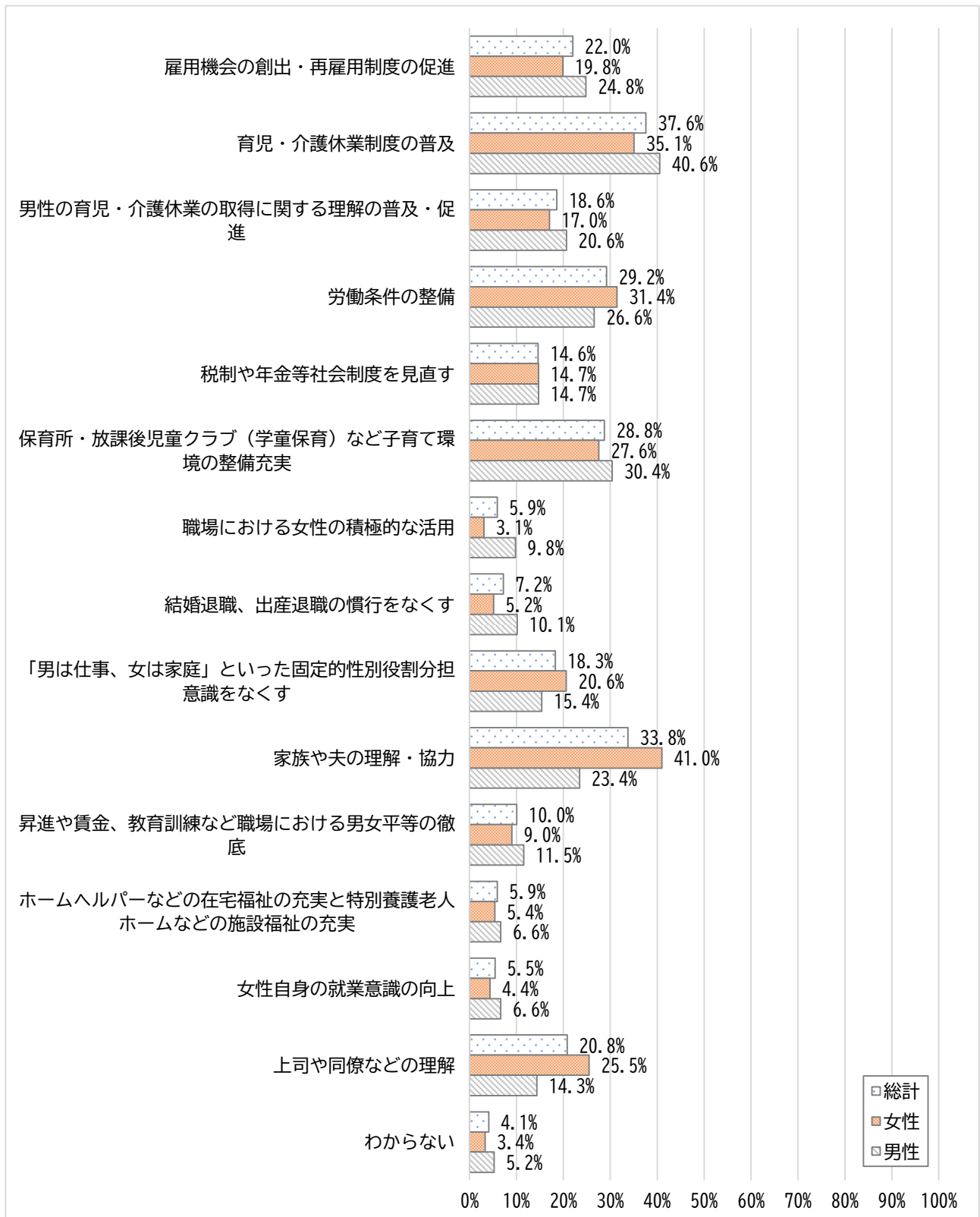
性別でみると、女性は、「家族や夫の理解・協力」、「上司や同僚などの理解」と回答した割合が男性よりも高く、男性は、「結婚退職、出産退職の慣行をなくす」、「職場における女性の積極的な活用」と回答した割合が女性よりも高くなっている。

年代別も踏まえてみると、女性の 40 歳以上は、「家族や夫の理解・協力」との回答が最も高く、男性の 10 歳代と 30 歳代は、「保育所・放課後児童クラブ(学童保育)など子育て環境の整備充実」、60 歳代は、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」と回答した割合が最も高くなっている。

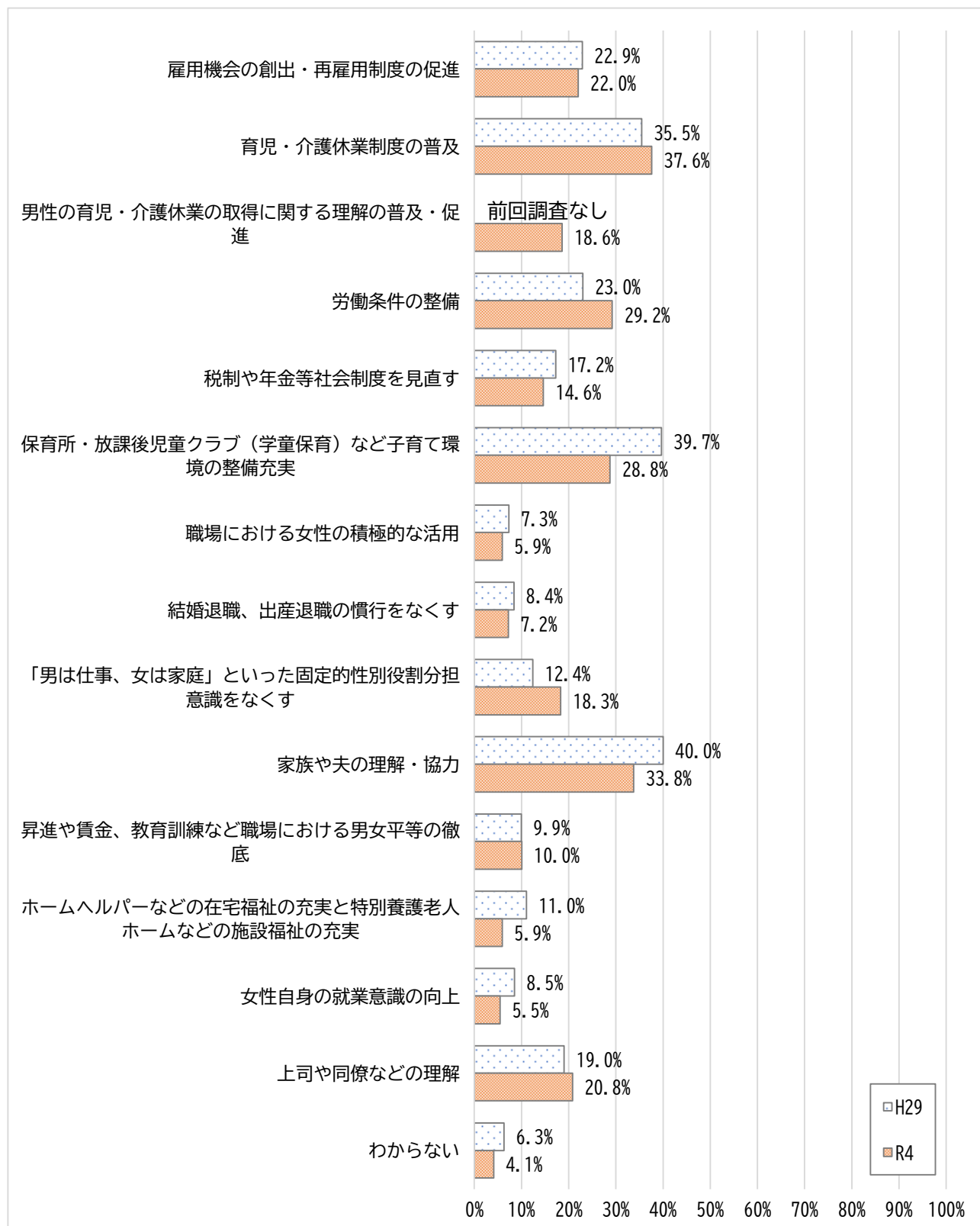
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「労働条件の整備[労働時間短縮、フレックスタイム制の普及]」及び「『男は仕事、女は家庭』といった固定的性別役割分担意識をなくす」と回答した割合が上昇し、「保育所・放課後児童クラブ(学童保育)など子育て環境の整備充実」、「家族や夫の理解・協力」、「ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの施設福祉の充実」、「女性自身の就業意識の向上」と回答した割合が低下している。

図表 14-1 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【全体及び性別】



図表 14-2 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 14-3 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【性別・年代別】

	1 の出 雇 再 進 進 の 促 進 の 制 度	2 制 度 の 普 及 の 普 及 の 制 度	3 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	4 男 性 の 育 児 の 普 及 の 普 及 の 制 度	5 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	6 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	7 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	8 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	9 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	10 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	11 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	12 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	13 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	14 解 業 の 普 及 の 普 及 の 制 度	
総数 (n=678)	149 (22.0%)	255 (37.6%)	126 (18.6%)	198 (29.2%)	99 (14.6%)	195 (28.8%)	40 (5.9%)	49 (7.2%)	124 (18.3%)	229 (33.8%)	68 (10.0%)	40 (5.9%)	37 (5.5%)	141 (20.8%)	
性・年代別	女性 (n=388)	77 (19.8%)	136 (35.1%)	66 (17.0%)	122 (31.4%)	57 (14.7%)	107 (27.6%)	12 (3.1%)	20 (5.2%)	80 (20.6%)	159 (41.0%)	35 (9.0%)	21 (5.4%)	99 (25.5%)	
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=23)	5 (21.7%)	9 (39.1%)	6 (26.1%)	5 (21.7%)	3 (13.0%)	6 (26.1%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	5 (21.7%)	7 (30.4%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (26.1%)
	30歳代 (n=49)	8 (16.3%)	17 (34.7%)	12 (24.5%)	26 (53.1%)	6 (12.2%)	15 (30.6%)	1 (2.0%)	5 (10.2%)	11 (22.4%)	12 (24.5%)	5 (10.2%)	0 (0.0%)	2 (4.1%)	13 (26.5%)
	40歳代 (n=66)	8 (12.1%)	21 (31.8%)	9 (13.6%)	25 (37.9%)	8 (12.1%)	18 (27.3%)	1 (1.5%)	5 (7.6%)	18 (27.3%)	30 (45.5%)	6 (9.1%)	5 (7.6%)	2 (3.0%)	22 (33.3%)
	50歳代 (n=102)	21 (20.6%)	35 (34.3%)	15 (14.7%)	32 (31.4%)	21 (20.6%)	22 (21.6%)	5 (4.9%)	3 (2.9%)	17 (16.7%)	48 (47.1%)	7 (6.9%)	9 (8.8%)	3 (2.9%)	32 (31.4%)
	60歳代 (n=72)	18 (25.0%)	24 (33.3%)	10 (13.9%)	24 (33.3%)	11 (15.3%)	21 (29.2%)	4 (5.6%)	3 (4.2%)	17 (23.6%)	30 (41.7%)	8 (11.1%)	1 (1.4%)	4 (5.6%)	14 (19.4%)
	70歳以上 (n=73)	16 (21.9%)	28 (38.4%)	14 (19.2%)	8 (11.0%)	8 (11.0%)	25 (34.2%)	1 (1.4%)	3 (4.1%)	11 (15.1%)	32 (43.8%)	6 (8.2%)	5 (6.8%)	6 (8.2%)	11 (15.1%)
	男性 (n=286)	71 (24.8%)	116 (40.6%)	59 (20.6%)	76 (26.6%)	42 (14.7%)	87 (30.4%)	28 (9.8%)	29 (10.1%)	44 (15.4%)	67 (23.4%)	33 (11.5%)	19 (6.6%)	19 (6.6%)	41 (14.3%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	9 (52.9%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)	2 (11.8%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)
	30歳代 (n=29)	4 (13.8%)	9 (31.0%)	7 (24.1%)	8 (27.6%)	4 (13.8%)	12 (41.4%)	3 (10.3%)	2 (6.9%)	8 (27.6%)	8 (27.6%)	3 (10.3%)	1 (3.4%)	1 (3.4%)	3 (10.3%)
	40歳代 (n=63)	13 (20.6%)	32 (50.8%)	11 (17.5%)	20 (31.7%)	11 (17.5%)	23 (36.5%)	7 (11.1%)	4 (6.3%)	8 (12.7%)	9 (14.3%)	4 (6.3%)	2 (3.2%)	3 (4.8%)	9 (14.3%)
	50歳代 (n=69)	14 (20.3%)	30 (43.5%)	21 (30.4%)	21 (30.4%)	9 (13.0%)	18 (26.1%)	6 (8.7%)	6 (8.7%)	10 (14.5%)	18 (26.1%)	8 (11.6%)	4 (5.8%)	6 (8.7%)	12 (17.4%)
60歳代 (n=45)	19 (42.2%)	14 (31.1%)	8 (17.8%)	8 (17.8%)	6 (13.3%)	14 (31.1%)	5 (11.1%)	6 (13.3%)	10 (22.2%)	7 (15.6%)	8 (17.8%)	4 (8.9%)	5 (11.1%)	6 (13.3%)	
70歳以上 (n=60)	18 (30.0%)	25 (41.7%)	6 (10.0%)	10 (16.7%)	9 (15.0%)	16 (26.7%)	5 (8.3%)	9 (15.0%)	3 (5.0%)	22 (36.7%)	10 (16.7%)	7 (11.7%)	3 (5.0%)	7 (11.7%)	

	15 わ か ら な い	
総数 (n=678)	28 (4.1%)	
性・年代別	女性 (n=388)	13 (3.4%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=49)	2 (4.1%)
	40歳代 (n=66)	2 (3.0%)
	50歳代 (n=102)	2 (2.0%)
	60歳代 (n=72)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=73)	6 (8.2%)
	男性 (n=286)	15 (5.2%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)
	30歳代 (n=29)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=63)	5 (7.9%)
	50歳代 (n=69)	2 (2.9%)
60歳代 (n=45)	2 (4.4%)	
70歳以上 (n=60)	3 (5.0%)	

6 学校教育について

【問15】男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。(MA)

【全体】

全体でみると、「互いのよさを理解し、他者を思いやる心を育てる教育を充実する」と回答した割合が72.2%で最も高く、次いで「性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う(53.6%)」、「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する(50.1%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別による傾向の差はみられない。

年代別でみると、20歳代男性は、「性別に関係なく役割分担を行うことを推進する」と回答した割合が、「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する」や「性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う」よりも高くなっている。

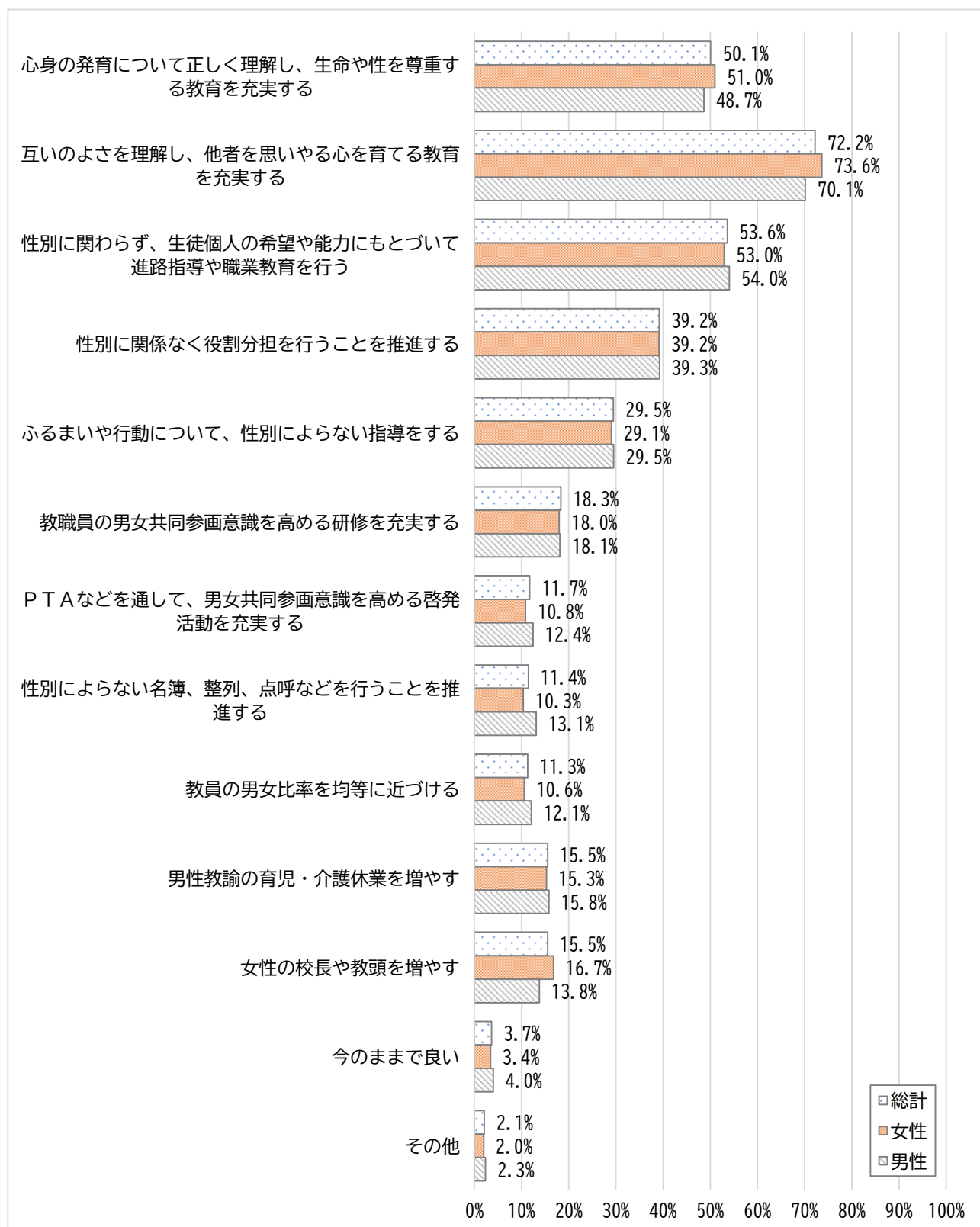
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「互いのよさを理解し、他者を思いやる心を育てる教育を充実する」、「性別に関係なく役割分担を行うことを推進する」、「ふるまいや行動について、性別によらない指導をする」、「性別によらない名簿、整列、点呼などを行うことを推進する」と回答した割合が上昇している。

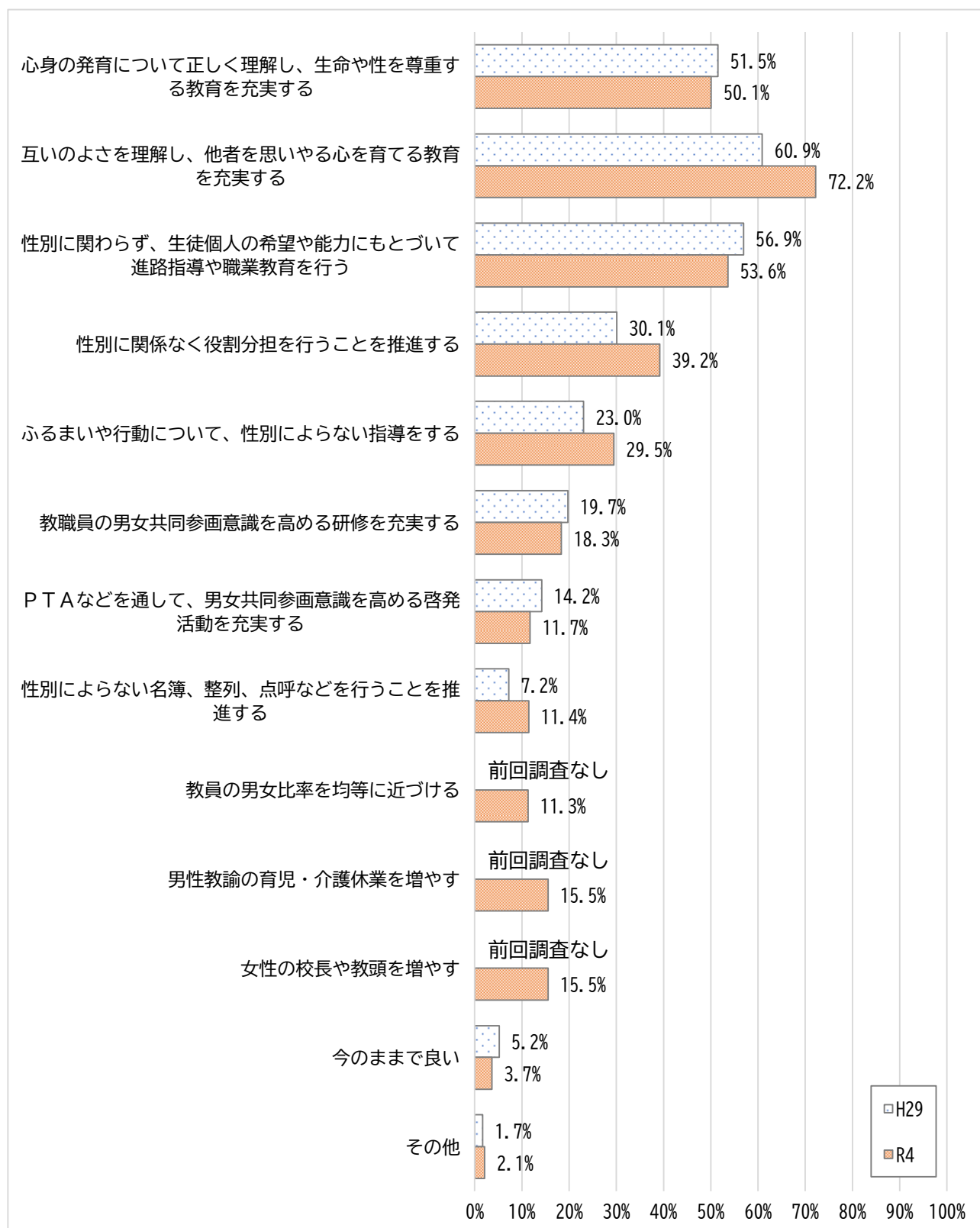
「その他」の自由回答

- 性教育をもっと充実すべき(40歳代女性)
- わからない(70歳以上男性)
- 分からない(40歳代女性)
- わからない(50歳代男性)
- 児童、生徒においては女が強いパターンが多い。(50歳代男性)
- 今、子供なし(いまいないので)(50歳代女性)
- 制服を見直す。男女で差が出ないものや、ズボン、スカートを選択できるなど。性教育、女性の社会進出とか、活躍を目指すのであれば、望まない妊娠により家庭に埋もれてしまう女性をなくすことも重要。男女共に正しい性教育を受けられるべき。また、未婚女性の産婦人科へ通院したり、ピルを服用など、未だ偏見が残っている。生理不順や生理痛などで産婦人科へ通院したり、ピルを服用している人が偏見に苦しむ必要はないし、正しく医療を受けることができれば、仕事や家庭への支障が軽減されるということを理解できる人が増えて欲しい。(20歳代女性)
- いい学校を出たではなく、子供たちの事を考えてくれる先生(60歳代男性)
- 男女平等によるメリット・デメリットの検討(30歳代男性)
- 子どもがおりのまま尊重される学校の場合が必要(40歳代女性)
- 日本の古い通念を具体的に説明し、いかに差別的だったかを解説する。同時に時代の変化による変化も説明する(30歳代男性)

図表 15-1 学校教育における男女平等のあり方【全体及び性別】



図表 15-2 学校教育における男女平等のあり方【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 15-3 学校教育における男女平等のあり方【性別・年代別】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13						
	を 充 実 す る こ と を 推 進 す る	正 心 を 育 つ こ と を 推 進 す る	互 い の よ さ を 理 解 し 、 一 つ の こ と を 理 解 し 、 他 の こ と を 理 解 す る	導 向 性 を 理 解 し 、 進 路 指 導 を 行 う	性 別 に 関 わ ら ず 、 各 の 特 長 を 理 解 し 、 進 路 指 導 を 行 う	こ の 役 割 に 関 係 な く 、 性 別 に 関 係 な く 、 各 の 特 長 を 理 解 し 、 進 路 指 導 を 行 う	研 究 修 行 を 充 実 す る	教 職 員 の 研 修 を 充 実 す る	職 を 高 め る こ と を 推 進 す る	P T A な ど を 通 じ 、 啓 発 活 動 を 行 う	性 別 に よ ら な い 名 を 推 進 す る	均 等 に 近 づ け る	教 員 の 男 女 比 率 を 均 等 に 近 づ け る	増 や す	児 童 の 性 別 に よ ら な い 名 を 推 進 す る	頭 を 増 や す	女 性 の 校 長 や 教 員 の 増 や す	今 の ま ま で 良 い	そ の 他
総数 (n=709)	355 (50.1%)	512 (72.2%)	380 (53.6%)	278 (39.2%)	209 (29.5%)	130 (18.3%)	83 (11.7%)	81 (11.4%)	80 (11.3%)	110 (15.5%)	110 (15.5%)	26 (3.7%)	15 (2.1%)						
性・年代別	女性 (n=406)	207 (51.0%)	299 (73.6%)	215 (53.0%)	159 (39.2%)	118 (29.1%)	73 (18.0%)	44 (10.8%)	42 (10.3%)	43 (10.6%)	62 (15.3%)	68 (16.7%)	14 (3.4%)	8 (2.0%)					
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)					
	20歳代 (n=24)	13 (54.2%)	19 (79.2%)	13 (54.2%)	12 (50.0%)	8 (33.3%)	5 (20.8%)	5 (20.8%)	6 (25.0%)	3 (12.5%)	8 (33.3%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)					
	30歳代 (n=52)	25 (48.1%)	37 (71.2%)	27 (51.9%)	22 (42.3%)	22 (42.3%)	7 (13.5%)	3 (5.8%)	10 (19.2%)	7 (13.5%)	12 (23.1%)	16 (30.8%)	4 (7.7%)	1 (1.9%)					
	40歳代 (n=68)	29 (42.6%)	45 (66.2%)	37 (54.4%)	28 (41.2%)	19 (27.9%)	6 (8.8%)	4 (5.9%)	7 (10.3%)	6 (8.8%)	12 (17.6%)	11 (16.2%)	3 (4.4%)	3 (4.4%)					
	50歳代 (n=108)	52 (48.1%)	81 (75.0%)	59 (54.6%)	38 (35.2%)	29 (26.9%)	22 (20.4%)	11 (10.2%)	8 (7.4%)	8 (7.4%)	7 (6.5%)	11 (10.2%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)					
	60歳代 (n=78)	42 (53.8%)	56 (71.8%)	44 (56.4%)	30 (38.5%)	26 (33.3%)	16 (20.5%)	11 (14.1%)	6 (7.7%)	9 (11.5%)	9 (11.5%)	11 (14.1%)	2 (2.6%)	1 (1.3%)					
	70歳以上 (n=73)	43 (58.9%)	58 (79.5%)	33 (45.2%)	28 (38.4%)	13 (17.8%)	17 (23.3%)	9 (12.3%)	5 (6.8%)	10 (13.7%)	14 (19.2%)	12 (16.4%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)					
	男性 (n=298)	145 (48.7%)	209 (70.1%)	161 (54.0%)	117 (39.3%)	88 (29.5%)	54 (18.1%)	37 (12.4%)	39 (13.1%)	36 (12.1%)	47 (15.8%)	41 (13.8%)	12 (4.0%)	7 (2.3%)					
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)					
	20歳代 (n=16)	6 (37.5%)	10 (62.5%)	6 (37.5%)	9 (56.3%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)	5 (31.3%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)					
	30歳代 (n=31)	16 (51.6%)	26 (83.9%)	21 (67.7%)	20 (64.5%)	10 (32.3%)	8 (25.8%)	5 (16.1%)	8 (25.8%)	4 (12.9%)	11 (35.5%)	7 (22.6%)	0 (0.0%)	6 (19.3%)					
	40歳代 (n=67)	34 (50.7%)	48 (71.6%)	38 (56.7%)	25 (37.3%)	24 (35.8%)	9 (13.4%)	10 (14.9%)	10 (14.9%)	8 (11.9%)	9 (13.4%)	7 (10.4%)	5 (7.5%)	0 (0.0%)					
	50歳代 (n=71)	35 (49.3%)	46 (64.8%)	40 (56.3%)	29 (40.8%)	20 (28.2%)	13 (18.3%)	10 (14.1%)	10 (14.1%)	6 (8.5%)	9 (12.7%)	9 (12.7%)	4 (5.6%)	2 (2.8%)					
60歳代 (n=49)	23 (46.9%)	36 (73.5%)	23 (46.9%)	15 (30.6%)	12 (24.5%)	12 (24.5%)	6 (12.2%)	3 (6.1%)	8 (16.3%)	7 (14.3%)	9 (18.4%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)						
70歳以上 (n=60)	30 (50.0%)	42 (70.0%)	30 (50.0%)	17 (28.3%)	19 (31.7%)	7 (11.7%)	3 (5.0%)	6 (10.0%)	7 (11.7%)	6 (10.0%)	5 (8.3%)	1 (1.7%)	2 (3.3%)						

7 人権・暴力について

【問16】あなたは、次のことが親しい男女（夫・妻、事実婚のパートナー、恋人、元配偶者、元パートナー）の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（SA）

【全体】

全体でみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答は、9項目中、「身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」と回答した割合が96.7%で最も高く、次いで「なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす（90.8%）」、「嫌がっているのに性的な行為を強要する（88.7%）」の順となっている。

【性別】

性別でみると、「交友関係や電話を細かく監視する」及び「家に生活費を入れない」において、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した女性の割合が男性よりも高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」を「暴力にあたるとは思わない」と回答した割合が低下している。また、「何を言っても長期間、無視し続ける」、「交友関係や電話を細かく監視する」、「『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『かいしょうなし』とか言う」、「家に生活費を入れない」を「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が上昇している。

【A 平手で打ったり、足でけったりする】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答とした割合が最も高く、それぞれ約8割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、傾向の差はみられない。

【B 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答とした割合が最も高く、それぞれ約9割以上を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、傾向の差はみられない。

【C なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答とした割合が最も高く、それぞれ約9割以上を占めている。

性別・年代別でみると、10歳代男性の「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が相対的に低く、「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」と回答した割合が相対的に高くなっている。

【D 嫌がっているのに性的な行為を強要する】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答とした割合が最も高く、それぞれ約9割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、傾向の差はみられない。

【E 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が最も高く、それぞれ約8割を占めている。

性別・年代別でみると、70歳以上女性の「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が相対的に低く、「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」及び「暴力にあたるとは思わない」と回答した割合が、相対的に高くなっている。

【F 何を言っても長期間、無視し続ける】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が最も高い。

性別・年代別でみると、女性では40～50歳代の「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が相対的に高く、70歳以上が低い。

男性では、「暴力にあたるとは思わない」と回答した割合が、70歳以上で高く、50歳代で低くなっている。

【G 交友関係や電話を細かく監視する】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が最も高くなっており、この傾向は、特に女性に顕著となっている。

性別・年代別でみると、女性では、40～50歳代で暴力にあたると思う傾向が強く、70歳以上は、この傾向が弱まっている。

男性では、10～20歳代に“暴力にあたらぬ”と考える傾向がみられる。

【H 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」と言う】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が最も高く、女性では約8割を占めている。

性別でみると、男性が女性に比べ「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」と回答した割合が高くなっている。

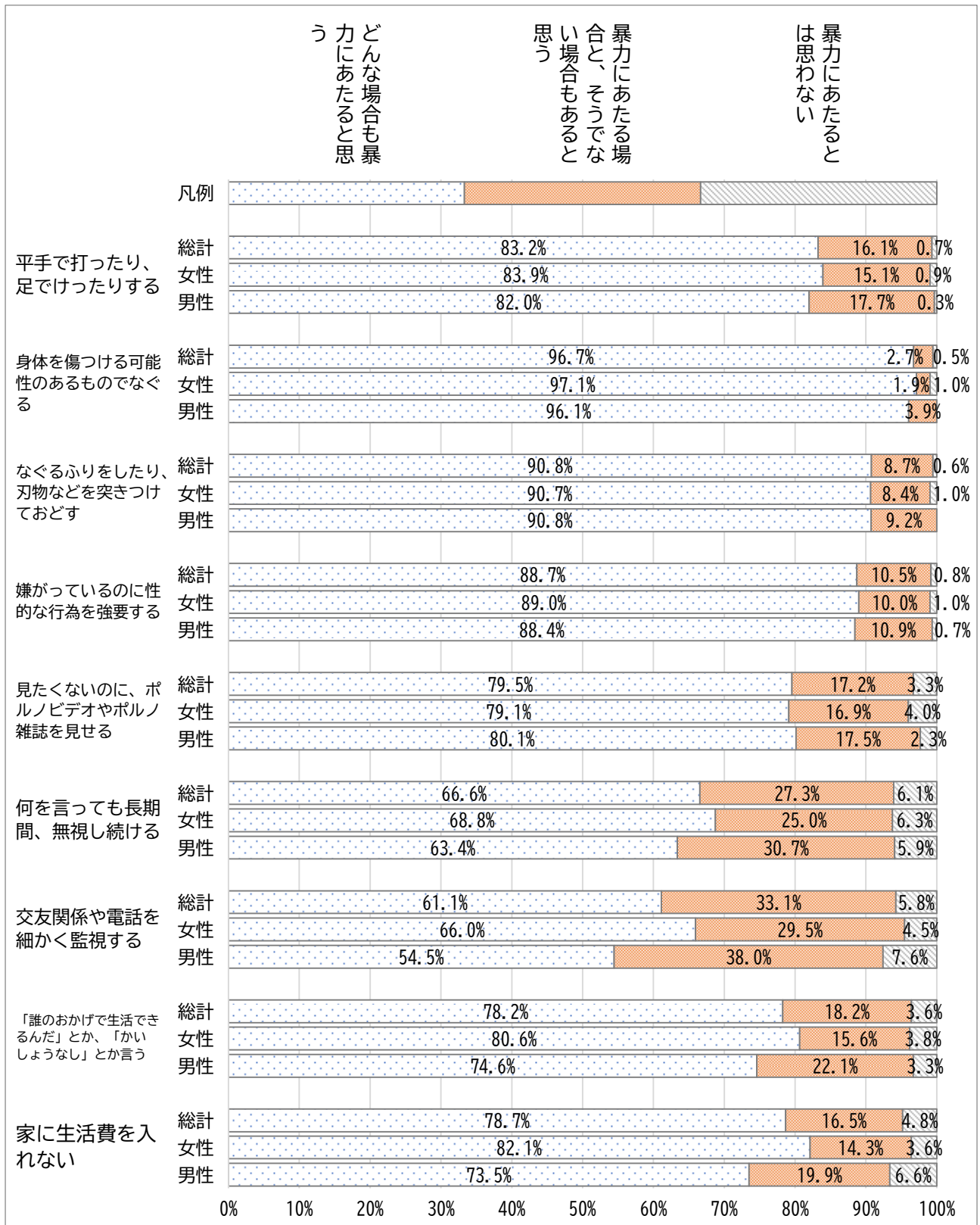
また、年代別にみると、40歳代女性は“暴力にあたる”と考える傾向が強く、70歳以上女性は“暴力にあたらぬ”と考える割合が、相対的に高くなっている。

【I 家に生活費を入れない】

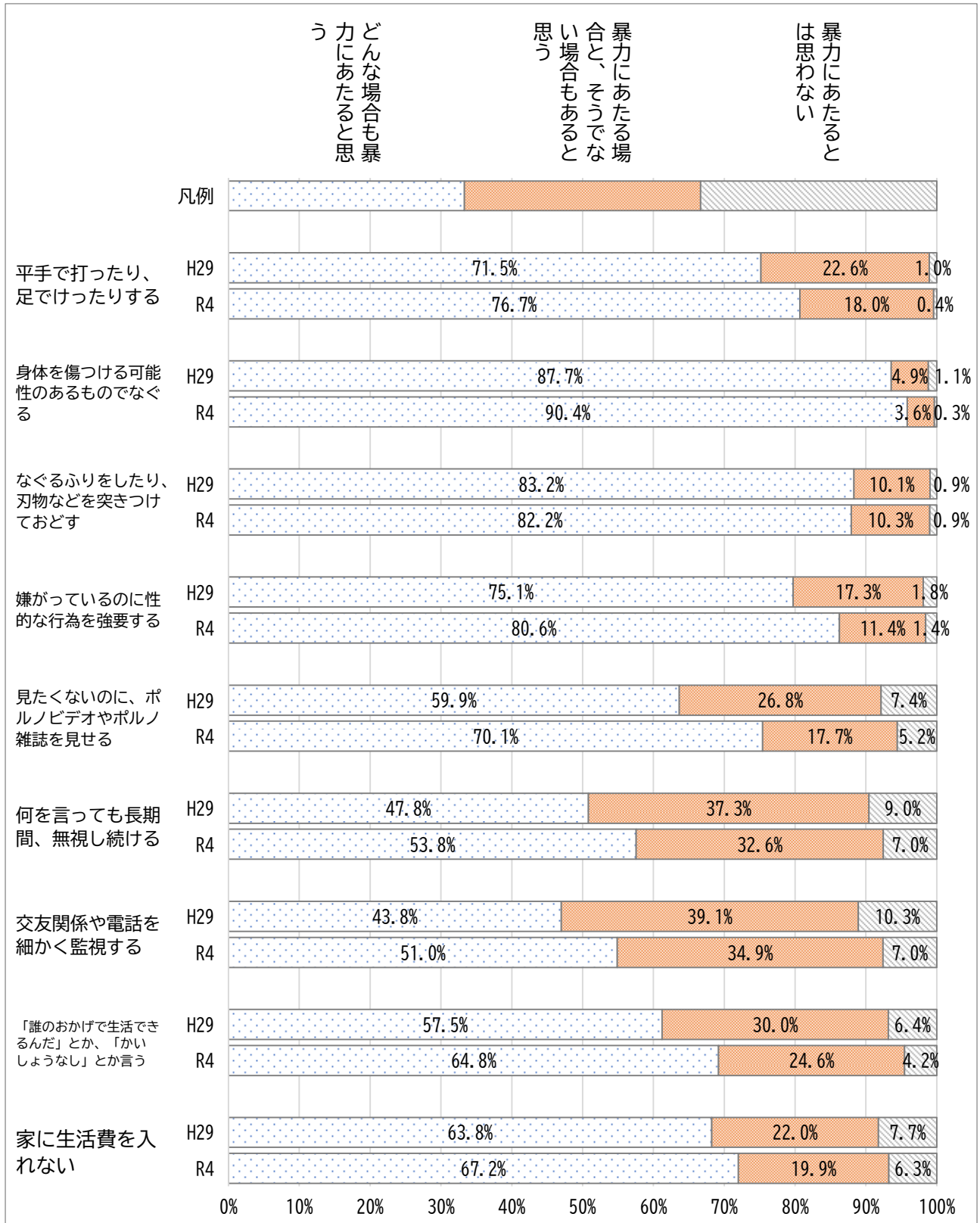
全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が最も高く、全体及び女性では約8割を占めている。

性別・年代別でみると、40歳代女性では、「どんな場合も暴力にあたると思う」と回答した割合が相対的に高くなっている一方、20～30歳代女性の「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」とする割合が、他の年代よりも高くなっている。

図表 16-1 親しい男女間の暴力【全体及び性別】



図表 16-2 親しい男女間の暴力【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 16-3 親しい男女間の暴力
【平手で打ったり、足でけったりする】

	1 う 力 ど に ん な あ た る と 思 う	2 合 も あ る と 思 う	3 暴 力 に あ た る と 思 わ な い	
総数 (n=733)	610 (83.2%)	118 (16.1%)	5 (0.7%)	
性・年代別	女性 (n=423)	355 (83.9%)	64 (15.1%)	4 (0.9%)
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=24)	21 (87.5%)	3 (12.5%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=53)	42 (79.2%)	10 (18.9%)	1 (1.9%)
	40歳代 (n=71)	58 (81.7%)	13 (18.3%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=112)	100 (89.3%)	11 (9.8%)	1 (0.9%)
	60歳代 (n=80)	69 (86.3%)	10 (12.5%)	1 (1.3%)
	70歳以上 (n=80)	62 (77.5%)	17 (21.3%)	1 (1.3%)
	男性 (n=305)	250 (82.0%)	54 (17.7%)	1 (0.3%)
	10歳代 (n=4)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	13 (81.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	25 (73.5%)	9 (26.5%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=68)	51 (75.0%)	16 (23.5%)	1 (1.5%)
	50歳代 (n=73)	61 (83.6%)	12 (16.4%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=50)	43 (86.0%)	7 (14.0%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=60)	55 (91.7%)	5 (8.3%)	0 (0.0%)	

図表 16-4 親しい男女間の暴力
【身体を傷つける可能性のあるものでなぐる】

	1 う 力 ど に ん な あ た る と 思 う	2 合 も あ る と 思 う	3 暴 力 に あ た る と 思 わ な い	
総数 (n=730)	706 (96.7%)	20 (2.7%)	4 (0.5%)	
性・年代別	女性 (n=421)	409 (97.1%)	8 (1.9%)	4 (1.0%)
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	23 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=53)	50 (94.3%)	2 (3.8%)	1 (1.9%)
	40歳代 (n=71)	69 (97.2%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=112)	109 (97.3%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)
	60歳代 (n=80)	78 (97.5%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)
	70歳以上 (n=79)	77 (97.5%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)
	男性 (n=304)	292 (96.1%)	12 (3.9%)	0 (0.0%)
	10歳代 (n=4)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	15 (93.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	32 (94.1%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=68)	63 (92.6%)	5 (7.4%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=73)	72 (98.6%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=48)	45 (93.8%)	3 (6.3%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=61)	61 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

図表 16-5 親しい男女間の暴力

【なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす】

	1 う 力 ど に あ な た る と 思 暴	2 合 も あ る と 思 う	3 は 暴 力 に あ た る と 思 わ な い
総数 (n=727)	660 (90.8%)	63 (8.7%)	4 (0.6%)
女性 (n=419)	380 (90.7%)	35 (8.4%)	4 (1.0%)
10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=23)	23 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
30歳代 (n=53)	48 (90.6%)	4 (7.5%)	1 (1.9%)
40歳代 (n=71)	68 (95.8%)	2 (2.8%)	1 (1.4%)
50歳代 (n=112)	98 (87.5%)	13 (11.6%)	1 (0.9%)
60歳代 (n=79)	75 (94.9%)	4 (5.1%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=78)	65 (83.3%)	12 (15.4%)	1 (1.3%)
男性 (n=303)	275 (90.8%)	28 (9.2%)	0 (0.0%)
10歳代 (n=4)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=16)	16 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
30歳代 (n=34)	32 (94.1%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
40歳代 (n=68)	58 (85.3%)	10 (14.7%)	0 (0.0%)
50歳代 (n=73)	68 (93.2%)	5 (6.8%)	0 (0.0%)
60歳代 (n=48)	44 (91.7%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=60)	55 (91.7%)	5 (8.3%)	0 (0.0%)

図表 16-6 親しい男女間の暴力

【嫌がっているのに性的な行為を強要する】

	1 う 力 ど に あ な た る と 思 暴	2 合 も あ る と 思 う	3 は 暴 力 に あ た る と 思 わ な い
総数 (n=727)	645 (88.7%)	76 (10.5%)	6 (0.8%)
女性 (n=419)	373 (89.0%)	42 (10.0%)	4 (1.0%)
10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=23)	22 (95.7%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)
30歳代 (n=52)	48 (92.3%)	3 (5.8%)	1 (1.9%)
40歳代 (n=71)	67 (94.4%)	4 (5.6%)	0 (0.0%)
50歳代 (n=112)	100 (89.3%)	11 (9.8%)	1 (0.9%)
60歳代 (n=80)	72 (90.0%)	7 (8.8%)	1 (1.3%)
70歳以上 (n=78)	61 (78.2%)	16 (20.5%)	1 (1.3%)
男性 (n=303)	268 (88.4%)	33 (10.9%)	2 (0.7%)
10歳代 (n=4)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=16)	15 (93.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
30歳代 (n=34)	32 (94.1%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
40歳代 (n=68)	57 (83.8%)	11 (16.2%)	0 (0.0%)
50歳代 (n=73)	69 (94.5%)	4 (5.5%)	0 (0.0%)
60歳代 (n=48)	44 (91.7%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=60)	47 (78.3%)	11 (18.3%)	2 (3.3%)

図表 16-7 親しい男女間の暴力
【見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる】

	1 う力ど にん にあ た る と 思	2 合と、 もあ る と 思 う 場 合	3 は暴 力に あ た る と 思 わ な い と
総数 (n=728)	579 (79.5%)	125 (17.2%)	24 (3.3%)
女性 (n=421)	333 (79.1%)	71 (16.9%)	17 (4.0%)
10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=23)	20 (87.0%)	2 (8.7%)	1 (4.3%)
30歳代 (n=53)	42 (79.2%)	8 (15.1%)	3 (5.7%)
40歳代 (n=71)	61 (85.9%)	10 (14.1%)	0 (0.0%)
50歳代 (n=112)	94 (83.9%)	14 (12.5%)	4 (3.6%)
60歳代 (n=80)	65 (81.3%)	14 (17.5%)	1 (1.3%)
70歳以上 (n=79)	48 (60.8%)	23 (29.1%)	8 (10.1%)
男性 (n=302)	242 (80.1%)	53 (17.5%)	7 (2.3%)
10歳代 (n=4)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=16)	15 (93.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
30歳代 (n=34)	30 (88.2%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)
40歳代 (n=68)	54 (79.4%)	13 (19.1%)	1 (1.5%)
50歳代 (n=73)	60 (82.2%)	11 (15.1%)	2 (2.7%)
60歳代 (n=48)	39 (81.3%)	8 (16.7%)	1 (2.1%)
70歳以上 (n=59)	40 (67.8%)	16 (27.1%)	3 (5.1%)

図表 16-8 親しい男女間の暴力
【何を言っても長期間、無視し続ける】

	1 う力ど にん にあ た る と 思	2 合と、 もあ る と 思 う 場 合	3 は暴 力に あ た る と 思 わ な い と
総数 (n=724)	482 (66.6%)	198 (27.3%)	44 (6.1%)
女性 (n=416)	286 (68.8%)	104 (25.0%)	26 (6.3%)
10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=23)	16 (69.6%)	6 (26.1%)	1 (4.3%)
30歳代 (n=53)	33 (62.3%)	16 (30.2%)	4 (7.5%)
40歳代 (n=71)	57 (80.3%)	14 (19.7%)	0 (0.0%)
50歳代 (n=111)	87 (78.4%)	17 (15.3%)	7 (6.3%)
60歳代 (n=80)	55 (68.8%)	21 (26.3%)	4 (5.0%)
70歳以上 (n=75)	35 (46.7%)	30 (40.0%)	10 (13.3%)
男性 (n=303)	192 (63.4%)	93 (30.7%)	18 (5.9%)
10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=16)	13 (81.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)
30歳代 (n=34)	22 (64.7%)	10 (29.4%)	2 (5.9%)
40歳代 (n=68)	47 (69.1%)	19 (27.9%)	2 (2.9%)
50歳代 (n=73)	44 (60.3%)	29 (39.7%)	0 (0.0%)
60歳代 (n=48)	29 (60.4%)	15 (31.3%)	4 (8.3%)
70歳以上 (n=60)	36 (60.0%)	15 (25.0%)	9 (15.0%)

図表 16-9 親しい男女間の暴力
【交友関係や電話を細かく監視する】

		1 うかど にん あな たると 思	2 合と暴 もそに あそわ うであ ない場 場合	3 は暴力 ににあ たると
総数 (n=728)		445 (61.1%)	241 (33.1%)	42 (5.8%)
性・ 年代別	女性 (n=420)	277 (66.0%)	124 (29.5%)	19 (4.5%)
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	14 (60.9%)	8 (34.8%)	1 (4.3%)
	30歳代 (n=53)	33 (62.3%)	16 (30.2%)	4 (7.5%)
	40歳代 (n=71)	57 (80.3%)	14 (19.7%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=111)	83 (74.8%)	24 (21.6%)	4 (3.6%)
	60歳代 (n=80)	52 (65.0%)	28 (35.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=79)	35 (44.3%)	34 (43.0%)	10 (12.7%)
	男性 (n=303)	165 (54.5%)	115 (38.0%)	23 (7.6%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	10 (62.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)
	30歳代 (n=34)	23 (67.6%)	8 (23.5%)	3 (8.8%)
	40歳代 (n=68)	37 (54.4%)	30 (44.1%)	1 (1.5%)
	50歳代 (n=73)	40 (54.8%)	29 (39.7%)	4 (5.5%)
	60歳代 (n=48)	27 (56.3%)	16 (33.3%)	5 (10.4%)
70歳以上 (n=60)	28 (46.7%)	26 (43.3%)	6 (10.0%)	

図表 16-10 親しい男女間の暴力
【「誰のおかげで生活できるんだ」とか、
「かいしょうなし」とか言う】

		1 うかど にん あな たると 思	2 合と暴 もそに あそわ うであ ない場 場合	3 は暴力 ににあ たると
総数 (n=726)		568 (78.2%)	132 (18.2%)	26 (3.6%)
性・ 年代別	女性 (n=418)	337 (80.6%)	65 (15.6%)	16 (3.8%)
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	21 (91.3%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=53)	42 (79.2%)	8 (15.1%)	3 (5.7%)
	40歳代 (n=71)	64 (90.1%)	7 (9.9%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=112)	93 (83.0%)	16 (14.3%)	3 (2.7%)
	60歳代 (n=79)	60 (75.9%)	17 (21.5%)	2 (2.5%)
	70歳以上 (n=77)	54 (70.1%)	15 (19.5%)	8 (10.4%)
	男性 (n=303)	226 (74.6%)	67 (22.1%)	10 (3.3%)
	10歳代 (n=4)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	13 (81.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	27 (79.4%)	5 (14.7%)	2 (5.9%)
	40歳代 (n=68)	50 (73.5%)	17 (25.0%)	1 (1.5%)
	50歳代 (n=73)	52 (71.2%)	18 (24.7%)	3 (4.1%)
	60歳代 (n=48)	37 (77.1%)	10 (20.8%)	1 (2.1%)
70歳以上 (n=60)	45 (75.0%)	12 (20.0%)	3 (5.0%)	

図表 16-11 親しい男女間の暴力【家に生活費を入れない】

	1 うかど にん にあ た た る と 思	2 合と、暴 も、そ あ う で な い 場 合	3 は暴 力に あ た る と	
総数 (n=726)	571 (78.7%)	120 (16.5%)	35 (4.8%)	
性・年代別	女性 (n=419)	344 (82.1%)	60 (14.3%)	15 (3.6%)
	10歳代 (n=3)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	16 (69.6%)	7 (30.4%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=53)	36 (67.9%)	13 (24.5%)	4 (7.5%)
	40歳代 (n=71)	65 (91.5%)	5 (7.0%)	1 (1.4%)
	50歳代 (n=112)	94 (83.9%)	14 (12.5%)	4 (3.6%)
	60歳代 (n=79)	66 (83.5%)	12 (15.2%)	1 (1.3%)
	70歳以上 (n=78)	64 (82.1%)	9 (11.5%)	5 (6.4%)
	男性 (n=302)	222 (73.5%)	60 (19.9%)	20 (6.6%)
	10歳代 (n=4)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=16)	12 (75.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)
	30歳代 (n=34)	25 (73.5%)	6 (17.6%)	3 (8.8%)
	40歳代 (n=68)	48 (70.6%)	17 (25.0%)	3 (4.4%)
	50歳代 (n=73)	56 (76.7%)	15 (20.5%)	2 (2.7%)
	60歳代 (n=48)	40 (83.3%)	5 (10.4%)	3 (6.3%)
70歳以上 (n=59)	38 (64.4%)	13 (22.0%)	8 (13.6%)	

【問17】あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人など親密な関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。（ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます）（SA）

【全体】

全体でみると、3項目中すべての項目で、「まったくない」と回答した割合がそれぞれ約8割以上を占めているが、“ドメスティック・バイオレンスの経験があった（「1、2度あった」＋「何度もあった」）”との回答をみると、「なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」が17.1%、「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」が16.3%、「いやがっているのに性的な行為を強要された」が10.4%となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男性に比べ女性が“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”と回答した割合が高く、特に「嫌がっているのに性的な行為を強要された」では、圧倒的に女性の割合が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、傾向の差はみられない。

【A なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた】

“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性が20.4%、男性が12.5%となっている。

年代別による傾向の差はみられない。

【B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた】

“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性が18.9%、男性が12.3%となっている。

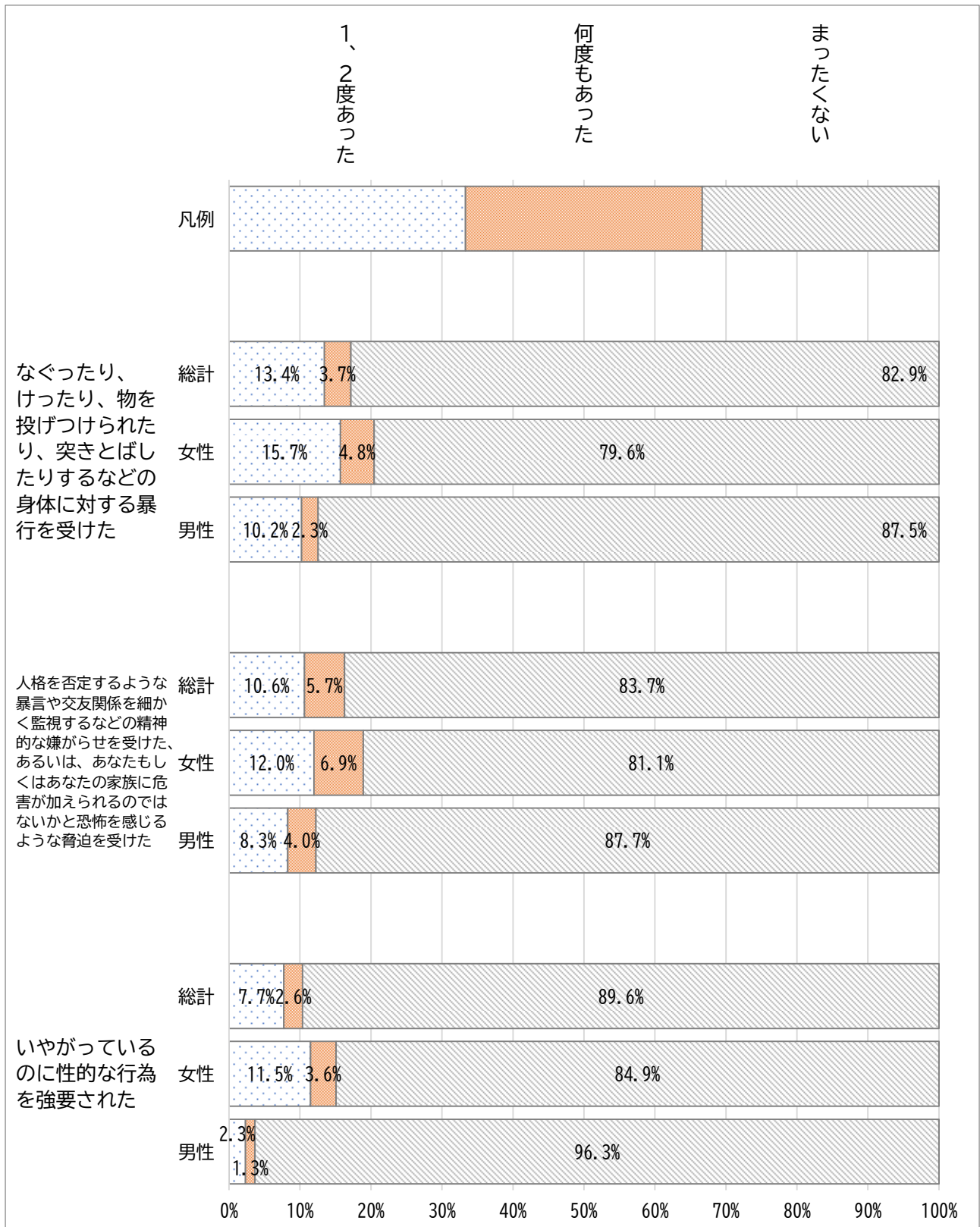
年代別による傾向の差はみられない。

【C いやがっているのに性的な行為を強要された】

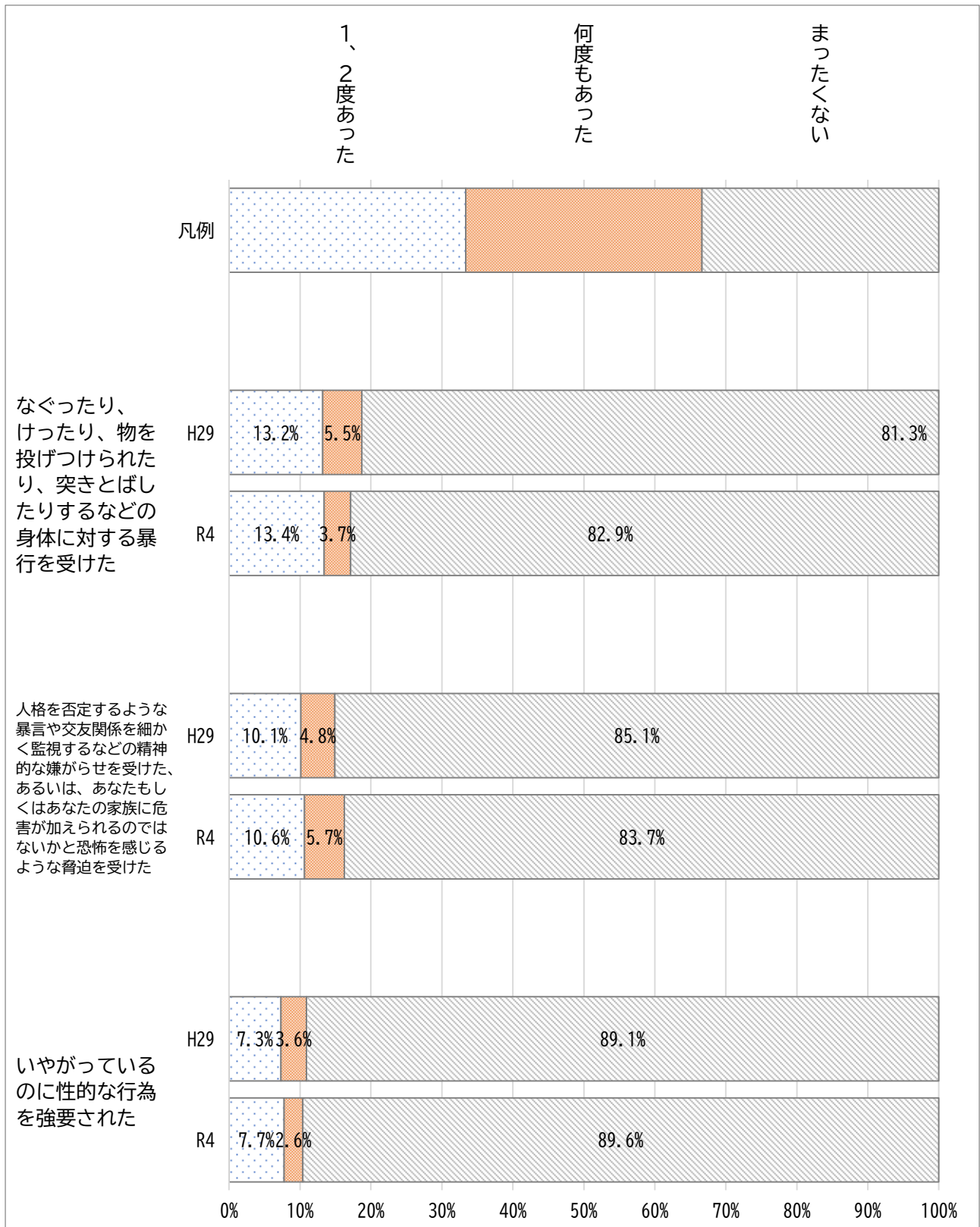
“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性が15.1%、男性が3.7%となっている。

年代別による傾向の差はみられない。

図表 17-1 ドメスティック・バイオレンスの経験【全体及び性別】



図表 17-2 ドメスティック・バイオレンスの経験【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 17-3 ドメスティック・バイオレンスの経験

【なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた】

		1	2	3
		1、 2度あつた	何 度 も あつた	ま っ た く な い
総数 (n=729)		98 (13.4%)	27 (3.7%)	604 (82.9%)
性・ 年 代 別	女性 (n=421)	66 (15.7%)	20 (4.8%)	335 (79.6%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
	20歳代 (n=22)	2 (9.1%)	1 (4.5%)	19 (86.4%)
	30歳代 (n=52)	7 (13.5%)	3 (5.8%)	42 (80.8%)
	40歳代 (n=71)	15 (21.1%)	2 (2.8%)	54 (76.1%)
	50歳代 (n=111)	11 (9.9%)	6 (5.4%)	94 (84.7%)
	60歳代 (n=81)	11 (13.6%)	3 (3.7%)	67 (82.7%)
	70歳以上 (n=81)	20 (24.7%)	5 (6.2%)	56 (69.1%)
	男性 (n=303)	31 (10.2%)	7 (2.3%)	265 (87.5%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	15 (88.2%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	30 (90.9%)
	40歳代 (n=69)	11 (15.9%)	0 (0.0%)	58 (84.1%)
	50歳代 (n=72)	6 (8.3%)	3 (4.2%)	63 (87.5%)
	60歳代 (n=49)	5 (10.2%)	1 (2.0%)	43 (87.8%)
70歳以上 (n=59)	6 (10.2%)	1 (1.7%)	52 (88.1%)	

図表 17-4 ドメスティック・バイオレンスの経験

【人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた】

		1 1、 2 度 あ っ た	2 何 度 も あ っ た	3 ま っ た く な い
総数 (n=725)		77 (10.6%)	41 (5.7%)	607 (83.7%)
性・ 年 代 別	女性 (n=418)	50 (12.0%)	29 (6.9%)	339 (81.1%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
	20歳代 (n=21)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	18 (85.7%)
	30歳代 (n=52)	5 (9.6%)	5 (9.6%)	42 (80.8%)
	40歳代 (n=71)	10 (14.1%)	3 (4.2%)	58 (81.7%)
	50歳代 (n=111)	10 (9.0%)	8 (7.2%)	93 (83.8%)
	60歳代 (n=81)	11 (13.6%)	5 (6.2%)	65 (80.2%)
	70歳以上 (n=79)	11 (13.9%)	8 (10.1%)	60 (75.9%)
	男性 (n=302)	25 (8.3%)	12 (4.0%)	265 (87.7%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	20歳代 (n=17)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	15 (88.2%)
	30歳代 (n=33)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	30 (90.9%)
	40歳代 (n=69)	9 (13.0%)	4 (5.8%)	56 (81.2%)
	50歳代 (n=72)	3 (4.2%)	2 (2.8%)	67 (93.1%)
	60歳代 (n=48)	1 (2.1%)	4 (8.3%)	43 (89.6%)
70歳以上 (n=59)	8 (13.6%)	1 (1.7%)	50 (84.7%)	

図表 17-5 ドメスティック・バイオレンスの経験【いやがっているのに性的な行為を強要された】

		1	2	3
		1、 2 度あつた	何 度 も あつた	ま っ た く な い
総数 (n=723)		56 (7.7%)	19 (2.6%)	648 (89.6%)
性・ 年 代 別	女性 (n=418)	48 (11.5%)	15 (3.6%)	355 (84.9%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
	20歳代 (n=21)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	19 (90.5%)
	30歳代 (n=52)	2 (3.8%)	4 (7.7%)	46 (88.5%)
	40歳代 (n=71)	9 (12.7%)	1 (1.4%)	61 (85.9%)
	50歳代 (n=110)	12 (10.9%)	6 (5.5%)	92 (83.6%)
	60歳代 (n=81)	8 (9.9%)	2 (2.5%)	71 (87.7%)
	70歳以上 (n=80)	15 (18.8%)	2 (2.5%)	63 (78.8%)
	男性 (n=300)	7 (2.3%)	4 (1.3%)	289 (96.3%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	20歳代 (n=17)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
	30歳代 (n=33)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (100.0%)
	40歳代 (n=68)	4 (5.9%)	1 (1.5%)	63 (92.6%)
	50歳代 (n=72)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	71 (98.6%)
	60歳代 (n=47)	1 (2.1%)	2 (4.3%)	44 (93.6%)
	70歳以上 (n=59)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	57 (96.6%)

※【問17】で1つでも「1 1、2度あった」、「2 何度もあった」を選択された方のみ回答

【問18】あなたは、その行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(MA)

【全体】

全体で見ると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した割合が 56.2%で最も高く、次いで「友人・知人に相談した（26.4%）」、「家族や親戚に相談した（16.3%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別で見ると、「家族や親戚に相談した」と回答した女性の割合が男性よりも高くなっている。サンプル数が少ないため年代によりばらつきはあるものの、特徴的な傾向の差はみられない。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、傾向の差はみられない。

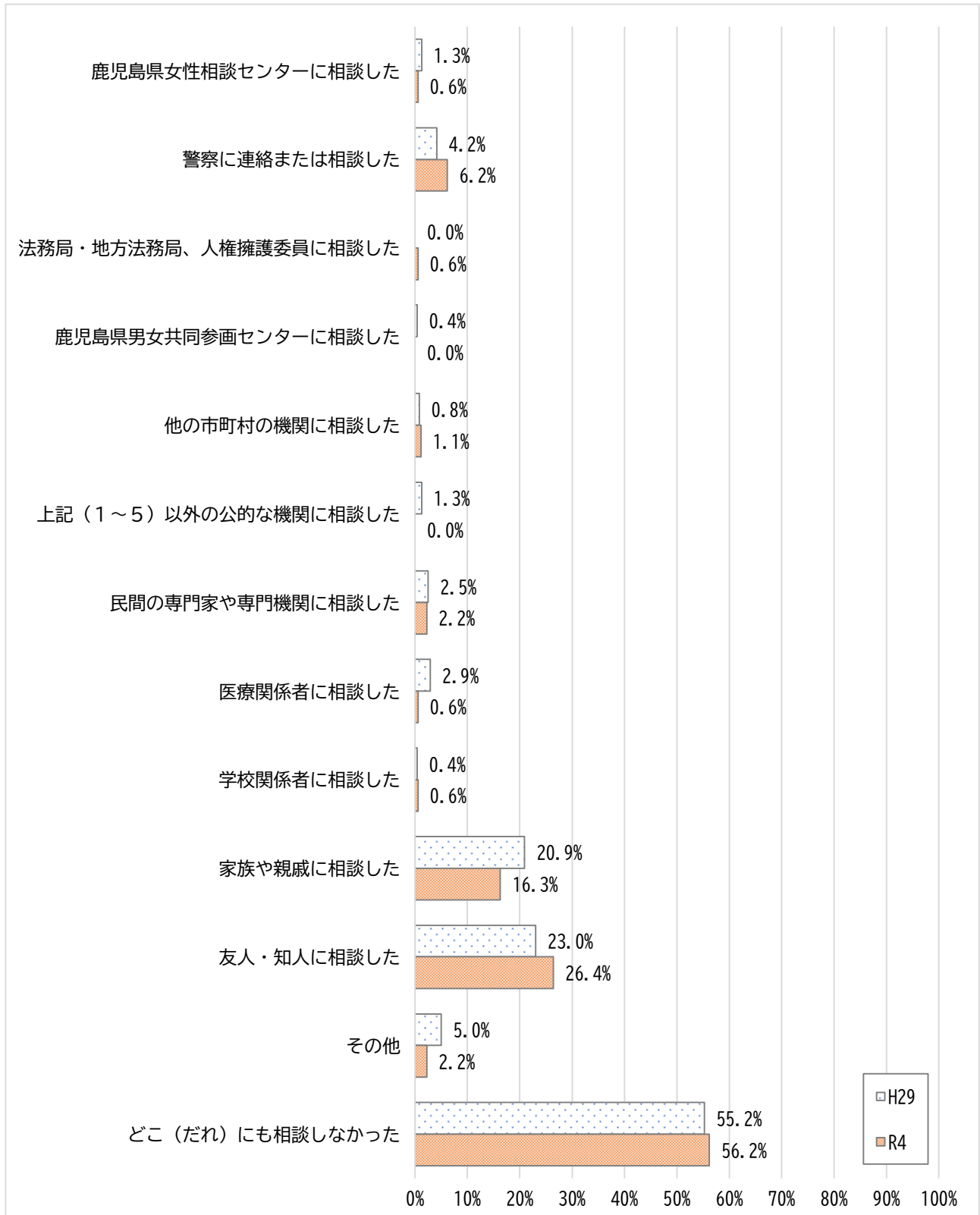
「その他」の自由回答

- お互い様だった為、特になし。（30 歳代男性）
- 自分も殴り返した。お互い様だった。（60 歳代男性）
- 大小の行き違いはあるもの、全てを同じ様には判断出来ない（40 歳代男性）

図表 18-1 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【全体及び性別】



図表 18-2 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 18-3 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【性別・年代別】

	1 談 談 し セ ン タ ー に 性 相 相	2 は 警 相 察 に 連 絡 ま た	3 委 務 員 局 に 相 談 し た	4 同 参 照 画 面 を 共 同 に 見 た	5 他 の 市 町 村 の 機 関 に 相 談 し た	6 以 上 の 機 関 に 相 談 し た	7 民 間 の 専 門 家 に 相 談 し た	8 医 療 関 係 者 に 相 談 し た	9 学 校 の 関 係 者 に 相 談 し た	10 家 族 や 親 戚 に 相 談 し た	11 友 人 ・ 知 人 に 相 談 し た	12 そ の 他	13 た も ど の こ の こ ら に 相 談 し な か つ た	
総数 (n=178)	1 (0.6%)	11 (6.2%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	4 (2.2%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	29 (16.3%)	47 (26.4%)	4 (2.2%)	100 (56.2%)	
性・年代別	女性 (n=123)	1 (0.8%)	7 (5.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	25 (20.3%)	35 (28.5%)	1 (0.8%)	64 (52.0%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=4)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	30歳代 (n=14)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	6 (42.9%)
	40歳代 (n=21)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (23.8%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	9 (42.9%)
	50歳代 (n=31)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (25.8%)	9 (29.0%)	0 (0.0%)	18 (58.1%)
	60歳代 (n=23)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	7 (30.4%)	0 (0.0%)	14 (60.9%)
	70歳以上 (n=30)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	5 (16.7%)	9 (30.0%)	1 (3.3%)	16 (53.3%)
	男性 (n=53)	0 (0.0%)	4 (7.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.5%)	12 (22.6%)	3 (5.7%)	34 (64.2%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=2)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
	30歳代 (n=5)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)
	40歳代 (n=17)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	1 (5.9%)	9 (52.9%)
	50歳代 (n=8)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	7 (87.5%)
60歳代 (n=10)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	
70歳以上 (n=11)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	9 (81.8%)	

※【問18】で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」を選択された方のみ回答

【問19】それは、どのような理由からですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「相談することではないと思ったから」と回答した割合が44.9%で最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから(39.8%)」、「相談しても無駄だと思ったから(30.6%)」の順となっている。また、第4位が「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」となっており、28.6%で約3割を占めている。

【性別・年代別】

性別による傾向の差はみられない。

年代別みみると、サンプル数が少ないためばらつきが見られるものの、70歳以上男性は「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」と回答した割合が最も高くなっている。

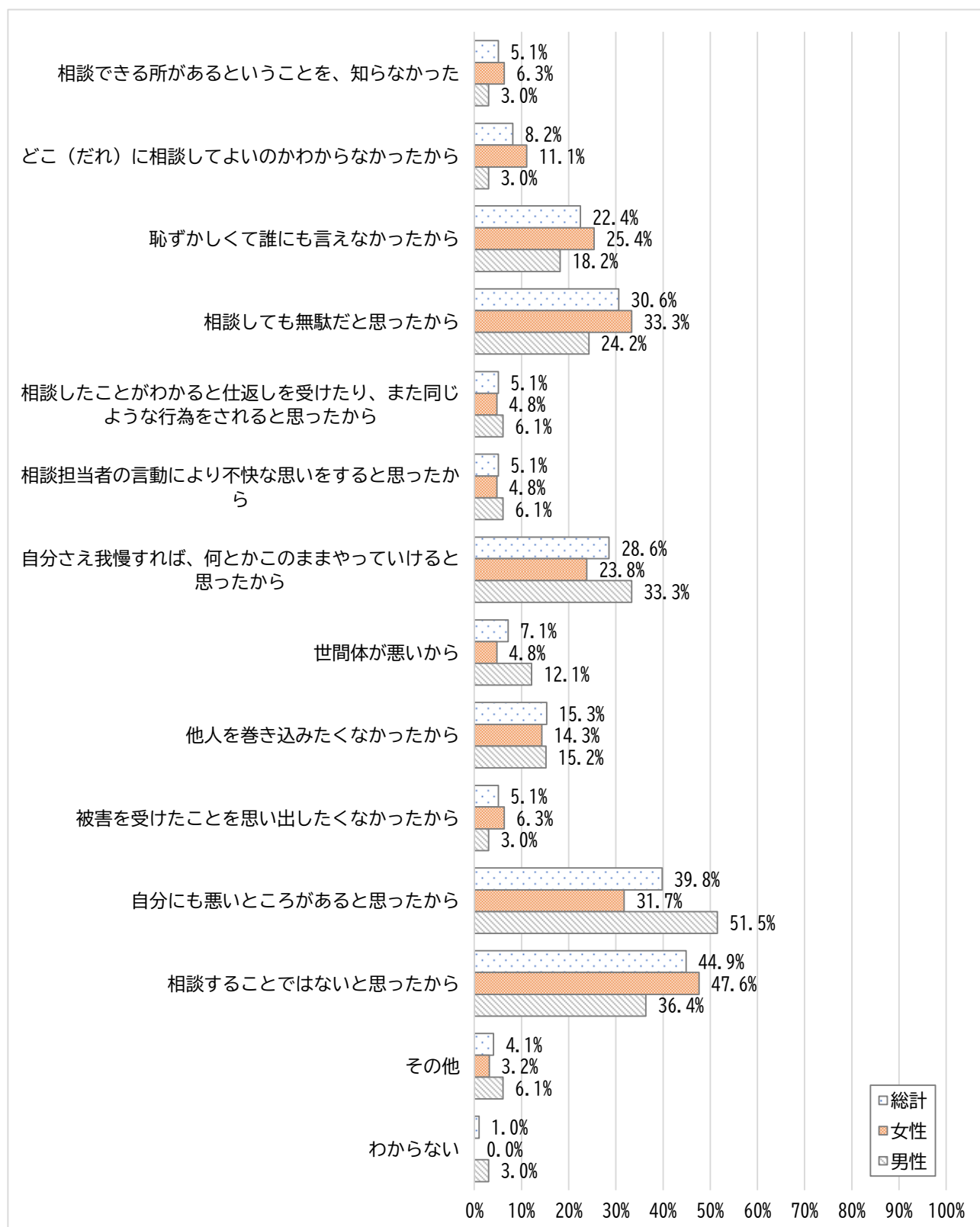
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」と回答した割合が12.1%から22.4%に上昇している。

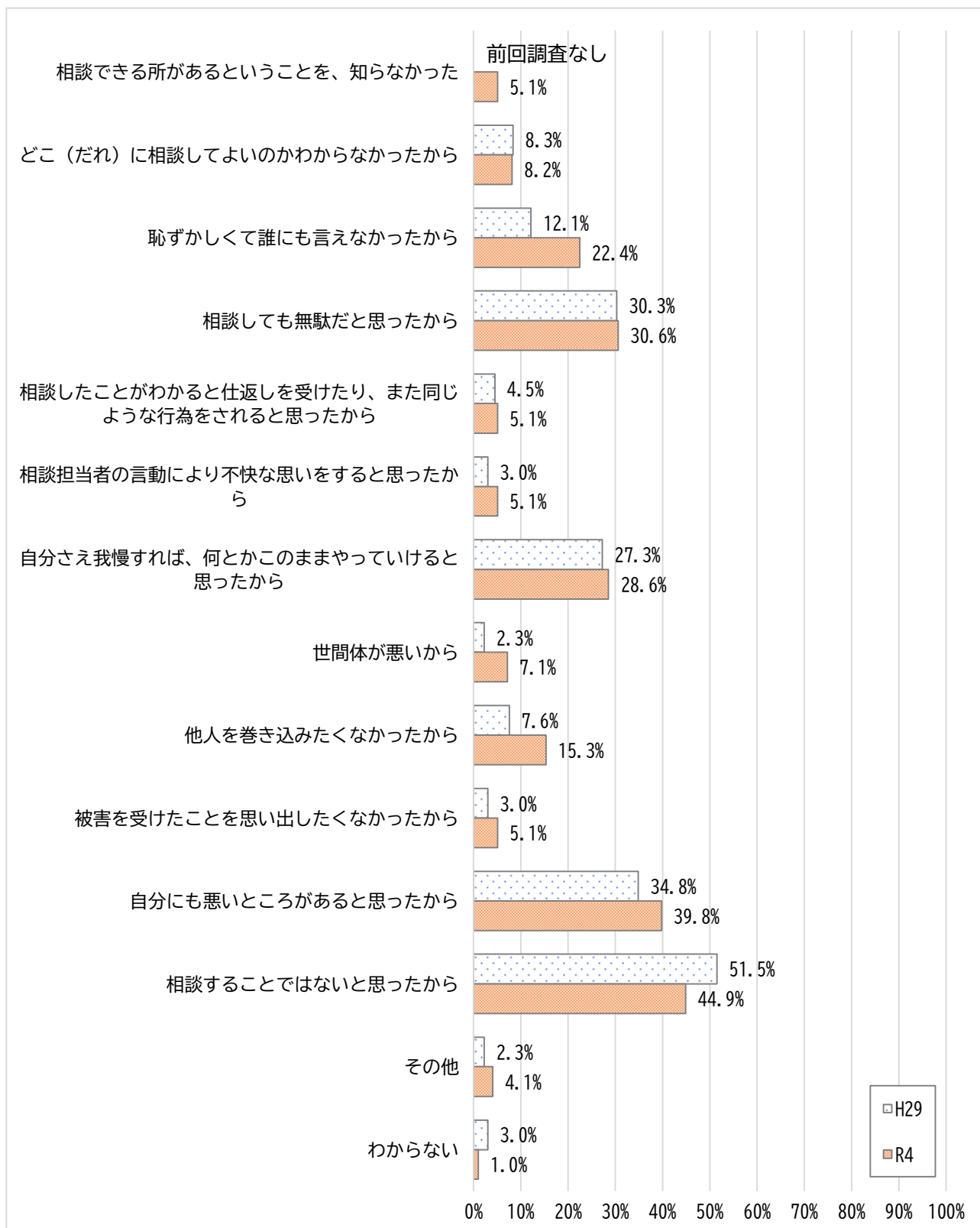
「その他」の自由回答

- 悪ノリをお互いしてたから(30歳代男性)
- 他人に相談するまでの事でない。自分でなんとでもできる。(50歳代男性)
- 自分で解決すると決めていたから。(30歳代女性)

図表 19-1 暴力を受けてどこ（だれ）にも相談しなかった理由【全体及び性別】



図表 19-2 暴力を受けてどこ（だれ）にも相談しなかった理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 19-3 暴力を受けてどこ（だれ）にも相談しなかった理由【性別・年代別】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		知らないうちから相談できなかった	相談できる所がなかった	相談してよいかかわりなく	だれか（だれ）に相談した	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった	相談したことがわからなかった
総数 (n=98)		5 (5.1%)	8 (8.2%)	22 (22.4%)	30 (30.6%)	5 (5.1%)	5 (5.1%)	28 (28.6%)	7 (7.1%)	15 (15.3%)	5 (5.1%)	39 (39.8%)	44 (44.9%)	4 (4.1%)	1 (1.0%)	
性別・年代別	女性 (n=63)	4 (6.3%)	7 (11.1%)	16 (25.4%)	21 (33.3%)	3 (4.8%)	3 (4.8%)	15 (23.8%)	3 (4.8%)	9 (14.3%)	4 (6.3%)	20 (31.7%)	30 (47.6%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	
	10歳代 (n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20歳代 (n=1)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=5)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=9)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=18)	2 (11.1%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	6 (33.3%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=14)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (35.7%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	5 (35.7%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=16)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	3 (18.8%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	4 (25.0%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	男性 (n=33)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	6 (18.2%)	8 (24.2%)	2 (6.1%)	2 (6.1%)	11 (33.3%)	4 (12.1%)	5 (15.2%)	3 (9.0%)	17 (51.5%)	12 (36.4%)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	
	10歳代 (n=0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20歳代 (n=1)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=2)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=8)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
	50歳代 (n=7)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=6)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70歳以上 (n=9)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

8 地域社会づくりについて

【問20】あなたは現在、仕事以外に何か地域活動等に参加していますか。（地域活動とは町内会、公民館、地域女性団体、PTA、ボランティア活動など地域に貢献する活動）（MA）

【全体】

全体で見ると、「特に何もしていない」と回答した割合が53.4%で最も高く、次いで「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動（37.3%）」、「PTAや子ども会などの青少年育成活動（12.0%）」の順となっている。

【性別・年代別】

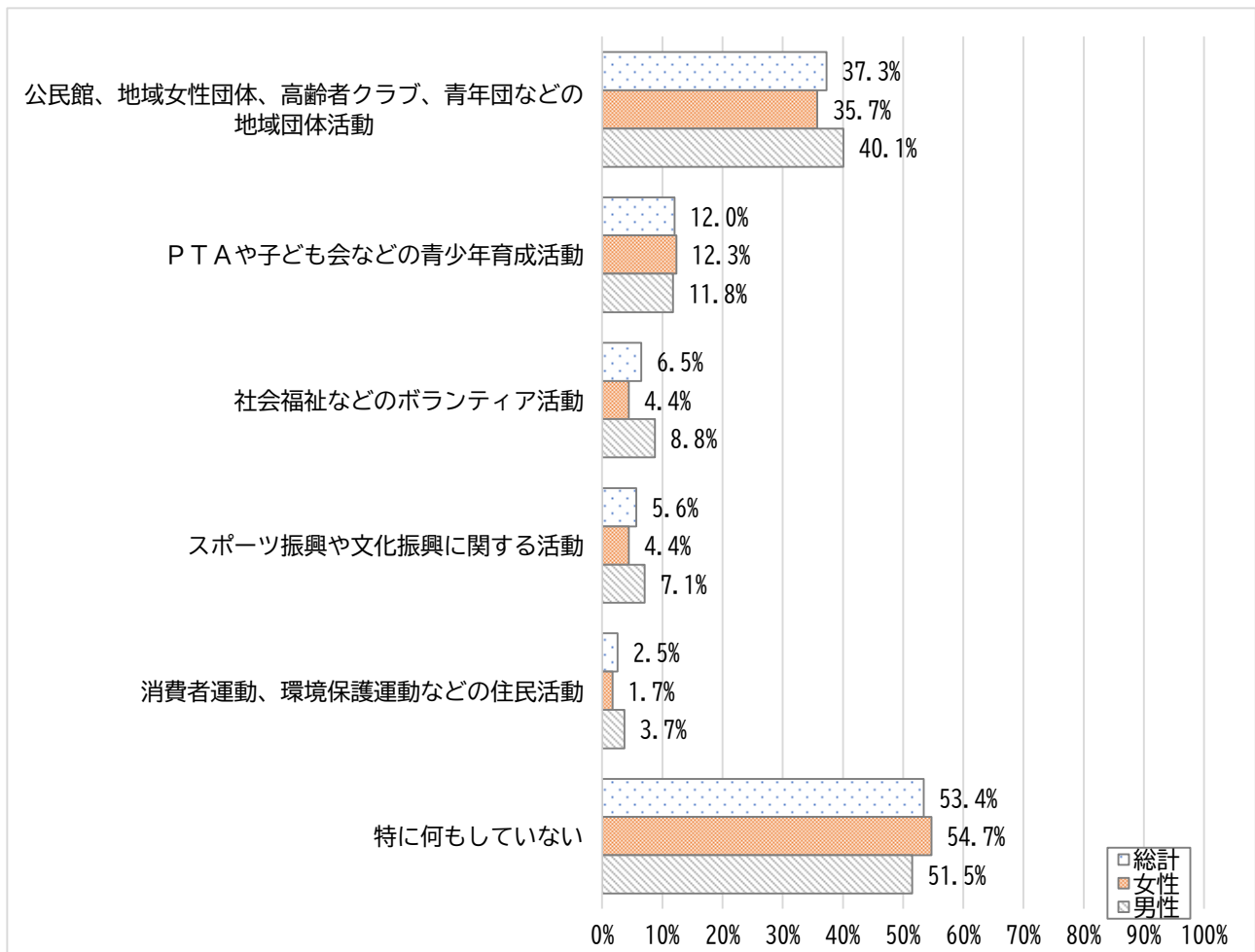
性別で見ると、「社会福祉などのボランティア活動」において、男性の割合が女性よりも高くなっている。

年代別も踏まえてみると、60歳代女性と70歳以上男性は、「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動」と回答した割合が最も高くなっている。

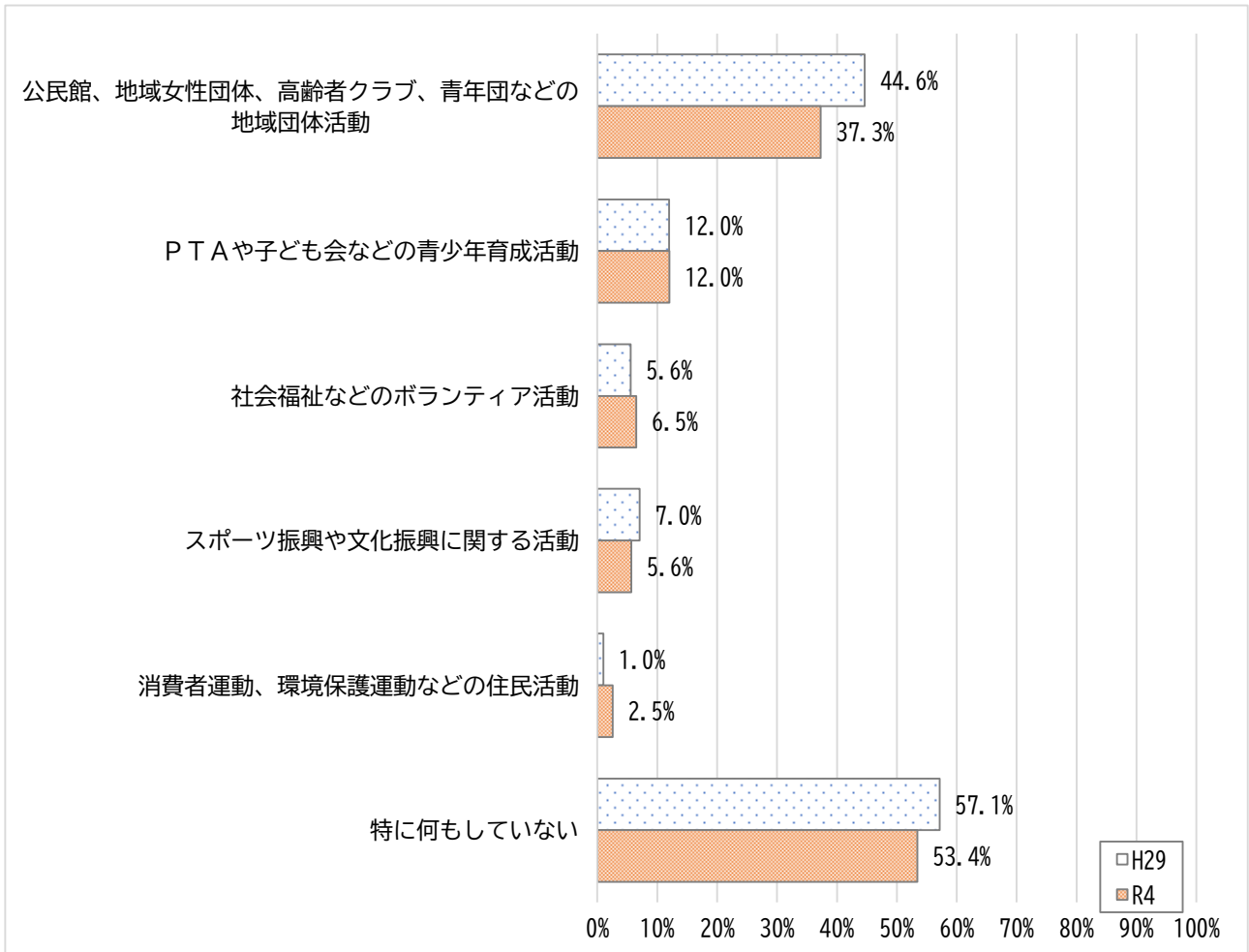
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動」と回答した割合が低下し、「消費者運動、環境保護運動などの住民活動」と回答した割合が上昇している。

図表 20-1 地域活動状況【全体及び性別】



図表 20-2 地域活動状況【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 20-3 地域活動状況【性別・年代別】

	1 青年団などの地域活動	2 公民館、高齢者などの地域活動	3 PTAや子ども会などの活動	4 ボランティア活動	5 文化振興に關する活動	6 環境住民活動など	7 消費者運動、ない何もしない
総数 (n=708)	264 (37.3%)	85 (12.0%)	46 (6.5%)	40 (5.6%)	18 (2.5%)	378 (53.4%)	
性別・年代別	女性 (n=406)	145 (35.7%)	50 (12.3%)	18 (4.4%)	18 (4.4%)	7 (1.7%)	222 (54.7%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	20歳代 (n=24)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (83.3%)
	30歳代 (n=51)	12 (23.5%)	16 (31.4%)	0 (0.0%)	3 (5.9%)	1 (2.0%)	28 (54.9%)
	40歳代 (n=70)	21 (30.0%)	21 (30.0%)	3 (4.3%)	4 (5.7%)	2 (2.9%)	38 (54.3%)
	50歳代 (n=109)	46 (42.2%)	10 (9.2%)	4 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	57 (52.3%)
	60歳代 (n=78)	39 (50.0%)	3 (3.8%)	5 (6.4%)	6 (7.7%)	0 (0.0%)	36 (46.2%)
	70歳以上 (n=71)	23 (32.4%)	0 (0.0%)	6 (8.5%)	4 (5.6%)	3 (4.2%)	41 (57.7%)
	男性 (n=297)	119 (40.1%)	35 (11.8%)	26 (8.8%)	21 (7.1%)	11 (3.7%)	153 (51.5%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	20歳代 (n=17)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	11 (64.7%)
	30歳代 (n=30)	12 (40.0%)	6 (20.0%)	2 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	17 (56.7%)
	40歳代 (n=67)	26 (38.8%)	18 (26.9%)	6 (9.0%)	5 (7.5%)	1 (1.5%)	35 (52.2%)
	50歳代 (n=71)	24 (33.8%)	8 (11.3%)	4 (5.6%)	8 (11.3%)	4 (5.6%)	39 (54.9%)
	60歳代 (n=50)	18 (36.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)	3 (6.0%)	28 (56.0%)
70歳以上 (n=58)	38 (65.5%)	1 (1.7%)	10 (17.2%)	3 (5.2%)	2 (3.4%)	19 (32.8%)	

※【問20】で「6 特に何もしていない」を選択された方のみ回答

【問21】それは、どのような理由からですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「特に理由はない」と回答した割合が46.1%で最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい(25.1%)」、「仕事や学業で時間がない(23.4%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、「社会活動に関心がない」と回答した割合は、女性の4.2%に対し、男性が13.0%となっている。

年代別も踏まえてみると、20～30歳代女性と40歳代男性は「仕事や学業で時間がない」の割合が最も高くなっており、30歳代及び60歳代男性は「人間関係がわずらわしい」の割合が最も高くなっている。

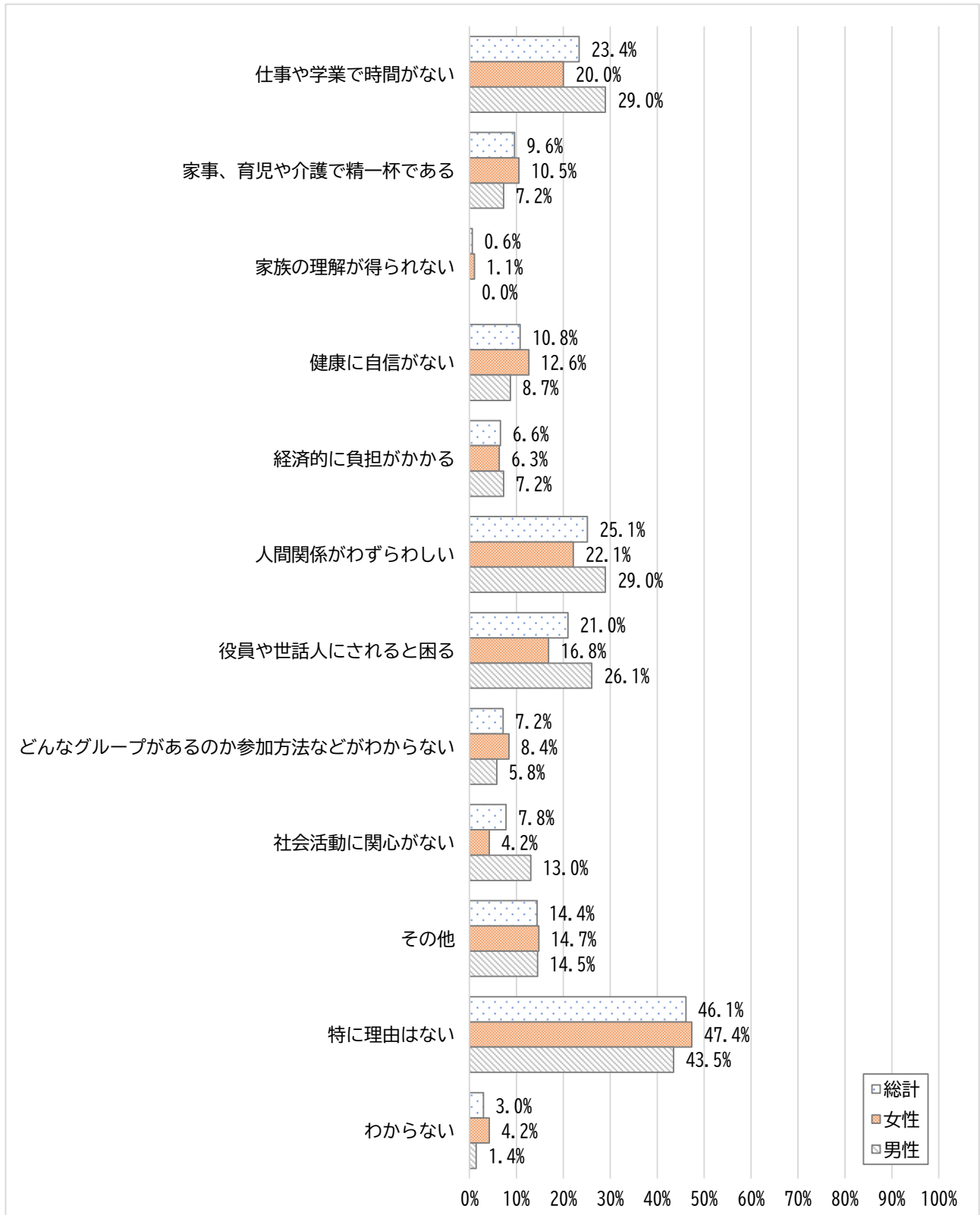
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「特に理由はない」、「役員や世話人にされると困る」、「人間関係がわずらわしい」、「その他」と回答した割合が上昇し、「仕事や学業で時間がない」、「健康に自信がない」と回答した割合が低下している。

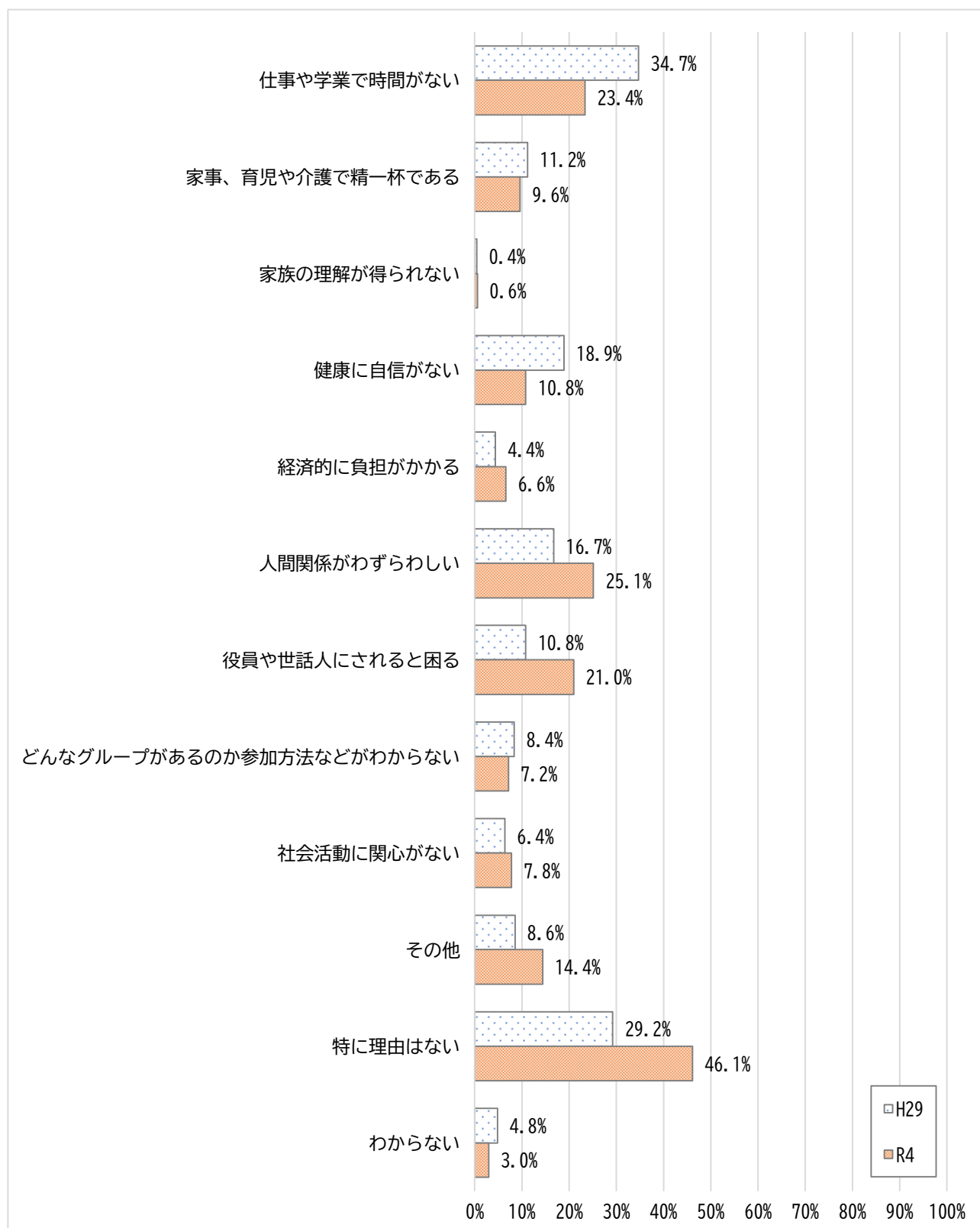
「その他」の自由回答

- 仕事を辞めたばかりの為(60歳代女性)
- 以前、学生のボランティアを行っていたが、コロナで中止。(50歳代女性)
- 以前、活動していたため、休養期間(40歳代男性)
- 働きたくても働けない体である(70歳以上男性)
- 今まで沢山、地域で活動してきた(もう良いという感じ)(70歳以上男性)
- 以前はやっていた(50歳代男性)
- わざわざ時間をとる価値を感じない(30歳代男性)
- 障害がありできない(30歳代男性)
- 月に2回ずつの生花ボランティア(70歳以上女性)
- 高齢の為(70歳以上女性)
- 1期3年間、民生委員をしました。今は仕事、まごの世話をしています。(70歳以上女性)
- 高齢者の為(70歳以上女性)
- 病気(50歳代男性)
- 数年前、女性部に参加していた(一年交代の為)(50歳代女性)
- 療養中(50歳代女性)
- 消防団(70歳以上男性)
- 単身赴任なので週末は自宅に帰っている(60歳代男性)
- 他人の悪口ばかり言う人がいるから(50歳代女性)
- 病気の為(50歳代女性)
- 配偶者に任せているから(40歳代女性)
- 交替したから(50歳代男性)
- 短期間で転居するかもしれないから(50歳代女性)
- 公民館に加入しているのに、案内や回覧板が回ってこないため、活動を知る術がない。(30歳代女性)

図表 21-1 特に何もしていない理由【全体及び性別】



図表 21-2 特に何もしていない理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 21-3 特に何もしていない理由【性別・年代別】

	1 間仕 が事 ない や学 業で 時	2 る護 で家 精事 一杯育 児や あ介	3 ら家 れ族 ないの 理解 が得	4 い健 康に 自信 がな	5 か経 済的 に負 担が	6 ら人 間関 係が わず	7 さ役 員や と世 話人 に	8 なあ どん なが わか から ない 方法	9 が社 会活 動に 関心	10 そ の他	11 特 に理 由は ない	12 わ から ない	
総数 (n=167)	39 (23.4%)	16 (9.6%)	1 (0.6%)	18 (10.8%)	11 (6.6%)	42 (25.1%)	35 (21.0%)	12 (7.2%)	13 (7.8%)	24 (14.4%)	77 (46.1%)	5 (3.0%)	
性・年代別	女性 (n=95)	19 (20.0%)	10 (10.5%)	1 (1.1%)	12 (12.6%)	6 (6.3%)	21 (22.1%)	16 (16.8%)	8 (8.4%)	4 (4.2%)	14 (14.7%)	45 (47.4%)	4 (4.2%)
	10歳代 (n=0)	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	20歳代 (n=9)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=12)	5 (41.7%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)	4 (33.3%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)
	40歳代 (n=18)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	5 (27.8%)	5 (27.8%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	9 (50.0%)	1 (5.6%)
	50歳代 (n=25)	5 (20.0%)	4 (16.0%)	1 (4.0%)	3 (12.0%)	1 (4.0%)	5 (20.0%)	4 (16.0%)	0 (0.0%)	1 (4.0%)	6 (24.0%)	11 (44.0%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=18)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	12 (66.7%)	0 (0.0%)
	70歳以上 (n=13)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	7 (53.8%)	1 (7.7%)
	男性 (n=69)	20 (29.0%)	5 (7.2%)	0 (0.0%)	6 (8.7%)	5 (7.2%)	20 (29.0%)	18 (26.1%)	4 (5.8%)	9 (13.0%)	10 (14.5%)	30 (43.5%)	1 (1.4%)
	10歳代 (n=1)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=8)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
	40歳代 (n=16)	8 (50.0%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	6 (37.5%)	6 (37.5%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)
	50歳代 (n=19)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	3 (15.8%)	10 (52.6%)	0 (0.0%)
	60歳代 (n=10)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)
70歳以上 (n=11)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	0 (0.0%)	

9 男女共同参画社会全般について

【問22】 いちき串木野市を含め、一般的に政策決定の場や自治組織等の方針決定の場への女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。(MA)

【全体】

全体でみると、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」と回答した割合が38.1%で最も高く、次いで「男性になるほうがいい（なるものだ）と思っている人が多い（31.7%）」、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある（29.9%）」の順となっている。

【性別・年代別】

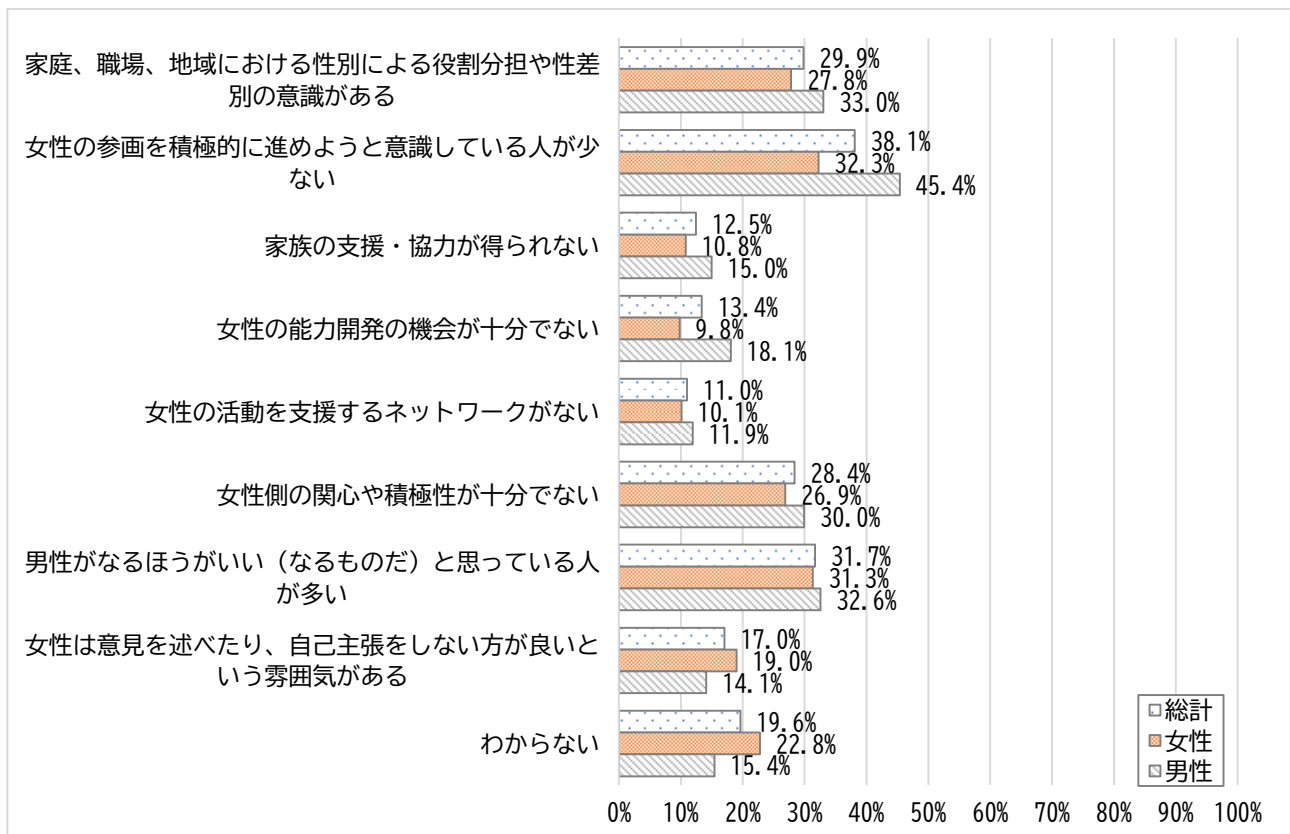
性別でみると、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」、「女性の能力開発の機会が十分でない」と回答した男性の割合が、女性と比べ高くなっている。

年代別でみると、40歳代女性と10歳代男性では「わからない」と回答した割合が最も高くなっている。

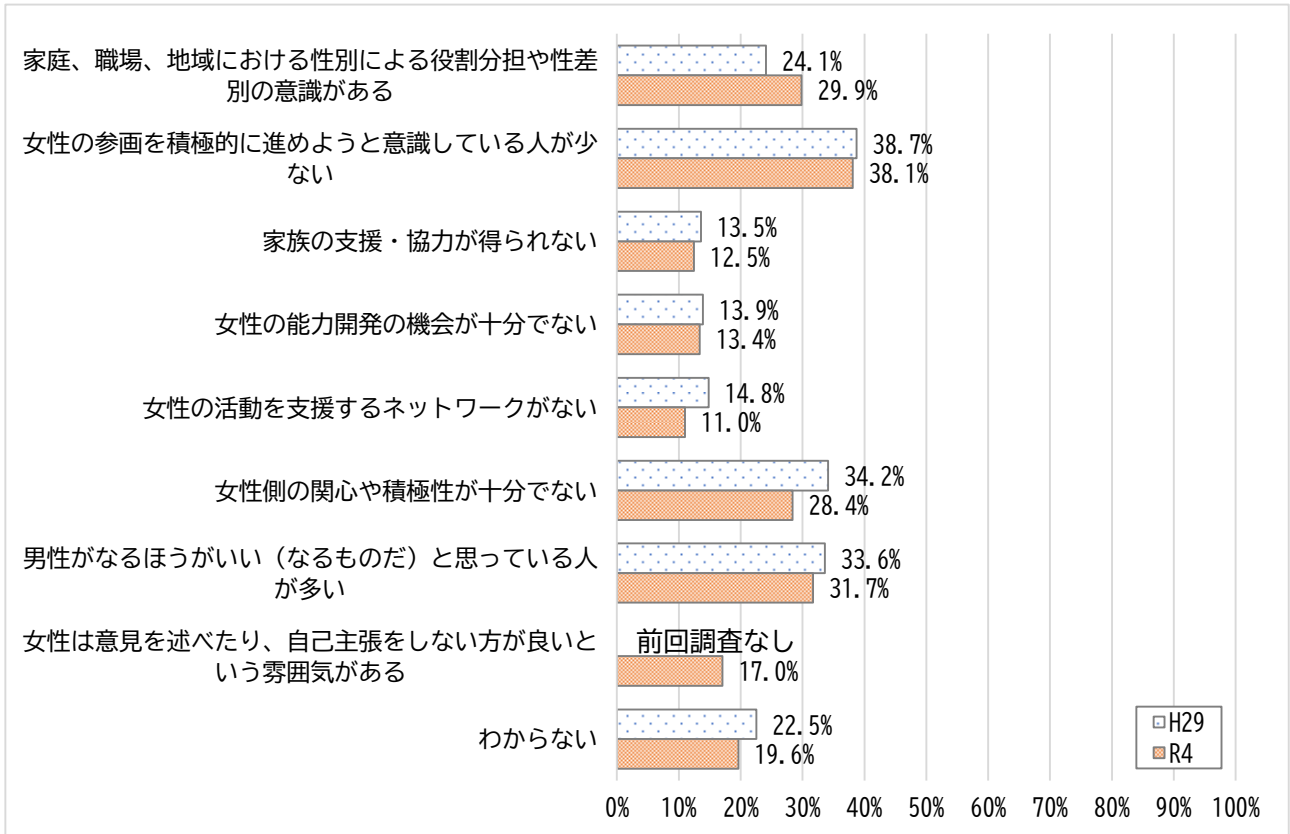
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある」と回答した割合が上昇し、「女性側の関心や積極性が十分でない」、「女性の活動を支援するネットワークがない」と回答した割合が低下している。

図表 22-1 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【全体及び性別】



図表 22-2 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 22-3 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【性別・年代別】

	理由									
	1 性別による役割分担意識がある	2 家庭・職場・地域での女性の参画意識が低い	3 家族の支援・協力が得られない	4 女性の能力開発の機会が十分でない	5 女性の活動を支援するネットワークがない	6 女性側の関心や積極性が十分でない	7 男性になるほうがいい（なるものだ）と思っている人が多い	8 女性は意見を述べたり、自己主張をしない方が良くという雰囲気がある	9 わからない	
総数 (n=546)	163 (29.9%)	208 (38.1%)	68 (12.5%)	73 (13.4%)	60 (11.0%)	155 (28.4%)	173 (31.7%)	93 (17.0%)	107 (19.6%)	
性別・年代別	女性 (n=316)									
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=21)	10 (47.6%)	6 (28.6%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	5 (23.8%)	3 (14.3%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	6 (28.6%)
	30歳代 (n=43)	15 (34.9%)	15 (34.9%)	5 (11.6%)	3 (7.0%)	8 (18.6%)	10 (23.3%)	11 (25.6%)	7 (16.3%)	10 (23.3%)
	40歳代 (n=52)	16 (30.8%)	11 (21.2%)	3 (5.8%)	6 (11.5%)	4 (7.7%)	7 (13.5%)	18 (34.6%)	11 (21.2%)	18 (34.6%)
	50歳代 (n=85)	23 (27.1%)	32 (37.6%)	13 (15.3%)	9 (10.6%)	8 (9.4%)	27 (31.8%)	27 (31.8%)	22 (25.9%)	17 (20.0%)
	60歳代 (n=57)	14 (24.6%)	18 (31.6%)	6 (10.5%)	9 (15.8%)	1 (1.8%)	19 (33.3%)	23 (40.4%)	9 (15.8%)	7 (12.3%)
	70歳以上 (n=55)	9 (16.4%)	19 (34.5%)	4 (7.3%)	4 (7.3%)	6 (10.9%)	19 (34.5%)	15 (27.3%)	9 (16.4%)	13 (23.6%)
	男性 (n=227)									
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	20歳代 (n=14)	7 (50.0%)	6 (42.9%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	4 (28.6%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	30歳代 (n=22)	7 (31.8%)	8 (36.4%)	4 (18.2%)	4 (18.2%)	1 (4.5%)	6 (27.3%)	11 (50.0%)	5 (22.7%)	4 (18.2%)
	40歳代 (n=51)	16 (31.4%)	17 (33.3%)	6 (11.8%)	10 (19.6%)	8 (15.7%)	15 (29.4%)	15 (29.4%)	3 (5.9%)	10 (19.6%)
	50歳代 (n=51)	20 (39.2%)	28 (54.9%)	9 (17.6%)	8 (15.7%)	7 (13.7%)	13 (25.5%)	21 (41.2%)	10 (19.6%)	4 (7.8%)
60歳代 (n=36)	7 (19.4%)	15 (41.7%)	7 (19.4%)	7 (19.4%)	3 (8.3%)	14 (38.9%)	9 (25.0%)	5 (13.9%)	8 (22.2%)	
70歳以上 (n=50)	18 (36.0%)	28 (56.0%)	6 (12.0%)	9 (18.0%)	4 (8.0%)	16 (32.0%)	14 (28.0%)	9 (18.0%)	5 (10.0%)	

【問23】あなたは今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

【全体】

全体でみると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」と回答した割合が43.0%で最も高く、次いで「夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと(33.1%)」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること(32.1%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、「男性が家事などに参画することによるライフスタイルの変化に対する抵抗感をなくすこと」と回答した女性の割合が、男性と比べ高くなっており、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」と回答した男性の割合が、女性と比べ高くなっている。

年代別でみると、ばらつきが見られるものの、全体との傾向の差はみられない。

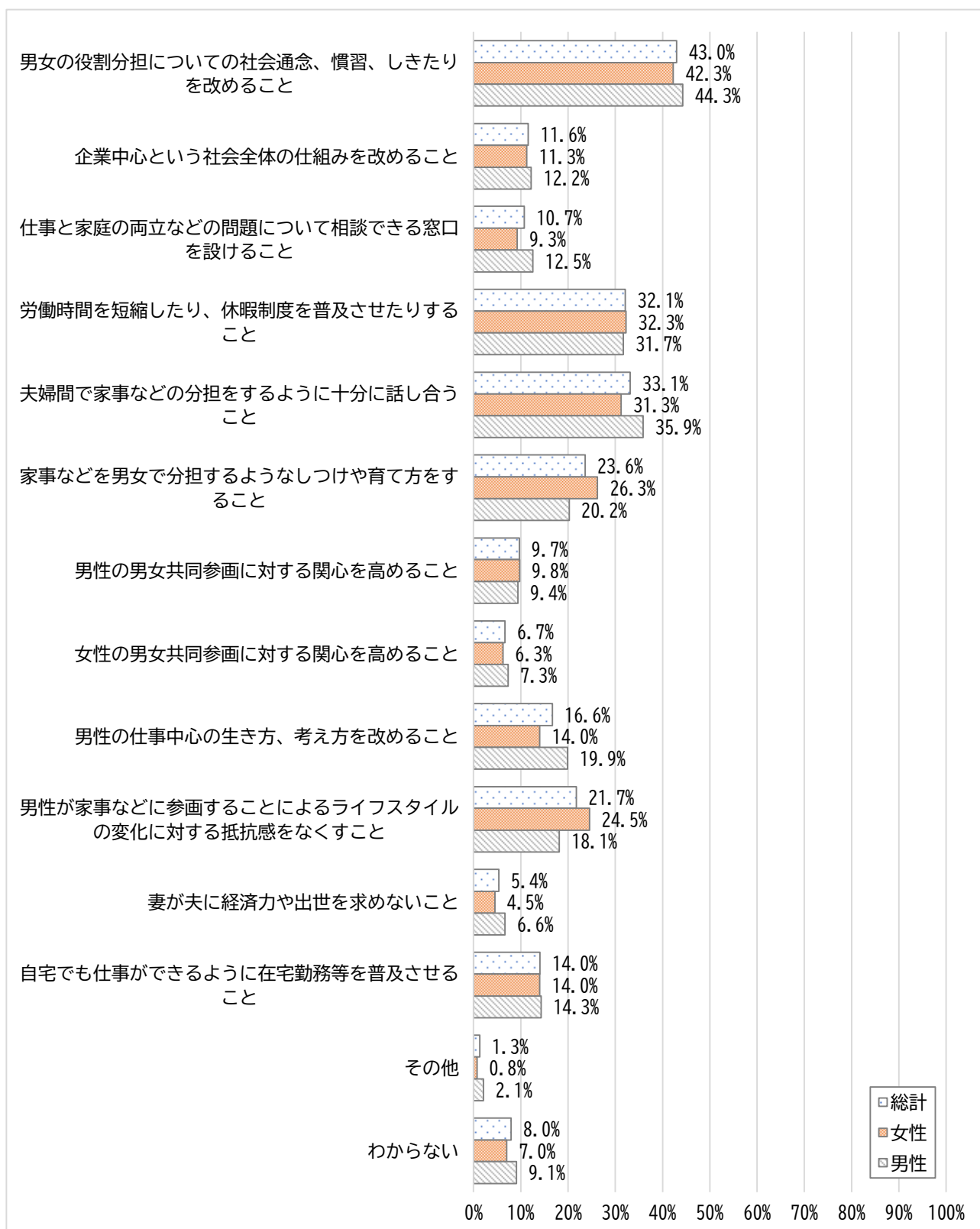
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」、「家事などを男女で分担するようしつけや育て方をすること」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること」、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」と回答した割合が上昇し、「わからない」、「男性の男女共同参画に対する関心を高めること」と回答した割合が低下している。

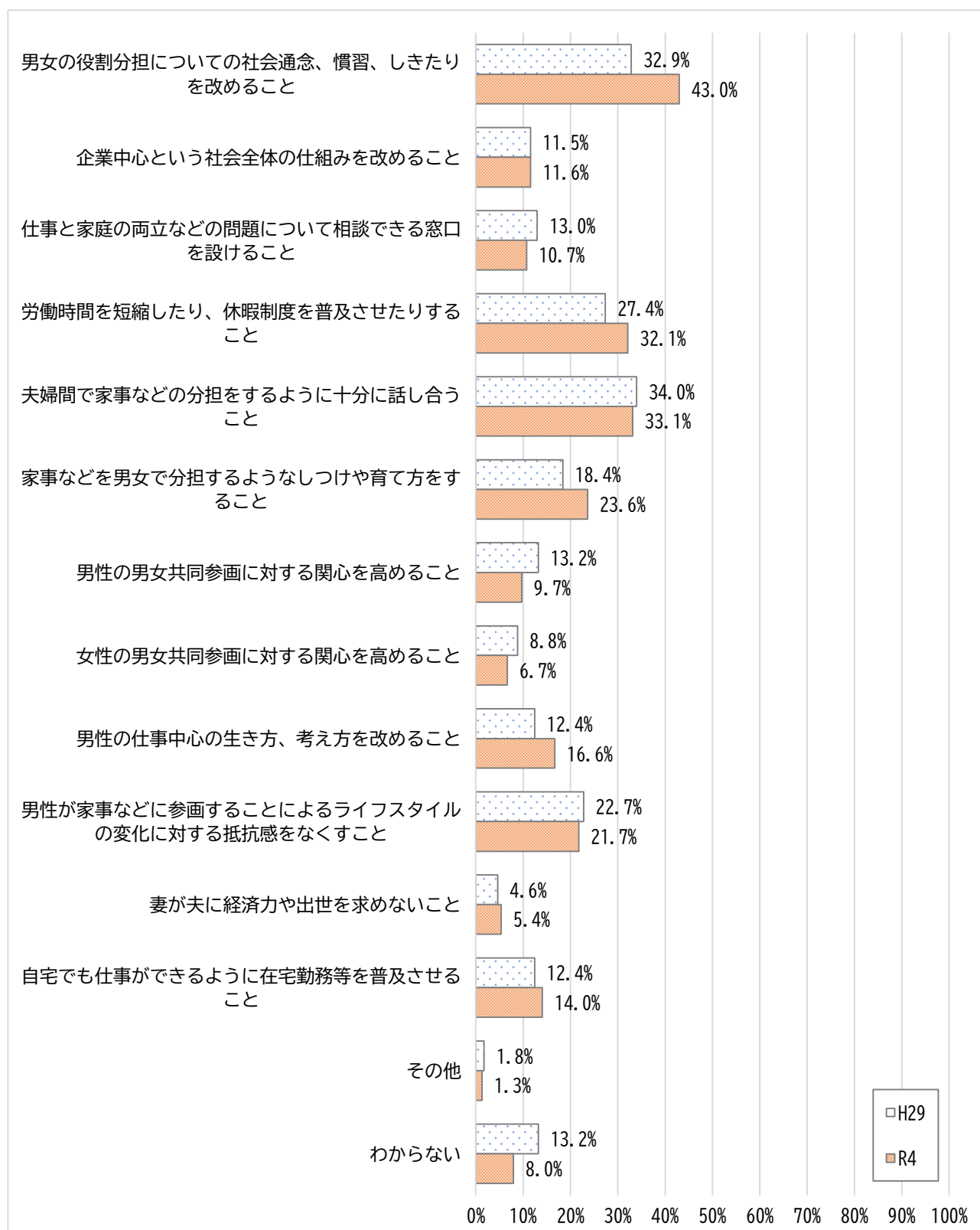
「その他」の自由回答

- 積極的に参加させるというカテゴリをつくらない(30歳代男性)
- 色々な援助や補助を充実(50歳代女性)
- 自己の幸福感、充足感を高め、ゆとりを持たせ、他者へと思いやりを持たせる余裕を生み出すこと。(30歳代男性)
- 地域住民との相互理解(70歳以上男性)
- 人の違いを認め合うこと(30歳代女性)
- あまりこのような事を考えた事が少ない。私の周りでは、立派な女性が多いため、男だの女だの言う事自体がおかしいと思う。(50歳代男性)
- 男女の相互尊重、尊敬(70歳以上男性)
- どうあるべきかを決めなくてもそれぞれで話し合いをもてれば良い(60歳代女性)

図表 23-1 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと【全体及び性別】



図表 23-2 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと
【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 23-3 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと【性別・年代別】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		習いごと の役割を 改めたい こと	男女の 社会役割 を改めたい こと	企業中心 の社会 を改めたい こと	仕事と 家庭の 両立が 難しい こと	労働時間 を短縮した り させたい こと	夫婦間で 家事などの 分担を 話し合う こと	家事など を男で やること	男性の 参画を 高める こと	女性の 参画を 高める こと	男性の 働き方 を改めたい こと	男性が 家事などに 参画する こと	妻が 世帯を 支える こと	自宅でも 在宅勤務 が できる こと	その他	わからない
総数 (n=691)		297 (43.0%)	80 (11.6%)	74 (10.7%)	222 (32.1%)	229 (33.1%)	163 (23.6%)	67 (9.7%)	46 (6.7%)	115 (16.6%)	150 (21.7%)	37 (5.4%)	97 (14.0%)	9 (1.3%)	55 (8.0%)	
性・年代別	女性 (n=400)	169 (42.3%)	45 (11.3%)	37 (9.3%)	129 (32.3%)	125 (31.3%)	105 (26.3%)	39 (9.8%)	25 (6.3%)	56 (14.0%)	98 (24.5%)	18 (4.5%)	56 (14.0%)	3 (0.8%)	28 (7.0%)	
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=24)	8 (33.3%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)	14 (58.3%)	5 (20.8%)	4 (16.7%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	5 (20.8%)	0 (0.0%)	5 (20.8%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
	30歳代 (n=51)	22 (43.1%)	7 (13.7%)	5 (9.8%)	27 (52.9%)	9 (17.6%)	11 (21.6%)	4 (7.8%)	5 (9.8%)	9 (17.6%)	9 (17.6%)	9 (17.6%)	1 (2.0%)	10 (19.6%)	1 (2.0%)	4 (7.8%)
	40歳代 (n=70)	30 (42.9%)	7 (10.0%)	6 (8.6%)	20 (28.6%)	21 (30.0%)	22 (31.4%)	6 (8.6%)	5 (7.1%)	7 (10.0%)	17 (24.3%)	5 (7.1%)	7 (10.0%)	0 (0.0%)	5 (7.1%)	
	50歳代 (n=104)	47 (45.2%)	11 (10.6%)	13 (12.5%)	30 (28.8%)	37 (35.6%)	26 (25.0%)	6 (5.8%)	6 (5.8%)	17 (16.3%)	22 (21.2%)	6 (5.8%)	17 (16.3%)	1 (1.0%)	6 (5.8%)	
	60歳代 (n=73)	36 (49.3%)	6 (8.2%)	2 (2.7%)	22 (30.1%)	23 (31.5%)	24 (32.9%)	11 (15.1%)	3 (4.1%)	12 (16.4%)	22 (30.1%)	4 (5.5%)	7 (9.6%)	1 (1.4%)	3 (4.1%)	
	70歳以上 (n=75)	24 (32.0%)	8 (10.7%)	10 (13.3%)	14 (18.7%)	30 (40.0%)	18 (24.0%)	11 (14.7%)	5 (6.7%)	10 (13.3%)	22 (29.3%)	1 (1.3%)	10 (13.3%)	0 (0.0%)	8 (10.7%)	
	男性 (n=287)	127 (44.3%)	35 (12.2%)	36 (12.5%)	91 (31.7%)	103 (35.9%)	58 (20.2%)	27 (9.4%)	21 (7.3%)	57 (19.9%)	52 (18.1%)	19 (6.6%)	41 (14.3%)	6 (2.1%)	26 (9.1%)	
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	
	20歳代 (n=16)	7 (43.8%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	9 (56.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	
	30歳代 (n=30)	13 (43.2%)	2 (6.7%)	2 (6.7%)	10 (33.3%)	12 (40.0%)	5 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (6.7%)	8 (26.7%)	8 (26.7%)	3 (10.0%)	4 (13.3%)	2 (6.7%)	3 (10.0%)	
	40歳代 (n=65)	23 (35.4%)	8 (12.3%)	12 (18.5%)	19 (29.2%)	24 (36.9%)	13 (20.0%)	7 (10.8%)	2 (3.1%)	11 (16.9%)	12 (18.5%)	4 (6.2%)	15 (23.1%)	0 (0.0%)	6 (9.2%)	
	50歳代 (n=68)	29 (42.6%)	12 (17.6%)	8 (11.8%)	28 (41.2%)	27 (39.7%)	16 (23.5%)	6 (8.8%)	5 (7.4%)	9 (13.2%)	12 (17.6%)	4 (5.9%)	6 (8.8%)	1 (1.5%)	8 (11.8%)	
	60歳代 (n=45)	25 (55.6%)	5 (11.1%)	5 (11.1%)	12 (26.7%)	20 (44.4%)	14 (31.1%)	6 (13.3%)	4 (8.9%)	11 (24.4%)	7 (15.6%)	1 (2.2%)	6 (13.3%)	0 (0.0%)	2 (4.4%)	
70歳以上 (n=59)	30 (50.8%)	3 (5.1%)	9 (15.3%)	13 (22.0%)	16 (27.1%)	8 (13.6%)	6 (10.2%)	6 (10.2%)	14 (23.7%)	10 (16.9%)	5 (8.5%)	5 (8.5%)	3 (5.1%)	4 (6.8%)		

【問 24】 あなたはこの調査以前に、次の言葉についてご存知でしたか。(SA)

【全体】

全体でみると、「言葉も内容もよく知っている」と回答した割合は、15 項目中、「ジェンダー」が 28.4%で最も高く、次いで「生理の貧困 (23.7%)」、「育児・介護休業法 (22.9%)」の順となっている。

一方で、「言葉も内容も知らない」と回答した割合は、15 項目中、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)」が 84.0%で最も高く、次いで「SOGI (77.1%)」、「ポジティブ・アクション (積極的改善措置) (55.2%)」の順となっている。

【性別】

性別でみると、「ダイバーシティ」については、女性よりも男性の認知度が高く、「生理の貧困」については、男性よりも女性の認知度が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「ジェンダー」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV 防止法)」、「鹿児島県男女共同参画推進条例」、「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」の認知度が上昇し、「男女雇用機会均等法」、「育児・介護休業法」の認知度が低下している。

【A ジェンダー】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」と回答した割合が最も高い。年代別でみると、30 歳代女性は認知度が高く、70 歳以上は男女ともに認知度が低くなっている。

【B SOGI】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別による傾向の差はみられない。

【C ダイバーシティ】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別にみると、男性の認知度が高くなっており、年代別にみると、10 歳代女性、20 歳代男性、40 歳代男女、50 歳代女性の認知度が高く、70 歳以上男女の認知度が低くなっている。

【D リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別による傾向の差はみられない。年代別にみると、10 歳代及び 20 歳代男女の認知度が高く、60 歳代男性は「言葉だけは知っている」割合が高い。

【E ポジティブ・アクション (積極的改善措置)】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、10~20 歳代及び 60 歳代男性の認知度が、比較的高くなっている。

【F 男女共同参画社会基本法】

全体及び男女とも、「言葉だけは知っている」と回答した割合が最も高い。性別・年代別でみると、10 歳代女性、20 歳代男性の認知度が比較的高く、40 歳代女性の認知度が低くなっている。50 歳代女性は「言葉だけは知っている」と回答した割合が高い。

【G 男女雇用機会均等法】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」と回答した割合が最も高い。性別・年代別による傾向の差はみられない。

【H 育児・介護休業法】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」と回答した割合が最も高い。性別・年代別による傾向の差はみられない。

【I 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」と回答した割合が最も高い。性別・年代別による傾向の差はみられない。

【J 鹿児島県男女共同参画推進条例】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、20歳代男性の認知度が高くなっている。

【K 鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、20歳代男性の認知度が高く、30歳代男性の認知度が低くなっている。

【L ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、10歳代女性、20～30歳代男女の認知度が高く、70歳以上男性の認知度が低くなっている。

【M 女子差別撤廃条例】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、20～30歳代男性の認知度が比較的高く、50歳代男性は「言葉だけは知っている」と回答した割合が高い。

【N 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）】

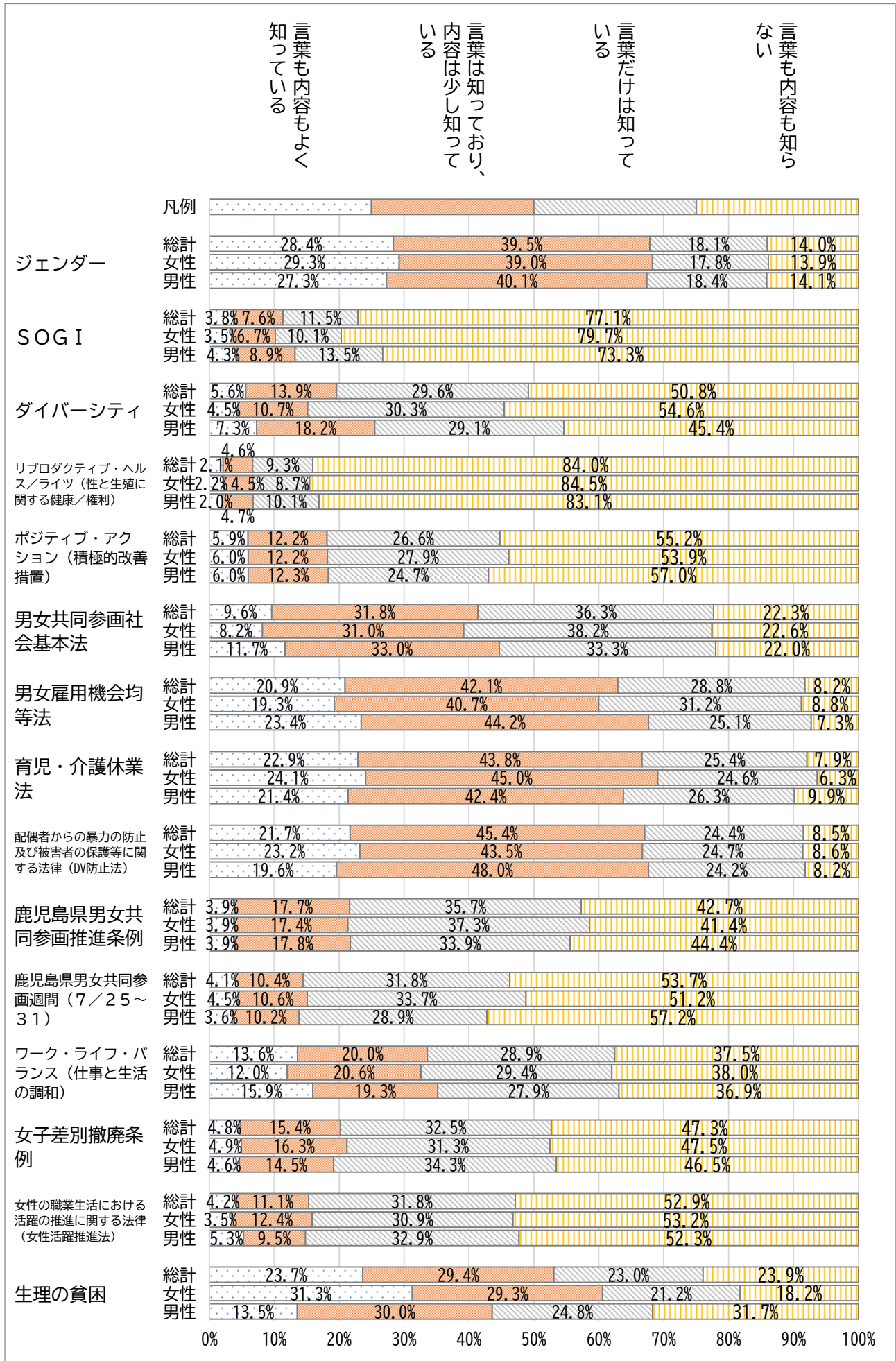
全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。性別・年代別にみると、20歳代男性の認知度が高く、40歳代及び70歳以上男性の認知度が低くなっている。

【O 生理の貧困】

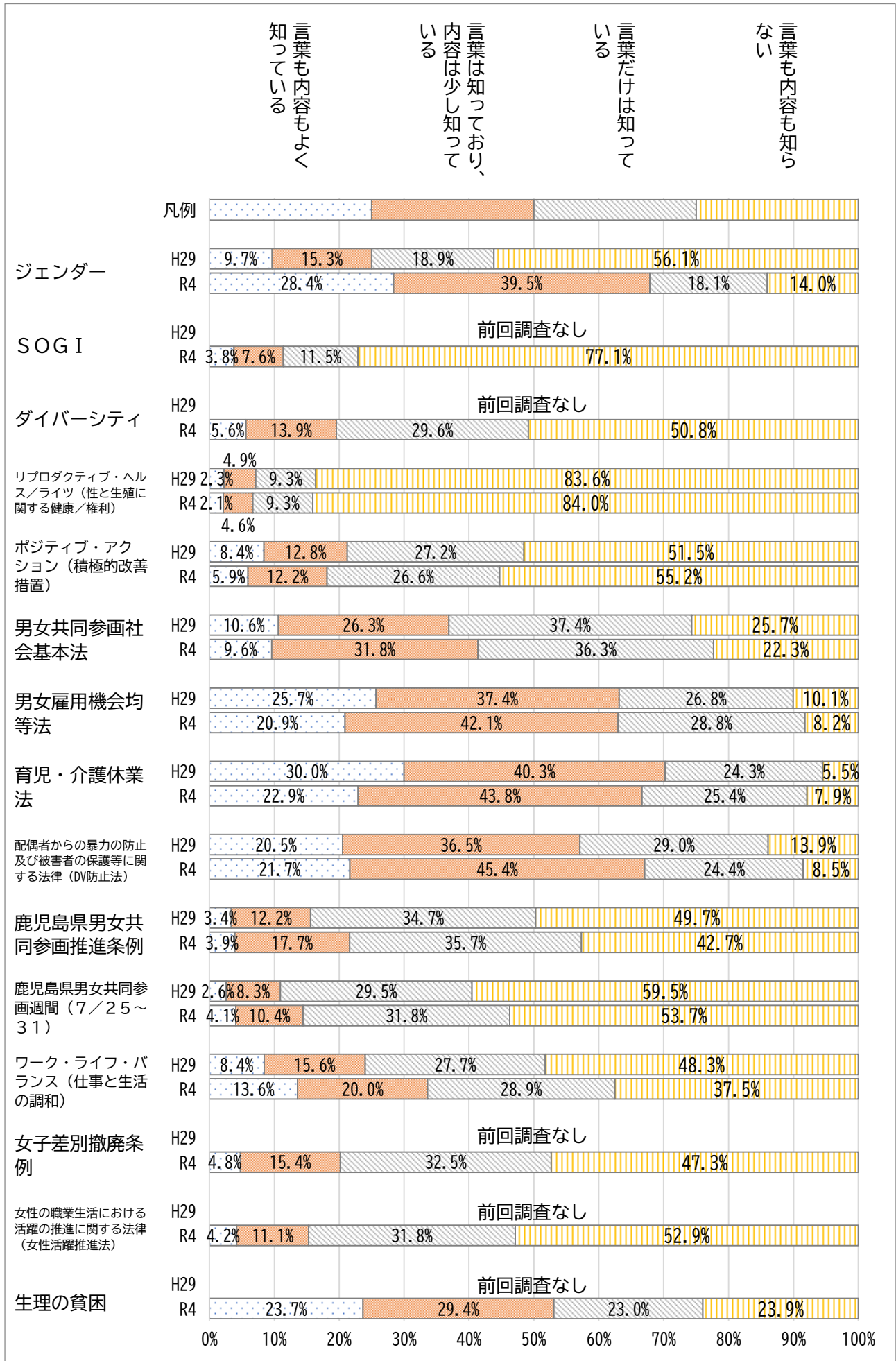
全体では、「言葉は知っており、内容は少し知っている」と回答した割合最も高くなっているものの、女性は、「言葉も内容もよく知っている」と回答した割合が最も高く、男性は、「言葉も内容も知らない」と回答した割合が最も高くなっている。

性別・年代別にみると、20歳代男性の認知度が高く、40歳代及び70歳以上男性の認知度が低くなっている。

図表 24-1 男女共同参画に関する用語の認知度【全体及び性別】



図表 24-2 男女共同参画に関する用語の認知度【今回調査(R4)と前回調査(H29)との比較】



図表 24-3 男女共同参画に関する用語の認知度
【ジェンダー】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るも よ	2 知り 言葉 つて 内は い容 知は つ少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 葉な いも 内 容も 知
総数 (n=719)	204 (28.4%)	284 (39.5%)	130 (18.1%)	101 (14.0%)
性・年代別	女性 (n=410)			
	10歳代 (n=3)			
	20歳代 (n=23)			
	30歳代 (n=53)			
	40歳代 (n=71)			
	50歳代 (n=107)			
	60歳代 (n=79)			
	70歳以上 (n=74)			
	男性 (n=304)			
	10歳代 (n=4)			
	20歳代 (n=17)			
	30歳代 (n=33)			
	40歳代 (n=68)			
	50歳代 (n=72)			
	60歳代 (n=49)			
70歳以上 (n=61)				

図表 24-4 男女共同参画に関する用語の認知度
【SOG I】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るも よ	2 知り 言葉 つて 内は い容 知は つ少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 葉な いも 内 容も 知
総数 (n=712)	27 (3.8%)	54 (7.6%)	82 (11.5%)	549 (77.1%)
性・年代別	女性 (n=404)			
	10歳代 (n=3)			
	20歳代 (n=22)			
	30歳代 (n=52)			
	40歳代 (n=71)			
	50歳代 (n=108)			
	60歳代 (n=77)			
	70歳以上 (n=71)			
	男性 (n=303)			
	10歳代 (n=4)			
	20歳代 (n=17)			
	30歳代 (n=34)			
	40歳代 (n=67)			
	50歳代 (n=71)			
	60歳代 (n=49)			
70歳以上 (n=61)				

図表 24-5 男女共同参画に関する用語の認知度
【ダイバーシティ】

		1	2	3	4
		く言 知つても て内容も よ	知り、葉 つて内は い容知は 少しお	て言 い葉 るだけ は知っ	ら言 ないも 内容も 知
総数 (n=710)		40 (5.6%)	99 (13.9%)	210 (29.6%)	361 (50.8%)
性・ 年代別	女性 (n=403)	18 (4.5%)	43 (10.7%)	122 (30.3%)	220 (54.6%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	7 (31.8%)	11 (50.0%)
	30歳代 (n=53)	5 (9.4%)	6 (11.3%)	17 (32.1%)	25 (47.2%)
	40歳代 (n=70)	4 (5.7%)	8 (11.4%)	32 (45.7%)	26 (37.1%)
	50歳代 (n=107)	5 (4.7%)	18 (16.8%)	35 (32.7%)	49 (45.8%)
	60歳代 (n=77)	1 (1.3%)	7 (9.1%)	19 (24.7%)	50 (64.9%)
	70歳以上 (n=71)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	12 (16.9%)	57 (80.3%)
	男性 (n=302)	22 (7.3%)	55 (18.2%)	88 (29.1%)	137 (45.4%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	5 (29.4%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)
	30歳代 (n=34)	1 (2.9%)	10 (29.4%)	9 (26.5%)	14 (41.2%)
	40歳代 (n=66)	5 (7.6%)	15 (22.7%)	25 (37.9%)	21 (31.8%)
	50歳代 (n=71)	7 (9.9%)	13 (18.3%)	21 (29.6%)	30 (42.3%)
60歳代 (n=49)	2 (4.1%)	7 (14.3%)	14 (28.6%)	26 (53.1%)	
70歳以上 (n=61)	2 (3.3%)	5 (8.2%)	13 (21.3%)	41 (67.2%)	

図表 24-6 男女共同参画に関する用語の認知度
【リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
(性と生殖に関する健康/権利)】

		1	2	3	4
		く言 知つても て内容も よ	知り、葉 つて内は い容知は 少しお	て言 い葉 るだけ は知っ	ら言 ないも 内容も 知
総数 (n=702)		15 (2.1%)	32 (4.6%)	65 (9.3%)	590 (84.0%)
性・ 年代別	女性 (n=401)	9 (2.2%)	18 (4.5%)	35 (8.7%)	339 (84.5%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	20歳代 (n=22)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (27.3%)	16 (72.7%)
	30歳代 (n=52)	0 (0.0%)	2 (3.8%)	5 (9.6%)	45 (86.5%)
	40歳代 (n=69)	2 (2.9%)	4 (5.8%)	4 (5.8%)	59 (85.5%)
	50歳代 (n=107)	2 (1.9%)	5 (4.7%)	8 (7.5%)	92 (86.0%)
	60歳代 (n=78)	4 (5.1%)	4 (5.1%)	8 (10.3%)	62 (79.5%)
	70歳以上 (n=70)	0 (0.0%)	3 (4.3%)	4 (5.7%)	63 (90.0%)
	男性 (n=296)	6 (2.0%)	14 (4.7%)	30 (10.1%)	246 (83.1%)
	10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=16)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (87.5%)
	30歳代 (n=34)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	3 (8.8%)	29 (85.3%)
	40歳代 (n=66)	0 (0.0%)	4 (6.1%)	7 (10.6%)	55 (83.3%)
	50歳代 (n=69)	3 (4.3%)	2 (2.9%)	6 (8.7%)	58 (84.1%)
60歳代 (n=49)	0 (0.0%)	3 (6.1%)	9 (18.4%)	37 (75.5%)	
70歳以上 (n=59)	1 (1.7%)	3 (5.1%)	3 (5.1%)	52 (88.1%)	

図表 24-7 男女共同参画に関する用語の認知度
【ポジティブ・アクション（積極的改善措置）】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るは るも よ	2 知り 言っ 、葉 て内 はは い容 知る はつ てし お	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 な葉 いも 内容 も知
総数 (n=706)	42 (5.9%)	86 (12.2%)	188 (26.6%)	390 (55.2%)
女性 (n=401)	24 (6.0%)	49 (12.2%)	112 (27.9%)	216 (53.9%)
10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
20歳代 (n=20)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	6 (30.0%)	12 (60.0%)
30歳代 (n=53)	2 (3.8%)	4 (7.5%)	15 (28.3%)	32 (60.4%)
40歳代 (n=70)	1 (1.4%)	9 (12.9%)	12 (17.1%)	48 (68.6%)
50歳代 (n=106)	8 (7.5%)	11 (10.4%)	30 (28.3%)	57 (53.8%)
60歳代 (n=78)	6 (7.7%)	13 (16.7%)	25 (32.1%)	34 (43.6%)
70歳以上 (n=71)	6 (8.5%)	10 (14.1%)	23 (32.4%)	32 (45.1%)
男性 (n=300)	18 (6.0%)	37 (12.3%)	74 (24.7%)	171 (57.0%)
10歳代 (n=3)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=17)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	9 (52.9%)
30歳代 (n=33)	0 (0.0%)	4 (12.1%)	6 (18.2%)	23 (69.7%)
40歳代 (n=67)	2 (3.0%)	7 (10.4%)	16 (23.9%)	42 (62.7%)
50歳代 (n=72)	7 (9.7%)	7 (9.7%)	19 (26.4%)	39 (54.2%)
60歳代 (n=49)	3 (6.1%)	11 (22.4%)	8 (16.3%)	27 (55.1%)
70歳以上 (n=59)	1 (1.7%)	8 (13.6%)	19 (32.2%)	31 (52.5%)

図表 24-8 男女共同参画に関する用語の認知度
【男女共同参画社会基本法】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るは るも よ	2 知り 言っ 、葉 て内 はは い容 知る はつ てし お	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 な葉 いも 内容 も知
総数 (n=708)	68 (9.6%)	225 (31.8%)	257 (36.3%)	158 (22.3%)
女性 (n=403)	33 (8.2%)	125 (31.0%)	154 (38.2%)	91 (22.6%)
10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
20歳代 (n=22)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	9 (40.9%)	2 (9.1%)
30歳代 (n=53)	7 (13.2%)	19 (35.8%)	13 (24.5%)	14 (26.4%)
40歳代 (n=69)	4 (5.8%)	20 (29.0%)	20 (29.0%)	25 (36.2%)
50歳代 (n=106)	4 (3.8%)	29 (27.4%)	57 (53.8%)	16 (15.1%)
60歳代 (n=76)	7 (9.2%)	26 (34.2%)	27 (35.5%)	16 (21.1%)
70歳以上 (n=74)	6 (8.1%)	23 (31.1%)	28 (37.8%)	17 (23.0%)
男性 (n=300)	35 (11.7%)	99 (33.0%)	100 (33.3%)	66 (22.0%)
10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
20歳代 (n=17)	8 (47.1%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)
30歳代 (n=34)	6 (17.6%)	11 (32.4%)	7 (20.6%)	10 (29.4%)
40歳代 (n=65)	6 (9.2%)	21 (32.3%)	19 (29.2%)	19 (29.2%)
50歳代 (n=71)	7 (9.9%)	22 (31.0%)	29 (40.8%)	13 (18.3%)
60歳代 (n=49)	4 (8.2%)	18 (36.7%)	18 (36.7%)	9 (18.4%)
70歳以上 (n=60)	4 (6.7%)	21 (35.0%)	23 (38.3%)	12 (20.0%)

図表 24-9 男女共同参画に関する用語の認知度
【男女雇用機会均等法】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るも よ	2 知り 言葉 つて 内は い容 知は つ少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 葉な いも 内 容も 知	
総数 (n=718)	150 (20.9%)	302 (42.1%)	207 (28.8%)	59 (8.2%)	
性・年代別	女性 (n=410)				
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	3 (13.6%)	10 (45.5%)	8 (36.4%)	1 (4.5%)
	30歳代 (n=53)	13 (24.5%)	24 (45.3%)	10 (18.9%)	6 (11.3%)
	40歳代 (n=71)	15 (21.1%)	25 (35.2%)	24 (33.8%)	7 (9.9%)
	50歳代 (n=107)	17 (15.9%)	48 (44.9%)	35 (32.7%)	7 (6.5%)
	60歳代 (n=79)	16 (20.3%)	33 (41.8%)	24 (30.4%)	6 (7.6%)
	70歳以上 (n=75)	13 (17.3%)	27 (36.0%)	26 (34.7%)	9 (12.0%)
	男性 (n=303)				
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	9 (52.9%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)
	30歳代 (n=34)	9 (26.5%)	16 (47.1%)	7 (20.6%)	2 (5.9%)
	40歳代 (n=68)	16 (23.5%)	35 (51.5%)	11 (16.2%)	6 (8.8%)
	50歳代 (n=72)	16 (22.2%)	33 (45.8%)	18 (25.0%)	5 (6.9%)
	60歳代 (n=47)	10 (21.3%)	19 (40.4%)	15 (31.9%)	3 (6.4%)
70歳以上 (n=61)	11 (18.0%)	24 (39.3%)	21 (34.4%)	5 (8.2%)	

図表 24-10 男女共同参画に関する用語の認知度
【育児・介護休業法】

	1 く言 知葉 つも て内 い容 るも よ	2 知り 言葉 つて 内は い容 知は つ少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 葉な いも 内 容も 知	
総数 (n=720)	165 (22.9%)	315 (43.8%)	183 (25.4%)	57 (7.9%)	
性・年代別	女性 (n=411)				
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=23)	5 (21.7%)	10 (43.5%)	6 (26.1%)	2 (8.7%)
	30歳代 (n=53)	21 (39.6%)	19 (35.8%)	11 (20.8%)	2 (3.8%)
	40歳代 (n=70)	11 (15.7%)	36 (51.4%)	17 (24.3%)	6 (8.6%)
	50歳代 (n=107)	18 (16.8%)	55 (51.4%)	27 (25.2%)	7 (6.5%)
	60歳代 (n=79)	20 (25.3%)	38 (48.1%)	18 (22.8%)	3 (3.8%)
	70歳以上 (n=76)	23 (30.3%)	27 (35.5%)	20 (26.3%)	6 (7.9%)
	男性 (n=304)				
	10歳代 (n=4)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)
	20歳代 (n=17)	8 (47.1%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)
	30歳代 (n=34)	11 (32.4%)	15 (44.1%)	5 (14.7%)	3 (8.8%)
	40歳代 (n=67)	12 (17.9%)	32 (47.8%)	15 (22.4%)	8 (11.9%)
	50歳代 (n=72)	12 (16.7%)	34 (47.2%)	20 (27.8%)	6 (8.3%)
	60歳代 (n=48)	9 (18.8%)	20 (41.7%)	15 (31.3%)	4 (8.3%)
70歳以上 (n=62)	12 (19.4%)	23 (37.1%)	21 (33.9%)	6 (9.7%)	

図表 24-11 男女共同参画に関する用語の認知度
【配偶者からの暴力の防止及び被害者の
保護等に関する法律（DV 防止法）】

		1	2	3	4
		く 知 つ て い 容 も よ	知 り 、 葉 つ て 内 は い 容 知 る は つ て し お	て 言 い 葉 だ け は 知 っ	ら 言 葉 も 内 容 も 知
総数 (n=720)		156 (21.7%)	327 (45.4%)	176 (24.4%)	61 (8.5%)
性・ 年代別	女性 (n=409)	95 (23.2%)	178 (43.5%)	101 (24.7%)	35 (8.6%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=22)	4 (18.2%)	8 (36.4%)	5 (22.7%)	5 (22.7%)
	30歳代 (n=53)	18 (34.0%)	22 (41.5%)	8 (15.1%)	5 (9.4%)
	40歳代 (n=70)	11 (15.7%)	32 (45.7%)	23 (32.9%)	4 (5.7%)
	50歳代 (n=108)	25 (23.1%)	46 (42.6%)	28 (25.9%)	9 (8.3%)
	60歳代 (n=78)	14 (17.9%)	40 (51.3%)	20 (25.6%)	4 (5.1%)
	70歳以上 (n=75)	22 (29.3%)	30 (40.0%)	15 (20.0%)	8 (10.7%)
	男性 (n=306)	60 (19.6%)	147 (48.0%)	74 (24.2%)	25 (8.2%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	20歳代 (n=17)	10 (58.8%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)
	30歳代 (n=34)	5 (14.7%)	19 (55.9%)	7 (20.6%)	3 (8.8%)
	40歳代 (n=68)	15 (22.1%)	32 (47.1%)	13 (19.1%)	8 (11.8%)
	50歳代 (n=72)	8 (11.1%)	38 (52.8%)	20 (27.8%)	6 (8.3%)
60歳代 (n=49)	10 (20.4%)	25 (51.0%)	12 (24.5%)	2 (4.1%)	
70歳以上 (n=62)	12 (19.4%)	28 (45.2%)	17 (27.4%)	5 (8.1%)	

図表 24-12 男女共同参画に関する用語の認知度
【鹿児島県男女共同参画推進条例】

		1	2	3	4
		く 知 つ て い 容 も よ	知 り 、 葉 つ て 内 は い 容 知 る は つ て し お	て 言 い 葉 だ け は 知 っ	ら 言 葉 も 内 容 も 知
総数 (n=717)		28 (3.9%)	127 (17.7%)	256 (35.7%)	306 (42.7%)
性・ 年代別	女性 (n=408)	16 (3.9%)	71 (17.4%)	152 (37.3%)	169 (41.4%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	8 (36.4%)	11 (50.0%)
	30歳代 (n=53)	1 (1.9%)	8 (15.1%)	18 (34.0%)	26 (49.1%)
	40歳代 (n=71)	2 (2.8%)	11 (15.5%)	23 (32.4%)	35 (49.3%)
	50歳代 (n=108)	5 (4.6%)	23 (21.3%)	36 (33.3%)	44 (40.7%)
	60歳代 (n=78)	5 (6.4%)	13 (16.7%)	36 (46.2%)	24 (30.8%)
	70歳以上 (n=73)	1 (1.4%)	14 (19.2%)	30 (41.1%)	28 (38.4%)
	男性 (n=304)	12 (3.9%)	54 (17.8%)	103 (33.9%)	135 (44.4%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)
	20歳代 (n=17)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	8 (47.1%)
	30歳代 (n=34)	3 (8.8%)	6 (17.6%)	5 (14.7%)	20 (58.8%)
	40歳代 (n=67)	0 (0.0%)	12 (17.9%)	20 (29.9%)	35 (52.2%)
	50歳代 (n=72)	1 (1.4%)	15 (20.8%)	28 (38.9%)	28 (38.9%)
60歳代 (n=49)	0 (0.0%)	9 (18.4%)	21 (42.9%)	19 (38.8%)	
70歳以上 (n=61)	2 (3.3%)	11 (18.0%)	26 (42.6%)	22 (36.1%)	

図表 24-13 男女共同参画に関する用語の認知度感
【鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）】

	1 く言 知葉 つも て内 容は るも よ	2 知り 葉は つて 内 容は る少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 ない も内 容も 知
総数 (n=713)	29 (4.1%)	74 (10.4%)	227 (31.8%)	383 (53.7%)
女性 (n=404)	18 (4.5%)	43 (10.6%)	136 (33.7%)	207 (51.2%)
10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	8 (36.4%)	12 (54.5%)
30歳代 (n=51)	1 (2.0%)	5 (9.8%)	16 (31.4%)	29 (56.9%)
40歳代 (n=71)	3 (4.2%)	4 (5.6%)	21 (29.6%)	43 (60.6%)
50歳代 (n=108)	7 (6.5%)	15 (13.9%)	31 (28.7%)	55 (50.9%)
60歳代 (n=77)	3 (3.9%)	9 (11.7%)	33 (42.9%)	32 (41.6%)
70歳以上 (n=72)	2 (2.8%)	9 (12.5%)	26 (36.1%)	35 (48.6%)
男性 (n=304)	11 (3.6%)	31 (10.2%)	88 (28.9%)	174 (57.2%)
10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)
20歳代 (n=17)	7 (41.2%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	8 (47.1%)
30歳代 (n=34)	2 (5.9%)	5 (14.7%)	3 (8.8%)	24 (70.6%)
40歳代 (n=67)	0 (0.0%)	7 (10.4%)	19 (28.4%)	41 (61.2%)
50歳代 (n=72)	1 (1.4%)	9 (12.5%)	24 (33.3%)	38 (52.8%)
60歳代 (n=49)	1 (2.0%)	2 (4.1%)	18 (36.7%)	28 (57.1%)
70歳以上 (n=61)	0 (0.0%)	7 (11.5%)	22 (36.1%)	32 (52.5%)

図表 24-14 男女共同参画に関する用語の認知度感
【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

	1 く言 知葉 つも て内 容は るも よ	2 知り 葉は つて 内 容は る少 しお	3 て言 い葉 るだ けは 知っ	4 ら言 ない も内 容も 知
総数 (n=714)	97 (13.6%)	143 (20.0%)	206 (28.9%)	268 (37.5%)
女性 (n=408)	49 (12.0%)	84 (20.6%)	120 (29.4%)	155 (38.0%)
10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
20歳代 (n=22)	6 (27.3%)	5 (22.7%)	6 (27.3%)	5 (22.7%)
30歳代 (n=53)	14 (26.4%)	9 (17.0%)	13 (24.5%)	17 (32.1%)
40歳代 (n=71)	6 (8.5%)	16 (22.5%)	18 (25.4%)	31 (43.7%)
50歳代 (n=107)	8 (7.5%)	24 (22.4%)	32 (29.9%)	43 (40.2%)
60歳代 (n=78)	7 (9.0%)	13 (16.7%)	24 (30.8%)	34 (43.6%)
70歳以上 (n=74)	6 (8.1%)	17 (23.0%)	27 (36.5%)	24 (32.4%)
男性 (n=301)	48 (15.9%)	58 (19.3%)	84 (27.9%)	111 (36.9%)
10歳代 (n=4)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
20歳代 (n=17)	10 (58.8%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)
30歳代 (n=34)	6 (17.6%)	10 (29.4%)	4 (11.8%)	14 (41.2%)
40歳代 (n=67)	9 (13.4%)	16 (23.9%)	19 (28.4%)	23 (34.3%)
50歳代 (n=70)	12 (17.1%)	14 (20.0%)	18 (25.7%)	26 (37.1%)
60歳代 (n=49)	5 (10.2%)	8 (16.3%)	14 (28.6%)	22 (44.9%)
70歳以上 (n=60)	4 (6.7%)	7 (11.7%)	25 (41.7%)	24 (40.0%)

図表 24-15 男女共同参画に関する用語の認知度感
【女子差別撤廃条約】

		1	2	3	4
		く言 知葉 つも て内 容も よ	知、 葉は 内は 容知 はつ てし お	て言 い葉 るだ けは 知っ	ら言 ない も内 容も 知
総数 (n=714)		34 (4.8%)	110 (15.4%)	232 (32.5%)	338 (47.3%)
性・ 年代別	女性 (n=406)	20 (4.9%)	66 (16.3%)	127 (31.3%)	193 (47.5%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	4 (18.2%)	14 (63.6%)
	30歳代 (n=53)	3 (5.7%)	8 (15.1%)	16 (30.2%)	26 (49.1%)
	40歳代 (n=71)	3 (4.2%)	10 (14.1%)	26 (36.6%)	32 (45.1%)
	50歳代 (n=105)	5 (4.8%)	13 (12.4%)	28 (26.7%)	59 (56.2%)
	60歳代 (n=79)	3 (3.8%)	15 (19.0%)	27 (34.2%)	34 (43.0%)
	70歳以上 (n=73)	4 (5.5%)	16 (21.9%)	26 (35.6%)	27 (37.0%)
	男性 (n=303)	14 (4.6%)	44 (14.5%)	104 (34.3%)	141 (46.5%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	6 (35.3%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	5 (29.4%)
	30歳代 (n=34)	2 (5.9%)	9 (26.5%)	7 (20.6%)	16 (47.1%)
	40歳代 (n=67)	3 (4.5%)	7 (10.4%)	17 (25.4%)	40 (59.7%)
	50歳代 (n=70)	0 (0.0%)	7 (10.0%)	33 (47.1%)	30 (42.9%)
60歳代 (n=49)	1 (2.0%)	7 (14.3%)	15 (30.6%)	26 (53.1%)	
70歳以上 (n=62)	2 (3.2%)	10 (16.1%)	28 (45.2%)	22 (35.5%)	

図表 24-16 男女共同参画に関する用語の認知度感
【女性の職業生活における活躍の推進
に関する法律（女性活躍推進法）】

		1	2	3	4
		く言 知葉 つも て内 容も よ	知、 葉は 内は 容知 はつ てし お	て言 い葉 るだ けは 知っ	ら言 ない も内 容も 知
総数 (n=713)		30 (4.2%)	79 (11.1%)	227 (31.8%)	377 (52.9%)
性・ 年代別	女性 (n=404)	14 (3.5%)	50 (12.4%)	125 (30.9%)	215 (53.2%)
	10歳代 (n=3)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	6 (27.3%)	11 (50.0%)
	30歳代 (n=53)	2 (3.8%)	10 (18.9%)	14 (26.4%)	27 (50.9%)
	40歳代 (n=71)	1 (1.4%)	10 (14.1%)	25 (35.2%)	35 (49.3%)
	50歳代 (n=107)	4 (3.7%)	12 (11.2%)	27 (25.2%)	64 (59.8%)
	60歳代 (n=78)	2 (2.6%)	8 (10.3%)	28 (35.9%)	40 (51.3%)
	70歳以上 (n=70)	3 (4.3%)	6 (8.6%)	24 (34.3%)	37 (52.9%)
	男性 (n=304)	16 (5.3%)	29 (9.5%)	100 (32.9%)	159 (52.3%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	5 (29.4%)
	30歳代 (n=34)	3 (8.8%)	6 (17.6%)	9 (26.5%)	16 (47.1%)
	40歳代 (n=67)	2 (3.0%)	5 (7.5%)	16 (23.9%)	44 (65.7%)
	50歳代 (n=71)	2 (2.8%)	7 (9.9%)	26 (36.6%)	36 (50.7%)
60歳代 (n=49)	2 (4.1%)	7 (14.3%)	12 (24.5%)	28 (57.1%)	
70歳以上 (n=62)	1 (1.6%)	3 (4.8%)	30 (48.4%)	28 (45.2%)	

図表 24-17 男女共同参画に関する用語の認知度感【生理の貧困】

		1	2	3	4
		く言 知葉 つも て内 い容 るも よ	知り言 つて、葉 て内は い容知 るはつ 少て しお	て言 い葉 るだ けは 知っ	ら言 な葉 も 内 容 も 知
総数 (n=714)		169 (23.7%)	210 (29.4%)	164 (23.0%)	171 (23.9%)
性・ 年 代 別	女性 (n=406)	127 (31.3%)	119 (29.3%)	86 (21.2%)	74 (18.2%)
	10歳代 (n=3)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	20歳代 (n=22)	9 (40.9%)	4 (18.2%)	3 (13.6%)	6 (27.3%)
	30歳代 (n=53)	15 (28.3%)	14 (26.4%)	12 (22.6%)	12 (22.6%)
	40歳代 (n=70)	23 (32.9%)	21 (30.0%)	11 (15.7%)	15 (21.4%)
	50歳代 (n=106)	33 (31.1%)	36 (34.0%)	20 (18.9%)	17 (16.0%)
	60歳代 (n=79)	24 (30.4%)	24 (30.4%)	19 (24.1%)	12 (15.2%)
	70歳以上 (n=73)	21 (28.8%)	20 (27.4%)	21 (28.8%)	11 (15.1%)
	男性 (n=303)	41 (13.5%)	91 (30.0%)	75 (24.8%)	96 (31.7%)
	10歳代 (n=4)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	20歳代 (n=17)	6 (35.3%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	5 (29.4%)
	30歳代 (n=34)	8 (23.5%)	8 (23.5%)	6 (17.6%)	12 (35.3%)
	40歳代 (n=68)	7 (10.3%)	19 (27.9%)	11 (16.2%)	31 (45.6%)
	50歳代 (n=71)	5 (7.0%)	27 (38.0%)	18 (25.4%)	21 (29.6%)
	60歳代 (n=48)	4 (8.3%)	18 (37.5%)	13 (27.1%)	13 (27.1%)
70歳以上 (n=61)	11 (18.0%)	16 (26.2%)	22 (36.1%)	12 (19.7%)	

【意見】男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

「その他」の自由回答

- 人間各々育つ環境、育った環境が違うので、中々男女平等にはいかないと思います。時間がかかる。小さい頃から家庭では男が一番って思って育ってきている人には無理が大きいのと思います。学校の教育の中で低学年のうちからでもきちんと教えていくべき。まだまだ家庭内の仕事、子育ては女の仕事って思っている人が多いですね。(60歳代女性)
- 会社の経営者や上層部、公民館長や教職員等、教える立場の人間が差別をしているように感じる事が多々ある。市として介入して教育も含めた支援を望む。(40歳代男性)
- 男、女共に自分に都合良く逃げない事(40歳代男性)
- あと数年で80歳になりますが、私が就職した頃(学校です)は、まだ職場でもお昼のお茶くみは女子職員と決まっておりました。男女共同参画という言葉まででき、今はかなり平等意識が高まっていると思います。ただ意識の上では高まっていますが、実際の生活上はまだまだ浸透しているとは思いません。先日十代の若者と話をしていた「仕事は男、家事は女」意識をしっかりと持っている事にビックリしました。男女共同参画社会について、若者達の意見交換会など必要じゃないかと思うことです。(70歳以上女性)
- 男女差別という言葉は男女の違いとも言えると思う。「差別」なのか「違い」なのかでそもそもの意見が変わってくるのではないかと思う。(30歳代男性)
- 内容がまちがっていたらすいません。私は小学生の子供がいます。なぜ?ドリームセンターをなくしたのでしょか?管理の方が居て、麦茶まで支度してくれて、子供達を見守ってくれる場所でした。夏休み、冬休み、友達といっしょに勉強する場所として利用させて頂きました。とても安心な場所でした。子供達もマナーを教わりました。また、新しい有料コミュニティできました(おおやまパンの近く)。人いますか?必要ですか?いくらかかっているんですか?図書館は静かすぎて小学生には少し無理があり、他の方にごめいわくになるので……。子供達、勉強する空間なくなってます。家ではなく、友達といっしょに勉強できて、マナーを教えられる空間つくってください。大人の為ばかりの建物いりません!子供達、公園で勉強してます。集まる場所がありません!まちなかサロンも子供を受け入れてないようです。(子供の感想です)(50歳代女性)
- 男尊女卑、女尊男卑では無く、お互いを尊重し合える仲に。(40歳代男性)
- 男性の育休をもらえるようにしてほしいです。(20歳代女性)
- 市役所職員や市議会議員の男女の定数の目標をさだめ、少しでも均等になるよう努めるべき。実行機関が変わらなければ前進しない。(60歳代男性)
- 私は障害のある子供がいます。身体障害者の息子です。現段階の介護休業法は長期にわたる介護に関して当てはまらない内容だと思えます。例として介護による仕事の時間短縮の内容が、最低3年の期限が定められている為、会社では3年間しか時間短縮が利用できない現状となり困っています。会社には介護は3年間だけでなく、一生介護する事になるので、期限を定められては困ると話しているのですが、社会的には国の制度は満たしているとの回答をさせていただきました。訴えても動いてくれそうにありません。このままでは介護で働けなくなります。生活が困ります。どうか制度の見直しをお願いします。(30歳代女性)

- 鹿児島県は特に男女の差が大きい地域です。職場での男女差別は当たり前です。トイレ掃除やお花の世話、お茶出しなど女性がするのが当然と言わんばかりに男性は机にしがみつき、何もしません。何度言っても同じことです。女性があきらめなければならない状態です。自分たちがいかに女性に頼りきって生きているのかをしっかりと考え直してほしいです。学校教育や家庭でのしつけを変えていくしかありません。いちき串木野市を魅力的な街にしてください。ただ、すたれていく姿を見るのは悲しいです。(30歳代女性)
- 自分には子供がいないので、学校、子供、子育て、答えられない項目が多いです。民間の調査機関とありますが、何を意図したいのか、無作為としてありますが、私には該当する項目、これといったものはありませんでした。難病指定を受けて40年、15年前から働ける状況でなく、家でそうじ等(ごはん作り)をしています。又、自分の母親、嫁の父と母の世話、母親(10年入所)、父(8年入所)亡くなりました。母一人住まいなので、1年間食事(冷凍品)を作って届けました。現在、施設へ入所させました。伯母についても5年目に入所してなります。施設からの連絡は私に来ます。子供達は県外にいます。施設に入所する前は骨折いろいろで入院を繰り返していき、その面倒を見ていました。現在、嫁宅、伯母宅、空家になっています。月に2,3回、状態を見に行き、草取り、そうじ等を行っています。私が支援がほしい位です。年金も少ないです。(60歳代男性)
- 他人に対してもんくをいうのをまずやめるようにすることが大事だと思います。そういう人なんだと思って、男女かんけいなく話すること。人に対してどくをはかない。子供に対して差別ことばを使わない。今からの人達が新しい考え方でくらししていけたらと思います。(50歳代女性)
- 女性は仕事もする、家事もする、両方を当たり前になす事が求められ、正直女性であることは結婚すると損だと思ふことが多いです。子育ては好きですが、男性(夫側)せめて自分の事は自分でやる事、子どもの事、家の事、気付いたら言うだけでなく、自分で行動できるようになってほしい。少子化の原因は男性にあると思いますよ。(40歳代女性)
- 市民が期待し、興味を抱く施策や支援等を行って頂ければと思います。(広告も含め)(30歳代男性)
- 言葉だけが先行しており、色々な法や制度は出来ている様だが、各企業では男性社会で維持されており、この辺まで変わらなければ変わっていかないと。 (60歳代男性)
- 子供が体調不良になった場合、やはり母親が休みを取らないといけないという固定観念がまだ多く、母親がフルタイムで働けない。(30歳代男性)
- 鹿児島は、まだ男尊女卑という言葉が根強く、10年ぐらい前までは「女のくせに・・・」「男のくせに・・・」という言葉を使っている方もいた。私たちの世代もよく耳にして育っています。孫を見て「男っばいね」「女っばいね」と言ってしまうそうです。今後(10年後)どういう時代になるのか楽しみです。男女平等の時代も近いでしょうか。女性の意識も大事だと思っています。(60歳代女性)
- 男女平等になりつつあるとは思いますが、夫婦が共働きしていかなければ生活できない状況が続くと、男女共同参画とは何かと考える余裕はなく、変化はないと思います。まずは家庭内で少しでも夫婦が協力して、子育てが安心してできる社会になると良いと思います。(50歳代女性)
- 役員にたずさわりながら男女共同参画という言葉聞くようになり考えるようになりました。色々な場所で少しずつでも話し合うようになると良いなあと思います。(70歳以上女性)
- 若い世代は男女関係なく家事分担が出来ているような気がします。家事、育児のたいへんさ、大切さをわかってそれぞれができることをする社会になったら暮らしやすいと思います。年寄りも協力する(時間があるので)。年齢がいくほど家事は女性という考えかな。(いままでしたことがないので出来ないで)(60歳代女性)

- 自分が年のせい、むずかしい。(70歳以上女性)
- 年金制度についての記述およびアンケート等が少ないと感じた。これからの年金制度に関する問いかけが少ないと思う。(60歳代男性)
- アンケートの量が多すぎる(50歳代女性)
- 男女共に健康なら働くべき。当市の生活保護の人たちを市はきちんと管理しているのか。我々の血税をあげたくはない。現役で働いている我々には何のメリットも感じない。(50歳代女性)
- あまりにも世の中、金のかかる世の中になりすぎ。(70歳以上男性)
- 公民館に入っていないとゴミは捨てられないのはなぜですか？市民税は払ってます。ゴミを捨てられるようにして下さい。(20歳代女性)
- 同じ仕事をして同じ賃金であれば納得する。結婚に関しては個人の自由だからとやかく言えないが、結婚してからの家事、育児は夫、妻関係なく平等で、できるようにしなければならない。どちらかが一方だけだと先に相手を亡くしたら何もできない。下手したら周囲、近くの人に迷惑をかけてしまうから。(50歳代女性)
- 無駄なエネルギーを使用しない事の方が大事だと思う。もっと別なことにエネルギー循環してほしい！(40歳代女性)
- このアンケートでアンケート前と後で何か変化があるのか、それは分かりませんよねえ~。とにかく、住みやすいいちき串木野市にしてもらえれば、80才までは生きられるかな。もしかして85才まででも生きられたらいいと思います。あと15年位は生きられそうと。でも一人とネコ6匹が家族ですから、70才で仕事やめてから正念場です。年金だけでは食っていけないので、ま、何とかなるでしょう。それまで生きていられるか？(60歳代男性)
- 県外から来られた方が(女性)、働きたくても子供が小さくてあずけられず、やりづらい町だと数人の人から相談や悩みを受けました。もっと子供をあずけられて働きに行ける環境づくり場所があればと思います。(40歳代女性)
- もう少し質問をすくなくしてほしい。ひと休みしてやりました。(60歳代女性)
- 市が単独では無意味。税金の無駄使いかな。(年齢・性別不詳)
- 男女共同参画も良いが、役所があまりにもカタカナ文字を使いすぎではないか？「ウェブで見て下さい」「市役所のホームページをみて下さい」等、年寄りに対する思いやりが少しずつ無くなっているのではないか。(70歳以上男性)
- このアンケートがどのように活かされたのかも知りたい。アンケートばかりで、その後どうなったのかすらわからず、やる意味があるのか。(30歳代女性)
- 質問の答えと反するかもしれませんが、男性にしか出来ないこと、女性の方がふさわしいことはあると思います。(50歳代女性)
- 男だから女だからという概念を捨て、出来る事は出来る人がするように助け合っていくように家庭で躾けていけば、社会に出ても職場の人達と助け合っていけるようになるのではないのでしょうか？(60歳代女性)
- 質問の意味が分かりにくく回答がうまく書けなかった所がいくつかありました。(40歳代男性)

- 男女と言っている段階で、「男は」「女は」と分けているような気がしています。「人」として、1人ひとりが持っている能力を発揮できる社会になってくれたらいいなと思います。職種、環境、いろいろな場面で、そこに合った人が自分の力を出したり、協力したり、ストレスが少しでも軽くなるような環境が広がっていけば、変わっていくのかなと思います。男女 etc…と言っている時代はもう遅れているのでは。1人ひとりが「自分はどう生きたいか」と能動的に過ごせる社会になることを願っています。(40歳代女性)
- 私は生まれてからずっと串木野に住んでいます。大学生になり、色々な価値観を持つ人に出会いました。(ジェンダーや働き方に関して)高校までの学校という小さな社会の中ではどうしても「ものの見方」が凝り固まってしまうと思うので、小学生からジェンダーについて積極的に教育を行っていった方がいいと感じています。もし、私が親になったとき、私自身の親とはまた違った教え方をしたい。そう思うくらい若者はジェンダーに関して疑問を持つ人が増えていると肌感ではありますが、感じています。(20歳代男性)
- お互いを尊重し合う事。自分だけの自己主張をしないように！考え行動出来ればよいのでは！！(50歳代男性)
- 社会全体の意識が低く、固定観念が強いと思います！！まずは今の若者の声を聞く場が少ないと思います！！20代や10代の方の声が今後の課題、解決には必要です！！聞く力が大切。目に見える活動や発信が大切。(50歳代男性)
- 自分も含め、社会全体で意識を変えていく必要があると思います。(60歳代男性)
- この様なアンケートを実施されるのであれば、今後の何らかの変化を少しでもして下さる事を願います。(50歳代女性)
- いちき串木野市における事業所等の労働時間等の見直しなども事業主、雇用主、労働者へのアンケート等導入してみしてほしい。「働き方改革」など国会やテレビでは耳にしますが、身近ではまだ行われていないように感じます。ぜひ、「いちき串木野市の『働き方改革』推進」をよろしくお願いいたします！！ちなみに…1日8時間勤務、残業3時間、帰宅後～就寝までに3時間、計14時間業務や事務処理時間で仕事をしている人もいます。毎日ではないにしても1週間程で過労死ラインにひっかかりますよね。残業があたり前の世の中の考えを変えていってほしいと切に願います！！(30歳代女性)
- 高齢者には少し分かりませんでした！！すみません。(70歳以上女性)
- 男女共同参画等その他色々改革が進み、子供が増えると良いですね。(70歳以上女性)
- 男が女がと言わずに、お互いに認め合う事だと思っています。男と女それぞれ特色があるので、お互いに家庭においては私(女)が出来ない事は、夫(男)に頼み、夫(男)に出来ない事は私(女)が行う。地域の活動も同じ事だと思っています。もちろん意見が違ったら話し合います。(70歳以上女性)
- 私はだんなさまの親とくらしていますが、男性というより、60才以上の方は、昔の考え方があるので…男性に家事をしてもらうことをすごく反対します。2才で保育園に入れることもすごく反対されました。3才までは…母親が育てることが良いなど、働きたくても働けなかったです。男性が洗濯物を干すこと、ゴミを捨ててもらうこともはずかしいなど、いまだに言われます。(40歳代女性)
- 社協等では婦人に関する各種教室が行われている。男性に対する教室等は少ない。根幹に男性は働く事が主であるとの考えが社会全体にあることの表れではないだろうか。(70歳以上男性)

- 小中高、それぞれの段階で「男女共同参画社会づくり」について授業などに組み込み、若いころから理解を深める必要があると思う。私自身、今回この調査を受けるにあたり、用語がわからなかったり、答えが出にくかったりと、普段あまり意識して生活できていないことが改めてわかった。また市内の企業でも同様な調査を行えばなおよい。(20歳代男性)
- 女性の社会進出、地位の向上は大切な事だと思いますが、その事で小さな子供がぎせいになっているように思います。虐待やいじめも親に大切に育てられていたら起こらないような気がします。もっともっと子育てを誰かに任せようとするのではなく、親が責任を持って大事に育てていく事が未来の人をつくるという点からも大切な事のように思います。(10歳代女性)
- 若い世代に聞いた方がいいんじゃないかなと思った。(中学生、高校生) (50歳代女性)
- 定年退職して約20年、年金生活で健康寿命の続くかぎり、地域の奉仕活動(青パト、清掃作業等々)に協力してやっています。高齢者の仲間と少々グランドゴルフをしつつ、若い人の頑張りを祈っています。より良い...祈ります。御苦労さま。(70歳以上男性)
- 分からない言葉、内容もたくさんあったので勉強になった。(30歳代男性)
- 男女雇用機会均等法が基になり、これまで高度経済成長期に比べ、比較的最近は、女性の活躍の場が増えつつあるが、未だに男性は優位な面が社会生活において見受けられる。ただ、育児、家事等については、昔に比べて理解が社会生活と共に進んでおり、休暇の利用が認められる世の中にはなっている。しかし、法律に関しては、まだ不十分といえる所があるような気がします。(40歳代女性)
- 男と女は違いがあっても当たり前で、それも1つの個性と考えた時、平等に同じという扱いは難しいのではと思う。その事で不自由や辛い思いをする事があってもはならないが、違うから平等にする事を強く意見して来られても、もう少しグレーな所を認めた方がよいと思う。途中の質問にもあったが、男だから出来る事、女だから出来る事、それぞれ特長があるので、お互いにリスペクトし合っていく事が一番大切なのだと思います。(40歳代男性)
- 男女差別はあってもはならないとは思いますが、あまりにも男性が産業活動の中心になっていた期間が長かった為、平等に扱うのは難しく感じます。産業の中での責任は重いです。辛い事が多いです。女性に背負わせるのは辛いです。情報化が進みすぎて、少数意見も大きく聞こえてしまう時代です。変える事は大事ですが、メリット・デメリットを正確に検討してほしいです。(30歳代男性)
- 何より少子化問題を目を向けるべきである。子供の教育は何より大事である。高収入でなくても教育を受けられ、社会人としてモラルを身に付け、生活基盤が持てるようにするのが良い社会だと考えます。何より非正規雇用の割合が増加していることが社会全体の問題であるのでは。(50歳代男性)
- 何をしても家庭が一番中心である。家庭が、親が、子供の見本となる、大人になったらそこが原点である。家庭、親がしっかりしなければ、何をしても絵に描いた餅と一緒にある。(70歳以上男性)
- こういうやり方の調査は税金のムダ使い。ネットで出来る人達のみ行うとかにしてほしい。(40歳代男性)
- 男女共同参画は、「同一労働同一賃金」等とも改善を図っていかなければ向上できないと思う。結婚、出産を機に退職してしまった女性が職場を探しても、パートや期限付、臨時任用しか選択できず(子育て、家事のため)、賃金が不当な場合が多い。さらに金銭面だけでなく、福利厚生面でも差が出ている。これでは結婚をしない女性が増え、少子化は進むばかり。(50歳代女性)
- 婦人部というのがある事自体、男女共同参画社会できていない市だなあとつくづく思う。公民館の仕事に組み込む等したらいいと思う。(30歳代女性)

- 男女共同参画、少子化対策は形だけの整備ではなく社会全体の取り組みが必須だと思います（40 歳代男性）
- 高齢者や 40 代以上の方は男尊女卑の風習が残ってる人が多いと感じます。その人達の意識改革をしない事には、男女平等の社会は実現できないと思います。（30 歳代男性）
- 選択肢の中で文字が大きく表示されているものがあり、誘導されている印象を受けた。（20 歳代男性）
- やる意味ありますか？（30 歳代女性）
- 国は本気で取り組んでほしい。（50 歳代男性）
- 設問の中に男性の家事や育児参加への設問が、女性への設問に比べて少ないように感じました。男性の家事や育児への参加は、女性が社会に出て働いていくなかでは、欠かせないものだと思います。（40 歳代女性）
- 能力、体力などどうしても男女で差がつくことはあります。差別ではなく区別できるといいなと思います。（40 歳代女性）
- 今の時代は面倒な事は嫌だという考えから不参加される方や何にも加担しない、関わらない方が多いと思います。今回のようにアンケート調査等で色々な状況や情報を得られると思うので今後も利用されれば良いと思います。（50 歳代女性）
- 真剣に取り組んで欲しい。アンケート結果を公表してください。（50 歳代男性）
- 青年部と婦人部を分けてる時点で共同参画にならないのでは。そうしないと意見がまとまらないのかもしれないが。公民館の班長など女性がしているところも多いと思うし、その上の役も女性が入りやすい仕組みがあればいいのではないか。（40 歳代男性）
- 男女共同参画基本計画を策定するのは良いが、もし市役所内の職員の方の働き方や休暇制度を見直して、まずは市役所から始めていきますということであれば違うと思う。市役所がどんな取り組みをしているのか、ニュースにならない限り一般の会社員は知らないし、関心もない。市役所発進で取り組めば当たり前前に制度が一般企業に広がっていくわけではないと思うので、工夫してほしい。（30 歳代女性）
- 過程も重要ですが結果が重要です。時間はかかると思いますが、少しずつ変えていってください（30 歳代男性）
- 地道に活動を続け理解を深めていくしかないのではないかと思う。（50 歳代男性）

參考資料（調查票）



いちき串木野市男女共同参画に 関する市民意識調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

皆様には、日頃から市政の推進につきましては、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、男女が社会のあらゆる分野で対等な構成員として、お互いに人権を尊重しながら、性別に関わりなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて、平成19年度に「男女共同参画基本計画」を策定し、様々な取り組みを進めています。

今回、基本計画の見直しにあたり、市民の皆様のお考えや生活の実情などを今後の施策に活かすため、市民意識調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の市民の皆様の中から、無作為に選ばせていただいた2,000名の方々にご協力をお願いしております。

回答は無記名で、すべて統計的に処理し、記入された内容については、目的以外に使ったり、他にもらしたりすることはありませんので、ありのままを記入してください。

これからの男女共同参画社会づくりの推進のための大切な調査です。趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

いちき串木野市長 中屋 謙治

ご記入にあたって

- 1 この調査のご記入にあたっては、封筒のあて名の方がご記入ください。
- 2 回答は、調査票のあてはまる項目の番号を○で囲んでください。
- 3 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますので、説明にしたがって最後までお進みください。
- 4 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが記入もれがないかお確かめのうえ

同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、8月12日(金)までにご投函ください。

【お問合せ先】 いちき串木野市役所 企画政策課 企画調整係
〒896-8601 いちき串木野市昭和通 133-1
TEL 33-5628(直通)

【調査協力】 株式会社 鹿児島有恒社
TEL 099-257-8282

※本調査は、民間の社会調査機関「株式会社 鹿児島有恒社」に委託して実施しております。

※ この調査は、オンラインでの回答も可能です（PC・スマートフォン等）



オンラインでの回答は、
8月12日（金）23:59まで、24時間可能です。
ご協力よろしくお願いします！
<https://forms.gle/hvzbV8YVHQ4zEp3g8>

F1 あなたの戸籍上の性別を教えてください。[1つに○]

- | | |
|------|------|
| 1 女性 | 2 男性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢を教えてください。[1つに○]

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | |

F3 あなたは、普段(1年間に30日以上)何か収入になる仕事をしていますか。[1つに○]

- | |
|-----------------|
| 1 収入になる仕事をしている |
| 2 収入になる仕事をしていない |

F4 あなたの職業を教えてください。[1つに○]

自営業主	1 農林漁業
	2 商工サービス業
	3 その他の自営業
家族従事者	4 農林漁業
	5 商工サービス業
	6 その他の家族従事者
雇用者	7 管理職（官公庁、企業、工場、各種法人、組合等の経営者、 役員、課長級以上の管理職等）
	8 常勤の勤め（管理職以外の正社員、職員、従業員、公務員等）
	9 非常勤の勤め（臨時職員、パート、アルバイト、嘱託等）
その他	10 主婦・主夫
	11 学生
	12 無職（求職中を含む）

F5 あなたは、現在結婚していますか。[1つに○]

- | | |
|--|-----------|
| 1 結婚している（届出はしていないが一緒に暮らしている事実婚を含む） → F 6 へ | } → F 7 へ |
| 2 結婚していたが、離婚した | |
| 3 結婚していたが、死別した | |
| 4 結婚していない | |

F6 【F5で「1」を選んだ方におたずねします。】

ご夫婦のお仕事の状況について教えてください。[1つに○]

- | |
|--------------------------|
| 1 どちらも仕事をしている（パート・内職を含む） |
| 2 自分のみ仕事をしている |
| 3 配偶者のみ仕事をしている |
| 4 どちらも仕事をしていない |

F7 あなたのご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。[1つに○]

- | |
|---------------------|
| 1 単身世帯（一人暮らし） |
| 2 1世代世帯（夫婦のみ） |
| 3 2世代世帯（親と子、夫婦と子など） |
| 4 3世代世帯（親と子と孫など） |
| 5 その他 |

F8 あなたのお子さんは何人ですか。[1つに○]

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 いない → 問 1 へ（4 ページ） | } → F 9 へ |
| 2 1人 | |
| 3 2人 | |
| 4 3人 | |
| 5 4人以上 | |

F9 【F8で「2」、「3」、「4」、「5」を選んだ方におたずねします。】

あなたが一番下のお子さん（一人の場合は当人）は次のどれにあてはまりますか。[1つに○]

- | |
|-------------------------|
| 1 乳児（1歳未満） |
| 2 幼児（1歳以上） |
| 3 小学生 |
| 4 中学生 |
| 5 高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生 |
| 6 学校は卒業した（中退も含む） |

【男女平等について】

(問1) あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。

次にあげるA～Fのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を

1つお選びください。

	非常に平等 になっている	かなり平等 になっている	少し平等に なっている	あまり平等に なっていない	全く平等に なっていない
A 家庭生活で	1	2	3	4	5
B 職場で	1	2	3	4	5
C 集落、公民館などの地域社会で	1	2	3	4	5
D 学校（学校教育の中）で	1	2	3	4	5
E 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
F 社会通念、慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5

(問1-2) 上記項目で一番先に平等になって欲しい項目はどれですか。

1 家庭生活	2 職場	3 集落、公民館などでの地域社会
4 学校（学校教育の中）	5 法律や制度の上	6 社会通念、慣習・しきたりなど

(問2) 次のA～Jのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも言えない と思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう 思わない
A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい	1	2	3	4	5
B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
D 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う	1	2	3	4	5
E 職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい	1	2	3	4	5
F 男性は少しぐらい強引に女性をリードする方がよい	1	2	3	4	5
G 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う	1	2	3	4	5
H 男性の方が女性より、管理者としての資質がある	1	2	3	4	5
I 育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい	1	2	3	4	5
J 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	1	2	3	4	5

【家庭生活について】

(問3) **【現在、結婚をされている方(事実婚を含む)におたずねします。】**

[それ以外の方は(問4)へ]

あなたのご家族では、次にあげる家庭内の事がらを主に誰が行っていますか。

次にあげる A～F のそれぞれの項目について、右欄の1～6のうちあてはまる番号を

1つお選びください。(※育児、介護等については現在、該当しなくても過去に経験があればそれをもとにお答えください。該当がない場合は、6をお選びください。)

	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない
A 家事（掃除、洗濯、炊事など）	1	2	3	4	5	6
B 育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）	1	2	3	4	5	6
C 介護	1	2	3	4	5	6
D PTAや子ども会	1	2	3	4	5	6
E 集落や公民館などの地域活動への参加	1	2	3	4	5	6
F 高額な商品や土地・家屋の購入を決める	1	2	3	4	5	6

(問4) **結婚、家庭、離婚についてのあなたの考えをおたずねします。次にあげる A～Eのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つお選びください。**

	賛成	どちらかと言えは賛成	どちらかと言えは反対	反対	わからない
A 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい	1	2	3	4	5
B 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである	1	2	3	4	5
C 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
D 女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである	1	2	3	4	5
E 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
F 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について	1	2	3	4	5

(問5) 近年、男女とも晩婚化や非婚化が進んでいると言われていますが、その理由についてあなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに近い番号をいくつでもお選びください。

- 1 独身生活のほうが自由である
- 2 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった
- 3 夫婦別姓の婚姻が認められていないから
- 4 仕事のためには、独身のほうが都合が良い
- 5 経済的に安定していない
- 6 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した
- 7 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい
- 8 相手に高望みしている
- 9 社会慣行としての見合いが減少した
- 10 男女の出会いの場が少ない
- 11 適当な相手と出会えない
- 12 親離れできていない
- 13 子供の数が少なくなり、跡継ぎ問題が結婚相手の範囲を狭めている
- 14 その他()
- 15 わからない

【少子化について】

(問6) あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動や場所があればいいと思いますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動や場所
- 2 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動や場所
- 3 不意の外出の時などに子どもを預かる活動や場所
- 4 子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動や場所
- 5 子育て家庭の家事を支援する活動や場所
- 6 子どもにスポーツや勉強を教える活動や場所
- 7 子どもが安心して遊べる活動や場所
- 8 その他()
- 9 特にない
- 10 わからない

(問7) あなたは、子育て支援に関し、どのような考えをお持ちですか。

あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである |
| 2 | 保育所など地域における子育て支援サービスを充実するべきである |
| 3 | 男性がもっと育児に参加できるよう長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである |
| 4 | 職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべきである |
| 5 | 安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきである |
| 6 | 子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである |
| 7 | その他() |
| 8 | 支援は行わなくてよい |

【老後の生活について】

(問8) もし、あなたに介護が必要になったら、主に誰に介護をしてもらいたいですか。

あてはまる番号を1つお選びください。

- | | | | |
|---|---------------------------|---|-----|
| 1 | 配偶者 | 2 | 娘 |
| 3 | 息子 | 4 | 娘の夫 |
| 5 | 息子の妻 | | |
| 6 | ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する | | |
| 7 | 病院や老人ホームなどの施設に入所する | | |
| 8 | その他() | | |
| 9 | わからない | | |

【就業について】

(問9) **【ふだん収入になる仕事(1年間に30日以上)をしている方におたずねします。】**

【ふだん収入になる仕事をしていない方は8ページの(問12)へ】

あなたが現在、仕事をしているのは、どのような理由からですか。

あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- | | | | |
|----|-----------------|----|-------------------|
| 1 | 生計を維持するため | 2 | 家計の足しにするため |
| 3 | 住宅ローンなどの返済のため | 4 | 教育資金を得るため |
| 5 | 将来に備えて貯蓄するため | 6 | 自分で自由に使えるお金を得るため |
| 7 | 生きがいを得るため | 8 | 自分の能力・技能・資格を生かすため |
| 9 | 視野を広げたり、友人を得るため | 10 | 社会に貢献するため |
| 11 | 仕事をするのが好きだから | 12 | 働くのが当然だから |
| 13 | 時間的に余裕があるから | 14 | 家業であるから |
| 15 | その他() | | |
| 16 | 特に理由はない | 17 | わからない |

(問 10) あなたの今の職場では、仕事の内容などで性別によって待遇に差があると思いますか。
あてはまる番号を1つお選びください。

- 問 11 へ
- 1 差があると思う
 - 2 そのようなことはないと思う
 - 3 わからない
- 問 13 へ

(問 11) 【(問 10)で「1」を選んだ方におたずねします。】

それは具体的にどのようなことですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 賃金に差がある
- 2 昇進、昇格に差がある
- 3 能力を正當に評価しない
- 4 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 5 女性を幹部職員に登用しない
- 6 結婚したり子どもが生まれたりすると勤めにくい雰囲気がある
- 7 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 8 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 9 その他 ()
- 10 わからない

(問 12) 【ふだん収入になる仕事をしていない方におたずねします。】

あなたが現在、仕事をしていないのは、どのような理由からですか。
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 経済的に働く必要がないから
- 2 職業を持たない方が自分のやりたいことができるから
- 3 家庭で家事・育児に専念するのが当然だから
- 4 家事の負担が大きいから
- 5 育児の負担が大きいから
- 6 健康や体力に自信がないから
- 7 希望どおりの仕事を得られないから
- 8 配偶者や子どもなど家族が望まないから
- 9 親や病気の家族の世話をするため
- 10 現在、学校に通っているから
- 11 高齢だから
- 12 働くことが好きでないから
- 13 やりがいのある仕事がないから
- 14 配偶者の転勤のため
- 15 特に理由はない
- 16 その他 ()

→(問 13) 女性が仕事をもつことについて、あなたはどうお考えですか。

あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 女性は仕事をもたない方がよい
- 2 女性が仕事をもつことは当然である
- 3 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- 5 子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい
- 6 子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 7 結婚後や子どもができてからはパートやアルバイトの方がよい
- 8 その他 ()
- 9 わからない

(問 14) あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。

特に必要と思われる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 雇用機会の創出・再雇用制度の促進
- 2 育児・介護休業制度の普及
- 3 男性の育児・介護休業の取得に関する理解の普及・促進
- 4 労働条件の整備[労働時間短縮、フレックスタイム制(注1)の普及]
- 5 税制や年金等社会制度を見直す
- 6 保育所・放課後児童クラブ(学童保育)など子育て環境の整備充実
- 7 職場における女性の積極的な活用
- 8 結婚退職、出産退職の慣行をなくす
- 9 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識をなくす
- 10 家族や夫の理解・協力
- 11 昇進や賃金、教育訓練など職場における男女平等の徹底
- 12 ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの施設福祉の充実
- 13 女性自身の就業意識の向上
- 14 上司や同僚などの理解
- 15 わからない

(注1):労働者が1日の始業・終業時刻を自分で決めることのできる制度。
ただし、総労働時間が1か月以内の一定の期間の総労働時間に達することが条件となる。

【学校教育について】

(問 15) 男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する
- 2 互いのよさを理解し、他者を思いやる心を育てる教育を充実する
- 3 性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う
- 4 性別に関係なく役割分担を行うことを推進する
- 5 ふるまいや行動について、性別によらない指導をする
- 6 教職員の男女共同参画意識を高める研修を充実する
- 7 PTAなどを通して、男女共同参画意識を高める啓発活動を充実する
- 8 性別によらない名簿、整列、点呼などを行うことを推進する
- 9 教員の男女比率を均等に近づける
- 10 男性教諭の育児・介護休業を増やす
- 11 女性の校長や教頭を増やす
- 12 今のままで良い
- 13 その他 ()

【人権・暴力について】

(問 16) あなたは、次のことが親しい男女(夫・妻、事実婚のパートナー、恋人、元配偶者、元パートナー)の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。次にあげるA～Iのそれぞれの項目について、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	どんな場合も暴力にあたると思う	暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
A 平手で打ったり、足でけったりする	1	2	3
B 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる	1	2	3
C なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす	1	2	3
D 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
E 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
F 何を言っても長期間、無視し続ける	1	2	3
G 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
H 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」とか言う	1	2	3
I 家に生活費を入れない	1	2	3

(問 17) あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人など親密な関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。(ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます)次にあげるA～Cのそれぞれの項目について、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	1、2度あった	何度もあった	まったくない
A なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
C いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

(問 18) 【(問 17)で1つでも「1」、「2」を選んだ方におたずねします。】

あなたは、その行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

1 鹿児島県女性相談センターに相談した	
2 警察に連絡または相談した	
3 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した	
4 鹿児島県男女共同参画センターに相談した	
5 他の市町村の機関に相談した	
6 上記(1～5)以外の公的な機関に相談した	
7 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)に相談した	
8 医療関係者(医師、看護師など)に相談した	
9 学校関係者(教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)に相談した	
10 家族や親戚に相談した	
11 友人・知人に相談した	
12 その他()	
13 どこ(だれ)にも相談しなかった	→ 問 19 へ (12 ページ)

(問 19) 【(問 18)で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」を選んだ方におたずねします。】

それは、どのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 相談できる所があるということ、知らなかった
- 2 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
- 3 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 4 相談しても無駄だと思ったから
- 5 相談したことがわかると仕返しを受けたり、また同じような行為をされると思ったから
- 6 相談担当者の言動により不快な思いをすと思ったから
- 7 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 他人を巻き込みたくなかったから
- 10 被害を受けたことを思い出したくなかったから
- 11 自分にも悪いところがあると思ったから
- 12 相談することではないと思ったから
- 13 その他()
- 14 わからない

【地域社会づくりについて】

(問 20) あなたは現在、仕事以外に何か地域活動等に参加していますか。(地域活動とは町内会、公民館、地域女性団体、PTA、ボランティア活動など地域に貢献する活動)

あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動
- 2 P T A や子ども会などの青少年育成活動
- 3 社会福祉などのボランティア活動
- 4 スポーツ振興や文化振興に関する活動
- 5 消費者運動、環境保護運動などの住民活動
- 6 特に何もしていない

問 22 へ

問 21 へ

(問 21) 【(問 20)で「6 特に何もしていない」を選んだ方におたずねします。】

それは、どのような理由からですか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 仕事や学業で時間がない
- 2 家事、育児や介護で精一杯である
- 3 家族の理解が得られない
- 4 健康に自信がない
- 5 経済的に負担がかかる
- 6 人間関係がわずらわしい
- 7 役員や世話人にされると困る
- 8 どんなグループがあるのか参加方法などがわからない
- 9 社会活動に関心がない
- 10 その他()
- 11 特に理由はない
- 12 わからない

【男女共同参画社会全般について】

→ (問 22) いちき串木野市を含め、一般的に政策決定の場や自治組織等の方針決定の場への女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。
あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある
- 2 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
- 3 家族の支援・協力が得られない
- 4 女性の能力開発の機会が十分でない
- 5 女性の活動を支援するネットワークがない
- 6 女性側の関心や積極性が十分でない
- 7 男性になるほうがいい（なるものだ）と思っている人が多い
- 8 女性は意見を述べたり、自己主張をしない方が良いという雰囲気がある
- 9 わからない

(問 23) あなたは今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
特に必要と思われる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 企業中心という社会全体の仕組みを改めること
- 3 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 4 労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること
- 5 夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと
- 6 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
- 7 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 8 女性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 9 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 10 男性が家事などに参画することによるライフスタイルの変化に対する抵抗感をなくすこと
- 11 妻が夫に経済力や出世を求めないこと
- 12 自宅でも仕事ができるように在宅勤務等を普及させること
- 13 その他()
- 14 わからない

(問 24) あなたはこの調査以前に、次の言葉についてご存知でしたか。次にあげるA~Kのそれぞれの項目について、右欄の1~4のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	言葉も内容もよく知っている	言葉は知っており、内容は少し知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない
A ジェンダー	1	2	3	4
B SOGI	1	2	3	4
C ダイバーシティ	1	2	3	4
D リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)	1	2	3	4
E ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3	4
F 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
G 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
H 育児・介護休業法	1	2	3	4
I 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	1	2	3	4
J 鹿児島県男女共同参画推進条例	1	2	3	4
K 鹿児島県男女共同参画週間 (7/25~31)	1	2	3	4
L ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3	4
M 女子差別撤廃条例	1	2	3	4
N 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	1	2	3	4
O 生理の貧困	1	2	3	4

以上で質問は終わりですが、男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

ご協力誠にありがとうございました。

記入もれなどがなければ、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

8月12日(金)までにご投函ください。

付録 用語解説

用語	解説
ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）がある一方、社会通念や慣習の中には、社会によってつくり上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。
SOG I（ソジ）	Sexual Orientation and Gender Identity の頭文字のことで、性的思考/性自認のことをいう。例えばLGBTがレズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーという「誰」を指すのに対して、SOG Iは「どんな性別を好きになるのか」、「自分自身をどういう性だと認識しているのか」という「状態」を指し、誰もが持っている要素である。
ダイバーシティ	「多様性」のことで、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ （性と生殖に関する健康と権利）	人間の性と生殖に関するすべての側面において、単に疾病や障害がないというだけでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあること。また、安全で満ち足りた性生活を営むことができ、いつ何人子どもを産むか（産まないか）を決める自由と責任を持ち、そのための情報と手段を得ることができるといった基本的権利。
積極的改善措置 （ポジティブ・アクション）	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差を改善するため、必要な範囲において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供すること（男女共同参画社会基本法第2条第2号参照）
男女共同参画社会基本法 （平成11年6月23日施行）	将来に向かって男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的に推進するために制定された法律。男女共同参画社会の形成についての基本理念、国・地方公共団体及び国民の責務、基本的施策について規定している。
男女雇用機会均等法 （昭和61年4月1日施行）	雇用における男女の均等な機会と待遇の確保を図るとともに、女性労働者の就業に関して妊娠中及び出産後の健康の確保を図るための措置を推進するために制定された法律。労働者の募集、採用、配置・昇進、福利厚生、定年・退職等における男女間の差別の禁止等について規定している。
育児・介護休業法 （平成7年6月施行）	労働者の仕事と育児や介護を両立できるように支援するために制定された法律。育児や介護の申請があった場合は、雇用関係を継続したまま、一定期間の休暇を与えることを認めるよう義務づけられている。 また、出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できるようにするため、令和3年6月に改正され、令和4年4月1日から段階的に施行される。
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 （DV防止法） （平成13年10月施行）	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律。 都道府県における計画の策定や配偶者暴力相談支援センターの設置、保護命令制度等が規定されている。被害者が男性の場合や、同居の恋人からの暴力もこの法律の対象となる。

用語	解説
鹿児島県男女共同参画推進条例 (平成14年1月施行)	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画社会の形成に関し、基本理念を定め、男女共同参画の推進に関する施策の基本的事項を定めている。
鹿児島県男女共同参画週間	鹿児島県では、毎年7月25日から31日までの1週間を男女共同参画週間としている。これは、男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画社会への理解を深めるために設けられたもの。
仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)	誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を、人生の段階に応じて自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。
女子差別撤廃条例	1979年に国連総会で採択され、日本は、1984年の国籍法の改正、1985年の男女雇用機会均等法の制定、家庭科教育の見直しなどの条件整備を経て、1985年に批准。あらゆる分野の性差別を許さず、男女平等の実現には男女の伝統的役割の変更が不可欠であるとしている。
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法) (平成27年9月施行)	働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために制定された法律。女性の活躍推進に向けた目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主(国や地方公共団体、民間企業※)に義務つけられた。 ※常時雇用する労働者が300人以下の民間企業等に当たっては努力義務
生理の貧困	女性や女の子が経済的な理由などにより生理用品を買えない、または使えない状況のこと。コロナ禍の影響を受け、これまで声を上げにくかった問題として全国的に支援の取組が広がる中で、女性や女の子の健康や尊厳に関わる重要な課題のひとつとしてクローズアップされている。